

# 医薬部外品の成分表示名称リスト

平成 18 年 3 月 10 日

日本化粧品工業連合会

## 目次

- 1 . 医薬部外品の成分表示名称リスト 1 頁 ~ 1 1 9 頁
- 2 . 医薬部外品の成分表示名称リスト : タール色素 1 2 1 頁 ~ 1 2 4 頁

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1	99	999999	AG エキス BM		AG エキスBM	本品は、アロエ Aloe andongensis Bak. (Liliaceae)の葉の液汁をエタノールで処理したものに、1,3-ブチレングリコールを加えたものである。
2	99	999999	WMP 478ホワイト			本品は粧原基「酸化チタン」を粧原基「ポリエチレングリコール 6000」、粧原基「ポリオキシエチレンステアリルエーテル」及び粧配規「オレイン酸ナトリウム」で被覆処理したものである。
3	42	532001	アクリリアミド・アクリル酸・塩化ジメチルジアリルアンモニウム共重合体液	アクリル酸・塩化ジメチルジアリルアンモニウム・アクリリアミドコポリマー液		本品は、アクリル酸、塩化ジメチルジアリルアンモニウム及びアクリリアミドの共重合体の水溶液である。
4	42	532002	アクリル酸・アクリル酸 2-エチルヘキシル・スチレン共重合体エマルション	アクリル酸オクチル・アクリル酸スチレン共重合体エマルション	アクリル酸・アクリル酸エチルヘキシル・スチレン共重合体エマルション	本品は、主としてアクリル酸、アクリル酸 2-エチルヘキシル及びスチレンを「ポリオキシエチレンニルフェニルエーテル」と「ウリル硫酸ナトリウム」を用いて乳化重合したものである。
5	42	522001	アクリル酸・アクリル酸アミド・アクリル酸エチル共重合体		アクリル酸・アクリリアミド・アクリル酸エチル共重合体	本品は、アクリル酸、アクリル酸アミド及びアクリル酸エチルからなる共重合体である。
6	42	522002	アクリル酸・アクリル酸アミド・アクリル酸エチル共重合体カリウム塩液		アクリル酸・アクリリアミド・アクリル酸エチル共重合体 K塩液	本品は、アクリル酸、アクリル酸アミド及びアクリル酸エチルの共重合体のカリウム塩の水及びエタノールの混液に溶かしたものである。
7	42	523001	アクリル酸アミド・アクリル酸アルキル・メタクリル酸メキシポリエチレングリコール共重合体		アクリリアミド・アクリル酸アルキル・メタクリル酸メキシPEG共重合体、アクリル酸アミド・アクリル酸アルキル・メタクリル酸メキシPEG共重合体	本品は、tert-ブチルアクリリアミドとアクリル酸エチルとN,N-ジメチルアミノプロピルアクリルアミドとメタクリル酸メキシポリエチレングリコールのおよそ57:27:13:3モル比の共重合体である。本品の平均分子量は、4万～16万であり、メタクリル酸メキシポリエチレングリコールのポリエチレングリコール部分の平均分子量は、約400である。
8	42	520005	アクリル酸アミド・スチレン共重合体		アクリリアミド・スチレン共重合体	本品は、主としてアクリル酸アミド又はメタクリル酸アミドとスチレンからなる共重合体である。
9	42	532324	アクリル酸アミド・メタクリル酸メキシポリエチレングリコール共重合体液		アクリリアミド・メタクリル酸メキシPEG共重合体液、アクリル酸アミド・メタクリル酸メキシPEG共重合体液	本品は、tert-ブチルアクリリアミド、N,N-ジメチルアクリリアミド、N,N-ジメチルアミノプロピルアクリリアミド及びメタクリル酸メキシポリエチレングリコールの共重合体のエタノール溶液である。平均分子量は、10000以上である。
10	42	532003	アクリル酸アミドメチルプロパンスルホン酸・メタクリル酸ジメチルアミノエチル共重合体	2-アクリリアミド 2-メチルプロパンスルホン酸・メタクリル酸N,N-ジメチルアミノエチル共重合体	アクリリアミドメチルプロパンスルホン酸・メタクリル酸ジメチルアミノエチル共重合体	本品は、主として2-アクリル酸アミド 2-メチルプロパンスルホン酸とメタクリル酸 N,N-ジメチルアミノエチルとの共重合体からなる。平均分子量は、115万～180万である。
11	42	520006	アクリル酸アルキルエステル・メタクリル酸アルキルエステル・ジアセトンアクリリアミド・メタクリル酸共重合体液		アクリル酸アルキル・メタクリル酸アルキル・ジアセトンアクリリアミド・メタクリル酸共重合体液	本品は、主としてアクリル酸アルキル(C1~C4,C6,C8,C10,C12)エステル、メタクリル酸アルキル(C1~C4,C6,C8,C10,C12)エステル、ジアセトンアクリリアミドとメタクリル酸との共重合体のエタノール溶液である。
12	42	522003	アクリル酸アルキル共重合体			本品は、主としてアクリル酸アルキル(C1~C4,C8)、メタクリル酸アルキル(C1~C4,C8)、アクリル酸又はメタクリル酸の中の2種以上のモノマーからなる共重合体である。
13	42	522004	アクリル酸アルキル共重合体液(1)		アクリル酸アルキル共重合体液-1	本品は、主としてアクリル酸アルキル(C1~C4及びC8)、メタクリル酸アルキル(C1~C4及びC8)、アクリル酸又はメタクリル酸の中の2種以上の成分からなる共重合体で、通常、水、エタノール又はこれらの混液を含む。
14	42	522005	アクリル酸アルキル共重合体液(2)		アクリル酸アルキル共重合体液-2	本品は、主としてアクリル酸アルキル(C1~C4,C8)、メタクリル酸アルキル(C1~C4,C8)、アクリル酸又はメタクリル酸の中の2種以上の成分からなる共重合体で、通常、水、エタノール、プロピレングリコール又はこれらの混液、あるいは変性アルコールを含む。
15	42	522007	アクリル酸アルキル共重合体エマルション(1)		アクリル酸アルキル共重合体エマルション-1	本品は、主としてアクリル酸アルキル(C1~C4及びC8)、メタクリル酸アルキル(C1~C4及びC8)、アクリル酸又はメタクリル酸の中の2種以上のモノマーからなる共重合体のエマルションである。
16	42	522008	アクリル酸アルキル共重合体エマルション(2)		アクリル酸アルキル共重合体エマルション-2	本品は、主としてアクリル酸アルキル(C1~C4及びC8)、メタクリル酸アルキル(C1~C4及びC8)、アクリル酸又はメタクリル酸の中の2種以上のモノマーからなる共重合体のエマルションである。
17	42	532325	アクリル酸アルキル共重合体メチルポリシロキサンエステル	アクリル酸 2-エチルヘキシル・メタクリル酸・メタクリル酸アルキル共重合体メチルポリシロキサンエステル	アクリル酸アルキル共重合体ジメチルコンエステル、アクリル酸エチルヘキシル・メタクリル酸・メタクリル酸アルキル共重合体ジメチルコンエステル	本品は、アクリル酸 2-エチルヘキシル、メタクリル酸、メタクリル酸アルキル(C1,C4)の共重合体とメチルポリシロキサンのメチル基の一部をヒドロキシプロピル基で置換したものととのエステルで、その分子量は30000～300000である。
18	42	522009	アクリル酸アルキル・酢酸ビニル共重合体液		アクリル酸アルキル・VA共重合体液	本品は、主としてアクリル酸アルキル(C1~C4,C8及びC12)及びメタクリル酸アルキル(C1

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						~C4,C8及びC12)の中の1種以上のモノマーと酢酸ビニルからなる共重合体で、通常、トルエンを含む。
19	42	522010	アクリル酸アルキル・酢酸ビニル共重合体エマルション		アクリル酸アルキル・VA共重合体エマルション	本品は、主としてアクリル酸アルキル(C1~C4,C8,C12)及びメタクリル酸アルキル(C1~C4,C8,C12)の中の1種以上の成分と酢酸ビニルからなる共重合体のエマルションである。
20	42	520010	アクリル酸アルキル・スチレン共重合体			本品は、主としてアクリル酸アルキル(C1~C4,C8,C12)、メタクリル酸アルキル(C1~C4,C8,C12)、アクリル酸及びメタクリル酸の中の1種以上の成分とスチレンからなる共重合体である。
21	42	522011	アクリル酸アルキル・スチレン共重合体エマルション			本品は、主としてアクリル酸アルキル(C4,C8,C12)、メタクリル酸アルキル(C4,C8,C12)、アクリル酸及びメタクリル酸の中の1種以上の成分とスチレンからなる共重合体のアンモニウム塩又はナトリウム塩のエマルションである。
22	99	999999	アクリル酸アルキル・メタクリル酸アルキル・イタコン酸ポリオキシエチレン(20)ステアリルエーテル共重合体エマルション			本品は、主としてアクリル酸、メタクリル酸、アクリル酸アルキル(C1~C4,C8)又はメタクリル酸アルキル(C1~C4,C8)の少なくとも1種以上のモノマーと、ポリオキシエチレン(20)ステアリルエーテルとイタコン酸とのモノエステルの共重合体のエマルションである。
23	42	532224	アクリル酸アルキル・メタクリル酸アルキル・メタクリル酸ポリオキシエチレンステアリルエーテル(20E.O.)共重合体エマルション		アクリル酸アルキル・メタクリル酸アルキル・メタクリル酸POE(20)ステアリルエーテル共重合体エマルション	本品は、主としてアクリル酸、メタクリル酸、アクリル酸アルキル(C1~C4)、又はメタクリル酸アルキル(C1~C4)の少なくとも1種以上のモノマーとポリオキシエチレンステアリルエーテル(20E.O.)とメタクリル酸のエステルの共重合体のエマルションである。
24	42	522012	アクリル酸オクチルアミド・アクリル酸エステル共重合体	オクチルアクリルアミド・アクリル樹脂	アクリル酸オクチルアミド・アクリル酸アルキル共重合体	本品は、主としてアクリル酸オクチルアミド、アクリル酸、メタクリル酸及びそのエステル(C1~C4)の共重合体からなる。
25	42	522013	アクリル酸オクチルアミド・アクリル酸ヒドロキシプロピル・メタクリル酸ブチルアミエチル共重合体			本品は、主としてアクリル酸オクチルアミド、アクリル酸2-ヒドロキシプロピル及びメタクリル酸ブチルアミエチルの共重合体である。
26	42	520020	アクリル酸ヒドロキシエチル・アクリル酸ブチル・アクリル酸メキシエチル共重合体液			本品は、アクリル酸2-ヒドロキシエチル、アクリル酸ブチル及びアクリル酸メキシエチルの共重合体のエタノール溶液である。
27	42	520021	アクリル酸ヒドロキシエチル・アクリル酸メキシエチル共重合体液			本品は、アクリル酸2-ヒドロキシエチルとアクリル酸2-メキシエチルの共重合体のエタノール溶液である。
28	42	523002	アクリル酸・フィブリン共重合体			本品は、主としてフィブリン、アクリル酸ナトリウム及びジアクリル酸ポリエチレングリコール800の共重合体である。
29	42	520022	アクリル酸ブチル・アクリロニトリル・スチレン共重合体			本品は、アクリル酸ブチル、アクリロニトリル及びスチレンからなる共重合体である。
30	42	532004	アクリル酸・メタクリル酸アルキル共重合体			本品は、アクリル酸とメタクリル酸アルキル(C10~C30)の共重合体である。
31	41	500001	アクリル樹脂アルカノールアミン液			本品は、アクリル樹脂を2-アミノ-2-メチル-1,3-プロパンジオール、2-アミノ-2-メチルプロパノール、トリエタノールアミン又はトイソプロパノールアミンで中和したものの無水エタノールの溶液である。
32	42	507003	アクリル樹脂被覆アルミニウム末		アクリル樹脂被覆A末	本品は、アルミニウム薄板にアクリル樹脂及び必要に応じて法定色素を加え一定の温度で焼き付けた後、切断したものである。
33	42	520033	麻セルローズ末	麻セルローズパウダー		本品は、カラムシBoehmeria nivea Hooker et Arnott (Urticaceae)から得た繊維を、鉱酸で部分的に加水分解した麻セルローズである。
34	42	523003	アシタバエキス	アシタバ抽出液		本品は、アシタバAngelica keiskei Koidzumi (Umbelliferae)の葉及び、茎から1,3-ブチレングリコール溶液で抽出して得られるエキスである。
35	42	532005	(アジピン酸・2-エチルヘキサン酸・ステアリン酸)グリセリルオリゴエステル	グリセリン脂肪酸エステルアジピン酸縮合物	(アジピン酸・エチルヘキサン酸・ステアリン酸)グリセリルオリゴエステル	本品は、アジピン酸、2-エチルヘキサン酸及びステアリン酸の混合物とグリセリンからなるオリゴエステルである。
36	42	532006	アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル		アジピン酸ジエチルヘキシル	本品は、主としてアジピン酸と2-エチルヘキシルアルコールのジエステル(C22H42O4:370.57)からなる。
37	42	512001	アジピン酸ジ-2-ヘキシルデシル		アジピン酸ジヘキシルデシル	本品は、主としてアジピン酸とヘキシルデカノールとのジエステル(C38H74O4:595.00)からなる。
38	42	532008	アジピン酸ジ-2-ヘプチルウンデシル		アジピン酸ジヘプチルウンデシル	本品は、主としてアジピン酸と2-ヘプチルウンデカノールのジエステル(C42H82O4:651.12)からなる。
39	42	110681	アジピン酸ジイソブチル			本品は、主としてアジピン酸とイソブチルアルコールのジエステル(C14H26O4:258.36)から

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						なる。
40	41	101861	アジピン酸ジイソプロピル			本品は、主として、アジピン酸と「イソプロパノール」のジエステル(C <sub>12</sub> H <sub>22</sub> O <sub>4</sub> :230.30)からなる。
41	42	532007	アジピン酸ジエトキシエチル			本品は、主としてアジピン酸とエトキシエタノールからなるジエステル(C <sub>14</sub> H <sub>26</sub> O <sub>4</sub> :290.36)である。
42	42	520034	アジピン酸ジグリセリル混合脂肪酸エステル			本品は、主として、カプリル酸、カプリン酸、イソステアリン酸、ステアリン酸、1,2-ヒドロキシステアリン酸による混合脂肪酸ジグリセリンとアジピン酸とのジエステルである。
43	42	532229	アジピン酸ジブチル			本品は、主としてアジピン酸とn-ブタノールのジエステル(C <sub>14</sub> H <sub>26</sub> O <sub>4</sub> :258.36)からなる。
44	42	504016	N-アシル-L-グルタミン酸トエタノールアミン		アシルグルタミン酸TEA	本品は、定量するとき、N-アシル-L-グルタミン酸トエタノールアミン28.0~32.0%を含む。
45	42	504017	N-アシル-L-グルタミン酸ナトリウム		アシルグルタミン酸Na	本品は、主として炭素数12~18の脂肪酸とL-グルタミン酸からなる酸アミドのナトリウム塩である。
46	42	511001	アズキデンプン		小豆デンプン	本品は、アズキPhaseolus radiatus L. var. aurea Prain (Leguminosae)の種子から得たデンプンである。
47	42	520037	アズキ末		小豆末	本品は、アズキPhaseolus angularis W.F.Wight(Leguminosae)の種子の粉末である。
48	41	001008	アスコルビン酸	ビタミンC		本品を乾燥したものは、定量するとき、L-アスコルビン酸(C <sub>6</sub> H <sub>8</sub> O <sub>6</sub> :176.13)99.0%以上を含む。
49	99	999999	L-アスコルビン酸 2-グルコシド		ビタミンC・2-グルコシド、アスコルビル2-グルコシド、アスコルビン酸2-グルコシド	本品は、定量するとき、L-アスコルビン酸 2-グルコシド(C <sub>12</sub> H <sub>18</sub> O <sub>11</sub> :338.27)98.0%以上を含む。
50	41	106612	アスコルビン酸ナトリウム		アスコルビン酸Na、ビタミンC・Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-アスコルビン酸ナトリウム(C <sub>6</sub> H <sub>7</sub> NaO <sub>6</sub> :198.11)95.0%以上を含む。
51	42	520038	L-アスコルビン酸硫酸エステル二ナトリウム	硫酸-L-アスコルビル二ナトリウム	アスコルビン酸硫酸2Na、ビタミンC硫酸2Na、硫酸アスコルビル2Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-アスコルビン酸硫酸エステル二ナトリウム(C <sub>6</sub> H <sub>6</sub> Na <sub>2</sub> O <sub>9</sub> :336.18)95.0%以上を含む。
52	99	999999	アスコルビン酸リン酸エステルナトリウム		ビタミンCリン酸ナトリウム、ビタミンCリン酸Na、アスコルビン酸リン酸Na	本品は、定量するとき、換算した脱水物に対して、アスコルビン酸リン酸エステルナトリウム(C <sub>6</sub> H <sub>6</sub> Na <sub>3</sub> O <sub>9</sub> :322.05)95.0%以上を含む。
53	99	999999	アスコルビン酸リン酸エステルナトリウム		ビタミンCリン酸ナトリウム、ビタミンCリン酸Na、アスコルビン酸リン酸Na	本品は、定量するとき、L-アスコルビン酸エステルナトリウム(C <sub>6</sub> H <sub>6</sub> Na <sub>3</sub> O <sub>9</sub> :322.05)95.0%以上を含む。
54	42	532272	アスタキサンチン液			本品は、ユーハウシア シミリス Euphausia similis (Euphausiacea)等の甲殻類等よりアセトンで抽出して得られるカロチノイド系の色素(主としてアスタキサンチン)に「トリ(カプリル・カプリン酸)グリセリル」を加えたものである。本品は、定量するとき、アスタキサンチンとして4.5~5.5%を含む。
55	99	999999	アスパラガスエキス			本品はアスパラガス Asparagus officinalis Linne (Liliaceae)の茎部を60vol%エタノール溶液にて抽出したものである。
56	41	003608	L-アスパラギン酸		アスパラギン酸	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-アスパラギン酸(C <sub>4</sub> H <sub>7</sub> NO <sub>4</sub> :133.10)98.0%以上を含む。
57	42	003025	L-アスパラギン酸カリウム		アスパラギン酸K	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-アスパラギン酸カリウム(C <sub>4</sub> H <sub>6</sub> KNO <sub>4</sub> :171.19)95.0%以上を含む。
58	41	111532	L-アスパラギン酸ナトリウム		アスパラギン酸Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-アスパラギン酸ナトリウム(C <sub>4</sub> H <sub>6</sub> NaO <sub>4</sub> :173.10)98.0%以上を含む。
59	42	003026	L-アスパラギン酸マグネシウム		アスパラギン酸Mg	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-アスパラギン酸マグネシウム(C <sub>8</sub> H <sub>12</sub> MgN <sub>2</sub> O <sub>8</sub> :288.50)95.0%以上を含む。
60	42	532273	アスパラギン酸・モノヒドロキシプロリンモノメチルシラノール塩液		アスパラギン酸・ヒドロキシプロリンモノメチルシラノール塩液	本品は、主としてアスパラギン酸とモノヒドロキシプロリンモノメチルシラノールのオリゴマー塩の水溶液である。
61	42	532009	アスパラサスリネアリスエキス			本品は、アスパラサスリネアリス Aspalathus linearis (N. L. Burm.) R. Dahlgren (Leguminosae)の全草から1,3-ブチレングリコール溶液により抽出して得られるエキスである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
62	31	109295	アスパルテーム	L- アスパルチル- L- フェニルアラニンメチルエステル		本品を乾燥物換算したものは、アスパルテーム (C 14H 18N 2O 5)98.0~ 102.0%を含む。
63	31	523088	アセスルファムカリウム		アセスルファム K	本品を乾燥したものは、アセスルファムカリウム (C 4H 4KNO 4S )99.0~ 101.0%を含む。
64	42	520048	N- アセチル- DL- メチオニン		アセチル- DL- メチオニン、酢酸 DL- メチオニン	本品を乾燥したものは、定量するとき、N- アセチル- DL- メチオニン (C 7H 13NO 3S : 191.25)98.0%以上を含む。
65	42	520043	N- アセチル- L- アスパラギン酸ジエチル		アセチルアスパラギン酸ジエチル、酢酸アスパラギン酸ジエチル	本品は、定量するとき、換算した脱水物に対し、N- アセチル- L- アスパラギン酸ジエチル (C 10H 17NO 5 : 231.25)95.0%以上を含む。
66	42	520044	N- アセチルグルコサミン	N- アセチルキトサミン	アセチルグルコサミン、酢酸グルコサミン、アセチルキトサミン、酢酸キトサミン	本品を乾燥したものは、定量するとき、N- アセチル- D- グルコサミン (C 8H 15NO 6 : 221.2)1)98.0%以上を含む。
67	42	532010	N- アセチル- L- グルタミン		アセチルグルタミン、酢酸グルタミン	本品を乾燥したものは、定量するとき、N- アセチル- L- グルタミン (C 7H 12N 2O 4 : 188.18)98.5%以上を含む。
68	42	520045	N- アセチル- L- グルタミン酸		アセチルグルタミン酸、酢酸グルタミン酸	本品を乾燥したものは、定量するとき、N- アセチル- L- グルタミン酸 (C 7H 11NO 5 : 189.17)98.0%以上を含む。
69	42	532011	N- アセチル- L- グルタミステアリル		アセチルグルタミステアリル、酢酸グルタミステアリル	本品は、N- アセチル- L- グルタミンステアリアルアルコールとのエステルからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、N- アセチル- L- グルタミステアリエステル (C 25H 48N 2O 4 : 440.65)97.0%以上を含む。
70	42	520047	アセチルシステイン	N- アセチル- L- システイン	アセチルシステイン、酢酸システイン	本品を乾燥したものは、定量するとき、N- アセチル- L- システイン (C 5H 9NO 3S : 163.19)98.0%以上を含む。
71	42	532238	N- アセチルチロシン		アセチルチロシン、酢酸チロシン	本品は、定量するとき、N- アセチルチロシン (C 11H 13NO 4 : 223.23)98.0%以上を含む。
72	41	500007	アセチルパントテニルエチルエーテル		酢酸パントテニルエチルエーテル	本品は、定量するとき、換算した脱水物に対し、アセチルパントテニルエチルエーテル (C 13H 25NO : 275.345)96.0~ 104.0%を含む。
73	42	520049	N- アセチル- L- メチオニン		アセチルメチオニン、酢酸メチオニン	本品を乾燥したものは、定量するとき、N- アセチル- L- メチオニン (C 7H 13NO 3S : 191.25)98.0%以上を含む。
74	42	532269	アセチルモノエタノールアミド		アセチルエタノールアミド、酢酸エタノールアミド	本品は、酢酸と当量のモノエタノールアミンを縮合して得られるアルキロールアミドである。
75	42	505003	アセチルリシノレイン酸ラリナルアルコールエステル		アセチルリシノレイン酸ラリル、酢酸リシノレイン酸ラリル	本品は、リシノレイン酸のアセチル化物とラリナルアルコールのエステルである。
76	51	520052	アセトアニリド			本品を乾燥したものは、定量するとき、アセトアニリド (C 8H 9NO : 135.17)として98.0%以上を含有する。
77	41	001018	アセトン			本品は、定量するとき、アセトン (C 3H 6O : 58.08)98.0%以上を含む。
78	42	520053	アセンヤクエキス			本品は、ガンビールノキ <i>Uncaria gambir</i> Roxburgh (Rubiaceae)の葉及び若枝から水にて抽出し乾燥して得られた液 (アセンヤク)から、更にエタノール溶液又は1,3-ブチレングリコール溶液で抽出して得られるエキスである。
79	42	520056	アデノシンリン酸二ナトリウム		アデノシンリン酸 2Na	本品は、定量するとき、換算した乾燥物に対し、アデノシンリン酸二ナトリウム (C 10H 12N 5Na 2O 7P : 391.19)97.0~ 102.0%を含む。
80	42	003008	アデノシン三リン酸二ナトリウム		アデノシン三リン酸 2Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、アデノシン三リン酸二ナトリウム (C 10H 14N 5Na 2O 13P 3 : 551.15)96.0%以上を含む。
81	42	100557	アニス油			本品は、アニス <i>Pimpinella anisum</i> Linne' (Umbelliferae)又は <i>Illicium verum</i> Hooker filius (Illiciaceae)の熟した果実 (生)を水蒸気蒸留して得られる精油である。
82	42	520059	アボカドエキス			本品は、アボカド <i>Persea americana</i> Miller (Lauraceae)の果実 (生)から水、「プロピレングリコール」又はこれらの混液で抽出して得られるエキスである。
83	41	500009	アボカド油			本品は、ワニナシ <i>Persea gratissima</i> Gaertn (Lauraceae)の果実から得た脂肪油である。
84	42	502003	アボカド油脂肪酸エチル			本品は、主として「アボカド油」から得られた脂肪酸のエチルエステルである。
85	42	520061	アマチャエキス		甘茶エキス	本品は、アマチャ <i>Hydrangea serrata</i> Seringe var. <i>thunbergii</i> Sugimoto (Saxifragaceae)の葉及び枝先から水、「エタノール」又はこれらの混液で抽出して得られるエキスである。
86	42	523004	アマチャヅルエキス			本品は、アマチャヅル <i>Gynostemma pentaphyllum</i> Makino (Cucurbitaceae)の葉から水にて抽出して得られるエキスである。
87	42	504028	2-アミノ-2-ヒドロキシメチル-1,3-プロパン	アミノヒドロキシメチルプロパンジ		本品は、定量するとき、換算した脱水物に対し、2-アミノ-2-ヒドロキシメチル-1,3-プロパ

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
			ジオール	オール		ンジオール (C 4H 11NO 3:121.14)97.0%以上を含む。
88	41	500011	2-アミノ-2-メチル-1,3-プロパンジオール		AM PD	本品は、定量するとき、換算した脱水物に対し、2-アミノ-2-メチル-1,3-プロパンジオール (C 4H 11NO 2:105.14)97.0%以上を含む。
89	41	500010	2-アミノ-2-メチル-1-プロパノール		AM P	本品は、定量するとき、換算した脱水物に対し、2-アミノ-2-メチル-1-プロパノール (C 4H 11NO :89.14)97.0%以上を含む。
90	42	522015	アミノエチルアミノプロピルシロキサン・ジメチルシロキサン共重合体エマルジョン			本品は、ジメチルシロキサンと ( - アミノエチル)アミノプロピルシロキサンの共重合体のエマルジョンで、塩化ステアリルトリメチルアンモニウム、塩化ジコイルジメチルアンモニウム及び「ポリオキシエチレンニルフェニルエーテル(10E.O.)」の中から選ばれた2種以上を含む。
91	42	532166	アミノエチルアミノプロピルメチルシロキサン・ジメチルシロキサン共重合体			本品は、ジメチルシロキサンと ( - アミノエチル)アミノプロピルメチルシロキサンの共重合体である。ジメチルシロキサンの付加モル数は50~300、( - アミノエチル)アミノプロピルメチルシロキサンの付加モル数は1~10である。
92	41	500036	-アミカブロン酸			本品を乾燥したものは、定量するとき、アミカブロン酸 (C 6H 13NO 2:131.17)98.0%以上を含む。
93	42	509010	アミノ酸・アミノ酸エステル混合物(1)		アミノ酸・アミノ酸エステル混合物-1	本品は、下記のアミノ酸を水に溶解、分散したものをセロファン製の半透膜の袋又はチューブに入れ、これを「エタノール」中に浸漬し、加圧しながら超音波照射して得られるアミノ酸及びアミノ酸エステルのエタノール溶液である。本品を定量するとき、窒素 (N :14.1)3.3~3.8%を含む。L-アスパラギン酸、L-アルギニン、グリシン、L-グルタミン酸、シスチン、L-ヒスチジン、L-イソジン。
94	42	511003	アミノ酸・アミノ酸エステル混合物(2)		アミノ酸・アミノ酸エステル混合物-2	本品は、下記のアミノ酸を水に溶解、分散したものをセロファン製の半透膜の袋又はチューブに入れ、これを「エタノール」中に浸漬し、加圧しながら超音波照射して得られるアミノ酸及びアミノ酸エステルのエタノール溶液である。本品を定量するとき、窒素 (N :14.01)3.0~3.5%を含む。L-アスパラギン酸、グリシン、L-グルタミン酸。
95	42	523005	アミノ酸・アミノ酸エステル混合物(3)		アミノ酸・アミノ酸エステル混合物-3	本品は、アミノ酸 (L-アスパラギン酸及びL-グルタミン酸)及びそのエステルの混合物の「エタノール」溶液である。本品は、定量するとき、窒素 (N :14.01)3.0~3.5%を含む。
96	42	507005	アミノ酸 糖混合物			本品は、アミノ酸 (グリシン21.2g、DL-アラニン18.8g、L-アルギニン2.5g、L-グルタミン酸塩3.5g、L-ヒスチジン塩酸塩2g、L-アスパラギン酸ナトリウム8.5g、L-バリン4.5g及びL-ロイシン4g)と還元糖 (ブドウ糖13.5g及び果糖1.5g)をアルコール溶液中で65℃に加熱した後、その生成物に「塩化ナトリウム」1.5g、「塩化カリウム」2g、「塩化カルシウム」1.5g、「乳酸ナトリウム液(50%)」1g及び「尿素」4gを添加したものである。本品は定量するとき、総窒素 (N :14.01)11.0~14.0%、-アミノ態窒素5.0~8.0%及び総糖類8.8~13.0%を含む。
97	42	004004	-アミノ酪酸	アミノ酪酸		本品は、主として -アミノ酪酸からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、-アミノ酪酸 (C 4H 9NO 2:103.12)98.0%以上を含む。
98	41	500012	-アヨルシナムアルデヒド		-アヨルケイ皮アルデヒド	本品は、定量するとき、-アヨルシナムアルデヒド (C 14H 18O:202.30)98.0%以上を含む。
99	42	511004	アラキルアルコール			本品は、主としてアラキルアルコール (C 20H 42O:298.55)からなる。
100	41	003609	L-アラニン		アラニン	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-アラニン (C 3H 7NO 2:89.09)98.5%以上を含む。
101	41	101962	DL-アラニン			本品を乾燥したものは、定量するとき、DL-アラニン (C 3H 7NO 2:89.09)98.0%以上を含む。
102	41	001035	アラビアゴム			本品は、Acacia senegal Willdenow (Leguminosae)又は他の同属植物の幹及び枝から得た分泌物である。
103	41	003015	アラントイン			本品を乾燥したものは、定量するとき、アラントイン (C 4H 6N 4O 3:158.12)98.0%以上を含む。
104	42	508003	アラントインDL-パントテニルアルコール			本品は、アラントインとDL-パントテニルアルコールの複合体 (C 13H 25N 5O 7:363.37)である。本品を乾燥したものは、定量するとき窒素 (N :14.01)として11.0~13.0%を含む。
105	42	520072	アラントイン -グリチルレチン酸			本品は、主として、「アラントイン」と「-グリチルレチン酸」の錯化合物で、本品を乾燥したものは、定量するとき、アラントイン (C 4H 6N 4O 3)26.0~34.0%及び -グリチルレチン酸

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						© 30H 4604)66.0~ 74.0%を含む。
106	42	504030	アラントインアセチルDL-メチオニン		アラントイン酢酸DL-メチオニン	本品は、主としてアラントインアセチル-DL-メチオニン(C 11H 19N 5O6S : 349.36)からなり、乾燥したものを定量するとき、95.0~ 105.0%を含む。
107	41	109008	アラントインクロルヒドロキシアリウム		アラントインクロルヒドロキシアリ	本品を乾燥したものは、定量するとき、アラントイン(C 4H 6N 4O3 : 158.12)36.0~ 44.0%及び酸化アルミニウム(Al 2O3 : 101.96)として25.0~ 31.0%を含む。
108	41	500018	アラントインジヒドロキシアリウム		アラントインジヒドロキシアリ	本品を乾燥したものは、定量するとき、アラントイン(C 4H 6N 4O3 : 158.12)64.0~ 88.0%及び酸化アルミニウム(Al 2O3 : 101.96)として20.0~ 27.0%を含む。
109	42	505007	アラントインポリガラクトン酸			本品は、アラントインとポリガラクトン酸の複合体である。
110	41	001037	亜硫酸水素ナトリウム		亜硫酸水素Na	本品は、定量するとき、亜硫酸水素ナトリウム(NaHSO3 : 104.06)95.0%以上を含む。
111	42	507006	アルカンスルホン酸ナトリウム		アルカンスルホン酸Na	本品は、主として炭素数14~ 18のアルキル基を有する第2級アルカンスルホン酸ナトリウムからなり、本品を定量するとき、アルカンスルホン酸ナトリウム(RSO3Na : 328)として表示量の90~ 110%を含む。
112	41	003610	L-アルギニン		アルギニン	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-アルギニン(C 6H 14N 4O2 : 174.20)98.0~ 102.0%を含む。
113	42	520079	L-アルギニンL-アスパラギン酸塩		アルギニン・アスパラギン酸塩	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-アルギニンL-アスパラギン酸(C 10H 21N 5O6 : 307.31)98.5%以上を含む。
114	42	520081	L-アルギニンL-グルタミン酸塩		アルギニン・グルタミン酸塩	本品は、定量するとき、換算した脱水物に対しL-アルギニンL-グルタミン酸塩(C 11H 23N 5O6 : 321.33)98.5%以上を含む。
115	42	532177	N-[3-アルキル(12,14)オキシ-2-ヒドロキシプロピル]-L-アルギニン塩酸塩液		アルキル(12,14)オキシヒドロキシプロピルアルギニンHCl液	本品は、主としてN-[3-アルキル(12,14)オキシ-2-ヒドロキシプロピル]-L-アルギニン塩酸塩からなり、エタノール、「イソプロパノール」、「1,3-ブチレングリコール」、水又はこれらの混液を含む。本品は、定量するとき、N-[3-アルキル(12,14)オキシ-2-ヒドロキシプロピル]-L-アルギニン塩酸塩(C 21731A 5H 45N 4O4 HCl : 460.13)として表示量の90~ 110%を含む。
116	41	500021	2-アルキル-N-カルボキシメチル-N-ヒドロキシアリウムβアラニン		アルキルカルボキシメチルヒドロキシアリウムβアラニン	本品は、主として2位に炭素数11~ 17のn-アルキル基を有する1-ヒドロキシアリウムβアラニンをカルボキシメチル化して得られ、通常、「イソプロパノール」、エタノール、水又はこれらの混液を含む。
117	42	523007	アルキル(8~ 16)グルコシド	アルキルグリコシド		本品は、主として炭素数8~ 16のアルキル基を有するアルコールとグルコースとの縮合反応によって得られるものである。通常、「イソプロパノール」、「エタノール」、水又はこれらの混液を含む。
118	42	508004	アルキル(12,14,16)硫酸アンモニウム			本品は、主として炭素数12,14,16のアルキル基を有するアルキル硫酸アンモニウムからなる。本品は定量するとき、アルキル(12,14,16)硫酸アンモニウム(平均分子量 : 299)として表示量の90~ 110%を含む。
119	42	523006	アルキル(12~ 13)硫酸ジエタノールアミン液		アルキル(12,13)硫酸DEA液	本品は、主として炭素数12~ 13のアルキル硫酸ジエタノールアミンの水溶液からなる。本品は、定量するとき、アルキル硫酸ジエタノールアミン(平均分子量 : 378.14)として表示量の90.0~ 110.0%を含む。
120	42	508005	アルキル(11,13,15)硫酸トリエタノールアミン(1)		アルキル(11,13,15)硫酸TEA-1	本品は主として炭素数11,13,15のアルキル基を有するアルキル硫酸トリエタノールアミンからなる。本品は定量するとき、アルキル(11,13,15)硫酸トリエタノールアミン(平均分子量 : 434)として表示量の90~ 110%を含む。
121	42	508006	アルキル(11,13,15)硫酸トリエタノールアミン(2)		アルキル(11,13,15)硫酸TEA-2	本品は、主として炭素数11,13,15のアルキル基を有するアルキル硫酸トリエタノールアミンからなる。本品は定量するとき、アルキル(11,13,15)硫酸トリエタノールアミン(平均分子量 : 423)として表示量の90~ 110%を含む。
122	42	508007	アルキル(12~ 14)硫酸トリエタノールアミン		アルキル(12~ 14)硫酸TEA	本品は主として炭素数12~ 14のアルキル基を有するアルキル硫酸トリエタノールアミンからなる。本品は定量するとき、アルキル(12~ 14)硫酸トリエタノールアミン(平均分子量 : 423)として表示量の90~ 110%を含む。
123	42	508008	アルキル(12~ 15)硫酸トリエタノールアミン		アルキル(12~ 15)硫酸TEA	本品は主として、炭素数12~ 15のアルキル基を有するアルキル硫酸トリエタノールアミンからなる。本品は、定量するとき、アルキル(12~ 15)硫酸トリエタノールアミン(平均分子量 : 429.38)として表示量の90~ 110%を含む。
124	42	507007	アルキル硫酸トリエタノールアミン液		アルキル硫酸TEA液	本品は、主として直鎖の炭素数12,13の合成アルコール(C 12:C 13= 1:1.4)を硫酸化した後、トリエタノールアミンで中和して得られる。本品は、定量するとき、アルキル硫酸トリエタノールアミン



連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						ノールアミン(平均分子量:424.2)として表示量の90~110%を含む。
125	42	508009	アルキル(12,13)硫酸ナトリウム		アルキル(12,13)硫酸Na	本品は,主として炭素数12,13のアルキル基を有するアルキル硫酸ナトリウムからなる。本品は定量するとき,アルキル(12,13)硫酸ナトリウム(平均分子量:296.1)として表示量の90~110%を含む。
126	42	507008	アルキル(11,13,15)硫酸ナトリウム液		アルキル(11,13,15)硫酸Na液	本品は,主として炭素数11,13,15のアルキル基を有するアルキル硫酸ナトリウムからなる。本品を定量するとき,アルキル(11,13,15)硫酸ナトリウム(平均分子量296)として,表示量の90~110%を含む。
127	42	532012	アルキル(11,13,15)リン酸カリウム液		アルキル(11,13,15)リン酸K液	本品は,主として炭素数11,13及び15のアルキル基を有するアルコールとリン酸を縮合して得られるアルキルリン酸エステルのカリウム塩のエタノールを含む水溶液である。
128	42	508010	アルキレン(15~18)グリコール			本品は,主として炭素数15~18のアルキル基を有するグリコールである。
129	42	501010	アルギン酸カリウム		アルギン酸K	本品は,褐藻類 Phaeophyceae から希アルカリ液で抽出した,炭水化物のカリウム塩である。
130	42	532274	アルギン酸カルシウム		アルギン酸Ca	本品は,アルギン酸のカルシウム塩である。
131	41	001039	アルギン酸ナトリウム		アルギン酸Na	本品は,褐藻類(Phaeophyceae)を希アルカリ液で抽出し,精製した炭水化物のナトリウム塩である。
132	41	111538	アルギン酸プロピレングリコール		アルギン酸PG	本品は,主としてアルギン酸と「プロピレングリコール」のエステルからなる。
133	42	532275	アルギン酸メチルシラノールエステル液		アルギン酸メチルシラノール液、アルギン酸メチルシラノールエステル	本品は,主としてアルギン酸のメチルシラノールエステルのオリゴマーの水溶液である。
134	42	532182	アルギン酸硫酸ナトリウム		アルギン酸硫酸Na	本品は,「アルギン酸ナトリウム」の硫酸エステルである。本品を乾燥したものは,定量するとき,イオウ(S:32.06)8.5~11.5%を含む。
135	42	520088	アルテアエキス	ピロウダアオイエキス		本品は,ピロウダアオイ <i>Althaea officinalis</i> Linne (Malvaceae)の根又は根及び葉から水,エタノール,「プロピレングリコール」,「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液,若しくは1%尿素含有エタノール溶液,1%尿素含有1,3-ブチレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
136	42	109613	アルニカエキス			本品は,アルニカ <i>Arnica montana</i> Linne (Compositae)の花から水,エタノール,「プロピレングリコール」,「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
137	42	511006	アルファー化トウモロコシデンプン		化コーンデンプン、化コーンスターチ、化トウモロコシデンプン	本品は,トウモロコシ <i>Zea mays</i> Linne (Gramineae)の種子から得たデンプンに水を加えて加熱してアルファー化したものを,形状を変化することなく乾燥したものである。
138	99	999999	アルブチン			本品を乾燥したものは,定量するとき,4-ハイドロキノン-D-グルコピラノシド(C <sub>12</sub> H <sub>16</sub> O <sub>7</sub> )97.0~102.0%を含む。
139	42	100359	アルブミン	乾燥脱糖卵白		本品は,鶏卵卵白を脱糖処理して噴霧乾燥したものである。
140	41	500024	アルミニウム末		A末	本品は,アルミニウム地金を油脂の薄膜で覆いながら粉碎したものである。
141	42	520090	アルモンドエキス		アーモンドエキス	本品は,アルモンド <i>Prunus amygdalus</i> Batsch (Rosaceae)の種子(甘扁桃)から水又は「プロピレングリコール」で抽出して得られるエキスである。
142	41	100405	アルモンド油		アーモンド油	本品は, <i>Prunus amygdalus</i> Batsch (Rosaceae)の変種,甘扁桃の種子から得られる脂肪油である。
143	42	507009	アルモンド核仁末		アーモンド核仁末	本品は <i>Prunus amygdalus</i> Batsch の変種,甘扁桃の核仁の粉末である。
144	42	520091	アロエ液汁			本品は, <i>Aloe barbadensis</i> Miller ( <i>Aloe vera</i> Linne)又はキダチアロエ <i>Aloe arborescens</i> Miller 及びその変種(Liliaceae)の葉の液汁又は液汁を濃縮したものである。
145	42	520092	アロエ液汁末(1)	ロカイ末	アロエ液汁末-1	本品は, <i>Aloe ferox</i> Miller 又はこれと <i>Aloe africana</i> Miller 又は <i>Aloe spicata</i> Baker との雑種(Liliaceae)の葉から得られた液汁を乾燥し,粉末としたものである。
146	42	520093	アロエ液汁末(2)		アロエ液汁末-2	本品は, <i>Aloe barbadensis</i> Miller( <i>Aloe vera</i> Linne)又はキダチアロエ <i>Aloe arborescens</i> Miller 及びその変種(Liliaceae)の葉の液汁の乾燥物から,アロインを除去して得られた粉末である。
147	42	520094	アロエエキス(1)		アロエエキス-1	本品は,アロエ <i>Aloe ferox</i> Miller 又はこれと <i>Aloe africana</i> Miller 又は <i>Aloe spicata</i> Baker との雑種(Liliaceae)若しくは <i>Aloe barbadensis</i> Miller( <i>Aloe vera</i> Linne)又はキダチアロエ <i>Aloe arborescens</i> Miller 及びその変種(Liliaceae)の葉又は葉の液汁を乾燥したものであり,水,「エタノール」,「無水エタノール」,「プロピレングリコール」,「1,3-ブチレングリコール」又はこ

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						これらの混液にて抽出して得られるエキスである。
148	42	520095	アロエエキス(2)		アロエエキス-2	本品は、Aloe barbadensis Miller(Aloe vera Linne )又はキダチアロエ Aloe arborescens Miller 及びその変種(Liliaceae)の葉から得られた液汁より、アロインを除去した後、得られた粉末を水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出又は溶解して得られたものである。
149	42	509013	アロエエキス(9)		アロエエキス-9	本品は、アロエ Aloe barbadensis Miller (Aloe Vera)(ユリ科 Liliaceae)の葉から「硬化油」・「流動パラフィン」、「ヤシ油」又はこれらの混液にて抽出液にて得られるエキスである。
150	99	999999	アロエエキスAGM			本品は、アロエ Aloe andongensis Bak. (Liliaceae)の葉の液汁より得られた抽出液である。
151	99	999999	アロエ植物乳酸菌はっ酵液			本品は、アロエベラ Aloe barbadensis Miller の葉の液汁の濃縮液を、乳酸菌 Lactobacillus plantarum で発酵して得た培養液を、水酸化ナトリウムにて PH を約 6.0 に調製し、加熱処理の後、ろ過をして不要物を除去したものである。
152	99	999999	アロエ抽出液			本品はアロエ Aloe barbadensis Miller 又はキダチアロエ Aloe arborescens Miller の葉から得た水溶液であり、多糖類及び少量のアミノ酸を含む。
153	42	100631	アロエ葉末			本品は、Aloe ferox Miller 及びその変種又はキダチアロエ Aloe arborescens Miller 及びその変種 (Liliaceae) の葉を乾燥し、粉末としたものである。
154	42	520104	アンズ核粒	アプリコット核粒		本品は、ホンアンズ Prunus armeniaca Linne ',アンズ Prunus armeniaca Linne ' var. ansu Maximowicz 又はその他近縁植物 (Rosaceae) の内果皮を粉砕したものである。
155	42	520105	アンズ果汁			本品は、ホンアンズ Prunus armeniaca Linne (Rosaceae)の果実(生)を压榨して得られる果汁である。
156	41	002023	安息香酸			本品を乾燥したものは、定量するとき、安息香酸(C <sub>7</sub> H <sub>6</sub> O <sub>2</sub> :122.12)99.3%以上を含む。
157	42	512004	安息香酸アルキル(C <sub>12</sub> ~ <sub>15</sub> )	高級アルコール(C <sub>12</sub> -C <sub>15</sub> ) 安息香酸エステル	安息香酸アルキル(12~15)	本品は、主として安息香酸と炭素数12~15のアルキル基を有するアルコールとのエステルである。本品は定量するとき、安息香酸テトラデシル(C <sub>21</sub> H <sub>34</sub> O <sub>2</sub> :318.50)として93.0%以上を含む。
158	42	504034	安息香酸アルミニウム		安息香酸A1	本品は、主として安息香酸アルミニウム(Al(C <sub>7</sub> H <sub>5</sub> O <sub>2</sub> ) <sub>3</sub> :390.33)からなる。
159	01	001042	安息香酸エストラジオール	エストラジオール安息香酸エステル		本品を乾燥したものは定量するとき、安息香酸エストラジオール(C <sub>25</sub> H <sub>28</sub> O <sub>3</sub> )97.0%以上を含む。
160			安息香酸デナトリウム変性アルコール			本品は、「エタノール」に安息香酸デナトリウムを加え、変性させたものである。
161	41	002024	安息香酸ナトリウム		安息香酸Na 安息香酸塩	本品を乾燥したものは、定量するとき、安息香酸ナトリウム(C <sub>7</sub> H <sub>5</sub> NaO <sub>2</sub> :144.11)99.0%以上を含む。
162	42	520107	安息香酸パントテニルエチルエーテル	ベンゾイルパントテニルエチルエーテル		本品は、安息香酸とパントテニルエチルエーテルのエステルからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、安息香酸パントテニルエチルエーテル(C <sub>18</sub> H <sub>27</sub> NO <sub>5</sub> :337.42)98.0~102.0%を含む。
163	42	002025	安息香酸ベンジル			本品は、定量するとき、安息香酸ベンジル(C <sub>14</sub> H <sub>12</sub> O <sub>2</sub> )95.0%以上を含む。
164	42	520108	アンソックウエキス			本品は、Styrax benzoin Dryander 又はその他同属植物 (Styracaceae) から得られた樹脂より「プロピレングリコール」にて抽出して得られるエキスである。
165	42	520109	アンバー			本品は、天然に産し、主としてケイ酸アルミニウム、酸化マンガン及び酸化鉄水和物からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、三酸化鉄(Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub> :159.69)として50.0~60.0%を含む。
166	42	532228	イガイグリコーゲン			本品は、ムラサキイガイ Mytilus edulis Linne 'の貝肉より得られるグリコーゲンである。
167	42	512006	イカスミ			本品は、イカ Sepia subaculeata の墨汁から「塩酸」により抽出したメラニンを乾燥し、粉末にしたものである。
168	41	001053	イクタモール			本品は、定量するとき、換算した乾燥物に対し、アンモニア(NH <sub>3</sub> :17.03)として2.5%以上、硫酸アンモニウム[(NH <sub>4</sub> ) <sub>2</sub> SO <sub>4</sub> :132.13]として8.0%以下及び総イオウ(S:32.06)として10.0%以上を含む。
169	42	532013	イザヨイバラエキス			本品は、イザヨイバラ Rosa roxburghii Tratt.f.normalis Rehd.et Wils (Rosaceae) の果実からエタノール溶液で抽出し、減圧凝固したものから、更に1,3-ブチレングリコール溶液で抽出して得られるエキスである。
170	42	520114	イセチオン酸ナトリウム	ヒドロキシエタンスルホン酸ナトリウム	イセチオン酸Na	本品は、主として2-ヒドロキシエタンスルホン酸のナトリウム塩(C <sub>2</sub> H <sub>5</sub> NaO <sub>4</sub> :148.11)から

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
				ウム		なる。
171	42	108522	イソステアリアルアルコール			本品は、主として、イソステアリアルアルコール(C 18H 38O 270.50)からなる。
172	42	520115	イソステアリルグリセリルエーテル			本品は、主としてグリセリンのモノイソステアリルエーテル(C 21H 44O3:344.58)からなる。
173	41	103139	イソステアリン酸			本品は、主としてイソステアリン酸(C 18H 36O2:284.48)からなる。
174	42	508015	イソステアリン酸アルミニウム		イソステアリン酸A 1	本品は、主としてモノイソステアリン酸アルミニウム(C 18H 37Al 104)からなる。本品を乾燥したものは定量するとき、アルミニウム(Al:26.98)7.0~9.0%を含む。
175	42	511007	イソステアリン酸イソステアリル			本品は、主として「イソステアリン酸」と「イソステアリアルアルコール」のエステル(C 36H 72O2:537.08)からなる。
176	42	501013	イソステアリン酸イソプロピル			本品は、主として「イソステアリン酸」と「イソプロパノール」のエステル(C 21H 42O2:326.56)からなる。
177	42	504040	イソステアリン酸エチル			本品は、主として「イソステアリン酸」とエタノールのエステル(C 20H 40O2:312.52)からなる。
178	42	523008	イソステアリン酸オクチルデシル			本品は、主として「イソステアリン酸」と「オクチルデカノール」のエステル(C 38H 76O2:565.02)からなる。
179	42	509015	イソステアリン酸グリセリル(2)		イソステアリン酸グリセリル-2	本品は、主として「イソステアリン酸」とグリセリンのモノ、ジ及びトエステルからなる。
180	42	505014	イソステアリン酸硬化ヒマシ油		イソステアリン酸水添ヒマシ油	本品は、主として水素添加により硬化したヒマシ油のイソステアリン酸モノエステルからなる。
181	42	510003	イソステアリン酸コレステリル			本品は、主として「イソステアリン酸」のコレステロールエステル(C 45H 80O2:653.14)からなる。
182	42	502008	イソステアリン酸ジエタノールアミド			本品は、主としてイソステアリン酸と当量のジエタノールアミンを縮合して得られるアルキロールアミド(C 22H 45NO 3 371.69)である。
183	42	532014	イソステアリン酸ジヒドロコレステリル			本品は、主として「イソステアリン酸」と「ジヒドロコレステロール」のエステル(C 45H 82O2:655.14)からなる。
184	42	110718	イソステアリン酸パチル			本品は、主として「イソステアリン酸」と「パチルアルコール」のモノエステルからなる。
185	42	532015	イソステアリン酸フィステリル			本品は、主として「イソステアリン酸」と「フィステロール」のエステルからなる。
186	42	510004	イソステアリン酸プロピレングリコール		イソステアリン酸PG	本品は、主として「イソステアリン酸」と「プロピレングリコール」のモノエステル(C 21H 42O3:342.54)からなる。
187	42	504042	イソステアリン酸ヘキシル			本品は、主として「イソステアリン酸」と「ヘキシルアルコール」のエステル(C 24H 48O2:368.62)からなる。
188	42	532016	イソステアリン酸2-ヘキシルデシル	イソステアリン酸イソセチル	イソステアリン酸ヘキシルデシル	本品は、主として「イソステアリン酸」と「ヘキシルデカノール」のエステル(C 34H 68O2:508.91)からなる。
189	42	503122	イソステアリン酸ポリオキシエチレングリセリル		イソステアリン酸POEグリセリル	本品は、主として「イソステアリン酸」とポリオキシエチレングリセリンからなるモノエステルである。酸化エチレンの平均付加モル数は、3~60である。
190	42	503008	イソステアリン酸ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油		イソステアリン酸POE硬化ヒマシ油、イソステアリン酸POE水添ヒマシ油	本品は、主としてポリオキシエチレン硬化ヒマシ油のイソステアリン酸モノエステルである。酸化エチレンの付加モル数は20~50である。
191	42	510005	イソステアリン酸ポリオキシエチレンソルビタン(20E.O.)		イソステアリン酸POE(20)ソルビタン	本品は、モノイソステアリン酸ソルビタンに酸化エチレンを付加重合したもので、酸化エチレンの平均付加モル数は20である。
192	42	508016	イソステアリン酸ポリオキシエチレンソルビット(3E.O.)		イソステアリン酸POE(3)ソルビット	本品は、主として「イソステアリン酸」とポリオキシエチレンソルビットのエステルであり、酸化エチレンの平均付加モル数は3である。
193	42	503009	イソステアロイル加水分解コラーゲン(1)		イソステアロイル加水分解コラーゲン-1	本品は、コラーゲンたん白質を加水分解して得られるポリペプチドと「イソステアリン酸」との縮合物の25%流動パラフィン溶液である。本品を定量するとき、窒素(N:14.01)として1.0%以上含む。
194	42	532217	イソステアロイル加水分解コラーゲン(4)		イソステアロイル加水分解コラーゲン-4	本品は、「イソステアリン酸」と加水分解コラーゲン液」との縮合物である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)4.0~10.0%を含む。
195	42	503010	イソステアロイル加水分解コラーゲン・アミノメチルプロパンジオール塩		イソステアロイル加水分解コラーゲンAM PD塩	本品は、主としてコラーゲンたん白質の加水分解物とイソステアリン酸との縮合物の2-アミノ-2-メチル-1,3-プロパンジオール塩からなる。本品を定量するとき、窒素(N:14.01)として8.7~2.7%を含む。
196	42	522017	イソステアロイル加水分解コラーゲン液(2)		イソステアロイル加水分解コラーゲン液-2、イソステアロイル加水分解コラーゲン(2)	本品は、コラーゲンたん白質を加水分解して得られるポリペプチドと「イソステアリン酸」との縮合物の3%イソステアリン酸溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)として0.1

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						5%以上を含む。
197	42	509017	イソステアロイル加水分解コラーゲン液(3)		イソステアロイル加水分解コラーゲン液-3、イソステアロイル加水分解コラーゲン(3)	本品は、コラーゲンたん白質を加水分解して得られるポリペプチドと「イソステアリン酸」との縮合物の25%イソステアリン酸ヘキシルデシル溶液である。本品は定量するとき、窒素(N: 14.01)として1.0%~2.0%含む。
198	42	507011	イソステアロイル乳酸ナトリウム		イソステアロイル乳酸Na	本品は、主として、イソステアロイル乳酸のナトリウム塩からなる。
199	42	503011	イソノナン酸インドデシル			本品は、主としてイソノナン酸とインドデシルアルコールのエステル(C <sub>19</sub> H <sub>38</sub> O <sub>2</sub> :298.51)からなる。
200	42	503012	イソノナン酸イソドデシル	イソヘラルゴン酸イソドデシル		本品は、主としてイソノナン酸とイソドデシルアルコールのエステル(C <sub>22</sub> H <sub>44</sub> O <sub>2</sub> :340.59)からなる。
201	42	503013	イソノナン酸イソノニル			本品は、主としてイソノナン酸とイソノニルアルコールのエステル(C <sub>18</sub> H <sub>36</sub> O <sub>2</sub> :284.49)からなる。
202	42	532017	イソノナン酸2-エチルヘキシル	イソヘラルゴン酸オクチル	イソノナン酸エチルヘキシル	本品は、主としてイソノナン酸と2-エチルヘキシルアルコールのエステル(C <sub>17</sub> H <sub>34</sub> O <sub>2</sub> :270.46)からなる。
203	42	532235	イソノナン酸セトステアリル			本品は、主としてイソノナン酸と「セトステアリルアルコール」のエステルからなる。
204	42	504045	イソパルミチン酸2-エチルヘキシル		イソパルミチン酸エチルヘキシル	本品は、主としてイソパルミチン酸と2-エチルヘキシルアルコールのエステル(C <sub>24</sub> H <sub>48</sub> O <sub>2</sub> :368.64)からなる。
205	42	504046	イソパルミチン酸ジグリセリル			本品は、主としてイソパルミチン酸と「ジグリセリン」のジエステル及びトリエステルからなる。
206	99	999999	イソフェルラ酸ナトリウム		イソフェルラ酸Na	本品は、イソパニンとマロン酸とを脱炭酸縮合して得られるイソフェルラ酸のナトリウム塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、イソフェルラ酸ナトリウム(C <sub>10</sub> H <sub>9</sub> O <sub>4</sub> Na)96.0%以上を含む。
207	42	504047	イソブタン			本品は、主としてイソブタンからなり、通例プロパン、ブタンを含む。本品は、定量するとき、イソブタン(C <sub>4</sub> H <sub>10</sub> :58.12)95.0%以上を含む。
208	42	504048	イソブチレン・マレイン酸ナトリウム共重合体液	マレイン酸/イソブチレンコポリマーナトリウム	イソブチレン・マレイン酸Na共重合体液	本品は、主としてイソブチレンと無水マレイン酸の共重合物のナトリウム塩の水溶液である。本品の平均重合度は、約11である。
209	42	532276	1-イソブレゴール		イソブレゴール	本品は、定量するとき、1-イソブレゴール(C <sub>10</sub> H <sub>18</sub> O:154.25)98.0%以上を含む。
210	41	001060	イソプロパノール			本品は、主として、イソプロパノール(C <sub>3</sub> H <sub>8</sub> O:60.10)からなる。
211	42	504049	イソプロパノールアミン	モノイソプロパノールアミン	MIPA	本品は、主としてモノイソプロパノールアミンからなり、通例ジイソプロパノールアミン及びトリイソプロパノールアミンを含む。本品は、定量するとき、モノイソプロパノールアミン(C <sub>3</sub> H <sub>9</sub> NO:75.11)として95.0~105.0%を含む。
212	41	103132	イソプロピルメチルフェノール		シメン-5-オール	本品は、定量するとき、イソプロピルメチルフェノール(C <sub>10</sub> H <sub>14</sub> O:150.22)として95.0%以上を含む。
213	42	523009	イソヘキサペンタコンタヘクタノ			本品は、側鎖を有する脂肪族炭化水素(C <sub>15</sub> H <sub>31</sub> :210.2)である。
214	42	504051	イソペンタン			本品は、主としてイソペンタンからなり、通例ペンタン、イソブタンを含む。本品は、定量するとき、イソペンタン(C <sub>5</sub> H <sub>12</sub> :72.15)95.0%以上を含む。
215	42	532277	イタドリエキス			本品は、イタドリPolygonium cuspidatum Sieb. et Zucc. (Polygonaceae)の根茎からエタノール溶液で抽出して得られるエキスである。
216	42	520124	イチヨウエキス			本品は、イチヨウGinkgo biloba Linne (Ginkgoaceae)の葉から水、エタノール、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液で抽出して得られるエキスである。
217	41	500035	イノシット			本品を乾燥したものは、定量するとき、イノシット(C <sub>6</sub> H <sub>12</sub> O <sub>6</sub> :180.16)97.0%以上を含む。
218	42	520131	イラクサエキス(1)		イラクサエキス-1	本品は、イラクサ Urtica thunbergiana Siebold et Zuccarini 又は Urtica dioica Linne (Urticaceae)の葉から、水、エタノール、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液により抽出して得られるエキスである。
219	42	509018	イラクサエキス(2)		イラクサエキス-2	本品は、イラクサ Urtica thunbergiana Siebold et Zuccarini(Urticaceae)又は Urtica dioica L. (Urticaceae)の根からプロピレングリコール溶液により抽出して得られるエキスである。
220	42	520134	イリス根エキス	オリスエキス		本品は、シロバナイリス Iris florentina Linne (Iridaceae)の根茎から水、エタノール、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液で抽出して得られるエキスである。
221	42	103095	イリス根末	オリス末		本品は、シロバナイリス Iris florentina Linne (Iridaceae)の根の粉末である。
222	99	999999	イレールエキスE			本品は、イレール Coleus scutellarioides Benth. (シソ科)の茎及び葉を精製水で抽出して製

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						したものである。
223	01	520135	ウイキョウ	茴香		本品はウイキョウ <i>Foeniculum vulgare</i> Miller (Umbelliferae) の果実である。
224	42	520136	ウイキョウエキス			本品は、ウイキョウ <i>Foeniculum vulgare</i> Miller (Umbelliferae) の果実から水、「エタノール」、 「ロピレングリコール」又はこれらの混液により抽出して得られるエキスである。
225	01	002035	ウイキョウ油	フェネル油		本品はウイキョウ <i>Foeniculum vulgare</i> Miller (Umbelliferae) 又は <i>Illicium verum</i> Hooker fil. (Illiciaceae) の果実を水蒸気蒸留して得た精油である。
226	42	520137	ウール末			本品は、「ヒソジ <i>Ovis aries</i> Linne' (Bovidae) の毛を微細化したものである。本品を乾燥したものは、 定量するとき、窒素 (N: 14.01) 12.0~ 19.0% を含む。
227	42	532233	ウーロン茶エキス			本品は、「チャノキ <i>Thea sinensis</i> Linne' (Theaceae) の葉から製したものである。本品を乾燥したもので抽出して得られるエキスである。
228	42	508017	ウコンエキス			本品は、ウコン <i>Curcuma longa</i> L. (Zingiberaceae) の根茎を抽出して得られ、その色素の主成分は、 クルクミン (C 17H 20O6: 36& 39) である。
229	42	532018	ウシ顎下腺抽出液		牛顎下腺抽出液	本品は、「ウシ <i>Bos taurus</i> Linne' var. <i>domesticus</i> Gmelin (Bovidae) の顎下腺から水で抽出して得たエキスに「1, 3- ブチレングリコール」を加えたものである。本品は、定量するとき、シアル酸 0.52~ 0.82% 及びたん白質 0.6~ 1.0% を含む。
230	42	532019	ウシ肝臓抽出液		牛肝臓抽出液	本品は、「ウシ <i>Bos taurus</i> Linne' var. <i>domesticus</i> Gmelin (Bovidae) の肝臓から水で抽出し、 除たん白して得た液である。
231	42	523010	ウシ血液除たん白液		牛血液除たん白液	本品は、「ウシ <i>Bos taurus</i> Linne' var. <i>domesticus</i> Gmelin (Bovidae) の血液の水溶液を除たん白して得たものである。本品は、 定量するとき、窒素 (N: 14.01) 0.10~ 8.17% を含む。
232	42	523011	ウシ血漿抽出液		牛血漿抽出液	本品は、「ウシ <i>Bos taurus</i> Linne' var. <i>domesticus</i> Gmelin (Bovidae) の血漿をゼラチンリガンドとして修飾したアガロー スカラムにより処理して得た抽出液である。本品は、定量するとき、フィブロネクチン 8.30~ 8.40% を含む。
233	42	523012	ウシ血清アルブミン液		牛血清アルブミン液	本品は、「ウシ <i>Bos taurus</i> Linne' var. <i>domesticus</i> Gmelin (Bovidae) の血清から得たアルブミン抽出液で、 定量するとき、窒素 (N: 14.01) 1.5~ 6.0% を含む。
234	42	523013	ウシ血清アルブミン末		牛血清アルブミン末	本品は、「ウシ <i>Bos taurus</i> Linne' var. <i>domesticus</i> Gmelin (Bovidae) の血清から得たアルブミン抽出液を凍結乾燥したものである。 本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素 (N: 14.01) 13.5~ 15.5% を含む。
235	42	523014	ウシ血清除たん白液		牛血清除たん白液	本品は、「ウシ <i>Bos taurus</i> Linne' var. <i>domesticus</i> Gmelin (Bovidae) の血清を除蛋白して得た水溶液である。本品は、 定量するとき、窒素 (N: 14.01) 0.10~ 0.14w/v% を含む。
236	42	523016	ウシサイタイ抽出液		牛サイタイ抽出液	本品は、「ウシ <i>Bos taurus</i> Linne' var. <i>domesticus</i> Gmelin (Bovidae) の臍帯を酵素分解して得た水性抽出液で、 定量するとき、窒素 (N: 14.01) 0.25~ 8.48% を含む。
237	42	532022	ウシ糖たん白質液	プロテオグリカン	牛糖たん白質液	本品は、「ウシ <i>Bos taurus</i> Linne' var. <i>domesticus</i> Gmelin (Bovidae) の結合組織から抽出された糖たん白質の水溶液である。 本品を定量するとき、たん白質 0.35~ 0.65%、ヘキサミン 0.13~ 0.25% 及びウロン酸 0.10~ 0.20% を含む。
238	42	523022	ウシヘマチン液	塩基性ヘマチン	牛ヘマチン液	本品は、主として、「ウシ <i>Bos taurus</i> Linne' var. <i>domesticus</i> Gmelin (Bovidae) の血液から得たヘマチンを含む水溶液である。 本品は、定量するとき、表示量の 90.0~ 110.0w/v% に対応するヘマチン (C 34H 33FeN 405: 633.5) を含む。
239	42	532278	ウマスフィンゴ脂質			本品は、健全なウマ <i>Equus caballus</i> (Equidae) の脊髄より抽出、精製したスフィンゴ脂質で、主としてガラクトシルセラミドを含む。
240	42	520144	ウメ末		梅末	本品は、「ウメ <i>Prunus mume</i> の完熟果肉と塩化ナトリウム」及びデキストリンの混合物の噴霧乾燥物である。本品を乾燥したものは、 定量するとき、塩化ナトリウム (NaCl: 5& 44) 28~ 34% を含む。
241	41	500039	- ウンデカラクトン			本品は、定量するとき、- ウンデカラクトン (C 11H 20O2: 184.28) 95.0% 以上を含む。
242	42	504055	ウンデシルヒドロキシエチルイミダゾリウムベタインナトリウム液	2-ウンデシル-N-ヒドロキシエチルイミダゾリウムベタインナトリウム液	ウンデシルヒドロキシエチルイミダゾリウムベタインナトリウム液、ウンデシルヒドロキシエチルイミダゾリウムベタインナトリウム液	本品は、主としてウンデシルヒドロキシエチルイミダゾリウムベタインナトリウムからなり、通常、「イソプロパノール」、 エタノール、水又はこれらの混液を含む。
243	42	504057	ウンデシレノイルアミドエチルスルホコハク酸ナトリウム	ウンデシレン酸モノエタノールアミドスルホコハク酸エステルナトリウム	ウンデシレノイルアミドエチルスルホコハク酸 2Na	本品は、主としてウンデシレノイルアミドエチルスルホコハク酸ナトリウム (C 17H 27NO 8Na: 451.45) からなる。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
				トウム		
244	42	502011	ウンデシレノイル加水分解コラーゲンカリウム液	ウンデセノイルコラーゲンペプチドカリウム	ウンデシレノイル加水分解コラーゲンK液、ウンデシレノイル加水分解コラーゲンカリウム	本品は、コラーゲンたん白質の加水分解物とウンデシレン酸との縮合物のカリウム塩の水溶液である。本品は、定量するとき窒素 (N:14.01)2.3~4.6%を含む。
245	41	002037	ウンデシレン酸			本品は、主として10位に二重結合を有するウンデシレン酸 (C <sub>11</sub> H <sub>20</sub> O <sub>2</sub> :184.28)からなる。
246	41	002038	ウンデシレン酸亜鉛			本品は、主としてウンデシレン酸の亜鉛塩 (C <sub>22</sub> H <sub>38</sub> O <sub>4</sub> Zn:431.92)である。本品を乾燥したものは、定量するとき、亜鉛 (Zn:65.38)14.0~16.0%を含む。
247	41	500042	ウンデシレン酸モノエタノールアミド		ウンデシレナミトMEA	本品は、主としてウンデシレン酸と当量のモノエタノールアミンを縮合して得られるアルキロールアミド (C <sub>13</sub> H <sub>25</sub> N <sub>2</sub> :227.35)である。
248	41	500043	雲母チタン		雲母Ti	本品は、「マイカ」に酸化チタン」の薄膜を被覆処理したものである。
249	42	523023	エイコセン・ビニルピロリドン共重合体		エイコセン・VP共重合体	本品は、主として、エイコセンとビニルピロリドンとの共重合体である。本品は、定量するとき、窒素 (N:14.01)2.8~3.6%を含む。
250	42	520149	エイジツエキス			本品は、ノイバラRosa multiflora Thunberg 又はその他近縁植物(Rosaceae)の果実から水、エタノール、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液で抽出して得られるエキスである。
251	41	003600	液化石油ガス		LPG	本品は、天然ガス又は石油から分離精製液化したもので、主としてプロパン、ブタン及びイソブタンを含む。本品は、定量するとき、プロパン (C <sub>3</sub> H <sub>8</sub> :44.10)、ブタン (C <sub>4</sub> H <sub>10</sub> :58.12)及びイソブタン (C <sub>4</sub> H <sub>10</sub> :58.12)の混合物95.0%以上を含む。
252	41	109939	液状ラノン			本品は、ラノンから得た液状物質で、主としてエステル類の混合物からなる。
253	42	532247	エゴマ油			本品は、エゴマ Perilla frutescens Britton var. japonica Hara (Labiatae)の種子より得られる油脂である。
254	41	102199	エステルガム			本品は、主として、アビエチン酸とグリセリンのエステルからなる。
255	42	532250	エゾウコギエキス			本品は、エゾウコギ Acanthopanax senticosus Harms (Araliaceae)の根茎からエタノール溶液にて抽出して得られるエキスである。
256	41	001075	エタノール			本品は、15 でエタノール (C <sub>2</sub> H <sub>6</sub> O:46.07)95.0~95.5vol%を含む (比重による)。
257	42	507013	エタノール (96~96.5度)			本品は、15 でエタノール (C <sub>2</sub> H <sub>6</sub> O:46.07)96~96.5vol%を含む。
258	42	102223	エタノールアミン	モノエタノールアミン		本品は定量するとき、モノエタノールアミン (C <sub>2</sub> H <sub>7</sub> N <sub>2</sub> :61.08)98.0%以上を含む。
259	42	520158	エチナシ葉エキス			本品は、ホンバレンギク Echinacea angustifolia Diodicus Carysius (Compositae)の葉からエタノール溶液で抽出して得られるエキスである。
260	01	001081	エチニルエストラジオール			本品を乾燥したものは定量するとき、エチニルエストラジオール (C <sub>20</sub> H <sub>24</sub> O <sub>2</sub> )98.0%以上を含む。
261	42	532024	エチルグルコシド液			本品は、主としてエチルD-グルコピラノシドのエタノール溶液からなる。他にエチルイソマルトシド、エチルマルトシド、エチルD-グルコフラノシドなどを含む。
262	41	102258	エチルセルロース			本品は、主として、セルロースのエチルエーテルからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、エチル基 (C <sub>2</sub> H <sub>5</sub> :45.06)43.0~50.0%を含む。
263	41	102255	エチルバニリン	エチルワニリン		本品は、主として、エチルバニリン (C <sub>9</sub> H <sub>10</sub> O <sub>3</sub> :166.18)からなる。
264	51	523326	エチルヒドロキシメチルオレイルオキサゾリン			本品は、主としてエチルヒドロキシメチルオレイルオキサゾリン (C <sub>23</sub> H <sub>43</sub> N <sub>2</sub> O <sub>2</sub> :365.33)からなる。本品は、定量するとき窒素 (N:14.007)として3.8~4.2%を含む。
265	42	532258	2-エチルヘキサン酸アルキル (12,13)		エチルヘキサン酸アルキル (12,13)	本品は、主として2-エチルヘキサン酸と炭素数12及び13の分岐アルキル基を有するアルコールのエステルである。
266	42	532279	2-エチルヘキサン酸アルキル (12~15)	オクタン酸アルキル (12~15)	エチルヘキサン酸アルキル (12~15)	本品は、主として2-エチルヘキサン酸と炭素数12~15のアルキル基を有するアルコールのエステルからなる。
267	42	509023	2-エチルヘキサン酸アルキル (14,16,18)	オクタン酸アルキル (14,16,18)	エチルヘキサン酸アルキル (14,16,18)	本品は、主として、2-エチルヘキサン酸と炭素数14,16及び18のアルキル基を有するアルコールとのエステルからなる。
268	42	532025	2-エチルヘキサン酸イソステアリル	オクタン酸イソステアリル	エチルヘキサン酸イソステアリル	本品は、主として2-エチルヘキサン酸とイソステアリルアルコールのエステル (C <sub>26</sub> H <sub>52</sub> O <sub>2</sub> :396.70)からなる。
269	42	532026	2-エチルヘキサン酸ステアリル	オクタン酸ステアリル	エチルヘキサン酸ステアリル	本品は、主として2-エチルヘキサン酸とステアリルアルコールのエステル (C <sub>26</sub> H <sub>52</sub> O <sub>2</sub> :396.70)からなる。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
270	42	520159	2-エチルヘキサン酸セチル	オクタン酸セチル	エチルヘキサン酸セチル	本品は、主として2-エチルヘキサン酸とセタノールのエステル(C24H48O2:368.64)からなる。
271	42	508018	2-エチルヘキサン酸セトステアリル	オクタン酸セトステアリル	エチルヘキサン酸セトステアリル	本品は、主として、2-エチルヘキサン酸と「セトステアリルアルコール」のエステルからなる。
272	42	532027	2-エチルヘキサン酸セトステアリル(2)	オクタン酸セトステアリル	エチルヘキサン酸セトステアリル-2	本品は、主として2-エチルヘキサン酸と「セトステアリルアルコール」のエステルからなる。
273	42	502020	2-エチルヘキサン酸2-ヘキシルデシル	オクタン酸イソセチル	エチルヘキサン酸ヘキシルデシル	本品は、主として2-エチルヘキサン酸と「ヘキシルデカノール」のエステル(C24H48O2:368.64)からなる。
274	42	508025	2-エチルヘキサン酸ポリエチレングリコール(4)・ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル(14E.O.)混合物		エチルヘキサン酸PEG(4)・POE(14)ノニルフェニルエーテル混合物	本品は、主として2-エチルヘキサン酸ポリエチレングリコール(4)とポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル(14E.O.)の混合物である。
275	42	520160	エチルヘキサンジオール			本品は、定量するとき、2-エチル-1,3-ヘキサンジオール(C8H18O2:146.23)97.0%以上を含む。
276	42	506004	エチル硫酸ラリリン脂肪酸アミノプロピルエチルジメチルアンモニウム液(1)	ラリリン脂肪酸アミノプロピルエチルジメチルアンモニウムエトサルフェート	エチル硫酸ラリリン脂肪酸アミノプロピルエチルジメチルアンモニウム液-1、エチル硫酸ラリリン脂肪酸アミノプロピルエチルジメチルアンモニウム(1)	本品は、エチル硫酸ラリリン脂肪酸アミノプロピルエチルジメチルアンモニウムの2-エチル-1,3-ヘキサンジオール、「プロピレングリコール」又は「ジプロピレングリコール」の溶液で、定量するとき、エチル硫酸ラリリン脂肪酸アミノプロピルエチルジメチルアンモニウム(平均分子量:520)として、表示量の90~110%を含む。
277	42	522018	エチル硫酸ラリリン脂肪酸アミノプロピルエチルジメチルアンモニウム(2)	ラリリン脂肪酸アミノプロピルエチルジメチルアンモニウムエトサルフェート	エチル硫酸ラリリン脂肪酸アミノプロピルエチルジメチルアンモニウム-2	本品は、エチル硫酸ラリリン脂肪酸アミノプロピルエチルジメチルアンモニウムと「1,3-ブチレングリコール」の2:1混合物で、定量するとき、エチル硫酸ラリリン脂肪酸アミノプロピルエチルジメチルアンモニウム(平均分子量:533)として62~68%を含む。
278	42	102265	エチレングリコール		グリコール	本品は、主としてエチレングリコール(C2H6O2:62.07)からなる。
279	42	100101	エチレングリコールエチルエーテル		グリコールエチルエーテル、エチルセロソルブ	本品は、主として、エチレングリコールのモノエチルエーテル(C4H10O2:90.12)からなる。
280	42	523024	エチレングリコール脂肪酸エステル(1)	エチレングリコール脂肪酸(C18-C30)エステル	脂肪酸グリコール-1、グリコール脂肪酸(18-30)エステル	本品は、主として炭素数18~30の脂肪酸のエチレングリコールエステルである。
281	42	523025	エチレングリコール脂肪酸エステル(2)		脂肪酸グリコール-2	本品は、主として炭素数14~18の脂肪酸とエチレングリコールのジエステルからなる。
282	42	501020	エチレングリコールメチルエーテル		グリコールメチルエーテル、メチルセロソルブ	本品は、主として、エチレングリコールのモノメチルエーテル(C3H8O2:76.10)からなる。
283	41	102266	エチレングリコールモノブチルエーテル		グリコールブチルエーテル、ブチルセロソルブ	本品は、主として、エチレングリコールモノブチルエーテル(C6H14O2:118.18)からなる。
284	42	520162	エチレンジアミンテトラキス(2-ヒドロキシイソプロピル)ジオレイン酸塩		エチレンジアミンテトラキス(ヒドロキシイソプロピル)ジオレイン酸塩	本品は、主としてエチレンジアミンN,N,N,N-テトラキス(2-ヒドロキシイソプロピル)1当量とオレイン酸2当量からなる塩である。
285	42	504059	エチレンジアミンテトラポロキシエチレンポリオキシプロピレン		エチレンジアミンテトラPOE・POP	本品は、エチレンジアミンに酸化プロピレン及び酸化エチレンを付加したものである。
286	42	504060	エチレンジアミンヒドロキシエチル三酢酸三ナトリウム		HEDTA・3Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、エチレンジアミンヒドロキシエチル三酢酸三ナトリウム(C10H15N2Na3O7:398.25)90.0%以上を含む。
287	51	520164	エチレンジアミンヒドロキシエチル三酢酸三ナトリウム液		HEDTA・3Na液	本品は、「エチレンジアミンヒドロキシエチル三酢酸三ナトリウム」の水溶液で、定量するとき、表示量の90~110%のエチレンジアミンヒドロキシエチル三酢酸三ナトリウム(C10H15N2Na3O7:398.25)を含む。
288	42	522019	エチレンジアミンヒドロキシエチル三酢酸三ナトリウム二水塩		HEDTA・3Na2水塩	本品を乾燥したものは、定量するとき、エチレンジアミンヒドロキシエチル三酢酸三ナトリウム二水塩(C10H15N2Na3O7·2H2O)97.0%以上を含む。
289	42	532028	エチレン・プロピレン共重合体			本品は、エチレンとプロピレンを共重合させたものである。
290	42	511010	エチレン無水マレイン酸共重合体		エチレン・MA共重合体	本品は、無水マレイン酸にエチレンを付加重合したものである。
291	41	500587	エデト酸		EDTA	本品を乾燥したものは、定量するとき、エデト酸(C10H16N2O8:292.25)99.0%以上を含む。
292	42	511011	エデト酸二カリウム二水塩		EDTA-2K、エデト酸塩	本品を乾燥したものは、エデト酸二カリウム二水塩(C10H14K2N2O8·2H2O:484.46)96.0%以上を含む。
293	41	110759	エデト酸二ナトリウム		EDTA-2Na、エデト酸塩	本品を乾燥したものは、定量するとき、エデト酸二ナトリウム(C10H14N2Na2O8·2H2O:372.24)99.0%以上を含む。
294	41	500054	エデト酸三ナトリウム		EDTA-3Na、エデト酸塩	本品を乾燥したものは、定量するとき、エデト酸三ナトリウム(C10H13N2Na3O8·2H2O:39

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						4.22)97.0%以上を含む。
295	42	107215	エデト酸四ナトリウム		EDTA-4Na エデト酸塩	本品は、主としてエデト酸四ナトリウムからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、エデト酸四ナトリウム(C <sub>10</sub> H <sub>12</sub> N <sub>2</sub> Na <sub>4</sub> O <sub>8</sub> :380.17)80.0%以上を含む。
296	41	500056	エデト酸四ナトリウム二水塩		EDTA-4Na エデト酸塩	本品を乾燥したものは、定量するとき、エデト酸四ナトリウム二水塩(C <sub>10</sub> H <sub>12</sub> N <sub>2</sub> Na <sub>4</sub> O <sub>8</sub> ·2H <sub>2</sub> O:416.20)97.0%以上を含む。
297	41	109055	エデト酸四ナトリウム四水塩		EDTA-4Na エデト酸塩	本品を乾燥したものは、定量するとき、エデト酸四ナトリウム四水塩(C <sub>10</sub> H <sub>12</sub> N <sub>2</sub> Na <sub>4</sub> O <sub>8</sub> ·4H <sub>2</sub> O:452.23)97.0%以上を含む。
298	42	520169	エポキシ樹脂イノステアリン酸エステル			本品は、ビスフェノール A とエピクロロヒドリンから生成したエポキシ化合物と、イノステアリン酸のジエステルからなる。
299	42	507015	エポキシ処理アルミニウム末		エポキシ処理 A 末	本品は、アルミニウム箔をエポキシ樹脂で被覆し、裁断したものである。
300	42	532232	エミュー油			本品は、エミュー <i>Dromaeus novae-hollandiae</i> Latham (Dromicelidae) の皮下組織より得られる脂肪油で、主としてオレイン酸、ステアリン酸、リノレン酸及びパルミチン酸のトリグリセリドからなる。
301	42	532029	エラブウミヘビ脂			本品は、エラブウミヘビ <i>Laticauda semifasciata</i> Reinward (Hydrophiinae) から得られた油脂である。
302	42	532280	エリスリトール			本品を乾燥したものを定量するとき、エリスリトール(C <sub>4</sub> H <sub>10</sub> O <sub>4</sub> :122.12)98.0%以上を含む。
303	41	102189	エリルピン酸			本品を乾燥したものは、定量するとき、エリルピン酸(C <sub>6</sub> H <sub>8</sub> O <sub>6</sub> :176.13)98.0%以上を含む。
304	42	520172	エルカ酸オクチルデシル	シス-13-ドコセン酸-2-オクチルデシル		本品は、主としてエルカ酸と2-オクチルデカノールのエステル(C <sub>42</sub> H <sub>82</sub> O <sub>2</sub> :619.11)からなる。
305	42	532030	エルカ酸オレイル			本品は、主として、エルカ酸とオレイルアルコールのエステル(C <sub>40</sub> H <sub>76</sub> O <sub>2</sub> :589.84)からなる。
306	42	504065	エルカ酸グリセリル	モノエルカ酸グリセリン		本品は、主として、エルカ酸とグリセリンのモノエステルからなる。
307	41	001095	エルゴカルシフェロール	ビタミンD <sub>2</sub>		本品は、主として、エルゴカルシフェロール(C <sub>28</sub> H <sub>44</sub> O:396.66)からなる。
308	99	999999	エルビピン			本品は、 <i>Glycine max</i> Merrill (Leguminosae) の種子を粉碎し、油成分を除去し、更に水で抽出したエキスである。本品は定量するとき、その総窒素量は、(N:14.01)0.17~0.27w/v%である。
309	41	002045	塩化亜鉛		塩化 Zn	本品は、定量するとき、塩化亜鉛(ZnCl <sub>2</sub> :136.29)95.0%以上を含む。
310	41	500061	(塩化アルキルトリメチルアンモニウム液)			
311	42	509019	塩化アルキル(16,18)トリメチルアンモニウム液		塩化アルキル(16,18)トリメチルアンモニウム	本品は、主として炭素数16及び18のアルキル基(モル比1:1)を有する塩化アルキルトリメチルアンモニウムからなり、「エタノール」及び水を含む。本品は、定量するとき、塩化アルキルトリメチルアンモニウム(C <sub>20</sub> H <sub>44</sub> ClN:334.03)として表示量の90~110%を含む。
312	42	523027	塩化アルキル(28)トリメチルアンモニウム液			本品は、主として炭素数28のアルキル基を有する塩化アルキルトリメチルアンモニウムからなり、「イソプロパノール」、水又はこれらの混液を含む。本品は、定量するとき、塩化アルキルトリメチルアンモニウム(C <sub>31</sub> H <sub>66</sub> ClN:488.33)として、表示量の90.0~110.0%を含む。
313	41	100441	塩化アルミニウム		塩化 Al	本品は、定量するとき、塩化アルミニウム(AlCl <sub>3</sub> ·6H <sub>2</sub> O:241.43)97.0%以上を含む。
314	42	001097	塩化アンモニウム			本品を乾燥したものは定量するとき、塩化アンモニウム(NH <sub>4</sub> Cl:53.49)99.0%以上を含む。
315	42	523028	塩化イノステアリルラウリルジメチルアンモニウム液			本品は、主として塩化イノステアリルラウリルジメチルアンモニウムからなり、「イソプロパノール」、水又はその混液を含む。本品は、定量するとき、塩化イノステアリルラウリルジメチルアンモニウム(C <sub>32</sub> H <sub>68</sub> ClN:502.35)として、表示量の90.0~110.0%を含む。
316	31	001098	塩化カリウム		塩化 K	本品を乾燥したものは、塩化カリウム(KCl)99.0%以上を含む。
317	41	001098	塩化カリウム		塩化 K	本品を乾燥したものは、定量するとき、塩化カリウム(KCl:74.55)99.0%以上を含む。
318	01	001098	塩化カリウム		塩化 K	本品を乾燥したものは定量するとき、塩化カリウム(KCl)99.0%以上を含む。
319	01	001099	塩化カルシウム		塩化 Ca	本品は定量するとき、塩化カルシウム(CaCl <sub>2</sub> ·2H <sub>2</sub> O)99.7~103.3%を含む。
320	42	504070	塩化 - グルコンアミドプロピルジメチルヒドロキシエチルアンモニウム液		塩化 - グルコンアミドプロピルジメチルヒドロキシエチルアンモニウム	本品は、塩化 - グルコンアミドプロピルジメチルヒドロキシエチルアンモニウムの水溶液である、本品は、定量するとき、塩化 - グルコンアミドプロピルジメチルヒドロキシエチルアン



連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						モニウム (C 13H 29ClN 207:360.83)として表示量の 90~ 110%を含む。
321	42	508020	塩化ジアルキル (12~ 15)ジメチルアンモニウム			本品は、主として炭素数 12~ 15のアルキル基を有する塩化ジアルキルジメチルアンモニウムからなり、「イソプロパノール」、水又はこれらの混液を含む。本品は、定量するとき、塩化ジアルキルジメチルアンモニウム (C 30H 64ClN :474.30)として表示量の 90~ 110%を含む。
322	42	508021	塩化ジアルキル (14~ 18)ジメチルアンモニウム			本品は、主として炭素数 14~ 18の飽和した直鎖のアルキル基を有する塩化ジアルキルジメチルアンモニウムからなる。「イソプロパノール」、水又はこれらの混液を含む。本品は、定量するとき、塩化ジアルキル (14~ 18)ジメチルアンモニウム (C 34H 72ClN :530.40)として表示量の 90~ 110%を含む。
323	42	523029	塩化ジアルキル (12~ 18)ジメチルアンモニウム液			本品は、炭素数 12~ 18のアルキル基を有する塩化ジアルキルジメチルアンモニウムからなり、「イソプロパノール」、水又はこれらの混液を含む。本品は、定量するとき、塩化ジアルキル (14)ジメチルアンモニウム (C 30H 64NCl :474.30)として表示量の 90.0~ 110.0%を含む。
324	42	501021	塩化ジココイルジメチルアンモニウム			本品は、主として塩化ジココイルジメチルアンモニウムからなり、通常、「イソプロパノール」、「エタノール」、水又はこれらの混液を含む。本品は定量するとき、塩化ジココイルジメチルアンモニウム (分子量 :422.46)として表示量の 90~ 110%を含む。
325	41	500064	塩化ジステアリルジメチルアンモニウム		ジステアリルジモニウムクロリド	本品は、主として塩化ジステアリルジメチルアンモニウムからなり、通常、「イソプロパノール」、エタノール、水又はこれらの混液を含む。本品は、定量するとき、表示量の 90~ 110%に対応する塩化ジステアリルジメチルアンモニウム (C 38H 80ClN :586.51)を含む。
326	42	509020	(塩化ジステアリルジメチルアンモニウム末)			
327	42	509021	塩化ジセチルジメチルアンモニウム液			本品は、R 2N (CH 3) 2Cl で示され、R は主として C 16H 33からなり、C 12H 25~ C 18H 37も含む。「イソプロパノール」、「エタノール」、水又はこれらの混液を含む。定量するとき、塩化ジセチルジメチルアンモニウム (C 34H 72ClN :530.41)として表示量の 90~ 110%を含む。
328	42	504071	塩化ジ (ポリオキシエチレン)オレイルメチルアンモニウム (2E.O.)		塩化ジ POE (2)オレイルメチルアンモニウム	本品は、主として塩化ジ (ポリオキシエチレン)オレイルメチルアンモニウム (2 E.O.) からなり、「イソプロパノール」を含む。本品を定量するとき、塩化ジ (ポリオキシエチレン)オレイルメチルアンモニウム (2 E.O.) (C 19H 38 (C 2H 4O) 2ClN :486.09)として表示量の 90~ 110%を含む。
329	42	523030	塩化ジポリオキシエチレンステアリルメチルアンモニウム液		塩化ジ POEステアリルメチルアンモニウム液	本品は、主として塩化ジポリオキシエチレンステアリルメチルアンモニウムからなり、水及び政府所定変性アルコールを含む。本品は、定量するとき、塩化ジポリオキシエチレンステアリルメチルアンモニウム (C 29H 62NO 5Cl :540.27)として、表示量の 90.0~ 110.0%を含む。酸化エチレンの付加モル数は5である。
330	42	523031	塩化ジメチルジアリルアンモニウム・アクリルアミド共重合体			本品は、塩化ジメチルジアリルアンモニウムとアクリルアミドとの共重合体である。
331	42	511012	塩化ジメチルジアリルアンモニウム・アクリルアミド共重合体液			本品は、塩化ジメチルジアリルアンモニウムとアクリルアミドの共重合体の水溶液である。
332	42	532186	塩化ジメチルジアリルアンモニウム・アクリル酸共重合体液			本品は、塩化ジメチルジアリルアンモニウムとアクリル酸の共重合体の水溶液である。
333	51	523330	塩化ステアリルジヒドロキシエチルベタインナトリウム液		塩化ステアリルジヒドロキシエチルベタインナトリウム液	本品は、主として塩化ステアリルジヒドロキシエチルベタインナトリウムのワセリンよう水溶液である。本品は、定量するとき、塩化ステアリルジヒドロキシエチルベタインナトリウム (C 24H 49ClNNaO 4)として 22~ 26%を含む。
334	41	500065	塩化ステアリルジメチルベンジルアンモニウム		ステアラルコニウムクロリド	本品を乾燥したものは、定量するとき、塩化ステアリルジメチルベンジルアンモニウム (C 27H 50ClN :424.15)として 90.0~ 105.0%を含む。
335	41	500066	塩化ステアリルトリメチルアンモニウム		ステアルトロニウムクロリド	本品は、主として塩化ステアリルトリメチルアンモニウムからなり、通常、イソプロパノール、エタノール、水又はこれらの混液を含む。本品は、定量するとき、表示量の 90~ 110%に対応する塩化ステアリルトリメチルアンモニウム (C 21H 46ClN :348.05)を含む。
336	42	510008	(塩化ステアリルトリメチルアンモニウム液)			
337	42	501023	塩化ステアロイルコラミ/ホルヨメチルピリジニウム			本品は、主として塩化ステアロイルコラミ/ホルヨメチルピリジニウムからなり、本品を定量するとき、塩化ステアロイルコラミ/ホルヨメチルピリジニウム (C 27H 47ClN 203:483.13)と

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						して90%以上を含む。
338	41	101326	塩化セチルトリメチルアンモニウム		セトリウムクロリド	本品は、主として塩化セチルトリメチルアンモニウムからなり、通常、「イソプロパノール」、エタノール、水又はこれらの混液を含む。本品は、定量するとき、塩化セチルトリメチルアンモニウム(C 19H 42ClN : 320.00)として表示量の90~ 110%を含む。
339	41	005602	塩化セチルビドジニウム		セチルビドジニウムクロリド	本品は、定量するとき、換算した脱水物に対し、塩化セチルビドジニウム(C 21H 38ClN : 339.99)として99.0~ 102.0%を含む。
340	41	002047	塩化第二鉄		塩化Fe	本品は定量するとき、塩化第二鉄(FeC 13 6H 2O : 270.30)99.0%以上を含む。
341	42	003621	塩化デカリウム			本品を乾燥したものは定量するとき、塩化デカリウム(C 30H 40Cl 2N 4)95.0%以上を含む。
342	42	532031	塩化N,N,N',N'-テトラメチル-N-ヘキサメチレン-トリメチレン-ジアンモニウム共重合体液		塩化テトラメチルヘキサメチレントリメチレンジアンモニウム共重合体液	本品は、主としてN,N,N',N'-テトラメチル-N-ヘキサメチレンジアミンと塩化トリメチレンの共重合体の水溶液からなり、その平均分子量は約10000である。本品を定量するとき、窒素(N : 14.01)5.1~ 6.3%を含む。
343	42	501022	塩化トリ(ポリオキシエチレン)ステアリルアンモニウム(5E.O.)	塩化ステアリルペンタエトキシアンモニウム	塩化トリPOE (5)ステアリルアンモニウム	本品を定量するとき、塩化トリ(ポリオキシエチレン)ステアリルアンモニウム(6 E.O.)(C 28H 60ClINO 5 : 526.24)として表示量の90~ 110%を含む。
344	41	001105	塩化ナトリウム		塩化Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、塩化ナトリウム(NaCl : 58.44)99.5%以上を含む。
345	01	001105	塩化ナトリウム	食塩	塩化Na	本品を乾燥したものは定量するとき、塩化ナトリウム(NaCl)99.5%以上を含む。
346	42	520178	塩化バリウム		塩化Ba	本品は、定量するとき、塩化バリウム(BaC 12・2H 2O : 244.28)98.0%以上を含む。
347	42	532215	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(ステアリルジメチルアンモニオ)プロピル]加水分解コムギたん白液		塩化ステアリルジメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解小麦たん白液	本品は、コムギたん白を加水分解して得られるポリペプチドに、3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルステアリルジメチルアンモニウムクロリド又はグリシジルステアリルジメチルアンモニウムクロリドを付加させたものである。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N : 14.01)5.0~ 12.0%を含む。
348	42	532214	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(ステアリルジメチルアンモニオ)プロピル]加水分解大豆たん白液		塩化ステアリルジメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解大豆たん白液	本品は、大豆たん白を加水分解して得られるポリペプチドに、3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルステアリルジメチルアンモニウムクロリド又はグリシジルステアリルジメチルアンモニウムクロリドを付加させたものである。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N : 14.01)5.0~ 12.0%を含む。
349	42	523032	塩化N-(2-ヒドロキシ-3-(ステアリルジメチルアンモニオ)プロピル)加水分解ケラチン液	加水分解ケラチン・塩化ヒドロキシプロピルステアリルジメチルアンモニウムエーテル液	塩化ステアリルジメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解ケラチン液	本品は、加水分解ケラチンに3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルステアリルジメチルアンモニウムクロリドを反応して得られたものである。本品は定量するとき、窒素(N : 14.01)2.2~ 4.0%を含む。
350	42	523033	塩化N-(2-ヒドロキシ-3-(ステアリルジメチルアンモニオ)プロピル)加水分解コラーゲン		塩化ステアリルジメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解コラーゲン	本品は、加水分解コラーゲンに3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルステアリルジメチルアンモニウムクロリド又はグリシジルステアリルジメチルアンモニウムクロリドを付加したものである。本品は、定量するとき、窒素(N : 14.01)3.5~ 5.5%を含む。
351	42	523034	塩化N-(2-ヒドロキシ-3-(ステアリルジメチルアンモニオ)プロピル)加水分解シルク	加水分解シルク・塩化ヒドロキシプロピルステアリルジメチルアンモニウムエーテル	塩化ステアリルジメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解シルク・水解シルク・塩化ヒドロキシプロピルステアリルジメチルアンモニウムエーテル	本品は、絹たん白質を加水分解して得られるポリペプチドにグリシジルステアリルジメチルアンモニウムクロリドを付加したものである。本品は、定量するとき、窒素(N : 14.01)2.0~ 4.0%を含む。
352	42	532222	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(トリメチルアンモニオ)プロピル]加水分解コムギたん白		塩化トリメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解小麦たん白	本品は、コムギたん白加水分解物に、3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルトリメチルアンモニウムクロリドを付加させたものである。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N : 14.01)8.0~ 15.0%を含む。
353	42	532032	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(トリメチルアンモニオ)プロピル]加水分解コムギたん白液	N-(3-トリメチルアンモニオ-2-ヒドロキシプロピル)小麦粉加水分解物液	塩化トリメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解小麦たん白液、トリメチルアンモニオヒドロキシプロピル小麦水解物液	本品は、加水分解コムギたん白に3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルトリメチルアンモニウムクロリドを付加させたものの水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N : 14.01)2.0~ 4.0%を含む。
354	51	523331	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(トリメチルアンモニオ)プロピル]加水分解コラーゲン液	カチオン化加水分解コラーゲン液	塩化トリメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解コラーゲン液	本品は、塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(トリメチルアンモニオ)プロピル]加水分解コラーゲンの水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N : 14.01)として3.0~ 5.5%を含む。
355	42	523037	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(トリメチルアンモニオ)プロピル]加水分解コラーゲン液	加水分解コラーゲン・塩化ヒドロキシプロピルトリメチルアンモニウムエーテル液	塩化トリメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解コラーゲン液	本品は、加水分解コラーゲンに3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルトリメチルアンモニウムクロリド又はグリシジルトリメチルアンモニウムクロリドを付加したものである。本品は、定量するとき、窒素(N : 14.01)12.0~ 21.0%を含む。
356	42	532223	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(トリメチルアンモニオ)プロピル]加水分解コンキオリン液	加水分解コンキオリン・塩化ヒドロキシプロピルトリメチルアンモニウムエーテル液	塩化トリメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解コンキオリン液	本品は、加水分解コンキオリン液に3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルトリメチルアンモニウムクロリドを付加させたものの水溶液である。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N : 14.01)として、8.0~ 15.0%を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
357	42	532221	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(トリメチルアンモニオ)プロピル]加水分解大豆たん白		塩化トリメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解大豆たん白	本品は、「大豆たん白加水分解物」に、3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルトリメチルアンモニウムクロリドを付加させたものである。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N:14.01)8.0~15.0%を含む。
358	51	523332	塩化O-[2-ヒドロキシ-3-(トリメチルアンモニオ)プロピル]デキストラン		塩化トリメチルアンモニオヒドロキシプロピルデキストラン	本品は、デキストランとグリシジルトリメチルアンモニウムクロライドとをエーテル結合を介して結合させたものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)として2.2~3.4%を含む。
359	42	523040	塩化O-[2-ヒドロキシ-3-(トリメチルアンモニオ)プロピル]ヒドロキシエチルセルロース	ヒドロキシエチルセルロース・ヒドロキシプロピルトリメチルアンモニウムクロリドエチル	塩化トリメチルアンモニオヒドロキシプロピルヒドロキシエチルセルロース	本品は、主としてヒドロキシエチルセルロースに3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルトリメチルアンモニウム又は塩化グリシジルトリメチルアンモニウムを反応させて得られたカチオン性のポリマーである。ただし、水、「イソプロパノール」又はその混液を含むものもある。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)0.2~2.5%を含む。
360	42	523035	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(トリメチルアンモニオ)プロピル]加水分解カゼイン液	加水分解カゼイン・塩化ヒドロキシプロピルトリメチルアンモニウムエーテル	塩化トリメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解カゼイン液	本品は、カゼインを加水分解して得られるポリペプチドに、グリシジルトリメチルアンモニウムクロリドを付加したカチオン性の加水分解カゼインの水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)3.0~4.5%を含む。
361	42	523036	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(トリメチルアンモニオ)プロピル]加水分解ケラチン液	加水分解ケラチン・塩化ヒドロキシプロピルトリメチルアンモニウムエーテル	塩化トリメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解ケラチン液	本品は、ケラチンたん白質を加水分解して得られるポリペプチドに、3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルトリメチルアンモニウムクロリドを付加させたものの水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)2.4~4.0%を含む。
362	42	523038	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(トリメチルアンモニオ)プロピル]加水分解シルク液	加水分解シルク・塩化ヒドロキシプロピルトリメチルアンモニウムエーテル	塩化トリメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解シルク液	本品は、絹繊維を加水分解して得られるポリペプチドに3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルトリメチルアンモニウムクロリドを付加させて得られたカチオン化加水分解シルクの水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)0.75~1.00%を含む。
363	42	523039	塩化O-[2-ヒドロキシ-3-(トリメチルアンモニオ)プロピル]グァーガム	グァーガム・塩化ヒドロキシプロピルトリメチルアンモニウムエーテル	塩化トリメチルアンモニオヒドロキシプロピルグァーガム	本品は、主としてグァーガムに、塩化グリシジルトリメチルアンモニウムを付加させて得られたカチオン性のポリマーである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)1.0~3.0%を含む。
364	42	532219	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(ヤシ油アルキルジメチルアンモニオ)プロピル]加水分解コムギたん白液		塩化ヤシ油アルキルジメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解小麦たん白液	本品は、コムギたん白を加水分解して得られるポリペプチドに、3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルヤシ油アルキルジメチルアンモニウムクロリド又はグリシジルヤシ油アルキルジメチルアンモニウムクロリドを付加させたものである。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N:14.01)5.0~12.0%を含む。
365	42	532220	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(ヤシ油アルキルジメチルアンモニオ)プロピル]加水分解大豆たん白液	加水分解大豆たん白・塩化ヒドロキシプロピルヤシ油アルキルジメチルアンモニウムエーテル	塩化ヤシ油アルキルジメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解大豆たん白液	本品は、大豆たん白を加水分解して得られるポリペプチドに、3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルヤシ油アルキルジメチルアンモニウムクロリド又はグリシジルヤシ油アルキルジメチルアンモニウムクロリドを付加したものである。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N:14.01)として、5.0~12.0%を含む。
366	42	523041	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(ヤシ油アルキルジメチルアンモニオ)プロピル]加水分解ケラチン	加水分解ケラチン・塩化ヒドロキシプロピルヤシ油アルキルジメチルアンモニウムエーテル	塩化ヤシ油アルキルジメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解ケラチン	本品は、加水分解ケラチンに3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルヤシ油アルキルジメチルアンモニウムクロリドを反応して得られたものである。本品は定量するとき、窒素(N:14.01)1.7~3.3%を含む。
367	42	523042	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(ヤシ油アルキルジメチルアンモニオ)プロピル]加水分解コラーゲン	加水分解コラーゲン・塩化ヒドロキシプロピルヤシ油アルキルジメチルアンモニウムエーテル	塩化ヤシ油アルキルジメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解コラーゲン	本品は、加水分解コラーゲンに3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルヤシ油アルキルジメチルアンモニウムクロリド又はグリシジルヤシ油アルキルジメチルアンモニウムクロリドを付加したものである。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)2.5~4.0%を含む。
368	42	523043	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(ヤシ油アルキルジメチルアンモニオ)プロピル]加水分解シルク液	加水分解シルク・塩化ヒドロキシプロピルヤシ油アルキルジメチルアンモニウムエーテル	塩化ヤシ油アルキルジメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解シルク液	本品は、絹たん白質を加水分解して得られるポリペプチドに、塩化(3-クロロ-2-ヒドロキシプロピル)ジメチルヤシ油アルキルアンモニウムを付加させて得たもので、エタノール溶液を含む。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)1.4~2.6%を含む。
369	42	523045	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(ラウリルジメチルアンモニオ)プロピル]加水分解コラーゲン	加水分解コラーゲン・塩化ヒドロキシプロピルラウリルジメチルアンモニウムエーテル	塩化ラウリルジメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解コラーゲン	本品は、加水分解コラーゲンに3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルラウリルジメチルアンモニウムクロリド又はグリシジルラウリルジメチルアンモニウムクロリド塩を付加したものである。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)2.0~4.0%を含む。
370	42	532033	塩化O-[2-ヒドロキシ-3-(ラウリルジメチルアンモニオ)プロピル]ヒドロキシエチルセルロース	ヒドロキシエチルセルロース・塩化ヒドロキシプロピルラウリルジメチルアンモニウムエーテル	塩化ラウリルジメチルアンモニオヒドロキシプロピルヒドロキシエチルセルロース	本品は、主としてヒドロキシエチルセルロースに3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルラウリルジメチルアンモニウムクロリド、又はグリシジルラウリルジメチルアンモニウムクロリドを付加して得られたカチオン性のポリマーである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)0.2~2.5%を含む。
371	42	523044	塩化N-[2-ヒドロキシ-3-(ラウリルジメチルアンモニオ)プロピル]加水分解ケラチン	加水分解ケラチン・塩化ヒドロキシプロピルラウリルジメチルアンモニウムエーテル	塩化ラウリルジメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解ケラチン	本品は、加水分解ケラチンに3-クロロ-2-ヒドロキシプロピルラウリルジメチルアンモニウムクロリドを反応して得られたものである。本品は定量するとき、窒素(N:14.01)1.7~3.3%を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
372	42	523046	塩化N-(2-ヒドロキシ-3-(ラウリルジメチルアンモニオ)プロピル)加水分解シルク	加水分解シルク・塩化ヒドロキシプロピルラウリルジメチルアンモニウムエーテル	塩化ラウリルジメチルアンモニオヒドロキシプロピル水解シルク	本品は、絹たん白質を加水分解して得られるポリペプチドにグリセジルラウリルジメチルアンモニウムクロリドを付加したカチオン性の加水分解シルクである。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)1.4~2.6%を含む。
373	42	110431	塩化ビニル樹脂		ポリ塩化ビニル	本品は、塩化ビニル(CH <sub>2</sub> =CHCl)の直鎖重合体で、平均分子量は約10万である。
374	42	532034	塩化ベヘン酸アミドプロピル-N,N-ジメチル-N-(2,3-ジヒドロキシプロピル)アンモニウム液	塩化ベヘン酸アミドプロピル-N,N-ジメチル-N-(2,3-ジヒドロキシプロピル)アンモニウム液	塩化ベヘン酸アミドプロピルジメチルジヒドロキシプロピルアンモニウム液	本品は、主として塩化ベヘン酸アミドプロピル-N,N-ジメチル-N-(2,3-ジヒドロキシプロピル)アンモニウム(C <sub>30</sub> H <sub>63</sub> ClN <sub>2</sub> O <sub>3</sub> :535.29)からなる水溶液である。
375	41	001108	塩化ベンザルコニウム		ベンザルコニウムクロリド	本品は、主として炭素数12~14のアルキル基を有する4級アンモニウム塩である。本品は、定量するとき、換算した脱水物に対し、塩化ベンザルコニウム(C <sub>22</sub> H <sub>40</sub> ClN:354.02)として95.0~105.0%を含む。
376	41	500072	(塩化ベンザルコニウム液)			
377	41	001110	塩化ベンゼトニウム		ベンゼトニウムクロリド	本品を乾燥したものは、定量するとき、塩化ベンゼトニウム(C <sub>27</sub> H <sub>42</sub> ClNO <sub>2</sub> :448.09)97.0%以上を含む。
378	41	500074	(塩化ベンゼトニウム液)			
379	42	504076	塩化ポリオキシプロピレンメチルジエチルアンモニウム		塩化POPメチルジエチルアンモニウム	本品は、主として塩化ポリオキシプロピレンメチルジエチルアンモニウムからなる。
380	31	103935	塩化マグネシウム		塩化Mg	本品は、塩化マグネシウム(MgC <sub>12</sub> H <sub>20</sub> )95.0%以上を含む。
381	42	103935	塩化マグネシウム		塩化Mg	本品は、塩化マグネシウム(MgC <sub>12</sub> H <sub>20</sub> )95.0%以上を含む。
382	41	104373	塩化ミリスチルジメチルベンジルアンモニウム			本品は、主として塩化ミリスチルジメチルベンジルアンモニウムからなり、通常、「プロピレングリコール」を含む。本品は、定量するとき、表示量の30~110%に対応する塩化ミリスチルジメチルベンジルアンモニウム(C <sub>23</sub> H <sub>42</sub> ClN:368.05)を含む。
383	41	104154	塩化メチルベンゼトニウム			本品を乾燥したものは、定量するとき、塩化メチルベンゼトニウム(C <sub>28</sub> H <sub>44</sub> ClNO <sub>2</sub> :462.12)97.0~103.0%を含む。
384	42	523047	塩化ラウリルジメチル(エチルベンジル)アンモニウム液		塩化ラウリルジメチルエチルベンジルアンモニウム液	本品は、主として塩化ラウリルジメチル(エチルベンジル)アンモニウムの水溶液からなる。本品は、定量するとき、表示量の90.0~110.0%に対応する塩化ラウリルジメチルエチルベンジルアンモニウム(C <sub>23</sub> H <sub>42</sub> ClN:368.05)を含む。
385	41	500075	(塩化ラウリルトリメチルアンモニウム液)			
386	42	520181	塩化ラウリルピリジニウム			本品は、主として塩化ラウリルピリジニウムからなる。本品は定量するとき、換算した脱水物に対し、塩化ラウリルピリジニウム(C <sub>17</sub> H <sub>30</sub> ClN:283.90)を90.0~110.0%含む。
387	41	500590	塩化ラウリルピリジニウム液			本品は、主として「塩化ラウリルピリジニウム」からなり、通常、「イソプロパノール」、水の混液を含む。本品は、定量するとき、表示量の90~110%に対応する塩化ラウリルピリジニウム(C <sub>17</sub> H <sub>30</sub> ClN:283.90)を含む。
388	42	505033	塩化ラウロイルコラミノホルヨメチルピリジニウム			本品は、主として塩化ラウロイルコラミノホルヨメチルピリジニウムからなる。本品を定量するとき、塩化ラウロイルコラミノホルヨメチルピリジニウム(C <sub>21</sub> H <sub>35</sub> ClN <sub>2</sub> O <sub>3</sub> :398.97)として90.0%以上を含む。
389	41	003625	塩化リゾチーム			本品は、卵白から得られた塩基性ポリペプチドで、ムコ多糖分解作用を有する酵素である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)15~18%を含み、またその1mg中塩化リゾチーム0.8mg(力価)以上を含む。
390	42	523048	塩基性炭酸亜鉛		塩基性炭酸Zn	本品は、主として塩基性炭酸亜鉛からなる。本品は、定量するとき、酸化亜鉛(ZnO:81.39)として70.0%以上を含む。
391	41	001113	塩酸		HCl	本品は、定量するとき、塩化水素(HCl:36.46)35.0~38.0%を含む。
392	41	500078	塩酸アルキルジアミノエチルグリシン液		アルキル(C <sub>12</sub> -14)ジアミノエチルグリシンHCl 液	本品は、炭素数12~14のアルキル鎖を有する塩化アルキルジアミノエチルグリシンの水溶液である。本品は、定量するとき、塩酸アルキルジアミノエチルグリシン(C <sub>19</sub> H <sub>42</sub> ClN <sub>2</sub> O <sub>3</sub> :380.01)として27.0~33.0%を含む。
393	42	102519	塩酸グルコサミン	グルコサミン塩酸塩	HCグルコサミン、グルコサミンHCl	本品を乾燥したものは、定量するとき、塩酸グルコサミン(C <sub>6</sub> H <sub>13</sub> O <sub>5</sub> N+HCl:215.63)98.0%以上を含む。
394	41	003638	塩酸クロルヘキシジン		クロルヘキシジン2HCl	本品を乾燥したものは、定量するとき、塩酸クロルヘキシジン(C <sub>22</sub> H <sub>30</sub> Cl <sub>2</sub> N <sub>2</sub> O:57

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						8.37)97.5%以上を含む。
395	51	523335	塩酸ジオクチルアミエチルグリシン液		HC ジオクチルアミエチルグリシン液、 ジオクチルアミエチルグリシンHC 液	本品は、(RNHCH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> ) <sub>2</sub> NCH <sub>2</sub> COOH +HCl で示される化合物の水溶液で、R は主として C <sub>8</sub> H <sub>17</sub> である。本品は、定量するとき、塩酸ジオクチルアミエチルグリシン (C <sub>22</sub> H <sub>48</sub> ClN <sub>3</sub> O <sub>2</sub> : 422.1)として50~ 60%を含む。
396	41	001137	塩酸ジフェンヒドラミン		ジフェンヒドラミンHCl	本品を乾燥したものは、定量するとき、塩酸ジフェンヒドラミン (C <sub>17</sub> H <sub>21</sub> NO·HCl : 291.82)98.0%以上を含む。
397	42	520187	塩酸 L - ヒスチジン	L - ヒスチジン塩酸塩	HC ヒスチジン、ヒスチジンHCl	本品を乾燥したものは、定量するとき、塩酸 L - ヒスチジン (C <sub>6</sub> H <sub>9</sub> N <sub>3</sub> O <sub>2</sub> ·HCl·H <sub>2</sub> O : 209.63)98.5%以上を含む。
398	41	001155	塩酸ピリキシン	ビタミンB6	HC ピリキシン、ピリキシンHCl	本品を乾燥したものは、定量するとき、塩酸ピリキシン (C <sub>8</sub> H <sub>11</sub> NO <sub>3</sub> ·HCl : 205.64)98.0%以上を含む。
399	51	523338	塩酸モノエタノールアミン液		HC 1-MEA液、塩酸MEA液	本品は、「エタノールアミン」の塩酸塩の水溶液である。本品を定量するとき、塩酸モノエタノールアミン (C <sub>2</sub> H <sub>7</sub> NO·HCl : 97.54)として58.0~ 62.0%を含む。
400	41	001177	塩酸リジン		HC リジン、リジンHCl	本品を乾燥したものは、定量するとき、塩酸リジン (C <sub>6</sub> H <sub>14</sub> N <sub>2</sub> O <sub>2</sub> ·HCl : 182.65)98.0%以上を含む。
401	42	523049	塩素化パラフィン		塩化パラフィン	本品は、石油から得た固形の炭化水素類の混合物を塩素化したものである。
402	42	532281	エンドウエキス			本品は、「エンドウ Pisum sativum Linne (Leguminosae)の種子を脱脂した後、水にて抽出して得られるエキスである。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)2.5~ 3.8%を含む。
403	41	102290	オイゲノール			本品は、定量するとき、オイゲノール (C <sub>10</sub> H <sub>12</sub> O <sub>2</sub> :164.20)98.0%以上を含む。
404	42	104803	オウゴンエキス			本品は、「コガネバナ Scutellaria baicalensis Georgi (Labiateae)の周皮を除いた根から水、「エタノール」、「無水エタノール」、「1,3-ブチレングリコール」、又はこれらの混液で抽出して得られるエキスである。
405	41	107704	黄酸化鉄		黄酸化 Fe	本品は、主としてオキシ水酸化鉄 FeO(OH)及び水酸化第二鉄 Fe <sub>2</sub> (OH) <sub>6</sub> からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、三酸化鉄 (Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub> : 159.69)として80.0%以上を含む。
406	42	523050	黄酸化鉄・カルミン被覆雲母チタン	黄酸化鉄・カルミン処理雲母チタン	黄酸化鉄・カルミン被覆雲母Ti 黄酸化Fe・カルミン被覆雲母Ti	本品は、「雲母チタン」を「黄酸化鉄」と「カルミン」で被覆したものである。
407	42	523051	黄酸化鉄・コンジョウ被覆雲母チタン	黄酸化鉄・コンジョウ処理雲母チタン	黄酸化鉄・紺青被覆雲母Ti 黄酸化Fe・紺青被覆雲母Ti	本品は、「雲母チタン」を「黄酸化鉄」と「コンジョウ」で被覆したものである。
408	42	523052	黄酸化鉄被覆雲母チタン	黄酸化鉄処理雲母チタン	黄酸化鉄被覆雲母Ti 黄酸化Fe被覆雲母Ti	本品は、「雲母チタン」を「黄酸化鉄」で被覆したものである。
409	01	120075	オウバク	黄柏		本品はキハダ Phellodendron amurense Ruprecht 又は Phellodendron chinense Schneider (Rutaceae)の周皮を除いた樹皮である。本品は定量するとき、換算した生薬の乾燥物に対し、ベルベリン 塩化ベルベリン (C <sub>20</sub> H <sub>18</sub> ClNO <sub>4</sub> : 371.81)として1.2%以上を含む。
410	42	002057	オウバクエキス			本品は、キハダ Phellodendron amurense Ruprecht 又はその他同属植物 (Rutaceae)の周皮を除いた樹皮から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液で抽出して得られるエキスである。
411	01	001182	オウバク末	黄柏		本品は「オウバク」を粉末としたものである。本品は定量するとき、換算した生薬の乾燥物に対し、ベルベリン 塩化ベルベリン (C <sub>20</sub> H <sub>18</sub> ClNO <sub>4</sub> : 371.81)として1.2%以上を含む。
412	42	104869	オウレンエキス			本品は、オウレン Coptis japonica Makino 又はその他同属植物 (Ranunculaceae)の根茎から水、「1,3-ブチレングリコール」又はエタノール溶液で抽出して得られるエキスである。
413	42	504080	オートミール末			本品は、「カラスムギ Avena sativa L. (Gramineae)の種子を乾燥し、粉碎したものである。
414	42	532244	オオバナサルズベリエキス			本品は、「オオバナサルズベリ Lagerstroemia speciosa Persoon (Lythraceae)の葉から、エタノール溶液で抽出して得られたエキスである。
415	42	520221	オオムギエキス		大麦エキス	本品は、「オオムギ Hordeum vulgare Linne (Gramineae)の種子から水、「プロピレングリコール」又はこれらの混液で抽出して得られるエキスである。
416	42	532035	オオムギ発酵エキス		大麦発酵エキス	本品は、「オオムギ Hordeum vulgare Linne (Gramineae)の種子を酵母 Saccharomyces cerevisiae で発酵して得た培養液にエタノールを加え、ろ過して得られるエキスである。本品は、定量するとき、窒素(N: 14.01)0.02~ 0.12%を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
417	41	100936	オキシ塩化ビスマス		オキシ塩化Bi	本品を乾燥したものは、定量するとき、ビスマス(Bi:208.98)78.0~81.0%を含む。
418	42	520222	オキシ塩化ビスマス被覆雲母	オキシ塩化ビスマス被覆マイカ	オキシ塩化B被覆雲母、オキシ塩化B被覆マイカ	本品は、「マイカ」を「オキシ塩化ビスマス」で被覆したものである。
419	42	511072	オキシステアリン酸グリセリル(2)	オキシステアリン酸グリセリン(2)	オキシステアリン酸グリセリル-2、オキシステアリン酸グリセリン-2	本品は、主としてオキシステアリン酸とグリセリンのモノエステル(C <sub>21</sub> H <sub>42</sub> O <sub>5</sub> :374.56)からなる。
420	42	510011	L-オキシプロリン	L-ヒドロキシプロリン	オキシプロリン	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-オキシプロリン(C <sub>9</sub> H <sub>9</sub> NO <sub>3</sub> :131.13)98.5%以上を含む。
421	41	108980	オキシベンゾン		オキシベンゾン-3	本品を乾燥したものは、定量するとき、オキシベンゾン(C <sub>14</sub> H <sub>12</sub> O <sub>3</sub> :228.25)90.0%以上を含む。
422	99	999999	(2S,3R)-2-オクタデカノイルアミノオクタデカン-1,3-ジオール		オクタデカノイルアミノオクタデカンジオール	本品は、(2S,3R)-ジヒドロスフィンゴシン((2S,3R)-2-アミノオクタデカン-1,3-ジオール)とステアリン酸(オクタデカン酸)がアミド結合した化合物からなる。
423	42	520229	オクタメチルシクロトランシロキサソ		シクロトランシロキサソ	本品は、シロキサソ結合を骨格とした環状の重合体で、主としてオクタメチルシクロトランシロキサソ(C <sub>8</sub> H <sub>24</sub> O <sub>4</sub> :296.62)からなる。
424	42	520230	オクタメチルトランスロキサソ		トランスロキサソ	本品は、シロキサソ結合を骨格とした直鎖状の重合体で、主としてオクタメチルトランスロキサソ(C <sub>8</sub> H <sub>24</sub> O <sub>4</sub> :296.62)からなる。
425	99	999999	1,2-オクタジオール			本品は定量するとき、1,2-オクタジオール(C <sub>8</sub> H <sub>18</sub> O <sub>2</sub> :146.20)98.0%以上を含む。
426	41	003805	2-オクチルデカノール		オクチルデカノール	本品は、主として2分子のデシルアルコールの縮合物(C <sub>20</sub> H <sub>42</sub> O:298.55)からなる。
427	42	532282	オクチルトリメチルシリラン被覆酸化チタン	オクチルシリル化酸化チタン	オクチルトリメチルシリラン被覆酸化Ti、オクチルシリル化酸化Ti	本品は、「酸化チタン」をオクチルトリメチルシリランで被覆処理して得られたものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、酸化チタン(TiO <sub>2</sub> :79.88)として88.0%以上を含む。
428	42	506009	オクチルフェノキシジエトキシエチルスルホン酸ナトリウム液		オクチルフェノキシジエトキシエチルスルホン酸Na液、オクチルフェノキシジエトキシエチルスルホン酸ナトリウム	本品は、主としてオクチルフェノキシジエトキシエチルスルホン酸ナトリウム(C <sub>20</sub> H <sub>33</sub> NaO <sub>6</sub> :424.51)の水溶液である。本品は、定量するとき、表示量の90~110%に対応するオクチルフェノキシジエトキシエチルスルホン酸ナトリウムを含む。
429	42	532165	オクテニルコハク酸デキストリンエステルトエタノールアミン液		オクテニルコハク酸デキストリンTEA液	本品は、デキストリンと無水オクテニルコハク酸のエステルのトエタノールアミン塩の水溶液である。
430	42	509024	オクテニルコハク酸トウモロコシデンブエステルアルミニウム		オクテニルコハク酸トウモロコシデンブA↓オクテニルコハク酸コーンスターチA↓オクテニルコハク酸コーンデンブA↓	本品は、「トウモロコシデンブ」とオクテニルコハク酸のエステルのアルミニウム塩である。
431	42	532036	オクテニルコハク酸トウモロコシデンブエステルナトリウム		オクテニルコハク酸トウモロコシデンブNa、オクテニルコハク酸コーンスターチNa、オクテニルコハク酸コーンデンブNa	本品は、主としてトウモロコシデンブとオクテニルコハク酸のエステルの部分ナトリウム塩からなる。
432	42	523054	オクラエキス			本品は、オクラAbelmoschus esculentus Moench (Malvaceae)の果実(生)から、水で抽出して得られるエキスである。
433	42	501027	オゾケライト			本品は、天然に産する鉱物ろうで、主として炭化水素類の混合物からなる。
434	42	520236	オトギリソウエキス			本品は、セイヨウオトギリソウ Hypericum perforatum Linne´又はオトギリソウ Hypericum erectum Thunberg (Guttiferae)の地上部から、水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」、「ジエチレングリコール」又はこれらの混液により抽出して得られるエキスである。
435	42	520238	オドリコソウエキス			本品は、Lamium album Linne´ (Labiatae)の花、茎、葉から水、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液により抽出して得られるエキスである。
436	42	520241	オノニスエキス			本品は、オノニス Ononis spinosa Linne´ (Leguminosae)の根から1,3-ブチレングリコール溶液、若しくは1%尿素含有エタノール溶液、1%尿素含有1,3-ブチレングリコール溶液で抽出して得られたエキスである。
437	42	520243	オランダカラシエキス			本品は、オランダカラシ Nasturtium officinale R.Brown (Cruciferae)の葉茎又は全草から、水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又は、これらの混液で抽出して得られるエキスである。
438	99	999999	オリーブ葉エキス			本品はオリーブ Olea europaea Linne´ (Oleaceae)の葉を50vol%エタノール溶液にて抽出して得られた成分を50vol%1,3-ブチレングリコール溶液に溶かしたものである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
439	42	502022	オリブ油アルコール	オリブアルコール	オリブ油アルコール	本品は、オリブ油脂肪酸を還元して得たアルコールで、主としてオレイルアルコール (C 18H 36O 268.48)からなる。
440	42	523055	オリゴブドウ糖デカノール配糖体液	デシルポリグルコシド液		本品は、主としてオリゴブドウ糖デカノール配糖体の水溶液である。
441	41	004005	- オリザノール			本品は、イネ <i>Oryza sativa</i> Linne (Gramineae)の種皮から得られ、主としてトテルペンアルコールのフェルラ酸エステルからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、フェルラ酸シクロアルテニル (C 4H 5804: 602.90)として95.0%以上を含む。
442	41	001191	オリブ油			本品は、 <i>Olea europaea</i> Linne (Oleaceae)の果実を圧搾して得た脂肪油である。
443	41	500091	オルトフェニルフェノール		フェニルフェノール	本品は、定量するとき、オルトフェニルフェノール (C 12H 10O: 170.21)96.0~ 104.0%を含む。
444	42	520248	オルトフェニルフェノールナトリウム		オルトフェニルフェノールNa	本品は、定量するとき、換算した脱水物に対し、オルトフェニルフェノールナトリウム (C 12H 9NaO: 192.19)97.0%以上を含む。
445	41	104831	オレイルアルコール			本品は、主としてオレイルアルコール (C 18H 36O: 268.48)からなる。
446	42	503026	オレイルジメチルアミノオキシド液		オレイルジメチルアミノオキシド	本品は、定量するとき、オレイルジメチルアミノオキシド (C 20H 41NO: 311.55)として表示量の90~ 110%を含む。通常、水、エタノール、又はこれらの混液を含む。
447	42	532037	オレイルベタイン液	オレイルジメチルアミン酢酸液		本品は、主としてオレイルベタインからなり、通常、水を含む。本品は、定量するとき、オレイルベタイン (C 22H 43NO 2: 353.66)25.5~ 27.5%を含む。
448	42	504087	オレイル硫酸トリエタノールアミン		オレイル硫酸TEA	本品は、定量するとき、オレイル硫酸トリエタノールアミン (C 24H 51NO 7S: 497.74)として表示量の90~ 110%を含む。
449	42	504088	オレイル硫酸ナトリウム		オレイル硫酸Na	本品は、定量するとき、オレイル硫酸ナトリウム (C 18H 33O 5SNa: 384.51)として表示量の90~ 110%を含む。
450	41	002062	オレイン酸			本品は、主としてオレイン酸 (C 18H 34O 2: 282.47)からなる。
451	42	532268	オレイン酸アミドエトキシエタノールスルホコハク酸エステル二ナトリウム		オレイン酸アミドエトキシエタノールスルホコハク酸エステル2Na	本品は、主としてオレイン酸アミドエトキシエタノールスルホコハク酸エステル二ナトリウムからなる。
452	42	503028	オレイン酸インデシル			本品は、主としてオレイン酸とインデシルアルコールのエステル (C 28H 54O 2: 422.74)からなる。
453	42	102246	オレイン酸エチル			本品は、主としてオレイン酸とエタノールのエステル (C 20H 38O 2: 310.52)からなる。
454	41	500094	オレイン酸 2- オクチルデシル		オレイン酸オクチルデシル	本品は、主として「オレイン酸」と「2- オクチルデカノール」のエステル (C 38H 74O 2: 563.01)からなる。
455	42	104830	オレイン酸オレイル			本品は、主としてオレイン酸とオレイルアルコールのエステル (C 36H 68O 2: 532.93)からなる。
456	42	508027	オレイン酸カリウム		オレイン酸K	本品は、主としてオレイン酸のカリウム塩である。
457	42	509025	オレイン酸グリセリル (1)		オレイン酸グリセリル- 1	本品は、主として「オレイン酸」と「グリセリン」のモノエステルからなる。
458	42	509026	オレイン酸グリセリル (2)		オレイン酸グリセリル- 2	本品は、モノオレイン酸グリセリル、ジオレイン酸グリセリル及びプロピレングリコールの混合物である。
459	42	523056	オレイン酸コレステリル			本品は、主としてオレイン酸とコレステロールのエステル (C 49H 78O 2: 651.01)からなる。
460	42	504092	オレイン酸ジエタノールアミド			本品は、主としてオレイン酸と当量のジエタノールアミンを縮合して得られるアルキロールアミド (C 22H 43NO 3: 369.57)である。
461	42	520250	オレイン酸ジヒドロコレステリル			本品は、主として「オレイン酸」と「ジヒドロコレステロール」のエステル (C 45H 80O 2: 653.13)からなる。
462	41	101696	オレイン酸デシル			本品は、主として「オレイン酸」と「デシルアルコール」のエステル (C 28H 54O 2: 422.73)からなる。
463	42	509027	オレイン酸 (トエチレングリコール・プロピレングリコール)		オレイン酸 (トエチレングリコール・PG) オレイン酸 (トグリコール・PG)	本品は、オリブ油とトエチレングリコール及びプロピレングリコールとのエステル交換反応によって得られるものであり、本品は、主としてトエチレングリコールのオレイン酸モノエステル及びジエステル並びにプロピレングリコールのオレイン酸モノエステル及びジエステルからなる。
464	42	106709	オレイン酸ナトリウム		オレイン酸Na	本品は、主として「オレイン酸」のナトリウム塩からなる。
465	42	523057	オレイン酸フィステリル			本品は、主として「オレイン酸」と「フィステロール」のエステルからなる。
466	42	501032	オレイン酸プロピレングリコール	モノオレイン酸プロピレングリ	オレイン酸PG	本品は、主として、「オレイン酸」と「プロピレングリコール」のモノエステルからなる。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
				ール		
467	42	507022	オレイン酸ポリオキシエチレンソルビット(40E.O.)		オレイン酸 POE (40)ソルビット	本品は、主としてポリオキシエチレン・ソルビットのオレイン酸エステルであり、酸化エチレンの平均付加モル数は40である。
468	42	512036	オレイン酸・リノール酸・リノレン酸混合物			本品は、植物油より得られた液状の脂肪酸で、主としてオレイン酸、リノール酸、リノレン酸よりなる。
469	42	503030	オレオイル加水分解コラーゲン		オレオイル水解コラーゲン	本品は、コラーゲンたん白質を加水分解して得られるポリペプチドと「オレイン酸」との縮合物である。
470	42	503031	オレオイルザルコシン			本品は、主として「オレイン酸」とN-メチルグリシンを縮合したものである。
471	99	999999	N-オレオイルフィトスフィンゴシン		オレオイルフィトスフィンゴシン	本品は酵母 (Saccharomyces) の一種である Pichia 種の代謝産物を加熱する過することにより無菌処理して得たフィトスフィンゴシンをオレイン酸でアシル化し、主として N-オレイルフィトスフィンゴシン (C <sub>36</sub> H <sub>74</sub> NO <sub>4</sub> 分子量 582.0) からなる。構造式を別紙に示す。(略)
472	42	502028	オレオイルメチルタウリンナトリウム		オレオイルメチルタウリンNa	本品は、主としてオレオイルメチルタウリンナトリウムからなる。本品を定量するとき、オレオイルメチルタウリンナトリウム (C <sub>21</sub> H <sub>43</sub> NO <sub>4</sub> NaO <sub>4</sub> :425.60) として 90~110% 含む。
473	42	502029	-オレフィンオリゴマー			本品は、炭素数 4~12 の直鎖脂肪族 -オレフィンを重合した後、水素添加して得られる側鎖を有する炭化水素で、その重合度は 3~6 である。
474	42	104858	オレンジエキス			本品は、オレンジ Citrus aurantium Linne' var. dulcis Linne' (Rutaceae) の果実 (生) から「プロピレングリコール」で抽出して得られるエキスである。
475	42	520254	オレンジ果汁			本品は、オレンジ Citrus aurantium Linne' var. dulcis (Rutaceae) の果実 (生) から圧搾して得られる果汁である。
476	42	520255	オレンジフラワー水		オレンジ花水	本品は、オレンジ Citrus sinensis Osbeck (Rutaceae) の花から水蒸気蒸留によって得られる水層成分である。
477	01	002063	オレンジ油			本品は Citrus 属諸種植物 (Rutaceae) の食用に供する種類の果皮を圧搾して得た精油である。
478	42	520256	オレンジラフィー油			本品は、ヒウチダイ科の魚類 Hoplostetbus atlanticus (通称オレンジラフィー) から得た油で、総炭素数 34~42 の不飽和と高級アルコールと不飽和と高級脂肪酸とのろうエステルの混合物からなる。
479	42	110808	オロツ酸	オロチン酸		本品を乾燥したものは、定量するとき、オロツ酸 (C <sub>5</sub> H <sub>4</sub> N <sub>2</sub> O <sub>4</sub> H <sub>2</sub> O:174.11) 98.0% 以上を含む。
480	99	999999	温泉水 M			本品は、温泉水をろ過して製したものである。
481	41	101233	カーボンブラック			本品は、天然ガス又は液状炭化水素の不完全燃焼又は熱分解によって得られる炭素である。
482	99	999999	海水			本品は、富山県沖 2000~3000m の海域において、深度 300~350m で取水した海水で、定量するとき、塩化ナトリウム (NaCl:58.44) 29,000~33,000mg/L、硝酸性窒素 (N-Q-N) 0.20~0.38mg/L を含む。
483	42	512007	海水乾燥物			本品は、海水より得た無機塩の混合物である。本品は、主として塩化ナトリウム、塩化マグネシウム及び塩化カルシウムからなる。
484	42	532038	海水乾燥物 (2)		海水乾燥物-2	本品は、海水を濃縮して得られる無機物で、主として塩化ナトリウムを含み、他に塩化カルシウム、硫酸マグネシウム等を含む。
485	42	522022	海藻エキス (1)	褐藻エキス (2)	海藻エキス-1、褐藻エキス-2	本品は、褐藻類 (Phaeophyta) の全藻又はめかぶ (孢子葉又は成実葉をいう。) から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」、「グリセリン」又はこれらの混液により抽出して得られるエキスである。本品は、主としてアミノ酸を含む。
486	42	522023	海藻エキス (2)	褐藻エキス	海藻エキス-2	本品は、褐藻類 (Phaeophyta) の全藻から塩化ナトリウム溶液で抽出して得られるエキスである。本品は、主としてアルギン酸からなる。
487	42	522024	海藻エキス (3)		海藻エキス-3	本品は、褐藻類に属するコンブ属 (Laminaria) 及び紅藻類に属するイグス属 (Ceranium) の全藻から水にて抽出して得られるエキスである。本品は、主としてアルギン酸及びカラギーナンよりなる。
488	42	522025	海藻エキス (4)		海藻エキス-4	本品は、褐藻類 (Phaeophyta)、紅藻類 (Rhodophyta) 及び緑藻類 (Chlorophyta) の全藻から 1,3-ブチレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。



連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
489	42	532283	海藻エキス(5)	紅藻エキス	海藻エキス- 5	本品は、紅藻類 (Rhodophyta) の全藻から水又はジプロピレングリコール溶液で抽出して得られるエキスである。
490	99	999999	カインウ抽出液			本品は褐藻類 (Phaeophyta) に属するヒバマタ科 (Fucaceae) ヒバマタ属 (Fucus) の植物の 1, 3 - ブチレングリコール水溶液による抽出液である。
491	42	522026	海藻末 (1)	褐藻末	海藻末- 1	本品は、褐藻類 (Phaeophyta) の全藻の粉末である。
492	42	522027	海藻末 (2)	紅藻末	海藻末- 2	本品は、紅藻類 (Rhodophyta) の全藻の粉末である。
493	99	999999	ガイヨウエキス			本品はガイヨウ (艾葉) :ヨモギ Artemisia princeps Pampanini (Compositae) の茎を精製水にて抽出して得られた軟エキスである。
494	41	001193	カオリソ			本品は、天然に産する含水ケイ酸アルミニウムである。
495	41	001194	カカオ脂			本品は、カカオ Theobroma cacao Linne (Sterculiaceae) の種子から得た脂肪である。
496	42	505044	カキエキス			本品は、マガキ Ostrea gigas Thunberg (Ostreidae) の身から水にて抽出して得られるエキスである。
497	42	523058	カキタンニン		柿タンニン	本品は、カキノキ Diospyros kaki Thunberg (Ebenaceae) の果実より得られる柿渋液から得たタンニンである。
498	42	523063	カキ葉末		柿葉末	本品は、カキノキ Diospyros kaki Thunberg (Ebenaceae) の葉の粉末である。
499	42	523059	架橋型シリコーン末			本品は、ジビニルジメチルポリシロキサン、メチルシロキサン・ジメチルシロキサン・メチルヒドロジェンシロキサン・トリメチルシロキサン共重合体及び「メチルポリシロキサン」からなるシロキサン結合を骨格とした重合体である。
500	42	532039	架橋型シリコーン末 (2)		架橋型シリコーン末- 2	本品は、ジビニルジメチルポリシロキサン、メチルシロキサン・ジメチルシロキサン・メチルヒドロジェンシロキサン・トリメチルシロキサン共重合体からなるシロキサン結合を骨格とした重合体である。
501	42	532040	架橋型ゼラチン	硬化ゼラチン		本品は、「ゼラチン」をグルタルアルデヒドにより架橋したものである。
502	42	510013	架橋型ポリアクリル酸ナトリウム		架橋型ポリアクリル酸Na	本品は、アクリル酸及びアクリル酸ナトリウムを重合させて得られる部分架橋型の共重合体である。
503	42	532041	架橋型ポリアクリル酸ナトリウム (2)	アクリル酸重合体ナトリウム塩	架橋型ポリアクリル酸Na- 2、アクリル酸重合体Na塩	本品は、主としてアクリル酸ナトリウムをエチレングリコールジグリシジルエーテルで架橋させて得られる非水溶性の架橋型の共重合体である。
504	42	532042	架橋型メチルフェニルポリシロキサン (2)		架橋型メチルフェニルポリシロキサン- 2	本品は、メチルヒドロジェンポリシロキサンとビニルメチルフェニルポリシロキサンから得られた架橋型メチルフェニルポリシロキサンである。
505	42	523061	架橋型メチルポリシロキサン		架橋型ジメチン	本品は、メチルヒドロジェンポリシロキサンとメチルビニルポリシロキサンを付加重合して得たシロキサン結合を骨格として架橋した構造を有するメチルポリシロキサンである。
506	42	523062	架橋ポリスチレン	スチレン・ジビニルベンゼン共重合体	スチレン・DVB共重合体	本品は、スチレンをジビニルベンゼンで架橋したポリスチレンからなる。
507	42	523064	加水分解イカスミエキス		水解イカスミエキス	本品は、コウイカ目 Sepioidea 及びツツイカ目 Teuthoidea のスミから水で抽出して得られたエキスを酵素で加水分解したもので、「エタノール」及び「1, 3- ブチレングリコール」を含む。
508	42	523065	加水分解ウシ血清液	牛血清分解液	水解牛血清液	本品は、ウシ Bos taurus Linne' var. domesticus Gmelin (Bovidae) の血清を酸及び酵素で加水分解して得られたものをグリセリンで抽出したものである。本品は、定量するとき、窒素 (N : 14.01) 0.25~ 0.55% を含む。
509	42	523066	加水分解ウシ赤血球除たん白液		水解牛赤血球除たん白液	本品は、ウシ Bos taurus Linne' var. domesticus Gmelin (Bovidae) の赤血球を加水分解し、除たん白して得たものである。本品は、定量するとき、窒素 (N : 14.01) 0.35~ 0.65% を含む。
510	42	520270	加水分解エラスチン		水解エラスチン	本品は、ウシ Bos taurus Linne' var. domesticus Gmelin (Bovidae) の項韌帯を加水分解して得られるペプチドである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素 (N : 14.01) 12.5~ 17.0% を含む。
511	42	522028	加水分解エラスチン液		水解エラスチン液	本品は、ウシ Bos taurus Linne' var. domesticus Gmelin (Bovidae) の項韌帯を加水分解して得られるペプチドで、通常、水、「エタノール」又はこれらの混液を含む。本品を定量するとき、窒素 (N : 14.01) を表示量の 90.0~ 110.0% 含む。
512	42	522029	加水分解カゼイン		水解カゼイン	本品は、カゼインを加水分解して得られるポリペプチドである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素 (N : 14.01) として 11.0~ 14.0% を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
513	42	520275	加水分解カゼインナトリウム		水解カゼインNa	本品は、カゼインを加水分解して得られるペプチドのナトリウム塩である。本品は、定量するとき、有機性固形分に対し窒素(N:14.01)11.7~16.0%を含む。
514	42	532284	加水分解カロペプチド		水解カロペプチド	本品は、オットセイ Callorhinus ursinus (Otariidae)の骨格筋をたん白分解酵素で分解した後、「エタノール」で抽出し、更に濃縮した後、「ブドウ糖」を添加したものである。本品は、定量するとき、ペプチドとして90.0%以上を含む。
515	42	503033	加水分解ケラチン液		水解ケラチン液	本品は、ケラチンたん白質の加水分解物の水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)0.35~3.6%を含む。
516	42	523068	加水分解ケラチンエチル液		水解ケラチンエチル液	本品は、ケラチンを加水分解したもののエチルエステルの「エタノール」溶液である。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N:14.01)3.5~11.0%を含む。
517	42	522030	加水分解ケラチン末		水解ケラチン末	本品は、ケラチンたん白質の加水分解物の粉末である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)として7%以上を含む。
518	42	532043	加水分解酵母	加水分解酵母たん白	水解酵母、水解酵母たん白	本品は、酵母 Candida utilis を酸、アルカリ、酵素をそれぞれ単独あるいは組合せて加水分解して得られるもの又はその塩である。本品は、定量するとき、有機性固形分に対して、窒素(N:14.01)8.0~15.0%を含む。
519	42	532044	加水分解コムギたん白液		水解小麦たん白液	本品は、コムギたん白を酵素で加水分解して得られたものの水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)1.8~3.8%を含む。
520	42	523069	加水分解コムギ末		水解小麦末	本品は、コムギ Triticum aestivum Linne' (Gramineae)の種子を加水分解して得られる水溶性成分の乾燥粉末である。本品を定量するとき、窒素(N:14.01)8.0~18.0%を含む。
521	42	523070	加水分解コラーゲン・N-ミリスチルアラニン縮合物		水解コラーゲン・ミリスチルアラニン縮合物	本品は、主として、加水分解コラーゲンとN-ミリスチルアラニンとの縮合物からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)9.7~11.9%を含む。
522	42	522031	加水分解コラーゲン液		水解コラーゲン液	本品は、主としてウシ Bos taurus Linne' var.domesticus Gmelin (Bovidae)又は、ブタ Sus scrofa Linne' var.domesticus Gray (Suidae)の骨、皮を酸、アルカリ、酵素それぞれ単独あるいは組合せの存在下で加水分解して得られるコラーゲンたん白質加水分解物又はその塩の水溶液である。本品を乾燥したものは、定量するとき、有機性固形分に対し窒素(N:14.01)3.5~21.0%を含む。
523	42	532180	加水分解コラーゲン液(2)		水解コラーゲン液-2	本品は、ウシ Bos taurus Linne' var. Domesticus Gmelin (Bovidae)の皮膚を酵素加水分解したものに「濃グリセリン」を加えたものである。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)0.35~0.50%を含む。
524	51	523342	加水分解コラーゲン液(3)	たん白加水分解液	水解コラーゲン液-3	本品は、主として牛又は豚の骨、皮を酸、アルカリ、酵素をそれぞれ単独あるいは組み合わせて用いて加水分解して得られるコラーゲンたん白加水分解物又はその塩を「エタノール」、「精製水」又はこれらの混液に溶かしたものである。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)として3.5~8.0%を含む。
525	42	512008	加水分解コラーゲンエチル		水解コラーゲンエチル	本品は、主としてコラーゲンたん白質加水分解物のエチルエステルからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)として12.0~18.0%含む。
526	42	503035	加水分解コラーゲンエチル液	ポリペプチドエチルエステル	水解コラーゲンエチル液	本品は、コラーゲンを加水分解したもののエチルエステルの25%エタノール溶液である。本品を定量するとき、窒素(N:14.01)として2.3~4.0%を含む。
527	42	507023	加水分解コラーゲン・樹脂酸縮合物		水解コラーゲン・樹脂酸縮合物	本品は、コラーゲンを加水分解したものとアビエチン酸との縮合物のエタノール溶液である。本品を定量するとき窒素(N:14.01)として1.2%以上を含む。
528	42	509029	加水分解コラーゲン・樹脂酸縮合物・アミノメチルプロパンジオール液		水解コラーゲン・樹脂酸縮合物AMPD液	本品は、コラーゲンを加水分解したものと樹脂酸との縮合物の「2-アミノ-2-メチル-1,3-プロパンジオール」の塩のアルコールと水の混液(2:1)溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)として1.5~2.5%を含む。
529	42	503036	加水分解コラーゲンヘキサデシル液		水解コラーゲンヘキサデシル、加水分解コラーゲンヘキサデシル	本品は、コラーゲンを加水分解したものとヘキサデシルアルコールとのエステルのエタノール溶液である。本品は定量するとき、窒素(N:14.01)として1.5~2.3%を含む。
530	42	503034	加水分解コラーゲン末	加水分解コラーゲン塩酸塩、加水分解蛋白質、加水分解プロテイン、コラーゲン加水分解物、ポリペプチド	水解コラーゲン末、コラーゲン水解末	本品は、主として牛又は豚の骨、皮を酸、アルカリ、酵素それぞれ単独あるいは組合せの存在下で加水分解して得られるコラーゲンたん白質加水分解物又はその塩である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)として12.0~22.0%を含む。
531	42	507083	加水分解コンキオリン液		水解コンキオリン液、パールカルクエキス	本品は、真珠母貝(アコヤガイ)Pinctada fucataの真珠層に含まれる硬たん白質であるコンキオリンを加水分解したものの水溶液である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)として1.5~2.5%を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						4.01)として7.0~18.0%を含む。
532	42	520284	加水分解シルク液		水解シルク液	本品は、絹繊維を酸又はアルカリ存在下で加水分解して得られるペプチドからなり、通常、水又は希エタノールの溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)として0.015~2.5%を含む。
533	42	523071	加水分解シルクエチル液		水解シルクエチル液	本品は、加水分解シルク末をエチルエステルとしたものの「エタノール」溶液である。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N:14.01)7.0~16.0%を含む。
534	42	520286	加水分解シルク末		水解シルク末	本品は、絹繊維たん白質を加水分解して得られるものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)13.0~18.0%を含む。
535	51	523344	加水分解ゼラチン液		水解ゼラチン液	本品は、「ゼラチン」を加水分解して得られるポリペプチドの水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)として3.6~4.2%を含む。
536	42	520287	加水分解ゼラチン末		水解ゼラチン末	本品は、ゼラチンを加水分解して得たものである。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)12.0~18.0%を含む。
537	42	532226	加水分解トウモロコシたん白		水解コーンたん白	本品は、「トウモロコシ <i>Zea mays</i> Linne' (Gramineae)の種子のたん白を、酸、アルカリ、酵素、それぞれ単独あるいは組合せの存在下で、加水分解して得られるもの、又はその塩である。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N:14.01)8.8~15.0%を含む。
538	42	523072	加水分解トサカ液		水解トサカ液	本品は、ニワトリ <i>Gallus gallus domesticus</i> Brisson (Phasianidae)のトサカをたん白分解酵素で加水分解して得た液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)0.25~0.40%を含む。
539	42	532225	加水分解バレイショたん白		水解バレイショたん白、水解ジャガイモたん白	本品は、「バレイショ <i>Solanum tuberosum</i> Linne' (Solanaceae)の根茎のたん白を、酸、アルカリ、酵素、それぞれ単独あるいは組合せの存在下で、加水分解して得られるもの、又はその塩である。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N:14.01)8.0~15.0%を含む。
540	42	532045	加水分解ブタフィブロネクチン	ブタフィブロネクチン分解物	水解ブタフィブロネクチン	本品は、ブタ <i>Sus scrofa</i> Linne' var. <i>domesticus</i> Gray (Suidae)の血漿より得られたフィブロネクチンを酵素により加水分解したものである。分子量分布は、10000~440000である。
541	42	523073	加水分解卵殻膜		水解卵殻膜	本品は、ニワトリ <i>Gallus gallus domesticus</i> Brisson (Phasianidae)の卵殻膜をアルカリ又は酵素により加水分解して得たものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)7.0%以上を含む。
542	42	520289	加水分解卵白	卵白ペプチド	水解卵白	本品は、ニワトリ <i>Gallus gallus domesticus</i> Brisson (Phasianidae)の卵白を酵素で加水分解して得たものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)9.0~15.0%以上を含む。
543	41	101267	カゼイン			本品は、主として牛乳から得られるたん白である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)14.7~16.0%を含む。
544	42	106628	カゼインナトリウム		カゼインNa	本品は、「カゼイン」に「水酸化ナトリウム」を加えて得られる可溶性たん白質である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)として14.5~16.0%を含む。
545	42	103285	カッコンエキス			本品は、「クズ <i>Pueraria lobata</i> Ohwi (Leguminosae)の周皮を除いた根を「無水エタノール」で抽出して得られるエキスである。
546	42	520291	活性白土			本品は、「天然ケイ酸アルミニウムに硫酸を加えて加熱した後、水洗、乾燥したものである。
547	42	103338	カノコソウエキス			本品は、「カノコソウ <i>Valeriana fauriei</i> Briquet 又はその他の近縁植物 (Valerianaceae)の根及び根茎から水にて抽出したエキスである。
548	42	520297	カバノキ末			本品は、「ヨーロッパシラカバ <i>Betula pendula</i> Linne' (Betulaceae)の樹皮を除いた幹を粉碎したものである。
549	42	532285	(カプリル・カプリン酸)ヤシ油アルキル			本品は、主としてカプリル酸とカプリン酸の混合脂肪酸とヤシ油アルキル」とのエステルである。
550	42	532286	(カプリル酸・カプリン酸・ヤシ油脂肪酸)グリセリル			本品は、主として、カプリル酸、カプリン酸及びヤシ油脂肪酸からなる混合脂肪酸のモノ、ジ、及びトリグリセリドからなる。
551	42	504100	カプリル酸セチル			本品は、主としてカプリル酸と「セタノール」とのエステル(C <sub>23</sub> H <sub>46</sub> O <sub>2</sub> :349.84)からなる。
552	99	999999	N-カプリロイルアシルグリシン			本品は、主として「グリシン」をカプリル酸でアシル化したものからなり、本品を乾燥したもの

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						は、定量するとき、窒素(N:14.01)5.5~7.5%を含む。
553	42	511014	カプリン酸			本品は、主としてカプリン酸(C <sub>10</sub> H <sub>20</sub> O <sub>2</sub> :172.27)からなる。
554	42	508030	カプリン酸ジエタノールアミド			本品は、主として「カプリン酸」と当量の「ジエタノールアミン」からなる酸アミド(C <sub>14</sub> H <sub>29</sub> N <sub>3</sub> :259.39)である。
555	42	520301	ガマエキス			本品は、ヒメガマ <i>Typha angustifolia</i> Linne. 又はその他同属植物 (Typhaceae) の花穂から水、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られたエキスである。
556	99	999999	紙			本品はパルプ及びポリエステルを主原料とし、湿式抄紙法にて抄紙され、物理的にしわづけ加工された紙を2枚にあわせ、表面をメッシュ状のエンボス加工して出来たシートである。
557	99	999999	カミソレエキス			本品はカミソレ: <i>Matricaria chamomilla</i> L. (Compositae) の花: の流エキスにデキストリンを加えて乾燥し粉末化したものである。
558	99	999999	カミソレエキス散			本品はカミソレ: <i>Matricaria chamomilla</i> の花: を30w/v%エタノールで抽出し、得られたエキスを芒硝末(乾燥硫酸ナトリウム)にて倍散したものである。
559	99	999999	カミソレエキス散			本品は別添規格((2)-1)カミソレ ( <i>Matricaria Chamomilla</i> Linne) (Compositae) の頭花の水抽出液にデキストリンを添加して、乾燥粉末としたもので、カミソレエキス60.0~73.3%を含む。
560	99	999999	カミソレ抽出液			本品は、カミソレ <i>Matricaria chamomilla</i> Linne (Compositae) の花の30w/v%エタノール溶液による抽出液である。
561	99	999999	カミソレ抽出液		カミソレエキス	本品はカミソレ <i>Matricaria Chamomilla</i> L. (Compositae) の花を30w/v%エタノールにて抽出したものである。
562	99	999999	カミソレ抽出液 LP			本品はカミソレ <i>Matricaria chamomilla</i> L. (Compositae) の花: の30w/v%エタノール抽出物を流動パラフィンにて溶かしたものである。
563	42	103309	カミソレ末			本品は、カミソレ <i>Matricaria chamomilla</i> L. (Compositae) の頭花を乾燥し粉末にしたものである。
564	42	103310	カミソレ油			本品は、カミソレ <i>Matricaria chamomilla</i> L. (Compositae) の花及び茎を水蒸気蒸留して得られる精油である。
565	42	532046	カミソレ油 (2)		カミソレ油-2	本品は、カミソレ <i>Matricaria chamomilla</i> Linne (Compositae) の花を水蒸気蒸留して得られる精油を更に分子蒸留して得られるものである。
566	42	520304	カモミラエキス (1)		カモミラエキス-1	本品は、カミソレ <i>Matricaria chamomilla</i> Linne (Compositae) の花から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液、若しくは1%尿素含有エタノール溶液又は1%尿素含有1,3-ブチレングリコール溶液により抽出して得られるエキスである。
567	42	503038	カモミラエキス (2)		カモミラエキス-2	本品は、カミソレ <i>Matricaria chamomilla</i> L. (Compositae) の花よりメタノール溶液にて抽出した後、メタノールを減圧蒸留して除去しプロピレングリコール溶液に溶解して得られるエキスである。
568	99	999999	カモミラエキス末			本品は、粧配規カモミラエキス(1)を減圧濃縮したものに粧原規白糖を加え、粉末にしたものである。
569	42	510016	カモミラ水			本品は、カミソレ <i>Matricaria chamomilla</i> L. (Compositae) の花を、水蒸気蒸留によって得られた水層である。
570	41	109190	カラギーナン			本品は、紅藻類 (Rhodophyceae) から抽出し、精製した炭水化物で、主としてガラクトース及びその硫酸エステルのナトリウム塩、カルシウム塩からなる。
571	42	523074	ガラス末			本品は、ガラス組成成分を融解し、冷後、微細粉末としたものである。本品は、主として二酸化ケイ素 (SiO <sub>2</sub> :60.08) からなる。
572	42	520306	カラスムギエキス			本品は、カラスムギ <i>Avena sativa</i> Linne (Gramineae) の種子から1,3-ブチレングリコール溶液で抽出して得られるエキスである。
573	41	002085	カラミン			本品は、少量の酸化第二鉄を含む酸化亜鉛である。本品を強熱したものは、定量するとき、酸化亜鉛 (ZnO:81.38) 98.0%以上を含む。
574	42	101214	カラメル			本品は、ブドウ糖、白糖、転化糖、水アメ、デンプン加水分解物、糖みつ又はその他の糖類などの炭水化物を熱処理するか、あるいは少量の酸、アルカリ等を加え熱処理して得られる。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						物質である。
575	42	504102	カラヤガム			本品は、Sterculia urens の木の樹脂より採取したガム質である。
576	42	507027	カリウム含有石けん用素地		K含有石けん用素地、K含有石けん素地	本品は、主として脂肪酸のナトリウム塩及びカリウム塩からなる。
577	42	532287	カリウム石けん用素地		K石けん用素地、K石けん素地	本品は、主として脂肪酸のカリウム塩からなる。
578	42	532288	カリウム石けん用素地(2)		K石けん用素地-2、K石けん素地-2	本品は、主として「ヤシ油」のけん化物と「ミリスチン酸」の混合物のカリウム塩である。
579	42	532246	カリンエキス			本品は、カリン Chaenomeles sinensis Koehne (Rosaceae) の果実からエタノール溶液にて抽出して得られたエキスである。
580	42	507028	軽石粉末			本品は、天然に産する軽石を精製して粉末にしたものであり、主としてケイ酸アルミニウム、ケイ酸マグネシウム、ケイ酸ナトリウム及びケイ酸カルシウムよりなる。
581	41	002087	カルナウバロウ			本品は、カルナウバヤシ Copernicia cerifera Mart (Palmae) の葉及び葉柄から得たロウを精製したものである。
582	42	503039	カルベノキソロン二ナトリウム	3-サクシニルオキシグリチルレチン酸二ナトリウム	カルベノキソロン2Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、カルベノキソロン二ナトリウム(C <sub>34</sub> H <sub>48</sub> Na <sub>2</sub> O <sub>7</sub> :614.73)95%以上を含む。
583	41	101243	カルボキシビニルポリマー			本品は、酸性高分子化合物で、主としてアクリル酸の重合したものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、カルボキシル基(COOH:45.02)57.7~63.4%を含む。
584	42	508032	カルボキシビニルポリマーカルシウム・カリウム塩		カルボキシビニルポリマーCa・K塩	本品は、「カルボキシビニルポリマー」のカルシウム及びカリウムの塩で、水を含むゲル状物質である。
585	42	511015	カルボキシメチルキチン液			本品は、カニ目(Brachyura)の甲殻を形成する多糖体キチンをカルボキシメチル化したものの水溶液である。
586	41	001202	カルボキシメチルセルロースナトリウム		カルボキシメチルセルロースNa CM C Na	本品は、セルロースの多価カルボキシメチルエーテルのナトリウム塩である。
587	42	511016	カルボキシメチルデキストランナトリウム		カルボキシメチルデキストランNa	本品は、デキストランの多価カルボキシメチルエーテルのナトリウム塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、ナトリウム(Na:22.99)6.5~9.5%を含む。
588	42	101254	カルミン			本品は、エンジムシ Coccus cacti Linne (Coccidae) の雌体から得たカルミン酸を主とする赤色素のアルミニウム又はアルミニウム・カルシウムのレーキである。
589	42	520314	カルミン・コンジョウ被覆雲母チタン		カルミン 紺青被覆雲母 Ti	本品は、雲母チタンを「カルミン」と「コンジョウ」で被覆したものである。
590	42	520316	カルミン被覆雲母チタン		カルミン被覆雲母 Ti	本品は、雲母チタンの表面を「カルミン」で被覆したものである。
591	41	100836	-カロチン			本品を乾燥したものは、定量するとき、-カロチン(C <sub>40</sub> H <sub>56</sub> :536.88)98.0%以上を含む。
592	42	523075	カロチン植物油懸濁液			本品は、「パーム油」より分離したカロチンを植物油に懸濁したものである。本品は、定量するとき、カロチンを30~34%含む。
593	42	520317	カロット液汁			本品は、ニンジン Daucus carota Linne (Umbelliferae) の根(生)を搾り出して得られる液汁である。
594	42	520318	カロットエキス			本品は、ニンジン Daucus carota Linne (Umbelliferae) の根(生)からプロピレングリコール溶液で抽出して得られるエキスである。
595	42	520320	カワラヨモギエキス			本品は、カワラヨモギ Artemisia capillaris Thunb. (Compositae) の頭花から、水、エタノール溶液又は1,3-ブチレングリコール溶液で抽出して得られたエキスである。
596	42	507030	還元ハチミツ液		水添ハチミツ液	本品は、「ハチミツ」を水素添加して得たものの約36%エタノール溶液である。
597	41	109974	還元ラリン		水添ラリン	本品は、ラリンを直接水素添加して得られたものである。
598	42	509030	環状シリコン樹脂			本品は、主としてデカメチルシクロペンタシロキサン及びオクタメチルシクロテトラシロキサンの混合物に微粉状の二酸化ケイ素を配合したものである。
599	42	109975	含水ケイ酸			本品を強熱したものは、定量するとき、二酸化ケイ素(SiO <sub>2</sub> :60.08)96%以上を含む。
600	42	507031	含水無晶形酸化ケイ素			本品を強熱したものは、定量するとき、二酸化ケイ素(SiO <sub>2</sub> :60.08)90.0~36.8%を含む。
601	41	500112	カンゾウエキス		甘草エキス	本品は、カンゾウ Glycyrrhiza glabra Linne var. Glandulifera Regel et Herder, Glycyrrhiza uralensis Fisher (Leguminosae) 又はその他同属植物の根及び根茎から浸出、濃縮して得たエキスである。
602	51	523348	乾燥カルボキシメチルセルロースナトリウム		乾燥カルボキシメチルセルロースNa	本品は、食添カルボキシメチルセルロースナトリウムを約105で4~8時間乾燥したもので

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						ある。
603	42	504106	乾燥クロレラ			本品は、球状単細胞緑藻であるクロレラ <i>Chlorella vulgaris</i> Chick (Chlorellaceae) を凍結乾燥したものである。
604	41	500108	感光素 101号		感光素 101	本品を乾燥したものは、定量するとき、感光素 101号 (C 38H 6112N 3S 3:909.91) 97.0% 以上を含む。
605	41	110452	感光素 201号		感光素 201	本品を乾燥したものは、定量するとき、感光素 201号 (C 23H 39N 2S 2:534.60) 97.0% 以上を含む。
606	41	500110	感光素 301号		感光素 301	本品を乾燥したものは、定量するとき、感光素 301号 (C 15H 17BrIN 3:446.13) 97.0% 以上を含む。
607	41	500111	感光素 401号		感光素 401	本品を乾燥したものは、定量するとき、感光素 401号 (C 13H 15N 2O:342.18) 97.0% 以上を含む。
608	01	002253	乾燥炭酸ナトリウム		乾燥炭酸 Na	本品を乾燥したものは定量するとき、炭酸ナトリウム (Na <sub>2</sub> CO <sub>3</sub> ) 99.0% 以上を含む。
609	42	532047	カンゾウ抽出液		甘草抽出液	本品は、カンゾウ <i>Glycyrrhiza uralensis</i> Fisher, <i>Glycyrrhiza glabra</i> Linne 又はその他同属植物 (Leguminosae) の根を水及びエタノールの混液で抽出したものであり、主としてフラボノイドを含む。
610	42	520321	カンゾウ抽出末		甘草抽出末	本品は、カンゾウ <i>Glycyrrhiza glabra</i> Linne 又は <i>Glycyrrhiza uralensis</i> Fisher (Leguminosae) の根及び根茎から水で抽出して得られるエキスである。本品を乾燥したものは、定量するとき、グリチルリチン酸 (C <sub>42</sub> H <sub>62</sub> O <sub>16</sub> :822.94) として 12.0~50.0% を含む。
611	51	523349	乾燥トウモロコシデンプン		乾燥コーンデンプン、乾燥コーンスターチ	本品は、日局トウモロコシデンプンを約 105 で 4~8時間乾燥したものである。
612	42	523076	カンゾウフラボノイド	油溶性甘草エキス	甘草フラボノイド	本品は、カンゾウ <i>Glycyrrhiza glabra</i> Linne 及び <i>Glycyrrhiza uralensis</i> Fisher 又はその他同属植物 (Leguminosae) の根及び根茎から無水エタノールにて抽出後、濃縮し、更に酢酸エチルにて抽出後、減圧乾燥して得られるエキスである。
613	41	001678	乾燥硫酸アルミニウムカリウム	焼ミョウバン	乾燥硫酸 A 1-K	本品を乾燥したものは、定量するとき、硫酸アルミニウムカリウム (AlK(SO <sub>4</sub> ) <sub>2</sub> :258.21) 96.5% 以上を含む。
614	42	001694	硫酸ナトリウム (乾燥)	乾燥硫酸ナトリウム	乾燥硫酸 Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、硫酸ナトリウム (Na <sub>2</sub> SO <sub>4</sub> :142.04) 99.0% 以上を含む。
615	51	001694	乾燥硫酸ナトリウム		乾燥硫酸 Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、硫酸ナトリウム (Na <sub>2</sub> SO <sub>4</sub> :142.04) 99.0% 以上を含む。
616	41	002092	カンタリスチンキ		マメハンミョウエキス	本品は、マメハンミョウ <i>Epicauta gorhami</i> Marseul (Meloidae) を乾燥したものをエタノールで浸出して製したチンキ剤で、本品 1000mL は、マメハンミョウを乾燥し、粗末にしたもの 100g に「エタノール」約 600mL を加え、時々かき混ぜながら可溶性成分がじゅづぶんに溶けるまで放置して布ごしし、残留物を「エタノール」少量で洗い、圧搾し、浸出液及び洗液を合わせ、2日間放置した後、ろ過し、更に「エタノール」を加えて全量を 1000mL として製する。
617	42	002095	カンテン末			本品は、テングサ (マクサ) <i>Gelidium amansii</i> Lamouroux, その他同属植物 (Gelidiaceae) 又は諸種紅藻類 (Rhodophyta) から得た粘液を凍結脱水したものを粉末としたものである。
618	41	001207	含糖ペプシン			本品は、ブタ <i>Sus scrofa</i> Linne var. <i>domestica</i> Gray (Suidae) 又はウシ <i>Bos taurus</i> Linne var. <i>domestica</i> Gmelin (Bovidae) の胃粘膜から得たペプシンに乳糖を混和したものである。
619	41	001208	d-カンフル			本品は、クスノキ <i>Cinnamomum camphora</i> Linne (Lauraceae) より得られるテルペンケトンである。本品は、定量するとき、d-カンフル (C <sub>10</sub> H <sub>16</sub> O:152.24) 95.0% 以上を含む。
620	41	001209	d1-カンフル			本品は、定量するとき、d1-カンフル (C <sub>10</sub> H <sub>16</sub> O:152.24) 95.0% 以上を含む。
621	42	523077	含硫ケイ酸アルミニウム		含硫ケイ酸 A 1	本品は、主としてイオウを含んだ含水ケイ酸アルミニウムからなる。
622	42	505049	キイチゴエキス			本品は、キイチゴ <i>Rubus idaeus</i> L. の果実から「1,3-ブチレングリコール」にて抽出し、ろ過して得られるエキスである。
623	42	520327	キイチゴ果汁			本品は、キイチゴ <i>Rubus idaeus</i> Linne (Rosaceae) の果実 (生) を圧搾して得られる果汁である。
624	42	520328	キウイエキス			本品は、キウイ <i>Actinidia chinensis</i> Planch (Actinidiaceae) の果実 (生) から水で抽出して得られるエキスである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
625	42	109058	キサンタンガム			本品は、炭水化物をキサントモナス属菌 ( <i>Xanthomonas campestris</i> ) を用いて発酵させて得られた多糖類である。本品は、主として D - グルコース、D - マンノース及び D - グルクロン酸のナトリウム、カリウム及びカルシウム塩からなる。
626	41	110856	キシリット		キシリトール	本品を乾燥したものは、定量するとき、キシリット(C 5H 12O5: 152.15) 98.0%以上を含む。
627	42	520330	キシロピオース混合物			本品は、主としてキシロースが 1, 4結合で 2個重合した 2糖類であるキシロピオースからなる。
628	42	520333	キチン末			本品は、ズワイガニ <i>Chionectes opilio</i> O.Fabricus 又はベニズワイガニ <i>Chionectes japonicus</i> Rathbun (Majidae) の甲殻から得られたキチンの粉末である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素 (N : 14.01) として 6.5~ 8.5%を含む。
629	42	523078	キトサン			本品は、カニ類 <i>Brachyura</i> 又はエビ類 <i>Macrura</i> の甲殻に含まれるキチンを脱アセチル化することにより得られるアミノ酸多糖体である。
630	42	523079	キトサン・dI- ピロリドンカルボン酸塩	ピロリドンカルボン酸キトニウム	キトサン・dI- PCA塩、PCAキトニウム	本品は、キトサンと dI - ピロリドンカルボン酸との塩である。通常、「イソプロパノール」を含む。本品を乾燥したものは定量するとき、窒素 (14.01) 6.5~ 8.5%を含む。
631	42	520334	キナエキス			本品は、キナノキ <i>Cinchona succirubra</i> Pavon et Klotzsch 又はその他同属植物 (Rubiaceae) の樹皮から、水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3- ブチレングリコール」又はこれらの混液で抽出して得られるエキスである。
632	42	523080	揮発性インパラフィン			本品は、イソプテンと n - プテンを共重合した後、水素添加して得られる側鎖を有する炭化水素の混合物で、その重合度は、2~ 5である。
633	41	500120	キャンデリラロウ			本品は、 <i>Euphorbia cerifera</i> Alcocer, <i>Euphorbia antisiphilitica</i> Zuccarini, <i>Pedilanthus pavonis</i> Boissier (Euphorbiaceae) 等の茎から得たロウを精製したものである。
634	42	523081	キューカンバーエキス (1)		キュウリエキス- 1、胡瓜エキス- 1、キューカンバーエキス- 1	本品は、キュウリ <i>Cucumis sativus</i> Linne' (Cucurbitaceae) の果実 (生) から、水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3- ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
635	42	523082	キューカンバーエキス (2)		キュウリエキス- 2、胡瓜エキス- 2、キューカンバーエキス- 2	本品は、キュウリ <i>Cucumis sativus</i> Linne' (Cucurbitaceae) の果実 (生) から水にて抽出して得られるエキスである。
636	42	520336	キューカンバー液汁		キュウリ液汁、胡瓜液汁	本品は、キュウリ <i>Cucumis sativus</i> Linne' (Cucurbitaceae) の果実 (生) を圧搾して得た液汁である。
637	42	520338	キューカンバー油		キュウリ油、胡瓜油	本品は、キュウリ <i>Cucumis sativus</i> Linne' (Cucurbitaceae) の種子から得た脂肪油である。
638	42	002107	牛脂			本品は、ウシ <i>Bos taurus</i> Linne' var. <i>domesticus</i> Gmelin (Bovidae) から得た脂肪である。
639	42	520339	牛脂脂肪酸			本品は、ウシ <i>Bos taurus</i> Linne' var. <i>domesticus</i> Gmelin (Bovidae) の脂肪から得られる脂肪酸である。
640	42	507033	牛脂脂肪酸モノエタノールアミド		牛脂脂肪酸エタノールアミド	本品は、牛脂脂肪酸と当量のモノエタノールアミンとを縮合して得られるアルキロールアミドである。
641	42	110457	吸着精製ラリン			本品は、活性白土を用いて「ラリン」より極性不純物を除去して得られる非極性のラリンワックスである。
642	42	520347	牛乳			本品は、ウシ <i>Bos taurus</i> Linne' var. <i>domesticus</i> Gmelin (Bovidae) の乳汁を加熱殺菌処理したものである。
643	42	511019	牛乳糖たん白			本品は、牛乳より得られたカゼインKをレンニンで加水分解して得られる糖たん白を精製して得られるものである。本品を定量するとき、窒素 (N : 14.01) として 3.0~ 6.0%を含む。
644	41	500121	強アンモニア水			本品は、定量するとき、アンモニア (NH 3: 17.03) 28.0~ 30.0%を含む。
645	42	520348	キョウニンエキス			本品は、ホンアンズ <i>Prunus armeniaca</i> Linne', アンズ <i>Prunus armeniaca</i> Linne' var. <i>ansu</i> Maximowicz 又はその近縁植物 (Rosaceae) の種子から 30%エタノール溶液にて抽出して得られるエキスである。
646	42	100610	キョウニン油			本品は、ホンアンズ <i>Prunus armeniaca</i> Linne', アンズ <i>Prunus armeniaca</i> Linne' var. <i>ansu</i> Maximowicz 又はその近縁植物 (Rosaceae) の種子から得られる脂肪油である。
647	42	507034	魚鱗箔 (1)		魚鱗箔 - 1	本品は、グアニンを主成分とする天然の魚鱗箔を「Dソルビトール、及び 酢酸ブチル」、「イソプロパノール」、酢酸アミレ、酢酸エチル、酢酸イソアミレ、乳酸ブチルあるいはこれらの混液に分散させたものである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
648	42	507035	魚鱗箔 (2)		魚鱗箔- 2	本品は、グアニンを主成分とする天然の魚鱗箔を「イソプロパノール」、 $\gamma$ -ブチロラクトン、水、又はそれらの混液に分散したものと及び (又は) 「メチルセルロース」、更に酢酸ポリオキシエチレンポリソルビタン (10E .O .), 「モノステアリン酸ポリオキシエチレンソルビタン (20E .O .)」又は「モノオレイン酸ポリオキシエチレンソルビタン (6E .O .), (20E .O .)」を含む。
649	99	999999	キラヤエキス			本品はキラヤ <i>Quillaja saponaria</i> Molina (Rosaceae) の樹皮の水抽出物を精製し、濃縮した後、30% 1, 3- ブチレングリコール溶液に溶解したものである。
650	99	999999	桐葉エキス			本品は別添規格 (1) 桐葉を熱水にて抽出して得られた成分を蒸発残留物が 2. 5% になるように 50v/v% エタノールに溶かしたものである。本品を定量するとき、100m 中にクエルシトリンを 14~ 26mg を含む。
651	42	520350	金雲母			本品は、天然に産する含水ケイ酸マグネシウムカリウムである。
652	99	999999	キンギンカエキス			本品は、スイカズラ <i>Lonicera japonica</i> thunberg (Caprifoliaceae) の花 (キンギンカ) を 50 vol% エタノール溶液にて抽出して得られた成分を乾燥し、粉末としたものである。
653	42	103521	金コロイド液			本品は、塩化金水溶液を還元して得られるもので、「エタノール」を含む場合がある。本品を定量するとき、金 (Au : 196 97) を表示量の 98 0~ 105 0% を含む。
654	42	523083	金・シルク末混合物			本品は、金とシルク末を混合処理したものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素 (N : 14 01) 13 0~ 20 0% 及び金 (Au : 196 97) 0. 3~ 3 0% を含む。
655	42	103518	金箔			本品は、定量するとき、金 (Au : 196 97) 94 4% 以上を含む。
656	42	520357	グァーガム			本品は、グァー <i>Cyamopsis tetragonolobus</i> (Leguminosae) の種子の胚乳から得られる多糖類である。
657	41	108770	グアイアズレン			本品は、 <i>Guaiacum officinale</i> Linne 又は、 <i>Guaiacum sanctum</i> Linne (Zygophyllaceae) の精油から得たグアイオールを脱水素して製したものである。
658	41	500591	グアイアズレンスルホン酸エチル			本品は、定量するとき、グアイアズレンスルホン酸エチル (C 17H 22O 3S : 306. 43) 99. 0~ 102. 0% を含む。
659	42	110183	グアイアズレンスルホン酸ナトリウム		グアイアズレンスルホン酸Na グアイアズレンスルホン酸塩	本品は、主としてグアイアズレン- 3- スルホン酸ナトリウムからなる。
660	42	504116	グアニン			本品は、主として 2- アミノ- 6- ヒドロキシプリンからなる。
661	42	523084	グァノシン懸濁液			本品は、グァノシン (C 10H 13N 5O 5 : 283. 26) を 0. 1% カルボキシビニルポリマー溶液に分散させたものである。本品は定量するとき、窒素 (N : 14 01) として、7. 0~ 12 0% を含む。
662	42	520355	クインスシード			本品は、マルメロ <i>Cydonia vulgaris</i> Pers (Rosaceae) の種子である。
663	42	520356	クインスシードエキス			本品は、マルメロ <i>Cydonia vulgaris</i> Pers (Rosaceae) の種子から水にて抽出して得られるエキスである。
664	41	001215	クエン酸			本品は、定量するとき、クエン酸 (C 6H 8O 7H 2O : 210. 40) 99. 5% 以上を含む。
665	42	502039	クエン酸アセチルトリブチル		アセチルクエン酸トリブチル	本品は、アセチル化したクエン酸とブタノールとのトリエステルである。
666	31	121513	クエン酸三カリウム		クエン酸 3K	本品を乾燥物換算したものは、クエン酸三カリウム (C 6H 5K 3O 7= 306. 40) 99. 0~ 101. 0% を含む。
667	42	532049	クエン酸トリ- エチルヘキシル	クエン酸トトリブチル	クエン酸トトリブチル	本品は、主としてクエン酸と 2- エチルヘキシルアルコールのトリエステル (C 30H 56O 7 : 528. 77) からなる。
668	42	532050	クエン酸トリ- オクチルデシル		クエン酸トトリブチル	本品は、クエン酸と 2- オクチルデカノールのトリエステル (C 66H 128O 7 : 1033. 73) からなる。
669	42	532251	クエン酸トリアルキル (12, 13)			本品は、主としてクエン酸と炭素数 12 及び 13 の分岐アルキル基を有するアルコールのトリエステルである。
670	42	532256	クエン酸トリアルキル (14, 15)			本品は主としてクエン酸と炭素数 14 及び 15 のアルキル基を有するアルコールのトリエステルである。
671	42	532048	クエン酸トインセチル			本品は、主としてクエン酸とインセチルアルコールのトリエステル (C 54H 104O 7 : 865. 42) からなる。
672	42	108905	クエン酸トトリブチル			本品は、クエン酸とエタノールのトリエステルであり、定量するとき、クエン酸トトリブチル (C 12H 20O 7 : 276. 29) 38 0~ 102 0 % を含む。



連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
673	41	001219	クエン酸ナトリウム		クエン酸Na	本品は、「クエン酸」のナトリウム塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、クエン酸ナトリウム(C <sub>6</sub> H <sub>5</sub> Na 307:258.07)99.0%以上を含む。
674	01	001219	クエン酸ナトリウム		クエン酸Na	本品を乾燥したものは定量するとき、クエン酸ナトリウム(C <sub>6</sub> H <sub>5</sub> Na 307:258.07)99.0%以上を含む。
675	42	520363	クワイナツツ油			本品は、クワイノキ Aleurites moluccana Willd. (Euphorbiaceae)の種子から得た脂肪油である。
676	99	999999	クジン抽出液		クジンエキス	本品は、日局クジン:クアラ Sophora flavescens Aiton (Leguminosae)の根から得られた成分を粧原基 1,3-ブチレングリコールに溶かしたもので総アルカロイド(オキシマドリン C <sub>15</sub> H <sub>24</sub> O <sub>2</sub> N <sub>2</sub> :264.37)として0.1~0.5w/v%を含む。
677	42	511021	クチナシ青液		クチナシ青	本品は、クチナシ Gardenia jasminoides Ellis (Rubiaceae)の果実をエタノール溶液で抽出し、β-グルコシダーゼを作用させて得られる溶液である。
678	42	520365	クチナシエキス			本品は、クチナシ Gardenia jasminoides Ellis (Rubiaceae)の果実を、水、「エタノール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
679	42	508037	クチナシ黄			本品は、クチナシ Gardenia jasminoides Ellis (Rubiaceae)の果実から得られる黄色色素である。
680	42	509037	クチナシ色素処理シルクパウダー		クチナシ色素処理シルク末	本品は、クチナシ Gardenia jasminoides Ellis (Rubiaceae)の種子2kgを水80Lに一昼夜浸漬した後、1時間煮沸し、次いで、ろ過する。得られた溶液にシルクパウダー1kgを加えて煮沸した後、食添DL-リンゴ酸でpH4に調整してろ過し、得られた残留物を乾燥したものである。
681	42	520366	クマザサエキス			本品は、クマザサ Sasa veitchii (Carr.) Rehd. (Gramineae)の葉からエタノール溶液にて抽出して得られるエキスである。
682	41	500125	クマリン			本品は、主としてクマリン(C <sub>9</sub> H <sub>6</sub> O <sub>2</sub> :146.15)からなる。
683	42	532051	クミンエキス			本品は、クミン Cuminum cyminum Linne (Umbelliferae)の種子から、水にて抽出して得られるエキスである。
684	42	522032	クアラエキス(1)		クアラエキス-1	本品は、クアラ Sophora flavescens Aiton (Leguminosae)の根をそのまま又は周皮の大部分を除いたものから、水、「エタノール」、「無水エタノール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
685	42	522033	クアラエキス(2)		クアラエキス-2	本品は、クアラ Sophora flavescens Aiton (Leguminosae)の根をそのまま又は周皮の大部分を除いたものから、「酢酸エチル」にて抽出した後、「酢酸エチル」を留去して得られるエキスである。
686	42	504117	グリコール酸			本品は、定量するとき、グリコール酸(C <sub>2</sub> H <sub>4</sub> O <sub>3</sub> :76.05)98.0%以上を含む。
687	99	999999	グリコシルトレハロース・水添デンプン分解物混合溶液			本品は主としてマルトシルトレハロース、マルトトレイトール及びマルトトレイトールからなる水溶液である。本品は定量するとき、換算した乾燥物に対しマルトシルトレハロース(C <sub>24</sub> H <sub>42</sub> O <sub>21</sub> :666.58)50.0~56.0%を含む。
688	99	999999	クリサンテルムインディウム抽出液			本品は Chrysanthellum indicum DC subsp. afroamericanum BL Turner, Compositae の茎、葉、花及び瘦果から、水、「エタノール」、「無水エタノール」又はこれらの混液で抽出して得られたエキスを乾燥し、1,3-ブチレングリコールと水の混液に溶解し2%溶液としたものである。
689	42	502041	グリシリングリシン			本品を乾燥したものは、定量するとき、グリシリングリシン(C <sub>4</sub> H <sub>8</sub> N <sub>2</sub> O <sub>3</sub> :132.12)98.5%以上を含む。
690	41	102546	グリシン			本品を乾燥したものは、定量するとき、グリシン(C <sub>2</sub> H <sub>5</sub> N <sub>2</sub> O <sub>2</sub> :75.07)98.0%以上を含む。
691	42	523086	グリセリル - モノアリルエーテル		グリセリル - アリルエーテル	本品は、主としてグリセリル - モノアリルエーテル(C <sub>6</sub> H <sub>12</sub> O <sub>3</sub> :132.16)からなる。
692	41	001223	グリセリン			本品は、グリセリン(C <sub>3</sub> H <sub>8</sub> O <sub>3</sub> :92.09)84~87%を含む(比重による)。
693	31	004409	グリセリン脂肪酸エステル			本品は、脂肪酸とグリセリン又はポリグリセリンのエステル及びその誘導体である。本品には、グリセリン脂肪酸エステル、グリセリン酢酸脂肪酸エステル、グリセリン乳酸脂肪酸エステル、グリセリンクエン酸脂肪酸エステル、グリセリンコハク酸脂肪酸エステル、グリセリンジアセチル酒石酸脂肪酸エステル、グリセリン酢酸エステル、ポリグリセリン脂肪酸エステル及びポリグリセリン縮合リノール酸エステルがある。
694	42	532289	グリセリンモノ-2-エチルヘキシルエーテル		グリセリンエチルヘキシルエーテル、グリ	本品は、主としてグリセリンの2-エチルヘキシルエーテル(C <sub>11</sub> H <sub>24</sub> O <sub>3</sub> :204.31)である。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
					セリルエチルヘキシルエーテル	
695	42	520371	グリセリンモノセチルエーテル	キミリアルコール	グリセリンセチルエーテル、グリセリルセチルエーテル	本品は、主としてグリセリンの - モノセチルエーテルからなる。
696	41	102556	グリチルリチン酸			本品を乾燥したものは、定量するとき、グリチルリチン酸 (C 42H 62O16:822.93)96.0~ 102.0%を含む。
697	41	500129	グリチルリチン酸ジカリウム		グリチルリチン酸 2K	本品を乾燥したものは、定量するとき、グリチルリチン酸ジカリウム (C 42H 60K 2O16:899.11)96.0~ 102.0%を含む。
698	41	109718	グリチルリチン酸モノアンモニウム		グリチルリチン酸アンモニウム	本品を乾燥したものは、定量するとき、グリチルリチン酸モノアンモニウム (C 42H 65NO 16:839.96)96.0~ 102.0%を含む。
699	42	520372	- グリチルリチン酸モノアンモニウム		- グリチルリチン酸アンモニウム	本品は、 - グリチルリチン酸モノアンモニウムをアルカリ処理によって 化したものである。本品は、定量するとき、脱水した換算物につき、グリチルリチン酸モノアンモニウム (C 42H 65NO 16:839.97)として 96.0~ 102.0%を含み、 化率 65%以上である。
700	41	107478	グリチルリチン酸三ナトリウム		グリチルリチン酸 3Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、グリチルリチン酸三ナトリウム (C 42H 59Na 3O16:888.88)95.0%以上を含む。
701	41	110102	- グリチルレチン酸			本品を乾燥したものは、定量するとき、 - グリチルレチン酸 (C 30H 46O4:470.68)97.0%以上を含む。
702	41	500132	グリチルレチン酸グリセリル		グリチルレチン酸グリセリン	本品を乾燥したものは、定量するとき、グリチルレチン酸グリセリン (C 33H 52O6:544.70)95.0~ 105.0%を含む。
703	41	500133	グリチルレチン酸ステアリル			本品を乾燥したものは、定量するとき、グリチルレチン酸ステアリル (C 48H 82O4:723.16)95.0~ 102.0%を含む。
704	42	504119	グリチルレチン酸ピリキシン		ビタミンB6グリチルレチン酸エステル、ビタミンB6グリチルレチネート	本品を乾燥したものは、定量するとき、グリチルレチン酸 (C 30H 46O4:470.69)として 72.0~ 74.0%、ピリキシン (C 8H 11NO 3:169.18)として 25.0~ 26.0%を含む。
705	51	501044	グルコサミン			本品を乾燥したものは、定量するとき、グルコサミン (C 6H 13ON :179.17)98.0%以上を含む。
706	99	999999	グルコシルヘスペリジン			本品はヘスペリジンに - グルコシル転移酵素等を用いてグルコースを付加して得られたものである。本品は定量する時、グルコシルヘスペリジン (C 34H 44O 20:772.71)95~ 115%を含む。
707	41	101374	(グルコン酸クオールヘキシジン液)			
708	31	523088	グルコン酸銅		グルコン酸 Cu	本品は、グルコン酸銅 (C 12H 22CuO 14)98.0~ 102.0%を含む。
709	42	106667	グルコン酸ナトリウム		グルコン酸 Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、グルコン酸ナトリウム (C 6H 11NaO 7:218.14)98.0%以上を含む。
710	99	999999	グルコン酸ナトリウム		グルコン酸 Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、グルコン酸ナトリウム (C 6H 11O 7Na :218.2)98%以上を含む。
711	42	111602	グルタチオン			本品を乾燥したものは、定量するとき、グルタチオン (C 10H 17N 3O 6S:307.33)98.0~ 102.0%を含む。
712	42	532184	L- グルタミル-L- リジン	- L- グルタミル-L- リジン	グルタミルリジン	本品は、主としてL- グルタミン酸とL- リジンよりなるジペプチドである。本品を乾燥したものは、定量するとき、グルタミルリジン (C 11H 21N 3O 5:275.30)95.0%以上を含む。
713	42	509038	L- グルタミン酸・DL- アラニン縮合物液		グルタミン酸・DL- アラニン縮合物液	本品は、L- グルタミン酸とDL- アラニンの縮合物の70%水溶液である。
714	42	504123	グルタミン酸グルコース液		グルタミン酸グルコース	本品は、グルタミン酸グルコースの60%水溶液である。本品は、定量するとき、窒素 (N :14.01)として 1.0~ 3.0%を含む。
715	99	999999	- グルタミン酸ポリペプチド			本品は、納豆菌 Bacillus natto Sawamura を用いる発酵法により得られるもので、主として - グルタミン酸ポリペプチドからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素 (N :14.01)6.0~ 9.0%を含む。
716	42	523089	クルミ殻エキス	クルミ殻粒エキス		本品は、テウチグルミ Juglans regia Linne var. sinensis De Candolle 又はその近縁植物 (Juglandaceae)の種子殻からプロピレングリコール溶液により抽出して得られるエキスである。
717	42	507037	クルミ殻粒 (1)		クルミ殻粒- 1	本品は、マンシュウグルミ Juglans mandshurica Maximowicz ,オニグルミ Juglans mandshurica Maximowicz var. sieboldiana Makino 又はその他近縁植物 (Juglandaceae)の核 (内果皮)を乾燥、破砕し、整粒したものである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
718	42	507038	クルミ殻粒 (2)		クルミ殻粒-2	本品は、テウチグルミ <i>Juglans regia</i> Linne var. <i>sinensis</i> D.C., オニグルミ <i>Juglans sieboldiana</i> Maximowicz 又はその他近縁植物 ( <i>Juglandaceae</i> ) の種子殻を荒粉砕してから更に微粉砕した後、ふるい選別して得られたものである。
719	42	532208	クレアチニン	メチルグリコシアミン		本品を乾燥したものは、定量するとき、クレアチニン (C <sub>4</sub> H <sub>7</sub> N <sub>3</sub> O : 113.12) 99.0% 以上を含む。
720	42	520376	グレープフルーツエキス			本品は、グレープフルーツ <i>Citrus paradisi</i> Macfadyen ( <i>Rutaceae</i> ) の果実 (生) から「プロピレングリコール」又は「1,3-ブチレングリコール」、エタノール溶液にて抽出して得られるエキスである。
721	41	001229	クレゾール			本品は、クレゾール異性体の混合物である。
722	42	520377	クレマチスエキス	コボタンツルエキス		本品は、 <i>Clematis vitalba</i> Linne ( <i>Ranunculaceae</i> ) の葉からプロピレングリコール溶液又は 1,3-ブチレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
723	99	999999	黒米胚芽油			本品は、種皮に黒色素を有する系統のイネ <i>Oryza sativa</i> Linne (Gramineae) の種子から生ずる米ヌカを原料として得た油脂であり
724	42	103712	黒砂糖			本品は、主としてショ糖からなる。
725	42	520381	黒砂糖エキス			本品は、サトウキビ <i>Saccharum officinarum</i> Linne から得られる、黒砂糖 (粗製糖) の着色成分を分離、濃縮して得られるエキスである。
726	42	532052	黒砂糖エキス (2)		黒砂糖エキス-2	本品は、サトウキビ <i>Saccharum officinarum</i> Linne (Gramineae) から得られる黒砂糖 (粗製糖) 又は糖蜜からエタノール抽出したものを、濃縮した後、水に溶かし、吸着剤で、脱色したものである。
727	42	520413	黒酸化チタン		黒酸化 Ti	本品は、「酸化チタン」をアンモニアガス中約 800 で加熱還元したもので、酸化チタン、酸化チタンと窒化チタンの固溶体の混合物からなる。
728	41	109024	黒酸化鉄		黒酸化 Fe	本品は、主として四三酸化鉄 (Fe <sub>3</sub> O <sub>4</sub> ) からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、四三酸化鉄 (Fe <sub>3</sub> O <sub>4</sub> : 231.54) 90.0% 以上を含む。
729	42	520414	黒酸化鉄・カルミン被覆雲母チタン	黒酸化鉄・カルミン被覆マイカチタン	黒酸化鉄・カルミン被覆雲母 Ti 黒酸化 Fe・カルミン被覆雲母 Ti	本品は、「雲母チタン」を「黒酸化鉄」と「カルミン」で被覆したものである。
730	42	520415	黒酸化鉄・コンジョウ被覆雲母チタン	黒酸化鉄・コンジョウ被覆マイカチタン	黒酸化鉄・紺青被覆雲母 Ti 黒酸化 Fe 紺青被覆雲母 Ti	本品は、「雲母チタン」を「黒酸化鉄」と「コンジョウ」で被覆したものである。
731	42	520416	黒酸化鉄被覆雲母チタン	黒酸化鉄被覆マイカチタン	黒酸化鉄被覆雲母 Ti 黒酸化 Fe 被覆雲母 Ti	本品は、「雲母チタン」を「黒酸化鉄」で被覆したものである。
732	42	523097	黒酸化鉄被覆合成金雲母	黒酸化鉄被覆合成フッ素金雲母	黒酸化 Fe 被覆合成金雲母	本品は、「合成金雲母」を「黒酸化鉄」で被覆したものである。
733	42	532053	クロトン酸・酢酸ビニル・p-tert-ブチル安息香酸ビニル共重合体		クロトン酸・VA・p-tert-ブチル安息香酸ビニル共重合体	本品は、主としてクロトン酸、酢酸ビニル及び p-tert-ブチル安息香酸ビニルの共重合体からなる。
734	42	520483	クロトン酸・酢酸ビニル・ネオデカン酸ビニル共重合体		クロトン酸・VA・ネオデカン酸ビニル共重合体	本品は、主としてクロトン酸、酢酸ビニル及びネオデカン酸ビニルの共重合体からなる。
735	41	101361	クロラミン T			本品は、定量するとき、クロラミン T (C <sub>7</sub> H <sub>7</sub> ClNNaO <sub>2</sub> ·3H <sub>2</sub> O : 281.69) 96.0~102.0% を含む。
736	41	500138	クオールキシレノール			本品を乾燥したものは、定量するとき、パラクオールメタキシレノール (C <sub>8</sub> H <sub>9</sub> ClO : 156.61) 95.0% 以上を含む。
737	41	500139	クオールクレゾール			本品は、定量するとき、パラクオールメタクレゾール (C <sub>7</sub> H <sub>7</sub> ClO : 142.58) 98.0% 以上を含む。
738	41	500140	クオールヒドロキシアリウム		クオールヒドロキシア 1	本品を乾燥したものは、定量するとき、酸化アルミニウム (Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> : 101.96) 49.0~57.0% 及び塩素 (Cl : 35.45) 15.0~19.0% を含む。
739	41	500141	クオールフェネシン			本品を乾燥したものは、定量するとき、クオールフェネシン (C <sub>9</sub> H <sub>11</sub> ClO <sub>3</sub> : 202.64) 99.0% 以上を含む。
740	42	101371	クオールヘキシジン			本品を乾燥したものは、定量するとき、クオールヘキシジン (C <sub>22</sub> H <sub>30</sub> Cl <sub>2</sub> N <sub>10</sub> : 505.46) 98.0% 以上を含む。
741	99	999999	黒霊芝エキス CS			本品は、マンネンタケの 1 種である黒芝 <i>Ganoderma japonicum</i> (Fr.) Lloyd. ( <i>Polyporaceae</i> ) の子実体から、水より抽出して得られるエキスである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
742	42	520385	クロレラエキス			本品は、クロレラ <i>Chlorella vulgaris</i> Chick (Chlorellaceae) から水にて抽出して得られるエキスである。
743	42	532265	クロレラエキス(2)		クロレラエキス-2	本品は、クロレラ <i>Chlorella vulgaris</i> Chick (Chlorellaceae) から水で抽出して得られた液に、1,3-ブチレングリコールを加えてトプシン処理した後、加熱処理を行ったものである。
744	41	001236	クロロブタノール			本品は、定量するとき、換算した脱水物に対し、クロロブタノール (C 4H 7Cl 3O : 177.46) 98.0%以上を含む。
745	42	520386	クワエキス	ソウハクヒエキス	桑エキス	本品は、マグワ <i>Morus alba</i> Linne ´ 又はその他同属植物 (Moraceae) の根皮から、水、エタノール、1,3-ブチレングリコール又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
746	42	532197	クワ葉エキス		桑葉エキス	本品は、マグワ <i>Morus alba</i> Linne ´ (Moraceae) の葉からプロピレングリコール溶液で抽出して得られたエキスである。
747	41	500143	グンジョウ		群青	本品は、イオウ、ケイ酸アルミニウム、カーボンブラック等を原料として製した顔料である。
748	42	501048	グンジョウバイオレット	ウルトラマリンバイオレット	群青バイオレット	本品は、イオウ、ケイ酸アルミニウムなどから製した顔料である。
749	42	520388	グンジョウピンク		群青ピンク	本品は、イオウ、ケイ酸アルミニウム、カーボンブラック等から製した顔料である。
750	42	532249	ケイケッドウエキス			本品は、 <i>Mucuna birdwoodiana</i> Tutcher (Leguminosae) の茎からエタノール溶液にて抽出して得られるエキスである。
751	41	108904	ケイ酸アルミニウムマグネシウム		ケイ酸 A 1-M g	本品は、コロイド性含水ケイ酸アルミニウムマグネシウムである。
752	42	004600	ケイ酸カルシウム	合成ケイ酸カルシウム	ケイ酸 Ca	本品は、主としてケイ酸カルシウムからなる。
753	42	509041	ケイ酸吸着ラリン			本品は、無水ケイ酸に等量のラリンを吸着させた物質である。
754	42	520389	ケイ酸・ケイ酸アルミニウム焼成物		ケイ酸・ケイ酸 A 焼成物	本品は、主として二酸化ケイ素、酸化アルミニウム及び酸化第二鉄からなる粉末である。
755	41	106750	ケイ酸ナトリウム		ケイ酸 Na	本品は、定量するとき、二酸化ケイ素 (SiO 2 : 60.08) として 28.0~ 38.0%、酸化ナトリウム (Na 2O : 61.98) として 9.0~ 19.0% を含む。
756	99	999999	ケイ酸ナトリウム(粉末)		ケイ酸 Na 粉末	本品は、定量するとき、二酸化ケイ素 (SiO 2 : 60.08) として 50~ 55%、酸化ナトリウム (Na 2O : 61.98) として 23~ 27% を含む。
757	41	001240	ケイ酸マグネシウム		ケイ酸 M g	本品は、定量するとき、二酸化ケイ素 (SiO 2 : 60.08) 45.0%以上及び酸化マグネシウム (MgO : 40.30) 20.0%以上を含み、二酸化ケイ素と酸化マグネシウムとの質量百分率 (%) の比は 2.2~ 2.5 である。
758	42	509042	軽質イソパラフィン			本品は、主としてイソパラフィンからなる炭化水素の混合物である。
759	41	500147	軽質炭酸カルシウム	沈降炭酸カルシウム	軽質炭酸 Ca 沈降炭酸 Ca	本品は、化学的方法により製した炭酸カルシウムである。本品を乾燥したものは、定量するとき、炭酸カルシウム (CaCO 3 : 100.09) 96.0%以上を含む。
760	41	500148	軽質炭酸マグネシウム		軽質炭酸 M g	本品は、含水塩基性炭酸マグネシウム又は含水正炭酸マグネシウムからなる。本品は、定量するとき、酸化マグネシウム (MgO : 40.30) として 40.0~ 44.0% を含む。
761	41	500149	軽質流動イソパラフィン			本品は、イソブテンと n-ブテンを共重合した後、水素添加して得られる側鎖を有する炭化水素の混合物で、その重合度は 4~ 6 である。
762	41	500150	ケイ皮アルコール		シナムアルコール、桂皮アルコール	本品は、定量するとき、ケイ皮アルコール (C 9H 10O : 134.18) 98.0%以上を含む。
763	41	500151	ケイ皮アルデヒド		シナムアルデヒド、桂皮アルデヒド	本品は、定量するとき、ケイ皮アルデヒド (C 9H 8O : 132.16) 37.0%以上を含む。
764	42	103455	ケイ皮エキス		桂皮エキス、ケイヒエキス	本品は、 <i>Cinnamomum cassia</i> Blume 又はその他同属植物 (Lauraceae) の樹皮から水で抽出して得られるエキスである。
765	99	999999	ケイヒエキス末		桂皮エキス末	本品はケイ <i>Cinnamomum cassia</i> Blume またはその他同属植物 (Lauraceae) の乾燥樹皮 : ケイヒ <i>Cinnamoni Cortex</i> を精製水にて抽出し、粉末としたものである。
766	41	500152	ケイ皮酸エチル		桂皮酸エチル	本品は、定量するとき、ケイ皮酸エチル (C 11H 12O 2 : 176.21) 98.0%以上を含む。
767	42	511023	鶏卵末			本品は、ニワトリ <i>Gallus gallus domesticus</i> Brisson の卵から殻を除いたものを乾燥して得た粉末である。
768	41	106901	鯨口			本品は、マッコウクジラ <i>Physeter macrocephalus</i> Linne ´ (Physeteridae) の頭部の口質を精製したものである。
769	41	002235	結晶セルロース			本品は、 $\beta$ -セルロースを鉱酸で部分的に解重合し、精製したものである。
770	25	120002	結晶セルロース・カルメロースナトリウム		結晶セルロース・カルメロース Na	本品は容易に微分散するように結晶セルロース(日局)とカルメロースナトリウム(日局)を混合したものである。
771	99	999999	ゲットウ葉エキス			本品は月桃 <i>Alpinia speciosa</i> (Wendl.) K.Schum. (Zingiberaceae) の葉を 80vol%エタノール

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						溶液にて抽出して得られた成分を50vol% 1,3-ブチレングリコール溶液に溶解したものである。
772	41	102490	セラニオール			本品は、主としてセラニオールからなり、その他のテルペンアルコール類を含む。本品は、定量するとき、セラニオール(C 10H 18O:154.25)として85.0%以上を含む。
773			セラニオール変性アルコール			本品は、「エタノール」にセラニオールを加え、変性させたものである。
774	42	102486	ゲンチアナエキス			本品は、ゲンチアナ <i>Gentiana lutea</i> Linne (Gentianaceae) の根及び根茎から、水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」、「ジエチレングリコールエチルエーテル」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
775	42	102479	ゲンノショウコエキス			本品は、ゲンノショウコ <i>Geranium thunbergii</i> Siebold et Zuccarini (Geraniaceae) の地上部からエタノール溶液又は1,3-ブチレングリコール溶液で抽出して得られるエキスである。
776	42	532054	ケンボナシエキス			本品は、ケンボナシ <i>Hovenia dulcis</i> Thunb. (Rhamnaceae) の果実を、エタノールで抽出して得られるエキスである。
777	42	502045	N-硬化牛脂脂肪酸アシル-L-グルタミン酸ナトリウム		硬化牛脂脂肪酸アシルグルタミン酸 Na 水添牛脂脂肪酸アシルグルタミン酸 Na	本品は、硬化牛脂脂肪酸とL-グルタミン酸からなる酸アミドのナトリウム塩である。
778	42	504130	硬化牛脂脂肪酸ジエタノールアミド		水添牛脂脂肪酸ジエタノールアミド	本品は、主として硬化牛脂脂肪酸と当量のジエタノールアミンとを縮合して得られるアルコールアミドである。
779	42	523092	硬化ナタネ油アルコール		水添ナタネ油アルコール	本品は、日局ナタネ油を還元して得たアルコールであり、主として、ステアリルアルコール、アラキルアルコール及びベヘニルアルコールからなる。
780	42	102969	硬化ヒマシ油		水添ヒマシ油	本品は、「ヒマシ油」に水素添加して得たものである。
781	42	504131	硬化ヤシ油脂肪酸グリセリル硫酸ナトリウム		硬化ヤシ油脂肪酸グリセリル硫酸 Na 水添ヤシ油脂肪酸グリセリル硫酸 Na	本品は、硬化ヤシ油脂肪酸のモノグリセリドを硫酸エステル化したものである。本品を定量するとき、硬化ヤシ油脂肪酸グリセリル硫酸ナトリウム70.0%以上含む。
782	41	002130	硬化油			本品は、魚油、鯨油又は他の動物性若しくは植物性油脂を水素添加して得たものである。
783	99	999999	黄杞エキス(2)		黄杞エキス-2、コウキエキス-2	本品は、コウキ(黄杞) <i>Engelhardtia chrysolepis</i> Hance (Juglandaceae クルミ科) の葉を80vol%エタノールにて抽出したものである。
784	42	510018	高酸価ミノロウ			本品は、主として「ミノロウ」を部分けん化して得られる高酸価のミノロウである。
785	41	500158	硬質ラノリン		ラノリンロウ	本品は、「ラノリン」から得たもので、主としてエステルの混合物からなる。
786	41	500159	硬質ラノリン脂肪酸			本品は、「ラノリン」をけん化して得た脂肪酸である。
787	42	506014	硬質ラノリン脂肪酸コレステリル			本品は、主として硬質ラノリン脂肪酸とコレステロールのモノエステルである。
788	99	999999	高重合ジメチルシロキサン・メチル(アミノプロピル)シロキサン共重合体		高重合ジメチコン・メチルアミノプロピルシロキサン共重合体	本品は、主として直鎖状のメチルポリシロキサンのメチル基の一部をアミノプロピル基で置換したものの重合体である。本品の平均分子量は、約60万~85万である。
789	42	520395	高重合炭化水素			本品は、主としてイソブレン及び1,3-ペンタジエンの共重合体である。
790	42	510019	高重合ポリエチレングリコール		高重合PEG	本品は、酸化エチレンの重合体で、HOCH <sub>2</sub> (CH <sub>2</sub> CHOCH <sub>2</sub> ) <sub>n</sub> CH <sub>2</sub> OH で表わされる。平均分子量は、20000以上である。
791	42	520396	高重合メチルポリシロキサン(1)		高重合ジメチコン-1	本品は、シロキサン結合を骨格とした直鎖状の重合体で、(CH <sub>3</sub> ) <sub>3</sub> SiO[(CH <sub>3</sub> ) <sub>2</sub> SiO] <sub>n</sub> Si(CH <sub>3</sub> ) <sub>3</sub> で表わされる。その平均重合度は、650以上である。
792	42	511024	高重合メチルポリシロキサン(2)		高重合ジメチコン-2	本品は、シロキサン結合を骨格とした直鎖状の重合体で、(CH <sub>3</sub> ) <sub>3</sub> SiO[(CH <sub>3</sub> ) <sub>2</sub> SiO] <sub>n</sub> Si(CH <sub>3</sub> ) <sub>3</sub> で表わされる。平均重合度は、約7000である。
793	42	523093	合成金雲母	合成フッ素金雲母		本品は、「無水ケイ酸」、「酸化アルミニウム」、「酸化マグネシウム」及びケイフッ化カリウムを混合又は、これらに炭酸カリウムを混合、溶融後、結晶を晶出させたものである。
794	42	532055	合成金雲母(2)		合成金雲母-2	本品は、「無水ケイ酸」、「酸化アルミニウム」、「酸化マグネシウム」、「ケイフッ化カリウム」及び酸化鉄を混合し、溶融後、結晶を晶出させたものである。
795	41	001238	合成ケイ酸アルミニウム		合成ケイ酸A1	本品は、合成法で得た含水ケイ酸アルミニウムである。
796	42	110929	合成ケイ酸ナトリウム・マグネシウム		合成ケイ酸Na-Mg	本品は、モンモリロナイト系合成粘土鉱物である。
797	42	109106	合成スクワラン			本品は、イソブレンより合成して得られる飽和炭化水素で、主成分はスクワランである。本品は、定量するとき、スクワラン(C <sub>30</sub> H <sub>62</sub> :422.82)98.0%以上を含む。
798	42	520398	合成炭化水素ワックス			本品は、合成飽和直鎖炭化水素である。その平均分子量は、650~700である。
799	42	532056	鉱泉塩			本品は、鉱泉から得られる塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、硫酸ナトリウム

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						(Na 2SO 4 : 142 . 04) 90 . 0%以上を含む .
800	42	523094	紅茶エキス			本品は ,アッサム茶 Thea sinensis L .var .assamica Pierre (Theaceae)の葉より製した紅茶からエタノール、水又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである .
801	42	532057	高濃度塩酸アルキルジアミノエチルグリニン液	塩酸アルキルジアミノエチルグリニン	高濃度アルキルジアミノエチルグリニン HC 液、アルキルジアミノエチルグリニン HC 1 高濃度 HC アルキルジアミノエチルグリニン液、HC アルキルジアミノエチルグリニン	本品は ,炭素数 12~ 14のアルキルジアミノエチルグリニンの塩酸塩の水溶液であり、本品は ,定量するとき、塩酸アルキルジアミノエチルグリニン (C 19H 42ClN 3O 2 : 380 . 01)として、36 . 0~ 44 . 0%を含む .
802	99	999999	酵母エキス			本品は、Saccharomyces に属する酵母により糖原基白糖を発酵した後、得られた液をろ過したものである .
803	42	520400	酵母エキス (1)		酵母エキス- 1	本品は ,Saccharomyces に属する酵母を自己消化又は酸加水分解によって得られた液をろ過した後、濃縮又は乾燥したものである .
804	42	520401	酵母エキス (2)		酵母エキス- 2	本品は ,Saccharomyces に属する酵母を自己消化又は酸加水分解によって得られた液を濃縮又は乾燥したものである .
805	42	520402	酵母エキス (3)		酵母エキス- 3	本品は ,Saccharomyces に属する酵母を自己消化又は酸加水分解によって得られた液を乾燥したものから、水、"プロピレングリコール"、"1, 3- ブチレングリコール"又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである .
806	42	520403	酵母エキス (4)		酵母エキス- 4	本品は ,Saccharomyces に属する酵母の乾燥粉末から、水及び "濃グリセリン"の混液にて抽出して得たエキスである .
807	42	520404	酵母エキス (5)		酵母エキス- 5	本品は、酵母 Saccharomyces cerevisiaeを培地に入れ、紫外線照射により得られた水溶性エキスである .本品は、定量するとき、総窒素 (N : 14 01) 8 . 0~ 9 . 0%を、アミノ態窒素 4 . 0~ 6 . 0%を含む .
808	42	520407	酵母多糖体末			本品は、酵母 Saccharomyces cerevisiae Meyer 及びその他近縁菌類 (Saccharomycetaceae) の細胞壁由来の多糖体である .
809	42	520409	コウホネエキス			本品は、コウホネ Nuphar japonicum De Candolle (Nymphaeaceae)の根茎から"1, 3- ブチレングリコール"にて抽出して得られるエキスである .
810	42	520410	酵母培養上澄液			本品は、酵母の一種である Endomyces magnusii の培養上澄液を無菌的にろ過したものである .本品は、定量するとき、窒素 (N : 14 01)として 0 . 003~ 0 . 010%を含む .
811	42	532058	高融点パラフィン (1)		高融点パラフィン- 1	本品は、石油から得た炭化水素ワックスである .
812	42	532059	高融点パラフィン (2)		高融点パラフィン- 2	本品は、石油から得た炭化水素ワックスである .
813	42	523096	高融点ポリエチレン末			本品は、エチレンの重合体である .
814	42	508039	高融点マイクロスタリンワックス			本品は、石油から得た、主として炭素数 40~ 54に分布の中心がある炭化水素類の混合物で、主としてイソパラフィンからなる .
815	42	532241	コーヒーエキス		珈琲エキス	本品は、コーヒーノキ Coffea arabica Linne 又はその他同属植物 (Rubiaceae)の種子からエタノール溶液にて抽出して得られるエキスである .本品は、定量するとき、クロロゲン酸 (1/ 2水和物) (C 16H 18O 9 · 1/ 2H 2O : 363 . 32) 11 . 0~ 17 . 0%を含む .
816	42	501051	コチニール	カルミン酸		本品は、エンジムシ Coccus cacti L .から得た赤色素で、主成分はカルミン酸である .
817	41	106962	コハク酸			本品は、定量するとき、コハク酸 (C 4H 6O 4 : 118 . 09) 99 . 0%以上を含む .
818	42	523098	コハク酸ジ 2- エチルヘキシル	コハク酸ジオクチル	コハク酸ジエチルヘキシル	本品は、主としてコハク酸の 2- エチルヘキサノールのジエステル (C 20H 38O 4 : 342 . 51)からなる .
819	42	502050	コハク酸ジエトキシエチル			本品は、主として"コハク酸"と"エチレングリコールモノエチルエーテル"のジエステルからなる .本品は、定量するとき、コハク酸ジエトキシエチル (C 12H 22O 6 : 262 . 30) 95 . 0%以上を含む .
820	42	510100	コハク酸ジ (カプリル / カプリン酸)グリセリル			本品は、カプリル / カプリン酸のモノ又はジグリセリド 2モルとコハク酸 1 モルのエステルである .
821	42	532060	コハク酸ポリプロピレングリコールオリゴエステル		コハク酸 PPGオリゴエステル	本品は、主としてコハク酸とポリプロピレングリコールからなるオリゴエステルである .ポリプロピレングリコールの平均重合度は 7、コハク酸とポリプロピレングリコールのモル比は、4 : 5である .

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
822	41	101951	コハク酸二ナトリウム		コハク酸 2Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、コハク酸二ナトリウム(C <sub>4</sub> H <sub>4</sub> Na <sub>2</sub> O <sub>4</sub> :162.05)98.0~102.0%を含む。
823	42	520423	ゴボウエキス			本品は、ゴボウ <i>Arctium lappa</i> Linne (Compositae) の根から、水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
824	42	520425	ゴボウ種子油			本品は、ゴボウ <i>Arctium lappa</i> Linne (Compositae) の種子から得た脂肪油である。
825	41	001249	ゴマ油			本品は、ゴマ <i>Sesamum indicum</i> Linne (Pedaliaceae) の種子から得た脂肪油である。
826	42	107646	小麦粉			本品は、コムギ <i>Triticum sativum</i> Lamarck の種子を粉砕し、外皮、胚芽などをできるだけ取り除き、胚乳部を粉末にしたものである。
827	51	530008	小麦粉酵素分解粉末		酵素分解小麦粉	本品は、コムギ <i>Triticum aestivum</i> Linne (Gramineae) を粉砕したものを酵素分解し、得られた水溶性成分の乾燥粉末である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)として12.0~18.0%を含む。
828	41	002140	コムギデンプン		小麦デンプン	本品は、コムギ <i>Triticum sativum</i> Lamarck (Gramineae) の種子から得たデンプンである。
829	42	520427	コムギ胚芽エキス		小麦胚芽エキス	本品は、コムギ <i>Triticum aestivum</i> Linne (Gramineae) の胚芽から、水、「プロピレングリコール」、「濃グリセリン」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
830	42	520429	コムギ胚芽末		小麦胚芽末	本品は、コムギ <i>Triticum aestivum</i> Linne (Gramineae) の胚芽を110~120℃で15分間炒った後、ふるい分けして得られる粉末である。
831	42	522034	コムギ胚芽油		小麦胚芽油	本品は、コムギ <i>Triticum aestivum</i> Linne (Gramineae), <i>Triticum sativum</i> Lamarck 又は <i>Triticum vulgare</i> Lamarck の胚芽から得た脂肪油である。
832	42	510024	コムギ胚芽油脂肪酸グリセリル		小麦胚芽油脂肪酸グリセリル	本品は、「コムギ胚芽油」とグリセリンとのエステル交換により得られるもので、主としてモノグリセリドからなり、ジグリセリド、トリグリセリドを含む。
833	42	520430	コムギフスマ		小麦フスマ	本品は、コムギ <i>Triticum aestivum</i> Linne (Gramineae) の種子の種皮、外胚乳、胚芽等の粉末である。
834	99	999999	米抽出物加水分解液		コメ抽出物加水分解液、米抽出物水解液	本品は、コメ <i>Oryza sativa</i> Linne (Gramineae) の種子から得られる精白米を水性抽出した後、蛋白分解酵素により処理して得られる液である。
835	99	999999	米抽出物加水分解液 (3)		米抽出物水解液-3、コメ抽出物加水分解液-3	本品は、コメ <i>Oryza sativa</i> Linne (Gramineae) の種から得られる精白米を水性抽出した後、蛋白分解酵素により処理して得られる液である。
836	41	002141	コメデンプン		米デンプン	本品は、イネ <i>Oryza sativa</i> Linne (Gramineae) の種子から得たデンプンである。
837	42	103600	コメヌカ		米ヌカ	本品は、イネ <i>Oryza sativa</i> L. (Gramineae) の種子から得た玄米を精米するときに得られる果皮、種皮、胚及び糊粉層の混合物である。
838	42	103601	コメヌカエキス		米ヌカエキス	本品は、「コメヌカ」から、水、「1,3-ブチレングリコール」又はその混液にて抽出して得られるエキスである。
839	42	532290	コメヌカスフィンゴ糖脂質		米ヌカスフィンゴ糖脂質	本品は、「コメヌカ油」より得たスフィンゴ糖脂質である。
840	42	532291	コメヌカ・大豆ペプチド納豆菌発酵液		米ヌカ・大豆ペプチド納豆菌発酵液	本品は、「コメヌカ」と大豆タンパクを加水分解して得られるペプチドをナットウ菌 <i>Bacillus natto</i> Sawamura で発酵させたものである。
841	99	999999	米糠抽出物加水分解液		米糠抽出物水解液、コメヌカ抽出物加水分解液	本品は、コメヌカからの水性抽出物を蛋白分解酵素により処理して得られる液である。
842	99	999999	米糠抽出物加水分解液 A		米糠抽出物水解液 A、コメヌカ抽出物加水分解液 A	本品は、コメ <i>Oryza sativa</i> Linne (Gramineae) の種から得られる「コメヌカ」を酸性下で水抽出した後、蛋白分解酵素により加水分解処理して得られる液である。
843	42	523099	コメヌカ発酵エキス		米ヌカ発酵エキス	本品は、「コメヌカ」に α-アミラーゼ及び β-アミラーゼを加えて得たコメヌカ糖化液に酵母を加えて発酵させた後、「塩化ナトリウム」を加え、圧搾し過して得られるエキスである。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)0.1~0.4%及び塩化ナトリウム2.0~4.0%を含む。
844	42	520433	コメヌカ油		米ヌカ油	本品は、「コメヌカ」から得た脂肪油である。
845	42	505060	コメヌカパウ		米ヌカパウ	本品は、「コメヌカ」から得たワックスである。
846	42	520434	コムギ胚芽末		米胚芽末	本品は、イネ <i>Oryza sativa</i> Linne (Gramineae) の種子から得られるコムギ胚芽を粉末としたものである。
847	99	520436	コムギ胚芽油			本品は、イネ <i>Oryza sativa</i> Linne (Gramineae) の種子から生ずる米ヌカを原料として得た油脂であり

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
848	42	520436	コム胚芽油		米胚芽油	本品は、イネ <i>Oryza sativa</i> Linne' (Gramineae) の胚芽より得た脂肪油である。
849	42	532061	コム発酵液		米発酵液	本品は、イネ <i>Oryza sativa</i> Linne' (Gramineae) の種子から得られるコムをアルコール発酵させて得た液である。本品は、定量するとき、全糖として 2.6~ 4.8%、アルコール分として 11~ 22vol% を含む。
850	42	523100	コラーゲンシート			本品は、ウシ <i>Bos taurus</i> Linne' var. domesticus Gmelin (Bovidae) 又はブタ <i>Sus scrofa</i> Linne' var. domesticus Gray (Suidae) より得られたコラーゲンを乾燥したもので、本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N: 14.01)を 10.5~ 19.0%、ヒドロキシプロリン(C 5H 9NO 3: 131.13)を 8.0~ 16.0% 含む。
851	99	999999	コラーゲン・トパプチド F			本品は、サメの皮を酵素で加水分解して得られるコラーゲンたん白質加水分解物であり窒素として定量した時 12.0~ 22.0% を含む。
852	41	001255	コレステロール			本品は、主としてコレステロール (C 27H 46O: 386.66) からなる。
853	99	999999	コレステロールプルラン			本品は、コレステロール基を有するプルランの誘導体である。
854	42	509046	コンキオリンパウダー		コンキオリン末	本品は、真珠母貝(アコヤガイ) <i>Pinctada fucata</i> の真珠層に含まれる硬たん白質であるコンキオリンである。本品は定量するとき、窒素(N: 14.01)として 13.0~ 18.0% を含む。
855	42	508040	混合異性化糖			本品は、「ブドウ糖」の希アルカリ処理物と乳糖」の希アルカリ処理物を 19:1 の割合で混合した糖類の混合物で、主としてブドウ糖及び果糖よりなる。本品を定量するとき、その総糖量はブドウ糖として 45~ 55% である。
856	42	508041	混合果実白糖浸出液			本品は、レモン <i>Citrus medica</i> Limon (Rutaceae)、リンゴ <i>Malus pumila</i> Mill (Rosaceae)、キュウリ <i>Cucumis sativus</i> Linne' (Cucurbitaceae)、パイナップル <i>Ananas comosus</i> Merr (Bromeliaceae)、バナナ <i>Musa paradisiaca</i> Linne' に白糖を加えて、浸出させて得た液汁である。
857	42	510025	混合脂肪酸 2-エチルヘキシル		混合脂肪酸エチルヘキシル	本品は、主としてアジピン酸、「ステアリン酸」及び「パルミチン酸」の混合物と 2-エチルヘキシルアルコールのエステルである。
858	42	532211	N-混合脂肪酸 (C 12, C 14) アシル-L-アスパラギン酸トリエタノールアミン液		混合脂肪酸 (12, 14) アシルアスパラギン酸 TEA 液、脂肪酸 (12, 14) アシルアスパラギン酸 TEA 液	本品は、アシル基がラウロイル及びミリスチル (7:3) からなる N-混合脂肪酸 (C 12, C 14) アシル-L-アスパラギン酸トリエタノールアミンの水溶液である。本品は、定量するとき、N-混合脂肪酸 (C 12, C 14) アシル-L-アスパラギン酸トリエタノールアミン (Cn + 6H 2n + 9NO 5 · 1.3C 6H 15NO 3) として 27.0~ 33.0% を含む。
859	42	532212	N-混合脂肪酸 (C 12, C 14) アシル-L-アスパラギン酸ナトリウム液		混合脂肪酸 (12, 14) アシルアスパラギン酸 Na 液、脂肪酸 (12, 14) アシルアスパラギン酸 Na 液	本品は、アシル基がラウロイル及びミリスチル (7:3) からなり、水酸化ナトリウムで部分中和 (Na : H = 1.6:0.4) した、N-混合脂肪酸 (C 12, C 14) アシル-L-アスパラギン酸ナトリウム水溶液である。本品は、定量するとき、N-混合脂肪酸 (C 12, C 14) アシル-L-アスパラギン酸ナトリウム (Cn + 6H 2n + 7NO 5 · 1.6NaO . 4H : 718.00) として 22.0~ 28.0% を含む。
860	42	508042	混合脂肪酸ジエタノールアミド			本品は、「大豆油」、「コマメ油」又は「ウモロコシ油」とヤシ油」をほぼ等量混合して得られる混合脂肪酸ジエタノールアミドを縮合して得られるアルキロールアミドである。
861	42	509048	混合脂肪酸トグリセリル			本品は、「牛脂」、「ミンク油」、「タラ肝油」等を加水分解して得られる脂肪酸を蒸留精製したものと、グリセリンとのエステルで、主としてトグリセリルからなる。
862	42	508043	混合脂肪酸モノエタノールアミド		混合脂肪酸エタノールアミド	本品は、主としてパルミチン酸、ステアリン酸及びベヘニン酸からなる混合脂肪酸と、当量のモノエタノールアミンを縮合して得られるアルキロールアミドである。
863	42	520450	混合植物抽出液 (7)		混合植物抽出液 - 7	本品は、ホップ <i>Humulus lupulus</i> L. (Moraceae) の雌花穂、ウイキョウ <i>Foeniculum vulgare</i> L. (Umbelliferae) の果実各 30g、カミツレ <i>Matricaria chamomilla</i> L. (Compositae) の花 30g、セイヨウノコギリソウ <i>Achillea millefolium</i> L. (Compositae) の花 30g、コウスイハッカ <i>Melissa officinalis</i> L. (Labiatae) の葉 5g、ヤドリギ <i>Viscum album</i> L. Mistletoe (Loranthaceae) の果実 5g を機械的に細切し、1% 尿素を含む水及びエタノールの混液 (65:35) 中に浸し、常温下に攪拌を続けながら浸出し、圧搾ろ過して固形分を去り、ろ液に水を加えて 1000mL としたものである。
864	42	520452	混合植物抽出液 (9)		混合植物抽出液 - 9	本品は、ホップ <i>Humulus lupulus</i> L. (Moraceae) の雌花穂 25g、ウイキョウ <i>Foeniculum vulgare</i> Miller. (Umbelliferae) の果実 25g、カミツレ <i>Matricaria chamomilla</i> L. (Compositae) の花 25g、セイヨウノコギリソウ <i>Achillea millefolium</i> L. (Compositae) の花 25g、コウスイハッカ <i>Melissa officinalis</i> L. (Labiatae) の葉 10g 及び、セイヨウヤドリギ <i>Viscum album</i> L. (Loranthaceae) の



連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						枝葉梢 10g を機械的に細切し、マツキルベイン緩衝液 (注) 500ml とエタノール 400mL の混液中に浸し、70～80 で還流しながら8時間抽出した後、圧搾ろ過し、ろ液に水を加えて 1000mL とし、限外ろ過したものである。
865	42	520453	混合植物抽出液 (10)		混合植物抽出液 - 10	本品は、ウキヨウ <i>Foeniculum vulgare</i> Miller (Umbelliferae) の果実 3g、マロニエ <i>Aesculus hippocastanum</i> L. (Hippocastanaceae) の樹皮 5g、及びニンジン <i>Daucus carota</i> L. var. <i>sativa</i> DC. (Umbelliferae) の根 30g を機械的に細切し、モノオレイン酸ポリエチレングリコール (10E.O.) 0.5% を含むエタノール溶液 (3:10) に浸し、常温下でかき混ぜながら1週間浸出した後圧搾ろ過し、ろ液に水を加えて、100 mL とし、限外ろ過したものである。
866	42	520455	混合植物抽出液 (12)		混合植物抽出液 - 12	本品は、セイヨウノコギリソウ <i>Achillea millefolium</i> (Compositae) の花 30g、セイヨウトドリ <i>Hypericum perforatum</i> L. (Guttiferae) 30g、サルビア <i>Salvia officinalis</i> L. (Labiatae) の葉 30g、フキタンボボ (ワルファアラ葉) <i>Tussilago farfara</i> L. (Compositae) 30g、カミソレ <i>Matricaria chamomilla</i> L. (Compositae) 30g、ピロウダオイ (アルティア根) <i>Althaea officinalis</i> L. (Malvaceae) 30g を機械的に細切し1%の尿素を含む 35%エタノール溶液 (又は 1%の尿素を含む 35% 1,3-ブチレングリコール溶液) 中に浸し、常温下で攪拌を続けながら1週間浸出し、圧搾ろ過後、ろ液に水を加え 1000mL としたものである。
867	42	520456	混合植物抽出液 (13)		混合植物抽出液 - 13	本品はイラクサ <i>Urtica dioica</i> L. (Urticaceae) の葉 50g、フキタンボボ <i>Tussilago farfara</i> L. (Compositae) の葉 50g、スギナ <i>Equisetum arvense</i> L. (Equisetaceae) の茎 70g、マンネンロウ <i>Rosmarinus officinalis</i> L. (Labiatae) の葉 50g、サルビア <i>Salvia officinalis</i> L. (Labiatae) の葉 50g、セイヨウノコギリソウ <i>Achillea millefolium</i> L. (Compositae) の花 30g、ミンガシワ <i>Menyanthes trifoliatea</i> L. (Gentianaceae) の葉 50g、シラカバ <i>Betula alba</i> L. (Betulaceae) の葉 50g を機械的に細片化し、水 400mL、エタノール又は「1,3-ブチレングリコール」200mL、「プロピレングリコール」400g の混液中に浸し、常温でかき混ぜながら一週間浸出してろ過し、固形分を除去した後、ろ液に水を加えて 1000mL としたものである。
868	42	520458	混合植物抽出液 (15)		混合植物抽出液 - 15	本品は、アルニカ <i>Arnica montana</i> L. (Compositae) 20%、カミソレ <i>Matricaria chamomilla</i> L. (Compositae) 60%、スギナ <i>Equisetum arvense</i> L. (Equisetaceae) 20% の割合に秤量したものの 1kg に対し、同容量の「1,3-ブチレングリコール」の溶液 (3:10) 1L を加えた後、80、24時間抽出した後、ろ過する。室温まで冷却した後「パントテン酸カルシウム」0.6%、「イノシット」0.2%、「ニコチン酸アミド」0.2% となるように添加し 1kg としたものである。
869	42	520459	混合植物抽出液 (16)		混合植物抽出液 - 16	本品は、ハママリス <i>Hamamelis virginiana</i> L. (Hamamelidaceae) の葉 35g、タチジャコウソウ <i>Thymus vulgaris</i> L. (Labiatae) 35g、トルメンチラ <i>Potentilla tormentilla</i> Schrank (Rosaceae) の根 35g、サルビア <i>Salvia officinalis</i> L. (Labiatae) の葉 35g、マンネンロウ <i>Rosmarinus officinalis</i> L. (Labiatae) 35g を機械的に細切し、1%尿素を含む水及び「エタノール」の混液 (65:35) 又は 1%尿素を含む水及び「1,3-ブチレングリコール」の混液 (65:35) 中に浸し、常温でかき混ぜながら 1 週間浸出し、圧搾ろ過して固形分を去り、ろ液に水を加えて 1000mL としたものである。
870	42	520460	混合植物抽出液 (17)		混合植物抽出液 - 17	本品は、カミソレ <i>Matricaria chamomilla</i> L. (Compositae)、マンネンロウ <i>Rosmarinus officinalis</i> L. (Labiatae)、タチジャコウソウ <i>Thymus vulgaris</i> L. (Labiatae)、及びサルビア <i>Salvia officinalis</i> L. (Labiatae) の全草約 30g ずつに「プロピレングリコール」約 200g、「1,3-ブチレングリコール」約 180g、「ジエチレングリコールモノエチルエーテル」約 70g、「ポリオキシエチレンラウリルエーテル (2E.O.)」5g、リノール酸ジエタノールアミド 5g に、水を加えて約 1000mL とし得られたエキスである。
871	42	520462	混合植物抽出液 (19)		混合植物抽出液 - 19	本品は、スギナ <i>Equisetum arvense</i> L. (Equisetaceae) の葉及び茎、フキタンボボ <i>Tussilago farfara</i> L. (Compositae) の花、ゼニアオイ <i>Malva sylvestris</i> L. (Malvaceae) の葉及び花、セイヨウヤドリギ <i>Viscum album</i> L. (Loranthaceae) の葉、ハママリス <i>Hamamelis virginiana</i> L. (Hamamelidaceae) の葉、コムギ <i>Triticum vulgare</i> Lamarck の胚芽、各々 30g を乾燥させ機械的に細片し、「プロピレングリコール」300g、「1,3-ブチレングリコール」180g の混液中に浸し、時々かき混ぜながら7日間混和抽出した後ろ過し、水を加えて 1000mL としたものである。
872	42	520463	混合植物抽出液 (20)		混合植物抽出液 - 20	本品は、日局クジン、日局オウゴン、日局シコン、日局コウカ、日局チヨウジ及びカミソレ

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						Matricaria chamomilla L. (Compositae)の小頭花のそれぞれの等量混合物(部に水9部を加え、30分間沸騰させ、温時布ごしし、水を加えて10部としたものである。
873	42	520467	混合植物抽出液(26)		混合植物抽出液-26	本品は、精選したサルビア Salvia officinalis L. (Labiatae)の葉150g及びカミソレ Matricaria chamomilla L. (Compositae)の花150gを機械的に細切りし、「プロピレングリコール」600g、水600g及び「エタノール」50gの混液に浸し、ゆっくりとした一定の速度でかき混ぜながら15日程、室温で混和、抽出した後、ろ過する。得たる液を更にマイクロフィルターでろ過し、約1400gの抽出液を得る。
874	42	522035	混合植物抽出液(27)		混合植物抽出液-27	本品は、ハマメリス Hamamelis virginiana Linne' (Hamamelidaceae)の葉150g及びセイヨウトギリソウ Hypericum perforatum Linne' (Guttiferae)の花150gを機械的に細切りし、「プロピレングリコール」350g、水350gの混液に浸し、ゆっくりとした一定の速度でかき混ぜながら15日程、室温で混和、抽出した後、ろ過し、ろ液を更にマイクロフィルターでろ過して得た約600gの抽出液である。
875	42	532213	混合植物抽出液(34)		混合植物抽出液-34	本品は、Vaccinium myrtillus Linne' (Ericaceae)の果実57g、オレンジ Citrus sinensis (Rutaceae)の果実3g、レモン Citrus limonum (Rutaceae)の果実8g及びサトウキビ Saccharum officinarum Linne' (Gramineae)の茎24gを機械的に潰したものに、サトウカエデ Acer saccharum Marshall (Aceraceae)の樹液3g及び精製水400gを加え、70°Cまで加熱し、3~4時間抽出した後、ろ過し、濃縮したものである。当原料1kgから、本品約60gを得る。
876	42	532163	混合植物抽出液(35)		混合植物抽出液-35	本品は、カミソレ Matricaria chamomilla Linne' (Compositae)の花50g、イラクサ Urtica thunbergiana Siebold et Zuccarini 又は Urtica dioica Linne' (Urticaceae)の葉50g、アルニカ Arnica montana Linne' (Compositae)の花及び根50g、キナ Cinchona succirubra Pavon et Klotzch 又はその他同属植物 (Rubiaceae)の樹皮30g、ヨロップシラカバ Betula alba Linne' (Betulaceae)の樹皮30gを機械的に細片化し、水700gに浸し、常温でかき混ぜながら1週間浸出してからろ過し、ろ液に「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」、「ジエチレングリコールエチルエーテル」の等量混合液を加えて1000mLとしたものである。
877	42	508047	混合ワックス(1)		混合ワックス-1	本品は、「ウルナワバロウ」、「キャンデリワロウ」、水素添加大豆油脂脂肪酸モノグリセリド、「ステアリン酸」、「パラフィン」、「ミソウ」の混合物である。
878	42	509055	混合ワックス(2)		混合ワックス-2	本品は、「ニシン類の魚(Menhaden)及びタラ類の魚(Hake)の油から得られるグリセリド、牛脂から得られるグリセリド、オレオステアリン及び「マイクロクリスタリンワックス」の混合物である。
879	42	523101	混合ワックス(3)		混合ワックス-3	本品は、高級脂肪酸(ステアリン酸、パルミチン酸)のモノグリセリドアセチル化物、高級脂肪酸(モンタン酸)の多価アルコール(1,3-ブチレングリコール、エチレングリコール)エステル及び高級脂肪酸(セロチン酸、カルナバ酸)の高級アルコール(ステアリンアルコール)エステルの混合物である。
880	41	500167	コンジョウ		紺青	本品は、主としてフェリクアンモニウムフェロシアンナイド(Fe(NH <sub>4</sub> ) <sub>2</sub> Fe(CN) <sub>6</sub> :285.84)若しくはフェリクフェロシアンナイド(Fe <sub>4</sub> Fe(CN) <sub>6</sub> :3:859.29)又はこれらの混合物からなる。
881	42	520473	コンジョウ 酸化クロム被覆雲母チタン	コンジョウ 酸化クロム被覆マイカチタン	紺青 酸化C 被覆雲母 Ti	本品は、雲母チタンを「コンジョウ」と酸化クロムで被覆したものである。
882	42	520475	コンジョウ被覆雲母チタン	コンジョウ被覆マイカチタン	紺青被覆雲母 Ti 紺青被覆マイカ Ti	本品は、雲母チタンを「コンジョウ」で被覆したものである。
883	41	004805	コンドロイチン硫酸ナトリウム		コンドロイチン硫酸 Na	本品は、哺乳動物又は魚類の軟骨から抽出、精製して得られるコンドロイチン硫酸のナトリウム塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)2.5~3.8%及びイオウ(S:32.06)5.5~7.0%を含む。
884	42	520476	コンフリーエキス		ヒレハリソウエキス	本品は、ヒレハリソウ Symphytum officinale Linne' (Boraginaceae)の葉から、エタノール溶液、プロピレングリコール溶液又は1,3-ブチレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
885	42	520478	コンフリー葉末		ヒレハリソウ葉末	本品は、淡緑色の粉末で、わずかに特異なおいがある。
886	99	999999	サーファクチンナトリウム			本品は、枯草菌 Bacillus subtilis を用いる発酵法により得られる環状アニオン性リポペプチド(サーファクチン)のナトリウム塩である。
887	42	106097	サイシンエキス			本品は、ウスバサイシン Asiasarum sieboldii F. Maekawa 又はケイリンサイシン Asiasarum heterotropoides F. Maekawa var. mandshuricum F. Maekawa (Aristolochiaceae)の根及び根

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						茎から水にて抽出して得られるエキスである。
888	42	508049	サイタイ抽出液			本品は、ウシ Bos taurus var. domestics の臍帯から得られた水抽出液である。本品を定量するとき、ムコ多糖類として 0.9~ 1.1w/v% を含有する。
889	42	504137	酢酸液状ラノリン			本品は、液状ラノリンのアセチル化物である。
890	41	101135	酢酸カルシウム		酢酸 Ca	本品は、定量するとき、酢酸カルシウム (C 4H 6CaO 4H 2O : 176.18) 98.0~ 105.0% を含む。
891	42	532062	酢酸硬化ヒマシ油		酢酸水添ヒマシ油	本品は、硬化ヒマシ油のアセチル化物である。
892	42	522036	酢酸硬質ラノリン(2)		酢酸硬化ラノリン-2	本品は、硬質ラノリンをアセチル化したものである。
893	42	532292	酢酸・コハク酸ヒドロキシプロピルメチルセルロース	ヒドロキシプロピルメチルセルロースアセテートサクシネート		本品は、酢酸及びコハク酸とヒドロキシプロピルメチルセルロースのエステルである。
894	42	510035	酢酸セチル			本品は、「セタノール」をアセチル化したもの (C 18H 37O 2 284.48) である。
895	42	508050	酢酸(セチル・ラノリン)エステル		酢酸(セチル・ラノリン)	本品は、セタノール及びラノリンアルコールをアセチル化して得られる混合エステルである。
896	42	520481	酢酸セルロース末			本品は、セルロースをアセチル化したものである。
897	01	001263	酢酸トコフェロール	酢酸 dl- - トコフェロール		本品は定量するとき、酢酸 dl- - トコフェロール (C 31H 52O 3) 96.0~ 102.0% を含む。
898	42	110650	酢酸 d- - トコフェロール		ビタミンE酢酸エステル	本品を定量するとき、酢酸 d- - トコフェロール (C 31H 52O 3: 472.75) 96.0~ 102.0% 以上を含む。
899	41	110952	酢酸 DL- - トコフェロール		酢酸トコフェロール、酢酸 dl- - トコフェロール	本品は、定量するとき、酢酸 DL- - トコフェロール (C 31H 52O 3: 472.75) 96.0% 以上を含む。
900	42	502056	酢酸ビニル・クロトン酸共重合体		VA・クロトン酸共重合体	本品は、酢酸ビニルとクロトン酸の共重合体である。
901	42	504140	酢酸ビニル・スチレン共重合体エマルション		VA・スチレン共重合体エマルション	本品は、酢酸ビニルとスチレンからなる共重合体の 20% エマルションである。
902	42	523102	酢酸ビニル・ビニルピロリドン共重合体		VA・VP共重合体	本品は、ビニルピロリドンと酢酸ビニルとの共重合体である。
903	42	504141	酢酸ヒマシ油	アセチル化ヒマシ油		本品は、「ヒマシ油」のアセチル化物である。
904	41	500177	酢酸フェニルエチル			本品は、定量するとき、酢酸フェニルエチル (C 10H 12O 2: 164.20) 98.0% 以上を含む。
905	41	500178	酢酸ブチル			本品は、定量するとき、酢酸ブチル (C 6H 12O 2: 116.16) 95.0% 以上を含む。
906	42	532193	酢酸プロピレングリコールミスチルエーテル		酢酸 PGミスチルエーテル	本品は、主としてプロピレングリコールミスチルエーテルの酢酸エステル (C 21H 42O 3: 342.33) からなる。
907			酢酸ベンジル変性アルコール			本品は、「セタノール」に酢酸ベンジルを加え、変性させたものである。
908	42	532188	酢酸ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンイソセチルエーテル	酢酸ポリオキシエチレン(20)ポリオキシプロピレン(2)イソセチルエーテル	酢酸 POE・PO Pインセチルエーテル	本品は、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンイソセチルエーテルのアセチル化物からなる。酸化エチレン及び酸化プロピレンの付加モル数は、それぞれ 20 及び 2 である。
909	42	532063	酢酸ポリオキシエチレンモノオキシプロピレンセチルエーテル		酢酸 POE・PO Pセチルエーテル	本品は、ポリオキシエチレンモノオキシプロピレンセチルエーテルのアセチル化物からなる。酸化エチレン及び酸化プロピレンの付加モル数は、それぞれ 3 及び 1 である。
910	42	532064	酢酸ポリオキシエチレンモノオキシプロピレン2-ヘキシルデシルエーテル	酢酸ポリオキシエチレンモノオキシプロピレンイソセチルエーテル	酢酸 POE オキシプロピレンヘキシルデシルエーテル、酢酸 POE・PO Pインセチルエーテル	本品は、主としてポリオキシエチレンモノオキシプロピレン2-ヘキシルデシルエーテルのアセチル化物からなる。ただし、酸化エチレン及び酸化プロピレンの付加モル数は、それぞれ 3 及び 1 である。
911	42	502057	酢酸ポリオキシエチレンラノリンアルコール		酢酸ラネス-9、酢酸ラネス-10	本品は、主として「ラノリンアルコール」に酸化エチレンを付加重合して得られるポリオキシエチレンラノリンアルコールのアセチル化物からなる。
912	41	500181	酢酸ラノリン			本品は、「ラノリン」のアセチル化物である。
913	42	501056	酢酸ラノリンアルコール		酢酸ラノリン	本品は、主としてラノリンアルコールのアセチル化物である。
914	42	502058	酢酸リノレイン酸グリセリル	酢酸モノリノレイン酸グリセリル		本品は、主として「リノレイン酸グリセリル」のアセチル化物からなる。
915	41	500182	酢酸リナリル			本品は、「酢酸」と「リナロール」のエステルからなる。本品は、定量するとき、酢酸リナリル (C 17H 32O 2: 196.29) 90.0% 以上を含む。
916	42	532167	酢酸リナリル変性アルコール			本品は、「セタノール」に酢酸リナリルを加え、変性させたものである。
917	41	001270	酢酸レチノール	ビタミンA酢酸エステル	ビタミンAアセテート	本品は、酢酸レチノール (C 21H 32O 2: 328.49) 又は酢酸レチノールに植物油を加えたものである。本品は定量するとき、表示ビタミンA単位の 95~ 105% を含む。
918	42	523103	サクシニルアテロコラーゲン液			本品は、コラーゲンのテロペプチドを酵素により取り除いて得た水溶性コラーゲンを、サクシニル化した、サクシニルアテロコラーゲンの水溶液である。本品は、定量するとき、窒素 (N : 14.01) 0.02~ 1.0% を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
919	42	523104	サクシニル化ウシ血清アルブミン処理シコンエキス	サクシニル化ウシ血清アルブミン処理シコン色素液	サクシニル化牛血清アルブミン処理シコンエキス	本品は、ムラサキ <i>Lithospermum erythrorhizon</i> Siebold et Zuccarini (Boraginaceae) の根から微アルカリ性エタノールと「プロピレングリコール」の混液で抽出して得られたエキスにサクシニル化ウシ血清アルブミンを反応させて得られた沈殿を 1, 3-ブチレングリコール溶液に溶解したものである。
920	42	532065	サクシニルカルボキシメチルキトサン液			本品は、「キトサン」をカルボキシメチル化し、更に N-サクシニル化したものの水溶液である。
921	42	532066	サクシニルキトサン			本品は、「キトサン」をサクシニル化したものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素 (N : 14.01) 4.5~7.5% を含む。
922	42	532067	サクシニルキトサン液			本品は、「サクシニルキトサン」の水溶液である。本品は、定量するとき、窒素 (N : 14.01) 0.02~0.12% を含む。
923	42	520486	サザンカ油			本品は、サザンカ <i>Camellia sasanqua</i> Thunb. (Theaceae) の種子から得た脂肪油である。
924	41	106066	サッカリン			本品を乾燥したものは、定量するとき、サッカリン (C 7H 5NO 3S : 183.18) 98.0% 以上を含む。
925	41	001272	サッカリンナトリウム		サッカリン Na	本品は、「サッカリン」のナトリウム塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、サッカリンナトリウム (C 7H 4NNaO 3S : 205.16) 98.0% 以上を含む。
926	01	001272	サッカリンナトリウム		サッカリン Na	本品を乾燥したものは定量するとき、サッカリンナトリウム (C 7H 4NNaO 3S : 205.17) 98.0% 以上を含む。
927	41	500186	サフラワー油		ベニバナ油、紅花油	本品は、ベニバナ <i>Carthamus tinctorius</i> Linne (Compositae) の種子から得た脂肪油である。
928	42	523105	サフラワー油 (2)		ベニバナ油-2 紅花油-2	本品は、ベニバナ <i>Carthamus tinctorius</i> Linne (Compositae) の種子から得た脂肪油で、主としてオレイン酸からなるトリグリセライドである。
929	42	509056	サフラワー油脂肪酸		ベニバナ油脂肪酸、紅花油脂肪酸	本品は、「サフラワー油」を加水分解して得られる脂肪酸を精製したものであり、主としてリノール酸 (C 18H 32O 2 : 280.45) からなる。
930	42	520489	サフランエキス			本品は、サフラン <i>Crocus sativus</i> Linne (Iridaceae) の柱頭から水にて抽出して得られるエキスである。
931	42	520490	サボンソウエキス			本品は、サボンソウ <i>Saponaria officinalis</i> Linne (Caryophyllaceae) の葉から「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの水溶液にて抽出して得られるエキスである。
932	42	523106	サメ肝油			本品は、アイザメ <i>Centrophorus atromarginatus</i> Garman (Centrolophoridae) 及びその近縁サメの肝臓から得られる脂肪油である。
933	41	001617	サラシミノロウ			本品は、「ミノロウ」を漂白精製したものである。
934	42	501139	サラシモンタンロウ	モンタンワックス		本品は、褐炭を高温で蒸留又は溶剤で抽出して得られるものである。
935	41	001274	サリチル酸			本品は、定量するとき、サリチル酸 (C 7H 6O 3 : 138.12) 99.5% 以上を含む。
936	42	502060	サリチル酸 2-エチルヘキシル	サリチル酸オクチル	サリチル酸エチルヘキシル	本品は、主としてサリチル酸と 2-エチルヘキシルアルコールのエステル (C 15H 22O 3 : 250.33) からなる。
937	42	102270	サリチル酸エチレングリコール		サリチル酸グリコール	本品は、定量するとき、サリチル酸エチレングリコール (C 9H 10O 4 : 182.18) 97.0% 以上を含む。
938	42	502061	サリチル酸ジプロピレングリコール	ジプロピレングリコールサリチレート	サリチル酸 DPG、DPG サリチレート	本品は、主としてサリチル酸とジプロピレングリコールからなるエステル (C 13H 18O 5 : 254.28) である。
939	42	520492	サリチル酸チタン		サリチル酸塩	本品は、チタンのサリチル酸錯塩であり、定量するとき、サリチル酸チタン (Ti (C 7H 4O 3) 2 : 320.09) 98.0% 以上を含む。
940	41	001275	サリチル酸ナトリウム		サリチル酸 Na サリチル酸塩	本品を乾燥したものは、定量するとき、サリチル酸ナトリウム (C 7H 5NaO 3 : 160.10) 99.5% 以上を含む。
941	41	001280	サリチル酸フェニル			本品を乾燥したものは、定量するとき、サリチル酸フェニル (C 13H 10O 3 : 214.22) 99.0% 以上を含む。
942	42	504146	サリチル酸ホモメンチル	ホモメンチルサリチレート		本品は、定量するとき、サリチル酸ホモメンチル (C 16H 22O 3 : 262.35) を 98.0% 以上含む。
943	41	002165	サリチル酸メチル			本品は、定量するとき、サリチル酸メチル (C 8H 8O 3 : 152.15) 98.0% 以上を含む。
944	41	001281	酸化亜鉛		酸化 Zn	本品を強熱したものは、定量するとき、酸化亜鉛 (ZnO : 81.39) 99.5% 以上を含む。
945	42	100457	酸化アルミニウム		酸化 Al	本品を強熱したものは、定量するとき、酸化アルミニウム (Al 2O 3 : 101.96) 96.0% 以上を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						む。
946	42	504147	酸化アルミニウム・コバルト		酸化 Al・Co	本品は、酸化コバルトと酸化アルミニウムとの混合物を強熱したもので、主としてスピネル構造を有する酸化アルミニウムコバルトからなる。
947	42	520497	酸化アルミニウム水和物・ケイ酸処理酸化チタン		酸化 Al 水和物・ケイ酸処理酸化 Ti	本品は、「酸化チタン」を湿式法により酸化アルミニウムの水和物及びケイ酸で表面処理したものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、酸化チタン (TiO <sub>2</sub> : 79.88)として 80.0%以上を含む。
948	41	002169	酸化カルシウム	生石灰	酸化 Ca	本品を強熱したものは、定量するとき、酸化カルシウム (CaO : 56.08) 98.0%以上を含む。
949	41	101454	酸化クロム		酸化 Cr	本品は、主として三酸化クロム (Cr <sub>2</sub> O <sub>3</sub> )からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、三酸化クロム (Cr <sub>2</sub> O <sub>3</sub> : 151.99) 95.0%以上を含む。
950	42	520498	酸化クロム被覆雲母チタン		酸化 Cr 被覆雲母 Ti	本品は、「雲母チタン」を「酸化クロム」で被覆したものである。
951	41	500195	酸化ジルコニウム		酸化 Zr	本品は、水酸化ジルコニウムを焼成して得た酸化ジルコニウムである。本品を乾燥したものは、定量するとき、酸化ジルコニウム (ZrO <sub>2</sub> : 123.22) 98.0%以上を含む。
952	42	523107	酸化セリウム			本品を乾燥したものは、定量するとき、酸化セリウム (CeO <sub>2</sub> : 172.11) 98.0%以上を含む。
953	41	002170	酸化チタン		酸化 Ti	本品を乾燥したものは、定量するとき、酸化チタン (TiO <sub>2</sub> : 79.88) 90.0%以上を含む。
954	42	510038	酸化チタンゾル		酸化 Ti ゾル	本品は、無水ケイ酸被覆酸化チタンの水分散液である。本品は、定量するとき、酸化チタン 9.0~ 30.0%を含む。
955	42	532068	酸化チタン被覆還元雲母チタン(1)		酸化 Ti 被覆還元雲母 Ti 1	本品は、「雲母チタン」を加熱還元し、表面を黒酸化チタンとしたものに、酸化チタンの薄膜を被覆処理したものである。その組成は、マイカ 40~ 55%、酸化チタン 45~ 60%及び黒酸化チタン 1~ 5%である。
956	42	532069	酸化チタン被覆還元雲母チタン(2)		酸化 Ti 被覆還元雲母 Ti 2	本品は、「雲母チタン」を加熱還元し、表面を黒酸化チタンとしたものに酸化チタンの薄膜を被覆処理したものである。その組成は、マイカ 30~ 40%、酸化チタン 60~ 70%及び黒酸化チタン 1~ 5%である。
957	42	532070	酸化チタン被覆還元雲母チタン(3)		酸化 Ti 被覆還元雲母 Ti 3	本品は、「雲母チタン」を加熱還元し、表面を黒酸化チタンとしたものに酸化チタンの薄膜を被覆処理したものである。その組成は、マイカ 45~ 65%、酸化チタン 30~ 55%及び黒酸化チタン 1~ 5%である。
958	42	532169	酸化チタン被覆還元雲母チタン(4)		酸化 Ti 被覆還元雲母 Ti 4	本品は、「雲母チタン」にチタン末を加え、加熱還元し、酸化チタンの一部を低次酸化チタンとしたもので、その組成は、マイカ 65~ 75%、酸化チタン 25~ 35%及び微量の低次酸化チタンである。
959	42	523108	酸化チタン被覆セリサイト		酸化 Ti 被覆セリサイト	本品は、「セリサイト」に「酸化チタン」の薄膜を被覆処理したものである。
960	42	523109	酸化チタン 無水ケイ酸複合物		酸化 Ti 無水ケイ酸複合物	本品は、「酸化チタン」を「無水ケイ酸」で被覆したものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、酸化チタン (TiO <sub>2</sub> : 79.88) 77.0~ 87.0%及び二酸化ケイ素 (SiO <sub>2</sub> : 60.88) 13.0~ 23.0%を含む。
961	42	507062	酸化鉄 酸化チタン焼結物		酸化 Fe 酸化 Ti 焼結物	本品は、「酸化チタン」と酸化鉄の混合物 (99.5:0.5~ 7:3)であり、大気中で約 660~ 1050 で 0.5~ 4時間加熱焼結して得たものである。
962	41	001282	酸化マグネシウム		酸化 Mg	本品を強熱したものは、定量するとき、酸化マグネシウム (MgO: 40.30) 96.0%以上を含む。
963	42	106195	サンザシエキス			本品は、サンザシ <i>Crataegus cuneata</i> Siebold et Zuccarini (Rosaceae)の果実から、水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」、「ジエチレングリコールエチルエーテル」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
964	01	120104	サンシシ	山梔子		本品はクちなシ <i>Gardenia jasminoides</i> Ellis (Rubiaceae)の果実である。
965	99	999999	サンシチニンジンエキス			本品は、サンシチニンジン <i>Panax notoginseng</i> (Burk.) F.H.Chen [ <i>Panax pseudoginseng</i> Wall.var. <i>notoginseng</i> (Burk.) Hoo et Tseng] (Araliaceae)の根からエタノール溶液にて抽出して得られたエキスである。
966	42	520510	サンシヨウエキス		山椒エキス	本品は、サンシヨウ <i>Zanthoxylum piperitum</i> D.C.又はその他同属植物 (Rutaceae)の成熟した果皮から、エタノール溶液にて抽出して得られるエキスである。
967	42	523110	シア脂			本品は、シア <i>Butyrospermum parkii</i> Kotschy (Sapotaceae)のうちマンギフォリア品種 <i>Mangifolia</i> の種子から得た脂肪である。
968	42	520514	N,N'-ジアセチル-L-シスチンジメチルエステル		ジアセチルシスチンジメチル	本品は、N,N'-ジアセチル-L-シスチンジメチルエステル (C <sub>21</sub> H <sub>20</sub> N <sub>2</sub> O <sub>6</sub> S <sub>2</sub> : 352.44)からなる。本品は、定量するとき、窒素 (N: 14.01) 7.5~ 8.5%を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
969	51	523366	ジアルキルジメチルアンモニウムクロリド尿素付加物		塩化ジアルキルジメチルアンモニウム尿素付加物	本品は、ジアルキルジメチルアンモニウムクロリドと尿素とを反応させて得られる付加物である。本品は、定量するとき、ジアルキルジメチルアンモニウムクロリドとして31~37%含有する。
970	42	504151	ジイソステアリン酸グリセリル	ジ(2-ヘプチルウンデカン酸)グリセリル		本品は、主としてイソステアリン酸とグリセリルのジエステル(C39H76O5:625.03)からなる。
971	42	504153	ジイソステアリン酸プロピレングリコール		ジイソステアリン酸PG	本品は、主としてイソステアリン酸とプロピレングリコールとのジエステル(C39H76O4:609.03)からなる。
972	42	520521	ジイソステアリン酸ポリエチレングリコール		ジイソステアリン酸PEG	本品は、主としてイソステアリン酸とポリエチレングリコールのジエステルからなる。ポリエチレングリコールの平均分子量は400~600である。
973	42	520522	ジイソステアリン酸ポリグリセリル			本品は、主としてイソステアリン酸とポリグリセリルのジエステルからなる。グリセリルの平均重合度は2~10である。
974	42	101860	ジイソプロパノールアミン		DIPA	本品は、主としてジイソプロパノールアミンからなる。本品は、定量するとき、換算した脱水物に対し、ジイソプロパノールアミン(C6H15NO2:133.19)として94.0~105.0%を含む。
975	42	502066	ジイソプロピルケイ皮酸メチル		ジイソプロピル桂皮酸メチル	本品は、定量するとき、2,5-ジイソプロピルケイ皮酸メチル(C16H22O2:246.35)97.0%以上を含む。
976	42	520523	シイタケエキス		椎茸エキス	本品は、シイタケ <i>Lentinus edodes</i> Singer (Tricholomataceae) の子実体から、水、「エタノール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
977	42	522111	シイタケエキス末(1)		椎茸エキス末-1	本品は、シイタケ <i>Cortinarius shiitake</i> p. Henn. (Agaricaceae) を、湯湯で浸出したエキスを乾燥し粉末にしたもので、本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)0.6~1.2%を含む。
978	42	510040	シイタケエキス末(2)		椎茸エキス末-2	本品は、シイタケ <i>Cortinarius shiitake</i> p. Henn. (Agaricaceae) の菌糸体の加水分解により得たエキスを乾燥し、粉末にしたものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)0.6~1.2%を含む。
979	41	101808	ジエタノールアミン		DEA	本品は、主としてジエタノールアミンからなり、通例モノエタノールアミン及びトリエタノールアミンを含む。本品は、定量するとき、ジエタノールアミン(C4H11NO2:105.14)として98.0~102.0%を含む。
980	42	504159	ジ-2-エチルヘキサン酸エチレングリコール	ジオクタン酸エチレングリコール	ジエチルヘキサン酸グリコール、ジオクタン酸グリコール	本品は、主として2-エチルヘキサン酸とエチレングリコールのエステル(C18H34O4:314.47)からなる。
981	42	532071	ジ-2-エチルヘキサン酸ネオペンチルグリコール	ジオクタン酸ネオペンチルグリコール	ジエチルヘキサン酸ネオペンチルグリコール	本品は、主として2-エチルヘキサン酸とネオペンチルグリコールのジエステル(C21H40O4:356.55)からなる。
982	42	532072	ジ-2-エチルヘキシルアミン	ジオクチルアミン	ジエチルヘキシルアミン	本品は、主としてジ-2-エチルヘキシルアミン(C16H33N:241.46)からなる。
983	42	101825	ジエチレングリコール		ジグリコール	本品は、主としてジエチレングリコール(C4H10O3:106.12)からなる。
984	42	523111	ジエチレングリコールモノエチルエーテル		ジグリコールエチルエーテル、エチルカルピトール、エトキシジグリコール	本品は、主としてジエチレングリコールのモノエチルエーテル(C6H14O3:134.18)からなる。
985	42	101830	ジエチレントリアミン五酢酸		ジエチレントリアミン五酢酸	本品を乾燥したものは、定量するときジエチレントリアミン五酢酸(C14H23N3O10:393.35)97.0%以上を含む。
986	42	520528	ジエチレントリアミン五酢酸五ナトリウム		ジエチレントリアミン五酢酸5Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、ジエチレントリアミン五酢酸五ナトリウム(C14H18N3O10Na5:503.25)87.0%以上を含む。
987	41	500593	ジエチレントリアミン五酢酸五ナトリウム液		ジエチレントリアミン五酢酸5Na液	本品は、ジエチレントリアミン五酢酸五ナトリウムの水溶液である。本品を定量するとき、表示量の90~105%に対応するジエチレントリアミン五酢酸五ナトリウム(C14H18N3O10Na5:503.26)を含む。
988	42	103201	ジオウエキス			本品は、アカヤジオウ <i>Rehmannia glutinosa</i> Liboschitz var. <i>purpurea</i> Makino 又はその他同属植物(Scrophulariaceae)の根から水、「エタノール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
989	42	532234	ジオクチルシクロヘキサン			本品は、主としてジオクチルシクロヘキサン(C22H44:308.59)からなる。
990	42	501060	ジオレイン酸エチレングリコール		ジオレイン酸グリコール	本品は、主として「オレイン酸」とエチレングリコールのジエステルからなる。
991	41	500199	ジオレイン酸プロピレングリコール		ジオレイン酸PG	本品は、主として「オレイン酸」と「プロピレングリコール」のジエステルからなる。
992	42	523112	ジオレイン酸ヘキサグリセリル			本品は、主として「オレイン酸」とヘキサグリセリルのジエステルからなる。グリセリルの平均重

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						合度は6である。
993	42	502069	ジオレイン酸ポリエチレングリコール		ジオレイン酸 PEG	本品は、主として「オレイン酸」と「ポリエチレングリコール(或いはジエチレングリコール又はトリエチレングリコール)」のジエステルからなる。ポリエチレングリコールの平均分子量は、200~3000である。
994	42	532187	ジ(カプリル・カプリン酸)ネオペンチルグリコール			本品は、主としてカプリル酸とカプリン酸の混合脂肪酸とネオペンチルグリコールのジエステルからなる。
995	42	507063	ジ(カプリル・カプリン酸)プロピレングリコール		ジ(カプリル・カプリン酸)PG	本品は、カプリル酸とカプリン酸の混合脂肪酸と、プロピレングリコールとのエステルで、主としてジ(カプリル・カプリン酸)プロピレングリコールからなる。
996	41	105742	ジカプリル酸ピリキシン	ビタミンB6ジカプリル酸エステル	ビタミンB6ジカプリレート	本品は、カプリル酸と「ピリキシン」のエステルである。本品を乾燥したものは、定量するとき、ジカプリル酸ピリキシン(C <sub>24</sub> H <sub>39</sub> N <sub>5</sub> :421.58)97.0%以上を含む。
997	42	504161	ジカプリル酸プロピレングリコール		ジカプリル酸 PG	本品は、主としてカプリル酸と「プロピレングリコール」のジエステルからなる。
998	42	502070	ジカプリン酸ネオペンチルグリコール			本品は、主としてカプリン酸とネオペンチルグリコールのジエステル(C <sub>25</sub> H <sub>48</sub> O <sub>4</sub> :412.66)からなる。
999	42	502071	ジカプリン酸プロピレングリコール		ジカプリン酸 PG	本品は、主としてカプリン酸とプロピレングリコールのエステル(C <sub>23</sub> H <sub>44</sub> O <sub>4</sub> :384.60)からなる。
1000	42	501061	ジカルボエトキシパントテン酸エチル			本品は、主としてジカルボエトキシパントテン酸エチル(C <sub>17</sub> H <sub>29</sub> N <sub>9</sub> :391.41)からなる。乾燥したものは定量するとき、窒素(N:14.01)3.4~3.7%を含む。
1001	41	500201	ジグリセリン			本品は、主としてグリセリンの二量体であり、ジグリセリン(C <sub>6</sub> H <sub>14</sub> O <sub>5</sub> :116.17)からなる。
1002	42	504163	ジグリセリンオレイルエーテル	ジグリセリンモノオレイルエーテル		本品は、主としてオレイルアルコールとジグリセリンからなるエーテル(C <sub>24</sub> H <sub>48</sub> O <sub>5</sub> :416.64)である。
1003	42	108572	- シクロデキストリン			本品は、デンプンを酵素シクロデキストリングリコシルトランスフェラーゼで分解して得た環状デキストリンである。
1004	42	110559	- シクロデキストリン			本品はデンプンを酵素シクロデキストリングリコシルトランスフェラーゼで分解して得た環状のデキストリンである。
1005	42	520531	- シクロデキストリン			本品は、デンプンをシクロデキストリングリコシルトランスフェラーゼで分解して得た環状デキストリンである。
1006	51	523367	シクロデキストリン・糖アルコール混合物			本品は、デンプンを酵素分解した後、還元して得られる6~8個のグルコースが、1,4-グルコシド結合により環状に結合したシクロデキストリンと糖アルコールの混合物である。
1007	42	532253	自己乳化型酒石酸ジアルキル(14,15)		SE酒石酸ジアルキル(14,15)	本品は、主として「酒石酸ジアルキル(14,15)」と、「ポリオキシエチレンポリオキシプロピレノラウリルエーテル」,「ポリオキシエチレンアルキル(12,13)エーテル(⅜.O.)」,「ポリオキシエチレンアルキル(14,15)エーテル(⅞.O.)」及び「ポリオキシエチレンアルキル(14,15)エーテル(1⅝.O.)」との混合物である。
1008	42	109237	自己乳化型ステアリン酸プロピレングリコール		SEステアリン酸 PG	本品はステアリン酸プロピレングリコールとステアリン酸のナトリウム又はカリウム塩の混合物である。
1009	42	523113	自己乳化型モノステアリン酸エチレングリコール		SEステアリン酸グリコール	本品は、主としてステアリン酸とエチレングリコールとのモノエステルからなり、遊離ステアリン酸及びステアリン酸カリウムを含む。
1010	41	102543	自己乳化型モノステアリン酸グリセリン		SEステアリン酸グリセリン	本品は、「ステアリン酸」とグリセリンのモノエステルと、その他の界面活性剤との混合物である。
1011	42	523114	自己乳化型モノステアリン酸プロピレングリコール		SEステアリン酸 PG	本品は、主としてモノステアリン酸プロピレングリコールとジエチルアミノエチル(パルミン酸・ステアリン酸)エステルとの混合物である。
1012	42	510041	自己乳化型モノステアリン酸ポリエチレングリコール(2E.O.)		SEステアリン酸 PEG(2)	本品は、主としてポリエチレングリコールのステアリン酸エステルからなり、少量のポリエチレングリコールのジステアリン酸エステル、ステアリン酸カリウム及び硬化油を含み、酸化エチレンの平均付加モル数は2である。
1013	42	502074	シコニン			本品を乾燥したものは、定量するとき、シコニン(C <sub>16</sub> H <sub>16</sub> O <sub>5</sub> :288.30)85.0%以上を含む。
1014	42	103874	シコンエキス			本品は、ムラサキ Lithospermum erythrorhizon Siebold et Zuccarini (Boraginaceae)の根から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液又はこれらの微アルカリ性溶液にて抽出して得られるエキスである。
1015	42	509060	シコン色素処理シルクパウダー(1)		シコン色素処理シルク末-1	本品は、「シルク末」を、ムラサキ Lithospermum erythrorhizon Siebold et Zuccarini

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						(Boraginaceae)の根の水抽出液に浸漬した後、ろ過して乾燥したものである。
1016	42	509061	シコン色素処理シルクパウダー (2)	シコン処理シルクパウダー	シコン色素処理シルク末- 2、シコン処理シルク末	本品は、「シルク末」を、ムラサキ Lithospermum erythrorhizon Siebold et Zuccarini (Boraginaceae)の根のエタノール抽出液に浸漬した後、ろ過して乾燥したものである。
1017	42	520536	シコン末			本品は、ムラサキ Lithospermum erythrorhizon Siebold et Zuccarini (Boraginaceae)の根を粉末にしたものである。
1018	42	532073	ジ酢酸モノステアリン酸グリセリル	ジ酢酸ステアリン酸グリセリル	ジ酢酸ステアリン酸グリセリル	本品は、主として酢酸 2モル、ステアリン酸 1モル及びグリセリンからなるトリエステル (C 29H 46O 6: 442.00)からなる。
1019	99	999999	ジ水添ロジンダイマージリル			本品は、主としてリノール酸を 2~ 3分子重合して得られたダイマー酸を水素還元し、更に蒸留精製することによって得られたダイマージオールと水素添加ロジンを結合させたジエステルである。
1020	41	103758	L- シスチン		シスチン	本品を乾燥したものは、定量するとき、L- シスチン (C 6H 12N 2O 4S 2: 240.29) 97.0~ 102.0%を含む。
1021	42	501064	ジステアリン酸エチレングリコール		ジステアリン酸グリコール	本品は、ステアリン酸とエチレングリコールのジエステル (C 38H 74O 4: 595.01)からなる。
1022	42	503060	ジステアリン酸グリセリル			本品は、主として「ステアリン酸」とグリセリンのジエステルである。
1023	42	502075	ジステアリン酸ジエチレングリコール		ジステアリン酸ジグリコール	本品は、主として「ステアリン酸」とジエチレングリコールのジエステル (C 40H 78O 5: 639.05)からなる。
1024	42	501065	ジステアリン酸ソルビタン			本品は、主として「ステアリン酸」とソルビタンのジエステルからなる。
1025	42	523115	ジステアリン酸プロピレングリコール		ジステアリン酸 PG	本品は、主としてステアリン酸とプロピレングリコールのジエステル (C 39H 76O 4: 609.03)からなる。
1026	99	999999	ジステアリン酸ポリエチレングリコール			本品は、主としてポリエチレングリコールのステアリン酸ジエステルからなる。(主O.)
1027	42	523116	ジステアリン酸ポリエチレングリコール (1)		ジステアリン酸 PEG- 1	本品は、主としてステアリン酸とポリエチレングリコールのジエステルからなる。ポリエチレングリコールの平均分子量は、134~ 7000である。
1028	42	523117	ジステアリン酸ポリエチレングリコール (2)		ジステアリン酸 PEG- 2	本品は、主としてステアリン酸とポリエチレングリコールとのジエステルからなる。ポリエチレングリコールの平均分子量は 11,000である。
1029	42	520543	ジステアリン酸ポリオキシエチレントリメチロールプロパン		ジステアリン酸 POE・TM P	本品は、主としてステアリン酸とポリオキシエチレントリメチロールプロパンとのジエステルからなり、酸化エチレンの平均付加モル数は 4である。
1030	42	520544	ジステアリン酸ポリオキシエチレンメチルグルコシド		ジステアリン酸 POEメチルグルコシド	本品は、主として、ステアリン酸とメチルグルコシドとのジエステルに酸化エチレンを付加重合したものであり、酸化エチレンの平均付加モル数は 20である。
1031	42	520545	ジステアリン酸ポリオキシプロピレンメチルグルコシド		ジステアリン酸 POPメチルグルコシド	本品は、主として、ステアリン酸とメチルグルコシドのジエステルに酸化プロピレンを付加重合したものであり、酸化プロピレンの平均付加モル数は 20である。
1032	42	520546	ジステアリン酸ポリグリセリル			本品は、主としてステアリン酸とポリグリセリンのジエステルからなる。グリセリンの平均重合度は 6~ 10である。
1033	41	003614	L- システイン		システイン	本品を乾燥したものは、定量するとき、L- システイン (C 3H 7NO 2S : 121.16) 97.0~ 102.0%を含む。
1034	42	511032	ジセトステアリン酸モノエタノールアミン		ジセトステアリン酸 MEA	本品は、主としてリン酸とセトステアリンアルコールのジエステルのモノエタノールアミン塩である。
1035	42	523118	シソエキス (1)		シソエキス- 1、紫蘇エキス- 1	本品は、シソ Perilla frutescens Britton var. acuta Kudo 又はその他近縁植物 (Labiatae) の葉及び枝先から「1, 3- ブチレングリコール」、エタノール溶液又は 1, 3- ブチレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
1036	42	523119	シソエキス (2)	ソウエキス (2)	シソエキス- 2、紫蘇エキス- 2、ソウエキス- 2	本品は、シソ Perilla frutescens Britton var. acuta Kudo 又はその他近縁植物 (Labiatae) の葉から水で抽出して得られるエキスで、通常「エタノール」を含む。
1037	51	523370	ジチオジグリコール酸			本品は、定量するとき、ジチオジグリコール酸 (C 4H 6O 4S 2) 90.0%以上を含む。
1038	42	523120	ジチオジグリコール酸ジアンモニウム液			本品は、ジチオジグリコール酸ジアンモニウムの水溶液で、定量するとき、ジチオジグリコール酸 (C 4H 6O 4S 2: 182.22) として表示量の 95.0~ 105.0%を含む。
1039	42	101637	シトステロール			本品は、主として - シトステロール (C 29H 50O : 414.71)からなる。
1040	31	520549	シトラール			本品は、シトラール (C 10H 16O) 96.0%以上を含む。
1041	41	500207	シトロネロール			本品は、定量するとき、シトロネロール (C 10H 18O : 154.25) 85.0%以上を含む。
1042	41	500208	シトロネロール			本品は、主としてシトロネロールからなり、その他のテルペンアルコール類を含む。本品は、



連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						定量するとき、シトロネロール (C 10H 200:156.27)として94.0%以上を含む。
1043	42	520550	シナノキエキス			本品は、Tilia cordata Mill.、Tilia platylos Scop.又はTilia europaea Linne' (Tiliaceae)の花又は葉から、水、「エタノール」、「グリセリン」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1044	31	999999	1,8-シネオール	ユーカリプトル		本品は、1,8-シネオール (C 10H 180)85.0%以上を含む。
1045	41	500209	シノキサート			本品は、定量するとき、シノキサート(C 14H 1804:250.29)95.0~105.0%を含む。
1046	42	502079	ジノナン酸プロピレングリコール	ジベラルゴン酸プロピレングリコール	ジノナン酸PG、ジベラルゴン酸PG	本品は、ノナン酸とプロピレングリコールのジエステルである。
1047	42	508053	ジパラメキシケイ皮酸モノ-2-エチルヘキサ酸グリセリル		ジパラメキシケイ皮酸エチルヘキサ酸グリセリル、ジパラメキシ桂皮酸エチルヘキサ酸グリセリル	本品は、グリセリン1分子、パラメキシケイ皮酸2分子及び2-エチルヘキサ酸1分子から構成されるトリグリセリドである。本品は、定量するとき、ジパラメキシケイ皮酸モノ-2-エチルヘキサ酸グリセリル (C 31H 3808:538.64)93.0%以上を含む。
1048	41	500210	ジパルチン酸アスコルビル	ビタミンCジパルチン酸エステル	ビタミンCジパルチート	本品は、「パルチン酸」と「アスコルビン酸」のジエステルである。本品を乾燥したものは、定量するとき、ジパルチン酸-L-アスコルビル (C 38H 6808:652.95)97.0%以上を含む。
1049	41	105744	ジパルチン酸ピリキシン	ビタミンB6ジパルチン酸エステル	ビタミンB6ジパルチート	本品は、「パルチン酸」と「ピリキシン」のジエステルである。本品を乾燥したものは、定量するとき、ジパルチン酸ピリキシン (C 40H 71NO 5:646.00)97.0%以上を含む。
1050	42	508054	ジパルチン酸ポリエチレングリコール150	ジパルチン酸トリエチレングリコール	ジパルチン酸PEG150、ジパルチン酸PEG(3)、ジパルチン酸トトリグリコール	本品は、主としてパルチン酸とポリエチレングリコール150のジエステルからなる。
1051	42	504172	ジヒドロキシエチルラウリルアミノオキシド液			本品は、主としてジヒドロキシエチルラウリルアミノオキシドの水溶液である。
1052	42	501066	ジヒドロキシジメキシベンゾフェノン			本品を乾燥したものは、定量するとき、2,2'-ジヒドロキシ-4,4'-ジメキシベンゾフェノン (C 15H 14O 5:274.26)95.0~105.0%を含む。
1053	42	501067	ジヒドロキシジメキシベンゾフェノンジスルホン酸ナトリウム	2,2'-ジヒドロキシ-4,4'-ジメキシベンゾフェノン-5,5'-ジスルホン酸Na	ジヒドロキシジメキシベンゾフェノンジスルホン酸ナトリウム	本品は、ジヒドロキシジメキシベンゾフェノンをスルホン化したもののナトリウム塩である。
1054	42	501068	ジヒドロキシベンゾフェノン			本品は、主として2,4-ジヒドロキシベンゾフェノン (C 13H 10O 3:214.22)である。
1055	41	500212	ジヒドロコlesteroール			本品を乾燥したものは、定量するとき、ジヒドロコlesteroール (C 27H 48O:388.68)として95.0%以上を含む。
1056	42	532074	ジヒドロラノステロール			本品は、「ラノステロール」を還元して得られるデルペンアルコールである。本品を乾燥したものは、定量するとき、ジヒドロラノステロール (C 30H 52O:428.75)95.0%以上を含む。
1057	42	509062	ジ-dl-ピロリドンカルボン酸アルミニウム液		ジ-dl-PCA・A液	本品は、ジ-dl-ピロリドンカルボン酸アルミニウムの40%水溶液であり、定量するとき、ジ-dl-ピロリドンカルボン酸アルミニウム (C 10H 13AlN 2O 7:300.19)として38~42%を含む。
1058	42	532293	ジフェニルポリシロキサン・ジメチルポリシロキサン共重合体		ジフェニルポリシロキサン・ジメチル共重合体	本品は、10~20モルのジフェニルシロキサンと250~350モルのジメチルシロキサンからなる共重合体である。
1059	41	005217	ジブチルヒドロキシトルエン		BHT	本品は、主としてジブチルヒドロキシトルエン (C 15H 24O:220.35)からなる。
1060	41	101938	ジプロピレングリコール		DPG	本品は、主としてジプロピレングリコール (C 6H 14O 3:134.17)からなる。
1061	42	523121	ジヘプタデシルケトン	ステアロン		本品は、主としてジヘプタデシルケトン (C 35H 70O:506.94)からなる。
1062	42	532075	ジペンタエリトリット(2-エチルヘキサ酸・ベヘン酸)エステル		(エチルヘキサ酸・ベヘン酸)ジペンタエリトリット、(エチルヘキサ酸・ベヘン酸)ジペンタエリトリル	本品は、2-エチルヘキサ酸及びベヘン酸からなる混合脂肪酸とジペンタエリトリットとのエステルである。
1063	42	504174	ジペンタエリトリット脂肪酸エステル(1)		脂肪酸ジペンタエリトリル-1	本品は、主として12-ヒドロキシステアリン酸、ステアリン酸、ロジン酸からなる混合酸とジペンタエリトリットのエステルからなる。
1064	42	508055	ジペンタエリトリット脂肪酸エステル(2)		脂肪酸ジペンタエリトリル-2	本品は、主としてイソステアリン酸と12-ヒドロキシステアリン酸からなる混合脂肪酸とジペンタエリトリットのエステルからなる。
1065	99	999999	ジポリヒドロキシステアリン酸ポリエチレングリコール		ジポリヒドロキシステアリン酸PEG	本品は、主としてポリエチレングリコールとポリヒドロキシステアリン酸のジエステルで、平均分子量は4500である。
1066	42	509063	ジミスチン酸アルミニウム		ジミスチン酸A1	本品は、主としてジミスチン酸アルミニウムからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、アルミニウム (Al:25.98)4.5~7.0%を含む。
1067	51	523371	ジミスチン酸プロピレングリコール		ジミスチン酸PG	本品は、主として「ミスチン酸」と「プロピレングリコール」のジエステル (C 39H 76O 4:553.3)

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						からなる。
1068	42	508056	ジメチルアミノエチルメタクリレート処理シルクパウダー		メタクリル酸ジメチルアミノエチル処理シルク末、ジメチルアミノエチルメタクリレート処理シルク末	本品は、カイコガ Bombyx mori (Bombycidae)のまゆから得られる絹を精練し、微細化した後、ジメチルアミノエチルメタクリレートで表面処理したものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素 (N : 14.01) 12.0~ 16.0%を含む。
1069	41	005219	ジメチルエーテル		DME	本品は、主として、ジメチルエーテル (C 2H 6O)からなる。
1070	42	504268	ジメチルオクタノ酸オクチルトリデシル	ネオデカン酸オクチルトリデシル		本品は、定量するとき、ジメチルオクタノ酸オクチルトリデシル (C 30H 60O2 : 452.81)を90.0%以上含む。
1071	41	500215	ジメチルオクタノ酸ヘキシルデシル		ネオデカン酸ヘキシルデシル	本品は、主として、2,2-ジメチルオクタノ酸と2-ヘキシルデカノールのエステル (C 26H 52O2 : 396.70)からなる。
1072	42	520553	ジメチルジステアリルアンモニウムヘクトライト	塩化ジステアリルジメチルアンモニウム処理ヘクトライト	ジステアリルジメチルアンモニウムヘクトライト	本品は、ヘクトライト中の主としてナトリウムイオンからなるカチオンをジステアリルジメチルアンモニウムでイオン交換して得られるものである。
1073	42	520554	ジメチルジステアリルアンモニウムベントナイト	塩化ジステアリルジメチルアンモニウム処理ベントナイト	ジステアリルジメチルアンモニウムベントナイト	本品は、ベントナイト中の主としてナトリウムイオンからなるカチオンをジステアリルジメチルアンモニウムでイオン交換して得られるものである。
1074	42	532260	ジメチルシラノール・ヒアルロン酸縮合液			本品は、主としてジメチルシラノールのヒアルロン酸ジエステルの水溶液で、ムコ多糖を含むものもある。
1075	99	999999	ジメチルシロキサン・メチル(ウンデシルグリセリルエーテル)シロキサン共重合体		ジメチルシロキサン・メチルウンデシルグリセリルエーテルシロキサン共重合体	本品は、ジメチルシロキサンとメチル(ウンデシルグリセリルエーテル)シロキサンの共重合体である。
1076	42	532294	ジメチルシロキサン・メチル[3-[3-(N-カルボキシトメチル-N-(2-ヒドロキシエチル)-N-メチルアンモニオ)-2-ヒドロキシプロポキシ]プロピル]シロキサン共重合体液	酢酸ベタイングラフト化ポリシロキサン液	ジメチルシロキサン・メチルカルボキシトメチルヒドロキシエチルメチルアンモニオヒドロキシプロポキシプロピルシロキサン共重合体液	本品は、主としてジメチルシロキサンとメチル[3-[3-(N-カルボキシトメチル-N-(2-ヒドロキシエチル)-N-メチルアンモニオ)-2-ヒドロキシプロポキシ]プロピル]シロキサンの共重合体からなる。
1077	42	508057	ジメチルシロキサン・メチルステアロキシシロキサン共重合体	ジメチル / ステアロキシシロキサン		本品は、ジメチルシロキサンとメチルステアロキシシロキサンの共重合体である。
1078	42	508058	ジメチルシロキサン・メチルセチルオキシシロキサン共重合体			本品は、ジメチルシロキサンとメチルセチルオキシシロキサンの共重合体である。
1079	42	508059	ジメチルステアリルアミン		ステアリルジメチルアミン	本品は、主としてジメチルステアリルアミン (C 20H 43N : 297.57)からなる。
1080	42	520561	N,N-ジメチル-N-ラウロイル-DL-リジン		ジメチルラウロイル-DL-リジン	本品は、主としてN,N-ジメチル-N-ラウロイル-DL-リジンからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素 (N : 14.01) 7.1~ 8.0%を含む。
1081	42	523122	ジメチルシベンジリデンジオキソイミダゾリジンプロピオン酸2-エチルヘキシル	(Z)-4-(3,4-ジメチルシベンジリデン)-2,5-ジオキソ-1-イミダゾリジンプロピオン酸2-エチルヘキシル	ジメチルシベンジリデンジオキソイミダゾリジンプロピオン酸エチルヘキシル	本品は、定量するとき、(Z)-4-(3,4-ジメチルシベンジリデン)-2,5-ジオキソ-1-イミダゾリジンプロピオン酸2-エチルヘキシル (C 23H 32N 2O 6 : 432.52) 98.0%以上を含む。
1082	42	520562	シモツケソウエキス	シモツケエキス		本品は、セイヨウナツユキソウ Filipendula ulmaria Maximowicz (Rosaceae)の花序から「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの水溶液で抽出して得られるエキスである。
1083	42	520563	ジモンタン酸エチレングリコール・ジモンタン酸ブタンジオール混合物		ジモンタン酸グリコール・ジモンタン酸ブタンジオール混合物	本品は、主としてモンタン酸と「1,3-ブタンジオール」及びエチレングリコールからなるジエステルの混合物である。
1084	42	105085	シャクヤクエキス	シャクヤク浸出液		本品は、シャクヤク Paeonia lactiflora Pallas (Paeonia albiflora Pallas var. trichocarpa Bunge) 又はその他近縁植物 (Paeoniaceae)の根から、水、「エタノール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1085	41	500216	(臭化アルキルイソキノリウム液)			
1086	01	001317	臭化カリウム		臭化K	本品を乾燥したものは定量するとき、臭化カリウム (KBr) 99.0%以上を含む。
1087	42	504180	臭化ステアリルトリメチルアンモニウム			本品は、主として臭化ステアリルトリメチルアンモニウムからなり、通常「イソプロパノール」、「エタノール」、水又はこれらの混液を含む。本品は、定量するとき、臭化ステアリルトリメチルアンモニウム (C 21H 46BrN : 392.51)として、表示量の90~ 110%を含む。
1088	41	500217	(臭化セチルトリメチルアンモニウム液)			
1089	42	510043	(臭化セチルトリメチルアンモニウム末)			
1090	41	102022	臭化トシフェン			本品は、主として臭化トシフェンからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、臭化トシフェン

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						ン(C <sub>2</sub> H <sub>4</sub> OBrNO)として95.0~105.0%を含む。
1091	42	504181	臭化ラウリルトリメチルアンモニウム	ラウリルトリメチルアンモニウムブロマイド		本品は、定量するとき、臭化ラウリルトリメチルアンモニウム(C <sub>15</sub> H <sub>34</sub> NBr:308.36)として表示量の90~110%を含む。
1092	41	500219	シュウ酸ナトリウム		シュウ酸Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、シュウ酸ナトリウム(C <sub>2</sub> Na <sub>2</sub> O <sub>4</sub> :134.00)99.0%以上を含む。
1093	41	102774	重質炭酸カルシウム		重質炭酸Ca	本品は、炭酸カルシウムの原石を粉砕して製したものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、炭酸カルシウム(CaCO <sub>3</sub> :100.09)97.0%以上を含む。
1094	41	001398	重質炭酸マグネシウム		重質炭酸Mg	本品は、含水塩基性炭酸マグネシウム又は含水正炭酸マグネシウムからなる。本品は、定量するとき、酸化マグネシウム(MgO:40.30)として40.0~43.5%を含む。
1095	42	502171	重質流動イソパラフィン	水素添加ポリブテン	水添ポリブテン	本品は、イソブテンとn-ブテンを共重合した後、水素添加して得られる側鎖を有する炭化水素の混合物である。
1096	41	500223	臭素酸ナトリウム		臭素酸Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、臭素酸ナトリウム(NaBrO <sub>3</sub> :150.89)98.5%以上を含む。
1097	42	523123	縮合リシノレイン酸ポリグリセリル			本品は、主としてリシノレイン酸の5量体とポリグリセリンのエステルからなる。グリセリンの平均重合度は6である。
1098	42	510044	ジュズダマエキス			本品は、ジュズダマ <i>Coix lacryma-jobi</i> L. var. <i>susutama</i> Honda (Gramineae) からエタノール溶液にて抽出して得られたエキスを蒸発乾燥したものの50%エタノール溶液である。
1099	42	520567	ジュズダマ油			本品は、ジュズダマ <i>Coix lacryma-jobi</i> Linne (Gramineae) の種子から得た脂肪油である。
1100	41	001325	酒石酸			本品を乾燥したものは、定量するとき、酒石酸(C <sub>4</sub> H <sub>6</sub> O <sub>6</sub> :150.09)99.7%以上を含む。
1101	42	532255	酒石酸ジアルキル(12,13)			本品は、主として酒石酸と炭素数12,13の分岐アルキル基を有するアルコールのジエステルである。
1102	42	532254	酒石酸ジアルキル(14,15)			本品は、主として酒石酸と炭素数14,15のアルキル基を有するアルコールのジエステルである。
1103	01	120115	シヨウキョウ	生姜		本品はシヨウガ <i>Zingiber officinale</i> Roscoe (Zingiberaceae) の根茎である。
1104	42	510045	シヨウキョウエキス(2)		シヨウキョウエキス-2	本品は、シヨウガ <i>Zingiber officinale</i> Roscoe (Zingiberaceae) の根茎から水、「エタノール」又はこれらの混合液にて抽出して得られるエキスである。
1105	41	106536	シヨウキョウチンキ		シヨウキョウエキス	本品は、シヨウガ <i>Zingiber officinale</i> Roscoe (Zingiberaceae) の根茎をエタノールで浸出して製したチンキ剤で、本品100mLは、日本薬局方シヨウキョウを粗末にしたもの20gに薄めた「エタノール」(37-50)約600mLを加え、時々かき混ぜながら可溶性成分がじゅぶんに溶けるまで放置して布ごしし、残留物を薄めた「エタノール」(37-50)少量で洗い、圧搾し、浸出液及び洗液を合わせ、2日間放置した後、ろ過し、更に薄めた「エタノール」(37-50)を加えて全量を1000mLとして製する。
1106	99	001332	硝酸カリウム		硝酸K	本品を乾燥したものは、定量するとき、硝酸カリウム(KNO <sub>3</sub> :101.10)を99.0%を以上含む。
1107	42	520568	焼成セリサイト	焼成絹雲母		本品は、「セリサイト」を1000℃で2時間焼成したものである。
1108	41	002231	焼セッコウ			本品は、主としてCaSO <sub>4</sub> ・1/2H <sub>2</sub> Oからなる。
1109	99	999999	シヨウブエキス末			本品はシヨウブ <i>Acorus calamus</i> L.var. <i>angustatus</i> Besser の乾燥根茎を精製水にて抽出し、粉末としたものである。
1110	99	999999	シヨウブ抽出液		シヨウブエキス	シヨウブ <i>Acorus Calamus</i> Linne var. <i>angustatus</i> Besser の根茎(蒼蒲根)を30/v%エタノールにて抽出したものである。
1111	42	520569	シヨウブ根エキス			本品は、シヨウブ <i>Acorus calamus</i> Linne var. <i>angustatus</i> Besser (Araceae) の根茎から、エタノール溶液にて抽出して得られるエキスである。
1112	42	121053	シヨウブ根末			本品は、シヨウブ <i>Acorus calamus</i> Linne var. <i>angustatus</i> Besser 又はその他同属植物(Araceae)の根茎を粉末にしたものである。
1113	42	507066	蒸留ハッカ水			本品はセイヨウハッカ <i>Mentha piperita</i> L.(Labiatae)を水蒸気蒸留によって得られる水層成分である。
1114	42	520576	植物性スクワラン			本品は、「オリブ油」、「コマヌカ油」、「コムギ胚芽油」、「ゴマ油」などの植物油から抽出されたスクワランを水素添加したものである。本品は定量するとき、スクワラン(C <sub>30</sub> H <sub>62</sub> :422.82)7

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						5.0%以上を含有する。
1115	99	999999	植物抽出液 HS			本品は下記に示す各生薬をそれぞれ別個に90v/v%エタノールで抽出し、得られた成分を50v/v%エタノールに溶かし規定量としたのち、各抽出液を等量ずつ混合したものである。
1116	99	999999	植物抽出液<ノナコンプレックス>			本品は下記に示す各植物をそれぞれ50% 1,3-ブチレングリコールで抽出し、得られた抽出液を等量ずつ混合したものである。
1117	42	523126	植物油脂肪酸グリセリル・植物油脂肪酸ポリエチレングリコール混合物	植物油・ポリエチレングリコールエステル混合物	植物油脂肪酸グリセリル・植物油脂肪酸PEG混合物、植物油・PEGエステル混合物	本品は、植物油と分子量300~400のポリエチレングリコールとのエステル交換により得られるもので、主として、不飽和脂肪酸のグリセリドと、不飽和脂肪酸とポリエチレングリコールのモノ、ジエステルからなる。
1118	42	502082	シロ糖酢酸イン酪酸エステル			本品は、酢酸及びイン酪酸の混合物とシロ糖のエステルである。
1119	41	005227	シロ糖脂肪酸エステル			本品は、脂肪酸とシロ糖のエステルからなる。
1120	42	523127	ジラウリン酸グリセリル			本品は、主として「ラウリン酸」とグリセリンのジエステル(C27H55O5:426.47)からなる。
1121	42	501072	ジラウリン酸ジエチレングリコール		ジラウリン酸ジグリコール	本品は、主として「ラウリン酸」と「ジエチレングリコール」のジエステルからなる。
1122	42	502083	ジラウリン酸ポリエチレングリコール	ポリオキシエチレンジラウリン酸	ジラウリン酸PEG、POEジラウリン酸	本品は、主として「ラウリン酸」とポリエチレングリコールのジエステルからなる。酸化エチレンの平均付加モル数は4~70である。
1123	42	520581	シラカバエキス	バーチエキス		本品は、ヨーロッパシラカバ <i>Betula pendula</i> Roth. 又はその他同属植物 (Betulaceae) の葉、樹皮又は木部から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液で抽出して得られるエキスである。
1124	42	532076	シラカバエキス(2)	バーチエキス	シラカバエキス-2	本品は、ヨーロッパシラカバ <i>Betula alba</i> Linne (Betulaceae) の葉及び樹液から水と「1,3-ブチレングリコール」の混液で抽出して得られるエキスである。
1125	42	520582	シラカバ樹液			本品は、ヨーロッパシラカバ <i>Betula pendula</i> Linne (Betulaceae) の幹より採取した樹液である。
1126	99	999999	紫蘭根エキス			本品は、シラン(紫蘭) <i>Bletilla striata</i> (Thunb.) Reichb.fil. の球根を乾燥したのち、水にて抽出して得られるエキスである。
1127	41	500227	シリコン樹脂			本品は、主としてメチルポリシロキサンに微粉状の二酸化ケイ素を配合し、熱処理等を行ったものである。
1128	42	509064	ジリシノレイン酸ポリエチレングリコール		ジリシノレイン酸PEG	本品は、主として「リノレイン酸」とポリエチレングリコール1000のジエステルからなり、「プロピレングリコール」及び水を含む。
1129	42	509065	ジリノール酸・エチレンジアミン縮合物			本品は、「リノール酸」を主とする不飽和脂肪酸の2量体とエチレンジアミンの等モル縮合物である。
1130	42	532267	シリル化処理無水ケイ酸			本品は、無水ケイ酸の表面をシリル化剤により処理して得られるものである。
1131	42	507067	シルク抽出液			本品は、カイコガ <i>Bombyx mori</i> Linnaeus (Bombycidae) から得られる絹繊維を希硫酸溶液で抽出して得られたペプタイド溶液であり、窒素(N:14.01)として、0.3~0.7w/v%含む。
1132	42	520585	シルク末	絹粉、シルクパウダー		本品は、カイコガ <i>Bombyx mori</i> Linnaeus (Bombycidae) のまゆから得られる絹繊維より得たフィブロインの粉体である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)13.0~20.0%を含む。
1133	99	999999	ジンギベルブルブレウム根エキス			本品は、 <i>Zingiber purpureum</i> Roxb. (Zingiberaceae) の根茎を90v/v%エタノール溶液にて抽出し、得られた成分を1,3-ブチレングリコールに溶かしたものである。
1134	99	999999	親水性乳酸菌発酵米			本品は、コムギ( <i>Oryza sativa</i> Linne. (Gramineae))の種子から得られる精白米を乳酸菌で発酵させたのち、水洗、乾燥、粉碎して得られた乳酸菌発酵米に粧原基「レーアルギニン」及び粧配規「マルチオール液」を配合した粉体である。
1135	41	108943	親油型モノオレイン酸グリセリル		親油型オレイン酸グリセリル	本品は、主として「オレイン酸」とグリセリンのモノエステルからなり、ジエステル、トエステル等も含む。
1136	41	102544	親油型モノステアリン酸グリセリル		親油型ステアリン酸グリセリル	本品は、主として「ステアリン酸」とグリセリンのモノエステルからなり、ジエステル、トエステル等も含む。
1137	42	520587	スイカズラエキス			本品は、スイカズラ <i>Lonicera japonica</i> Thunberg 又はその他同属植物 (Caprifoliaceae) の花、葉又は茎から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液で抽出して得られるエキスである。
1138	42	100446	水酸化アルミニウム		水酸化A1	本品を乾燥したものは、定量するとき、水酸化アルミニウム (Al(OH)3:77.99)98.0%以上

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						を含む。
1139	41	001346	水酸化カリウム		水酸化 K	本品は、定量するとき、総アルカリ(KOH として)85.0%以上を含み、このうち炭酸カリウム( $\text{K}_2\text{CO}_3$ :138.21)は、3.5%以下である。
1140	41	002217	水酸化カルシウム	消石灰	水酸化 Ca	本品は、定量するとき、水酸化カルシウム ( $\text{Ca(OH)}_2$ :74.09)90.0%以上を含む。
1141	41	500232	水酸化クロム		水酸化 Cr	本品は、主としてオキシ水酸化クロム ( $\text{Cr}_2\text{O}_3(\text{OH})_4$ )からなる。本品は、定量するとき、三酸化クロム ( $\text{Cr}_2\text{O}_3$ :151.99)として65.0%以上を含む。
1142	42	532077	水酸化大豆リン脂質			本品は、「大豆リン脂質」に水酸基を導入したものである。
1143	41	001347	水酸化ナトリウム		水酸化 Na	本品は、定量するとき、総アルカリ(NaOH として)95.0%以上を含み、このうち炭酸ナトリウム( $\text{Na}_2\text{CO}_3$ :105.99)は3.0%以下である。
1144	01	001347	水酸化ナトリウム		水酸化 Na	本品は定量するとき、水酸化ナトリウム (NaOH)95.0%以上を含む。
1145	42	103940	水酸化マグネシウム		水酸化 Mg	本品を乾燥したものは、定量するとき、水酸化マグネシウム ( $\text{Mg(OH)}_2$ :78.34)95.0%以上を含む。
1146	42	523129	水素添加エステルガム		水添エステルガム	本品は、主として不均化デヒドロアビエチン酸及びピテラヒドロアビエチン酸からなる混合物のグリセリンエステルを水素添加したものである。
1147	42	505076	水素添加ジテルペン		水添ジテルペン	本品は、ジペンテンの重合により得られるジテルペンの混合物を水素添加して得られる飽和炭化水素である。
1148	42	509066	水素添加スチレン・メチルスチレン・インデン共重合体		水添スチレン・メチルスチレン・インデン共重合体	本品は、スチレン・メチルスチレン・インデン共重合体を水素添加したものである。
1149	42	504185	水素添加大豆油脂脂肪酸グリセリル	モノ水添大豆油脂脂肪酸グリセリル	水添大豆油脂脂肪酸グリセリル	本品は、主として、水素添加した大豆油脂脂肪酸のモノグリセリドよりなる。
1150	42	520589	水素添加大豆リン脂質	水素添加酵素処理大豆リン脂質	水添大豆リン脂質、水添酵素処理大豆リン脂質	本品は、「大豆リン脂質」を酵素処理して得たリン脂質を水素添加したものである。
1151	42	506017	水素添加大豆リン脂質		水添大豆リン脂質	本品は、「大豆リン脂質」を水素添加したものである。
1152	99	999999	水素添加大豆リン脂質 M			本品は、「大豆リン脂質」を水素添加したもので、主としてリン脂質からなる。
1153	42	509067	水素添加トテルペン混合物		水添トテルペン混合物	本品は、ジペンテンの重合により得られるトテルペンの混合物に水素添加して得られる飽和炭化水素である。
1154	42	520591	水素添加ホバ油		水添ホバ油	本品は、「ホバ油」を水素添加して得られるものである。
1155	42	505093	水素添加ヤシ油		水添ヤシ油	本品は、「ヤシ油」を水素添加して得たものである。
1156	42	520592	水素添加ヤシ油脂肪酸		水添ヤシ油脂肪酸	本品は、「ヤシ油脂肪酸」を水素添加して得られる飽和脂肪酸である。
1157	41	110019	水素添加ラノリンアルコール		水添ラノリンアルコール	本品は、「ラノリンアルコール」をに水素を添加して得られるものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、コレステロール ( $\text{C}_{27}\text{H}_{46}\text{O}$ :386.66)30.0%以上を含む。
1158	42	507090	水素添加卵黄油		水添卵黄油	本品は、ニワトリ Gallus gallus domesticus Brisson の卵黄から得た油を水素添加したものである。
1159	42	523130	水素添加卵黄レシチン	水素添加卵黄リン脂質	水添卵黄レシチン、水添卵黄リン脂質	本品は、ニワトリ Gallus gallus domesticus Brisson (Phasianidae)の卵黄から得たリン脂質を水素添加したものである。本品は、定量するとき、リン脂質として、表示量の90.0%以上を含む。
1160	42	523131	水素添加ロジン		水添ロジン	本品は、「ロジン」を水素添加したものである。
1161	42	510046	水溶性エラスチン			本品は、「ウシ Bos taurus Linne' var. domesticus Gmelin の頸部の腱より抽出したエラスチンを、可溶化したものである。本品は、定量するとき、エラスチン3.5~5.5mg/mL を含む。
1162	42	503070	水溶性コラーゲン			本品は、「ウシ Bos Taurus Linne' var. domesticus Gmelin (Bovidae)又はブタ Sus scrofa Linne' var. domesticus (Suidae)の皮膚、骨髄組織から抽出したコラーゲンを乾燥したものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)14.0~19.0%を含む。
1163	99	999999	水溶性コラーゲン液			本品は、キンメダイ目キンメダイ科 (Bericidae)の魚の皮から酢酸溶液で抽出して得られるコラーゲンの水溶液である。
1164	42	522038	水溶性コラーゲン液(1)		水溶性コラーゲン液-1	本品は、「ウシ Bos taurus Linne' var. domesticus Gmelin(Bovidae)又はブタ Sus scrofa Linne' var. domesticus (Suidae)の皮膚、骨髄組織から水、「エタノール」又はこれらの混液で抽出したコラーゲンの水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)0.02~4.2%を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1165	42	532295	水溶性コラーゲン液(3)		水溶性コラーゲン液-3	本品は、カレイ目ウシノミタ科(Cynoglossidae)の魚の皮から酢酸溶液で抽出して得られるコラーゲンの水溶液である。本品を定量するとき、窒素(N:14.01)0.02~1.0%を含む。
1166	99	999999	水溶性コラーゲン液(4)		水溶性コラーゲン液-4	本品は、キハダThunnus albacares(Bonnaterre)の魚皮から水で抽出したコラーゲンの水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)0.02%~1.0%を含む。
1167	99	999999	水溶性プロテオグリカン			本品は、フカヒレの軟骨から抽出されたプロテオグリカンの水溶液である。
1168	42	106971	スギナエキス			本品は、スギナEquisetum arvense Linne'(Equisetaceae)の全草より水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液、もしくは1%尿素含有エタノール溶液、1%尿素含有1,3-ブチレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
1169	42	111033	スキムミルク		脱脂粉乳	本品は、脱脂牛乳を乾燥したものである。
1170	31	999999	スクラロース			本品を無水物換算したものは、スクラロース(C <sub>12</sub> H <sub>19</sub> O <sub>11</sub> )98.0~102.0%を含む。
1171	41	106906	スクワラン			本品は、アイザメ(Centrophorus)その他の主として深海に生息するサメ類の肝油から得たスクワランを水素添加して得られる飽和炭化水素で、主成分は、スクワラン(C <sub>30</sub> H <sub>62</sub> :422.82)からなる。
1172	42	508064	スクワレン			本品は、サメ類の肝油をけん化し、不けん化物を減圧蒸留して得られた不飽和炭化水素(C <sub>30</sub> H <sub>50</sub> :410.7)である。
1173	42	503072	スコルジニン			本品は、ニンニクAllium scorodiplasum Linne', Allium sativum Linne'(Liliaceae)の鱗茎を脱皮、破碎し、30~50℃で1~2昼夜熟成した後、約130℃の高圧蒸気にて水蒸気蒸留を行い、揮発性物質を除去し、水蒸気蒸留残留物を圧搾、ろ過した抽出液に活性炭を加え、活性炭に吸着したものを50~60%メタノール液で溶出し、この操作を2~3回繰り返して精製した液を低温で減圧濃縮した液をメタノール中に低温でかき混ぜながら加えるとき、生じた結晶性析出物を低温減圧乾燥した後、粉碎して粉末としたものである。
1174	51	523376	スズ酸ナトリウム		スズ酸Na	本品は、定量するとき、スズ酸ナトリウム(Na <sub>2</sub> SnO <sub>3</sub> ·3H <sub>2</sub> O)95.0%以上を含む。
1175	42	507068	スチレン重合体エマルション		ポリスチレンエマルション	本品は、スチレン重合体のエマルションである。
1176	42	523132	スチレン・ビニルピロリドン共重合体		スチレン・VP共重合体	本品はビニルピロリドンとスチレンの共重合体である。
1177	51	523378	スチレン・ブタジエン共重合体			本品は、スチレンとブタジエンの共重合体のエマルションである。
1178	42	505095	スチレン・メチルスチレン・インデン共重合体	ポリスチレンビニルトルエン樹脂		本品は、スチレン、ビニルトルエン、メチルスチレン及びインデンの共重合体であり、本品の平均分子量は約1400である。
1179	41	002219	ステアリルアルコール			本品は、主としてステアリルアルコール(C <sub>18</sub> H <sub>38</sub> O:270.50)からなる。
1180	42	532078	ステアリルジヒドロキシエチルアミン液	ステアリルジヒドロキシエチルアミン酢酸液		本品は、主としてステアリルジヒドロキシエチルアミン酢酸の水溶液からなる。本品は、定量するとき、表示量の90.0~110.0%に対応するステアリルジヒドロキシエチルアミン酢酸を含む。
1181	42	520607	ステアリルジメチルアミン			本品は、主としてステアリルジメチルアミン(C <sub>20</sub> H <sub>43</sub> N:297.57)からなる。
1182	42	503074	ステアリルジメチルアミンオキシド			本品は、主としてステアリルジメチルアミンオキシドの水溶液で、本品を定量するとき、ステアリルジメチルアミンオキシド(C <sub>20</sub> H <sub>43</sub> NO:313.57)として表示量の90~110%を含む。
1183	42	504195	ステアリルジメチルベタインナトリウム液		ステアリルジメチルベタインNa液	本品は、主としてステアリルジメチルアミン酢酸ナトリウムの水溶液からなる。
1184	42	504197	ステアリルトリメチルアンモニウムサッカリン液	ステアリルトリメチルアンモニウムサッカリン液	ステアリルアンモニウムサッカリン液	本品は、主としてステアリルトリメチルアンモニウムサッカリンからなり、通常「イソプロパノール」、「エタノール」、水又はこれらの混液を含む。本品は定量するとき、ステアリルトリメチルアンモニウムサッカリン(C <sub>28</sub> H <sub>50</sub> N <sub>2</sub> O <sub>3</sub> :494.79)として表示量の90~110%を含む。
1185	42	532079	ステアリルベタイン液	ステアリルジメチルアミン酢酸液		本品は、主としてステアリルジメチルアミン酢酸の水溶液からなる。本品は、定量するとき、表示量の90.0~110.0%に対応するステアリルジメチルアミン酢酸を含む。
1186	42	501075	ステアリル硫酸ナトリウム		ステアリル硫酸Na	本品は、主としてステアリル硫酸ナトリウム(C <sub>18</sub> H <sub>37</sub> NaO <sub>4</sub> :372.54)からなる。
1187	41	002220	ステアリン酸			本品は、主としてステアリン酸(C <sub>18</sub> H <sub>36</sub> O <sub>2</sub> :284.48)からなる。
1188	41	107765	ステアリン酸亜鉛		ステアリン酸Zn	本品は、主として「ステアリン酸」の亜鉛塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、亜鉛(Zn:65.38)10.0~12.5%を含む。
1189	41	500239	ステアリン酸アスコルビル		ビタミンCステアレート	本品を乾燥したものは、定量するとき、ステアリン酸-L-アスコルビル(C <sub>24</sub> H <sub>42</sub> O <sub>7</sub> :442.59)93.0%以上を含む。
1190	42	501076	ステアリン酸アミド	ステアリン酸アמיד		本品は、主としてステアリン酸よりなる脂肪酸の酸アミドである。
1191	41	100462	ステアリン酸アルミニウム		ステアリン酸Al	本品は、主としてジステアリン酸アルミニウムからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						アルミニウム (Al : 26.98) 3.5~ 6.0% を含む .
1192	42	501079	ステアリン酸エチル			本品は ,主としてステアリン酸とエタノールのエステル (C 20H 40O 2 : 312.54) からなる .
1193	42	503075	ステアリン酸 2 - エチルヘキシル		ステアリン酸エチルヘキシル	本品は ,主としてステアリン酸と 2 - エチルヘキシルアルコールのエステル (C 26H 52O 2 : 396.70) からなる .
1194	42	105523	ステアリン酸カリウム		ステアリン酸 K	本品は ,主としてステアリン酸のカリウム塩 (C 18H 35KO 2 : 322.58) からなる .
1195	41	002221	ステアリン酸カルシウム		ステアリン酸 Ca	本品は ,主として「ステアリン酸」のカルシウム塩である .本品を乾燥したものは ,定量するとき ,カルシウム (Ca : 40.08) 6.4~ 7.1% を含む .
1196	42	504199	ステアリン酸グリコール酸アミドエステル	ステアリン酸グリコール酸アミド		本品は ,「ステアリン酸」と「グリコール酸」とのエステルをアミド化したものである .本品を乾燥したものは ,定量するときステアリン酸グリコール酸アミドエステル (C 20H 39NO 3) 95.0% 以上を含む .
1197	41	500242	ステアリン酸グリチルレチニル	3 - ステアロイルオキシグリチルレチン酸	ステアロイルオキシグリチルレチン酸	本品を乾燥したものは ,定量するとき ,ステアリン酸グリチルレチニル (C 48H 80O 5 : 737.16) 95.0% 以上を含む .
1198	42	504201	ステアリン酸硬化ヒマシ油	モノステアリン酸硬化ヒマシ油	ステアリン酸水添ヒマシ油	本品は ,「硬化ヒマシ油」と「ステアリン酸」のモノエステルからなる .
1199	41	500243	ステアリン酸コレステリル			本品は ,主として「ステアリン酸」と「コレステロール」のエステル (C 45H 80O 2 : 653.13) からなる .
1200	41	500244	ステアリン酸ジエタノールアミド			本品は ,主として「ステアリン酸」と当量のジエタノールアミンとを縮合して得られるアルキロールアミドである .
1201	42	532080	ステアリン酸ジエタノールアミド(1:2型)			本品は ,主として 1モルのステアリン酸と 2 モルのジエタノールアミンとを縮合して得られる 1:2型アルキロールアミドである .
1202	42	504202	ステアリン酸ジエチルアミノエチルアミド			本品は ,主としてステアリン酸ジエチルアミノエチルアミド (C 24H 50N 2O 2 : 382.67) からなる .
1203	42	501082	ステアリン酸ジエチレングリコール		ステアリン酸ジグリコール	本品は ,主として「ステアリン酸」と「ジエチレングリコール」のモノエステル (C 22H 44O 4 : 372.59) からなる .
1204	42	532081	ステアリン酸ジメチルアミノプロピルアミド			本品は ,主としてステアリン酸ジメチルアミノプロピルアミド (C 23H 48N 2O 2 : 368.65) からなる .
1205	42	520609	ステアリン酸ステアリル			本品は ,主として「ステアリン酸」と「ステアリルアルコール」のエステル (C 36H 72O 2 : 536.97) からなる .
1206	42	504204	ステアリン酸ステアロイルエタノールアミド			本品は ,主としてステアリン酸とステアリン酸モノエタノールアミドのエステルからなる .
1207	42	504205	ステアリン酸トリエタノールアミン		ステアリン酸 TEA	本品は ,主として「ステアリン酸」のトリエタノールアミン塩からなる .
1208	42	106754	ステアリン酸ナトリウム		ステアリン酸 Na	本品は ,主として「ステアリン酸」のナトリウム塩からなる .
1209	42	523133	ステアリン酸バクモンドウエキスエステル		ステアリン酸バクモンドウエキス	本品は ,「ステアリン酸」と「バクモンドウエキス」のエステルである .本品は定量するとき ,シロ糖として 15~ 25% を含む .
1210	42	111038	ステアリン酸パチル			本品は ,主として「ステアリン酸」と「パチルアルコール」のモノエステルからなる .
1211	41	101100	ステアリン酸プチル			本品は ,主として「ステアリン酸」と「プチノール」のエステル (C 22H 44O 2 : 340.59) からなる .
1212	42	501077	ステアリン酸 2 - ヘキシルデシル	ステアリン酸イノセチル	ステアリン酸ヘキシルデシル	本品は ,主としてステアリン酸とイノセチルアルコールのエステル (C 34H 68O 2 : 508.91) からなる .
1213	42	504344	ステアリン酸ポリオキシエチレンステアリルエーテル		ステアリン酸 POEステアリルエーテル	本品は ,主としてステアリン酸とポリオキシエチレンステアリルエーテルとのエステルであり ,酸化エチレンの平均付加モル数は 4~ 9である .
1214	42	504206	ステアリン酸ポリオキシエチレンセチルエーテル		ステアリン酸 POEセチルエーテル	本品は ,主として「ステアリン酸」とポリオキシエチレンセチルエーテルのエステルである .
1215	41	002223	ステアリン酸マグネシウム		ステアリン酸 Mg	本品は ,主として「ステアリン酸」のマグネシウム塩である .本品を乾燥したものは ,定量するとき ,マグネシウム (Mg : 24.31) 4.0~ 5.0% を含む .
1216	42	523134	ステアリン酸マグネシウム被覆酸化ジルコニウム 酸化セリウム	ステアリン酸マグネシウム被覆ジルコニア・セリア	ステアリン酸 Mg 被覆酸化 Zr 酸化セリウム、ステアリン酸 Mg 被覆ジルコニア・セリア	本品は ,酸化ジルコニウム及び酸化セリウムを混合 ,焼結し ,粉碎したものに ,ステアリン酸マグネシウムを被覆処理したものである .本品を強熱したものは ,定量するとき ,酸化ジルコニウム (ZrO 2 : 123.22) 35.0~ 49.0% 及び酸化セリウム (CeO 2 : 172.11) 51.0~ 65.0% を含む .
1217	41	500247	ステアリン酸モノエタノールアミド		ステアリン酸エタノールアミド	本品は ,主として「ステアリン酸」と当量の「エタノールアミン」とを縮合して得られるアルキロールアミドである .
1218	42	503079	ステアリン酸リンゴ酸グリセリル			本品は ,主として「ステアリン酸」とリンゴ酸の混合物とグリセリンからなるエステルである .
1219	42	520620	N - ステアロイル - N - メチルタウリンナトリウム		ステアロイルメチルタウリン Na	本品は ,定量するとき ,N - ステアロイル - N - メチルタウリンナトリウム (C 21H 42NNaO 4S : 4

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						27.62)として、表示量の90.0~110.0%を含む。
1220	99	999999	ステアロイルオキシヘプタコサノイルフィトスフィンゴシン			本品は酵母(Saccharomyces)の一種であるPichia種の代謝産物を加熱し過することにより無菌処理して得たフィトスフィンゴシンをステアロイルヘプタコサンでアシル化し、主としてN-ステアロイルオキシヘプタコサノイルフィトスフィンゴシン(C63H125NO6;分子量992.7)からなる。
1221	42	523135	ステアロイル加水分解コラーゲンカリウム液		ステアロイル加水分解コラーゲンK液	本品は、「ステアリン酸」と加水分解コラーゲン末との縮合物のカリウム塩の水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)1.2~2.7%を含む。
1222	42	523136	ステアロイル加水分解コラーゲンナトリウム		ステアロイル加水分解コラーゲンNa	本品は、「ステアリン酸」と加水分解コラーゲン末との縮合物のナトリウム塩である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)5.0~12.0%を含む。
1223	42	520616	N-ステアロイル-L-グルタミン酸		ステアロイルグルタミン酸	本品は、主としてN-ステアロイル-L-グルタミン酸からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)3.1~3.4%を含む。
1224	42	532082	N-ステアロイル-L-グルタミン酸アルミニウム被覆セリサイト		ステアロイルグルタミン酸A被覆セリサイト	本品は、「セリサイト」をN-ステアロイル-L-グルタミン酸アルミニウムで被覆処理したものである。
1225	42	532083	N-ステアロイル-L-グルタミン酸アルミニウム被覆タルク		ステアロイルグルタミン酸A被覆タルク	本品は「タルク」をN-ステアロイル-L-グルタミン酸アルミニウムで被覆処理したものである。
1226	42	523137	N-ステアロイル-L-グルタミン酸カリウム		ステアロイルグルタミン酸K	本品は、主としてN-ステアロイル-L-グルタミン酸カリウムからなり、本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)2.0~3.5%を含む。
1227	42	511035	ステアロイルグルタミン酸ジオクチルデシル			本品は、主として「N-ステアロイル-L-グルタミン酸」と「オクチルデカノール」のジエステルからなる。
1228	41	500248	N-ステアロイル-L-グルタミン酸ナトリウム		ステアロイルグルタミン酸Na	本品は、主としてN-ステアロイル-L-グルタミン酸ナトリウムからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)2.8~3.2%を含む。
1229	42	520617	N-ステアロイル-L-グルタミン酸二ナトリウム		ステアロイルグルタミン酸2Na	本品は、主として「N-ステアロイル-L-グルタミン酸」のナトリウム塩からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)2.8~3.1%を含む。
1230	42	511036	ステアロイルジヒドロキシイソブチルアミドステアリン酸モノエステル	ステアリン酸ジオキシイソブチルアミドステアリン酸モノエステル		本品は、主としてステアリン酸ジヒドロキシイソブチルアミドのモノエステルからなる。
1231	42	532085	12-ステアロイルステアリン酸2-ヘキシルデシル	12-ステアロイルオキシステアリン酸ヘキシルデシル	ステアロイルステアリン酸ヘキシルデシル	本品は、主として「12-ステアロイルオキシステアリン酸」と「ヘキシルデカノール」のエステル(C52H102O4;791.38)からなる。
1232	42	532084	12-ステアロイルステアリン酸イソステアリル	12-ステアロイルオキシステアリン酸イソステアリル	ステアロイルステアリン酸イソステアリル	本品は、主として「12-ステアロイルオキシステアリン酸」と「イソステアリルアルコール」のエステル(C54H106O4;819.43)からなる。
1233	42	508066	12-ステアロイルステアリン酸オクチルデシル		ステアロイルステアリン酸オクチルデシル	本品は、主として「12-ステアロイルステアリン酸」と「オクチルデカノール」のエステル(C56H110O4;847.48)からなる。
1234	42	532086	12-ステアロイルステアリン酸ステアリル	12-ステアロイルオキシステアリン酸ステアリル	ステアロイルステアリン酸ステアリル	本品は、主として「12-ステアロイルオキシステアリン酸」と「ステアリルアルコール」のエステル(C54H106O4;819.43)からなる。
1235	42	520619	ステアロイル乳酸ナトリウム		ステアロイル乳酸Na	本品は、主として「ステアリン酸」と乳酸ナトリウムのエステルからなる。
1236	42	532203	N-ステアロイルフィトスフィンゴシン		ステアロイルフィトスフィンゴシン	本品は、酵母Saccharomycesの代謝産物を加熱し過して得たフィトスフィンゴシンをステアリン酸でアシル化したもので、主としてN-ステアロイルフィトスフィンゴシン(C36H73NO4;583.99)からなる。
1237	42	504208	ステアロイルロイシン			本品を乾燥したものは、定量するとき、N-ステアロイル-L-ロイシン(C24H47NO3;397.64)90.0%以上を含む。
1238	42	523139	ステアロキシトリメチルシラン			本品は、「ステアリルアルコール」とヘキサメチルジシラザンの縮合物(C21H46OSi;342.68)である。
1239	42	520621	ステアロキシメチルポリシロキサン		ステアロキシジメチコン	本品は、主として直鎖状のメチルポリシロキサンのメチル基の一部をステアロキシ基で置換したものである。
1240	42	111653	ステビアエキス			本品は、ステビア(Stevia rebaudiana Bertoni(Compositae))の地上部から水にて抽出して得られるエキスである。
1241	99	999999	ステビアエキス			本品は、ステビア(Stevia rebaudiana Bertoni)の地上部を水にて抽出し、乾燥したものであり、ステビオサイド(Stevioside)、レバウディオサイドA(Rebaudioside A)等数種の甘味成分を含むステビア抽出物である。



連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1242	42	520624	ストロベリー果汁	イチゴ果汁		本品は、オランダイチゴ <i>Fragaria chiloensis</i> Duch .var .ananassa Bailey (Rosaceae) の果実(生) から搾り得られる果汁である。
1243	42	110234	スペアミント油			本品は、ミドリハッカ <i>Mentha spicata</i> Linne 又は <i>Mentha gentiles</i> Forsk (Labiatae) の全草を水蒸気蒸留して得た精油である。本品は定量するときカルボン (C 10H 14O: 150. 22) 55vol% 以上を含む。
1244	42	503081	スルホコハク酸ジ(2-エチルヘキシル)ナトリウム	ジオクチルスルホコハク酸ナトリウム	スルホコハク酸ジエチルヘキシルNa ジオクチルスルホコハク酸Na	本品は、主としてジ(2-エチルヘキシル)スルホコハク酸のナトリウム塩からなる。本品を乾燥したものを定量するときジ(2-エチルヘキシル)スルホコハク酸ナトリウム (C 20H 37NaO 7S : 444. 56) 96. 0 % 以上を含む。
1245	42	522039	スルホコハク酸ジ(2-エチルヘキシル)ナトリウム液	ジオクチルスルホコハク酸ナトリウム液	スルホコハク酸ジエチルヘキシルNa 液、ジオクチルスルホコハク酸Na 液	本品は、「スルホコハク酸ジ(2-エチルヘキシル)ナトリウム」の溶液で、「イソプロパノール」、「エタノール」、「プロピレングリコール」、水又はこれらの混液を含む。本品は定量するとき、スルホコハク酸ジ(2-エチル)ヘキシルナトリウム (C 20H 37NaO 7S : 444. 56) として表示量の 90% ~ 110% を含む。
1246	42	511037	スルホコハク酸ポリオキシエチレンモノオレイルアミドジナトリウム(2E.O.)液		スルホコハク酸 POE (2)オレイルアミドNa 液	本品は、主としてスルホコハク酸ポリオキシエチレンモノオレイルアミドジナトリウムの水溶液である。酸化エチレンの平均付加モル数は、2である。
1247	42	504209	スルホコハク酸ポリオキシエチレンラウロイルエタノールアミド二ナトリウム(5E.O.)		スルホコハク酸 POE (5)ラウロイルエタノールアミド2Na	本品は、スルホコハク酸ポリオキシエチレンラウロイルエタノールアミド二ナトリウムの水溶液である。酸化エチレンの平均付加モル数は、5 である。定量するとき、スルホコハク酸ポリオキシエチレンラウロイルエタノールアミド二ナトリウム (5E .O .) (C 28H 51NNa 2O 13S : 687. 76) として表示量の 90~ 110 % を含む。
1248	42	504210	スルホコハク酸ラウリル二ナトリウム		スルホコハク酸ラウリル 2Na	本品は、主としてスルホコハク酸ラウリル二ナトリウムからなり、水を含むものもある。本品を定量するとき、スルホコハク酸ラウリル二ナトリウム (C 16H 28Na 2O 7S : 410. 44) として表示量の 90~ 110 % を含む。
1249	41	500249	L-スレオニン	L-トレオニン	スレオニン、トレオニン	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-スレオニン (C 4H 9NO 3: 119. 12) 98. 0% 以上を含む。
1250	41	001370	精製水			本品は、日本薬局方常水を蒸留、イオン交換、超ろ過又はそれらの組み合わせにより精製して得たものである。
1251	01	001480	精製白糖			本品は精製された白糖である。
1252	42	520656	セイヨウキズタエキス	アイビーエキス		本品は、セイヨウキズタ <i>Hedera helix</i> Linne (Araliaceae) の葉、茎から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1253	42	106281	セイヨウサンザシエキス			本品は、セイヨウサンザシ <i>Crataegus oxyacantha</i> Linne (Rosaceae) の花、葉、又は果実から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1254	42	503084	セイヨウニワトコエキス			本品は、セイヨウニワトコ <i>Sambucus nigra</i> L. の花又は果実から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」、「ヘキシレングリコール」又はこれらの混液で抽出して得られたエキスである。
1255	42	503085	セイヨウネズエキス			本品は、セイヨウネズ <i>Juniperus communis</i> L. の果実から水又はプロピレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
1256	42	520657	セイヨウノコギリノウエキス			本品は、セイヨウノコギリノウ <i>Achillea millefolium</i> Linne (Compositae) の頭花又は全草から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液若しくは 1% 尿素含有エタノール溶液、1% 尿素含有 1, 3-ブチレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
1257	42	106266	セイヨウハッカエキス			本品は、セイヨウハッカ <i>Mentha piperita</i> Linne (Labiatae) の葉から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1258	42	520658	セージエキス	サルビアエキス		本品は、セージ <i>Salvia officinalis</i> Linne (Labiatae) の花、葉又は全草から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液若しくは 1% 尿素含有エタノール溶液、1% 尿素含有 1, 3-ブチレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
1259	42	520660	セージ水			本品は、セージ <i>Salvia officinalis</i> Linne (Labiatae) の葉から水で抽出して得られたエキス

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						を、水蒸気蒸留して得られる液である。
1260	42	520661	セージ末			本品は、セージ <i>Salvia officinalis</i> Linne (Labiatae) の葉を粉末としたものである。
1261	42	523140	セージ油			本品は、セージ <i>Salvia officinalis</i> Linne (Labiatae) の葉から水蒸気蒸留して得た精油である。
1262	42	520662	合成ゼオライト	ゼオライト		本品は、主として含水ケイ酸アルミニウムナトリウムからなる合成ゼオライトである。
1263	42	504212	セスキイソステアリン酸ソルピタン			本品は、主としてイソステアリン酸とソルピタンのモノ及びジエステルの混合物である。
1264	42	504213	セスキオレイン酸グリセリル	セスキオレイン酸グリセリン		本品は、主として「オレイン酸」とグリセリンのモノ及びジエステルの混合物である。
1265	42	502089	セスキオレイン酸ジグリセリル			本品は、「オレイン酸」と「ジグリセリン」のモノ、ジエステルの混合物である。
1266	41	002228	セスキオレイン酸ソルピタン			本品は、主として「オレイン酸」とソルピタン及びソルバイドのジエステル及びモノエステルからなる。
1267	41	106820	セスキステアリン酸ソルピタン			本品は、主として「ステアリン酸」とソルピタン及びソルバイドのジエステル及びモノエステルからなる。
1268	42	503088	セスキステアリン酸メチルグルコシド			本品は、主としてステアリン酸とメチルグルコシドのモノエステル及びジエステルからなる。
1269	51	106749	セスキ炭酸ナトリウム		セスキ炭酸 Na	本品は、定量するとき、セスキ炭酸ナトリウム (Na <sub>2</sub> CO <sub>3</sub> ・NaHCO <sub>3</sub> ・2H <sub>2</sub> O: 226.03) 97.0% 以上を含む。
1270	42	106749	セスキ炭酸ナトリウム	二炭酸 - 水素三ナトリウム	セスキ炭酸 Na	本品は、定量するとき、セスキ炭酸ナトリウム (Na <sub>2</sub> CO <sub>3</sub> ・NaHCO <sub>3</sub> ・2H <sub>2</sub> O: 226.03) 97.0% 以上を含む。
1271	41	002229	セタノール			本品は、主としてセチルアルコール (C <sub>16</sub> H <sub>34</sub> O: 242.44) からなる。
1272	41	500597	セチルトリメチルアンモニウムサッカリン液			本品は、主としてセチルトリメチルアンモニウムサッカリンからなり、通常「イソプロパノール」、「エタノール」、精製水、又はこれらの混液を含む。本品は定量するとき、セチルトリメチルアンモニウムサッカリン (C <sub>26</sub> H <sub>47</sub> N <sub>2</sub> O <sub>3</sub> : 466.73) として表示量の 90~110% を含む。
1273	41	106629	セチル硫酸ナトリウム		セチル硫酸 Na セチル硫酸塩	本品は、主としてセチル硫酸ナトリウム (C <sub>16</sub> H <sub>33</sub> NaO <sub>4</sub> : 344.48) からなるアルキル硫酸ナトリウムである。
1274	42	512017	セチルリン酸カリウム		セチルリン酸 K	本品は、主としてモノセチルリン酸カリウム (C <sub>16</sub> H <sub>34</sub> KO <sub>4</sub> : 360.52) からなる。
1275	42	504217	セチルリン酸ジエタノールアミン	モノセチルリン酸ジエタノールアミン	セチルリン酸 DEA	本品は、主としてセチルリン酸のジエタノールアミン塩 (C <sub>20</sub> H <sub>46</sub> N <sub>2</sub> O <sub>4</sub> : 427.56) からなる。
1276	99	999999	石けん液			本品は、主としてラウリン酸及びミリスチン酸のカリウム塩の等量混合物からなる石けんの水溶液である。
1277	41	500255	石けん用素地			本品は、主として脂肪酸のナトリウム塩からなる。
1278	42	520716	セトキシメチルポリシロキサン	セチルオキシメチルポリシロキサン	セトキシジメチコン	本品は、主として直鎖状のメチルポリシロキサンのメチル基の一部をセトキシ基で置換したものである。
1279	41	101316	セトステアリルアルコール		セテアリルアルコール	本品は、主として「セタノール」及び「ステアリルアルコール」からなる。
1280	42	523141	セトステアリルグルコシド・セトステアリルアルコール		セテアリルグルコシド・セテアリルアルコール	本品は、セトステアリルグルコシドとセトステアリルアルコールの混合物である。
1281	42	504218	セトステアリル硫酸ナトリウム		セトステアリル硫酸 Na セテアリル硫酸 Na	本品は、主として「セトステアリルアルコール」のスルホン化物のナトリウム塩からなる。
1282	42	520718	ゼニアオイエキス	ウスベニアオイエキス		本品は、ウスベニアオイ <i>Malva sylvestris</i> Linne (Malvaceae) の花又は花及び葉から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1283	42	520720	ゼニアオイ末	ウスベニアオイ末		本品は、ウスベニアオイ <i>Malva sylvestris</i> Linne (Malvaceae) の葉を粉末にしたものである。
1284	42	110240	セバシン酸ジイソプロピル			本品は、主としてセバシン酸とイソプロパノールのジエステル (C <sub>16</sub> H <sub>30</sub> O <sub>4</sub> : 286.41) である。
1285	42	110241	セバシン酸ジエチル			本品は、主としてセバシン酸と「エタノール」のジエステル (C <sub>14</sub> H <sub>26</sub> O <sub>4</sub> : 258.36) からなる。
1286	42	503090	セバシン酸ジ2-エチルヘキシル	セバシン酸ジオクチル	セバシン酸ジエチルヘキシル	本品は、主としてセバシン酸と2-エチルヘキサノールのジエステル (C <sub>26</sub> H <sub>50</sub> O <sub>4</sub> : 426.41) からなる。
1287	99	999999	セファランチン			本品は防己科植物タマサキツツラフジ ( <i>Stephania cepharantha</i> Hayata) の塊根を粗切りしたのち乾燥し、これをメタノール、エーテル等で抽出精製したもので、ビスコクラウリン型アルカロイド(主としてセファランチン(注1))を含む粉末である。本品を乾燥したものは定量するとき

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						ビスコクラウリン型アルカロイド95.0%以上を含む。
1288	41	001382	ゼラチン			本品は、動物の骨、皮膚、じん帯又はけんを酸又はアルカリで処理して得られた粗コラーゲンを水で加熱抽出して製したものである。
1289	41	106230	ゼラック			本品は、ラックカイガラムシ <i>Laccifer lacca</i> Kerr (Coccidae) の分泌物を精製したものである。
1290	99	999999	セラミド2			本品は、(2S, 3R)-ジヒドロスフィンゴシン ((2S, 3R)-2-アミノオクタデカン-1,3-ジオール) とステアリン酸 (オクタデカン酸) がアミ結合した化合物からなる。本品は定量するとき、(2S, 3R)-2-オクタデカノイルアミノオクタデカン-1,3-ジオール (C <sub>36</sub> H <sub>73</sub> NO <sub>3</sub> :567.98) として90.0%以上を含む。
1291	42	520721	セリサイト			本品は、天然に産する微結晶含水ケイ酸アルミニウム・カリウムである。
1292	41	500260	DL-セリン			本品を乾燥したものは、定量するとき、DL-セリン (C <sub>3</sub> H <sub>7</sub> NO <sub>3</sub> :105.09) 98.0~102.0%を含む。
1293	41	003615	L-セリン		セリン	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-セリン (C <sub>3</sub> H <sub>7</sub> NO <sub>3</sub> :105.09) 98.0~102.0%を含む。
1294	42	520723	セルロース末			本品は、酢酸セルロースをアルカリで加水分解して得られるものである。
1295	41	101307	セレシン			本品は、地口ウから得た固形の炭化水素類の混合物である。
1296	42	504220	セロチン酸			本品は、主としてセロチン酸 (C <sub>26</sub> H <sub>52</sub> O <sub>2</sub> :396.70) からなる。
1297	42	523142	セロリアエキス	オランダミソバエキス		本品は、オランダミソバ <i>Aplum graveolens</i> Linne' (Umbelliferae) の茎から、1%尿素含有エタノール溶液又は1%尿素含有1,3-ブチレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
1298	01	002236	センキュウ	川?		本品はセンキュウ <i>Cnidium officinale</i> Makino (Umbelliferae) の根茎を、通例、湯通ししたものである。
1299	42	520724	センキュウエキス			本品は、センキュウ <i>Cnidium officinale</i> Makino (Umbelliferae) の根茎から水、「エタノール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1300	99	999999	センキュウエキス散			本品は日局センキュウ: <i>Cnidium officinale</i> の根茎: を30v/v%エタノールで抽出し、得られたエキスを芒硝末 (乾燥硫酸ナトリウム) にて倍散したものである。
1301	42	520725	センキュウ水			本品は、センキュウ <i>Cnidium officinale</i> Makino (Umbelliferae) の根茎から水にて抽出して得られたエキスを水蒸気蒸留して得られる液である。
1302	99	999999	センキュウ抽出液		センキュウエキス	本品は、センキュウ <i>Cnidium officinale</i> Makino (Umbelliferae) の根茎の30w/v%エタノール溶液による抽出液である。
1303	42	520727	センブリエキス			本品は、センブリ <i>Swertia japonica</i> Makino (Gentianaceae) の全草から水、「エタノール」、無水エタノール、又はこれらの混液で抽出して得られるエキスである。
1304	99	999999	センブリエキス			本品は日局「センブリ末」[センブリ <i>Swertia japonica</i> Makino (Gentianaceae) の開花期の全草を粉末としたもの] を無水エタノールで抽出して得られた成分を日局「マクロゴール1500」に10%含有させたペーストである。
1305	99	999999	センブリエキスM			本品は、日局「センブリ」[センブリ <i>Swertia japonica</i> Makino (Gentianaceae) の開花期の全草を粉末としたもの] を無水エタノールで抽出して得られた成分を日局「マクロゴール1500」に10%含有させたペーストである。
1306	99	999999	センブリ抽出液		センブリエキス	本品はセンブリ <i>Swertia japonica</i> Makino (Gentianaceae) の開花期の全草を乾燥し、粗末としたものから無水エタノールにて抽出して得られた成分を70vol%エタノール溶液 (無水エタノール: 精製水 = 7:3) に溶かしたものである。
1307	99	999999	センブリ抽出液キッド			本品はセンブリ <i>Swertia japonica</i> Makino (Gentianaceae) 開花期の全草を乾燥し、粗末としたものから無水エタノール抽出して得られたエキスを粧原基1,3-ブチレングリコールに溶解し、液状 (1キッドタイプ) としたものである。本品1gは原生薬約3.3gに相当する。
1308	99	999999	桑白皮エキス			本品は日局「桑白皮」の含有成分を70%エタノールで抽出し、さらに得られる抽出液を酢酸エチルで抽出したエキスで、サンゲニンCを0.16~0.50mg/g 含む、n-ヘキサンエキス含量は12~36%である。
1309	42	509071	側鎖高級アルコール (C32~C36) 混合物		側鎖高級アルコール (32~36)、側鎖アルコール (32~36)	本品は、「セタノール」及び「ステアリルアルコール」を縮合して得た側鎖高級アルコールの混合物で、主として2分子のセタノールの縮合物 (C <sub>32</sub> H <sub>66</sub> O), 1分子のセタノールと1分子の

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						ステアリルアルコールの縮合物 (C 34H 70O )及び 2分子のステアリルアルコールの縮合物 (C 36H 74O )からなる。
1310	41	500262	ソルビット	ソルビトール		本品を乾燥したものは、定量するとき、ソルビット(C 6H 14O 6: 182. 17)97. 0%以上を含む。
1311	41	500263	ソルビット液		ソルビトール液	本品は、ソルビットの水溶液である。本品は、定量するとき、表示量の 97~ 103%に対応するソルビット(C 6H 14O 6: 182. 17)を含む。
1312	01	500263	D - ソルビトール液	D - ソルビット液		本品は定量するとき、表示量の 97~ 103%に対応する D - ソルビトール (C 6H 14O 6: 182. 17)を含む。
1313	42	532191	ソルビトール発酵多糖液			本品は、ソルビトールをクレブシエラ属 (Klebsiella )の菌で発酵して得られる多糖類の溶液である。
1314	41	005803	ソルビン酸			本品は、定量するとき、ソルビン酸 (C 6H 8O 2 112. 13)98. 5%以上を含む。
1315	41	105522	ソルビン酸カリウム		ソルビン酸K、ソルビン酸塩	本品を乾燥したものは、定量するとき、ソルビン酸カリウム (C 6H 7KO 2 150. 22)98. 0%以上を含む。
1316	42	501089	タートル油			本品は、アオウミガメCheloniidae (Soborididae )の皮下脂肪組織などから得た脂肪油である。
1317	42	523143	タートル油脂肪酸エチルエステル		タートル油脂肪酸エチル	本品は、アオウミガメ Chelonia japonica Thunberg (Cheloniidae )の筋肉並びに生殖器から得たタートル油の脂肪酸のエチルエステルである。
1318	99	999999	ダイウイキョウ			本品はダイウイキョウ Illicium verum Hook.fil. (Illiciaceae )の果実を乾燥したものである。
1319	42	504221	第三ブタノール		第三ブタノール	本品は、主として第三ブタノールである。
1320	42	520734	ダイズエキス		大豆エキス	本品は、ダイズ Glycine max Merrill (Leguminosae )の種子から水にて抽出して得られるエキスである。
1321	42	509072	大豆たん白加水分解物		大豆たん白加水分解物	本品は、食品用脱脂大豆を水に分散させ「水酸化ナトリウム」でpHを調整してからたん白分解酵素トリプシンを加えて、そのたん白質を加水分解する。分解後、加熱して酵素活性を失わせる。これをろ過し、ろ液を減圧下で濃縮する。pH 4. 0 ~ 4. 5 に調整する。本品を定量するとき、窒素 (N: 14. 01 )として 2. 4 ~ 3. 4 %を含む。
1322	42	532087	大豆たん白加水分解物 (2)		大豆たん白加水分解物- 2	本品は、脱脂大豆のたん白をたん白分解酵素により、部分的に加水分解したものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素 (N: 14. 01) 12. 0~ 16. 0%を含む。
1323	99	999999	大豆蛋白加水分解物 (未)		大豆たん白加水分解物未	本品は、食品用脱脂大豆から得られるたん白質を水に分散させ、枯草菌たん白質分解酵素を加えて加水分解する。加水分解後、100 以上に加熱することにより酵素活性を失わせる。これをろ過し、噴霧乾燥する。
1324	41	001390	大豆油			本品は、ダイズ Glycine max Merrill (Leguminosae )の種子から得た脂肪油である。
1325	42	520737	大豆リノリン脂質液			本品は、「大豆リン脂質」を酵素処理して得たリノリン脂質のグリセリン溶液である。本品は、定量するとき、リン (P: 30. 97)として 0. 7~ 1. 3%を含む。
1326	41	110654	大豆リン脂質			本品は、ダイズ Glycine max Merrill (Leguminosae )から得られるものであり、主としてリン脂質からなる。
1327	42	111089	タイノウエキス	ナツメエキス		本品は、ナツメ Zizyphus jujuba Miller var .inermis Rehder 又はその他の近縁植物 (Rhamnaceae )の果実から水、エタノール、「1, 3- ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1328	42	508067	ダイマー酸ジイソプロピル			本品は、主として「リノール酸」を 2~ 3分子重合して得られたダイマー酸に、イソプロパノールを結合させたジエステルである。
1329	99	999999	ダイマーグリノール酸ジ (イソステアリル・フィステリル)			本品は、主としてリノール酸を 2~ 3分子重合して得られたダイマー酸に、フィステロール、イソステアリルアルコールを結合させたジエステルである。
1330	99	999999	ダイマーグリノール酸 (フィステリル / イソステアリル / セチル / ステアリル / ベヘニル)			本品は、主としてリノール酸を 2~ 3分子重合して得られたダイマー酸とフィステロール、イソステアリルアルコール、セタノール、ステアリルアルコール及びベヘニルアルコールからなる混合アルコールとのエステルである。
1331	42	520755	タイムエキス (1)	ワイルドザイムエキス	タイムエキス- 1	本品は、Thymus serpyllum Linne (Labiatae )の地上部から水、「エタノール」、「1, 3- ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1332	42	520756	タイムエキス (2)	タチジャコウソウエキス	タイムエキス- 2	本品は、タチジャコウソウ Thymus vulgaris Linne (Labiatae )の地上部から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3- ブチレングリコール」又はこれらの混液若しくは、1%尿素含

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						有エタノール溶液, 1%尿素含有 1, 3- ブチレングリコール溶液で抽出して得られるエキスである。
1333	99	999999	タイムエキス末			本品は別添規格 (3)- 1「タイム」(Thymus vulgaris Linne (´)(Labiatae))の全草の水抽出液を乾燥粉末としたものである。
1334	42	510051	タイム油			本品は, イブキジャコウソウ Thyme serpyllum Linne 又は, タチジャコウソウ Thyme vulgaris Linne ´ (Labiatae)の全草を水蒸気蒸留して得た精油である。本品は, 定量するとき, チモール及びカルバクロール総量 20vol%以上を含む。
1335	42	107154	タウリン	アミノエチルスルホン酸		本品を乾燥したものは, 定量するとき, 2- アミノエタンスルホン酸 (C <sub>2</sub> H <sub>7</sub> NO <sub>3</sub> :125.15)98.5%以上を含む。
1336	42	511038	脱脂 コメヌカ		脱脂米ヌカ	本品は, 「コメヌカ」を脱脂して得られたものである。
1337	41	006003	脱脂粉乳			本品は, 牛乳を脱脂し, 乾燥したものである。
1338	42	522040	脱樹脂キャンデリラロウ			本品は, 「キャンデリラロウ」中の樹脂部分を取り除いたものである。
1339	99	999999	タマサキツツラフジアルカロイド			本品は, ツツラフジ科植物 (Stephania cepharantha Hayata)の塊根をメタノールにて抽出精製したものである。本品を乾燥したものは定量するとき, ビスコクラウ型アルカロイド(セファランチン C <sub>37</sub> H <sub>380</sub> N <sub>2</sub> :606.69として)95%以上含む。
1340	41	001393	タルク			本品は, 天然の含水ケイ酸マグネシウムであり, 少量のケイ酸アルミニウムを含むことがある。
1341	42	532209	タルク・ケイフツ化カリウム焼成物		タルク・ケイフツ化 K 焼成物	本品は, 「タルク」とケイフツ化カリウムの焼成物である。
1342	42	504223	炭酸エチレン			本品は, 主として炭酸エチレン (C <sub>2</sub> H <sub>4</sub> O <sub>2</sub> :88.06)である。
1343	01	002251	炭酸カリウム		炭酸 K	本品を乾燥したものは定量するとき, 炭酸カリウム (K <sub>2</sub> CO <sub>3</sub> )99.0%以上を含む。
1344	31	101144	炭酸カルシウム		炭酸 Ca	本品を乾燥したものは, 炭酸カルシウム (CaCO <sub>3</sub> )98.0~102.0%を含む。
1345	42	520757	炭酸グアニジン	グアニジン炭酸塩		本品は, 主として炭酸グアニジン (C <sub>2</sub> H <sub>4</sub> N <sub>6</sub> :180.17)からなる。
1346	42	532195	炭酸ジアルキル (14, 15)			本品は, 主として炭酸と炭素数 14, 15のアルキル基を有するアルコールのジエステルからなる。
1347	01	001395	炭酸水素ナトリウム	重炭酸ナトリウム, 重曹	炭酸水素 Na 重炭酸 Na	本品は定量するとき, 炭酸水素ナトリウム (NaHCO <sub>3</sub> )99.0%以上を含む。
1348	31	001395	炭酸水素ナトリウム	重炭酸ナトリウム, 重炭酸ソーダ	炭酸水素 Na 重炭酸 Na	本品を乾燥したものは, 炭酸水素ナトリウム (NaHCO <sub>3</sub> )99.0%以上を含む。
1349	41	001395	炭酸水素ナトリウム		炭酸水素 Na	本品は, 定量するとき, 炭酸水素ナトリウム (NaHCO <sub>3</sub> :84.01)99.0%以上を含む。
1350	31	002252	炭酸ナトリウム	結晶物:炭酸ソーダ、無水物:ソーダ灰	炭酸ソーダ、ソーダ灰、炭酸 Na	本品には, 結晶物 (1水塩)及び無水物があり, それぞれを炭酸ナトリウム (結晶)及び炭酸ナトリウムと(無水)称する。
1351	41	002252	炭酸ナトリウム		炭酸 Na	本品は, 定量するとき, 炭酸ナトリウム (Na <sub>2</sub> CO <sub>3</sub> :106.01)99.0~103.0%を含む。
1352	01	002252	炭酸ナトリウム		炭酸 Na	本品は定量するとき, 炭酸ナトリウム (Na <sub>2</sub> CO <sub>3</sub> )99.0~103.0%以上を含む。
1353	42	105631	炭酸プロピレン			本品は, 「プロピレングリコール」と炭酸との環状エステルである。
1354	01	001397	炭酸マグネシウム		炭酸 Mg	本品は含水塩基性炭酸マグネシウム又は含水正炭酸マグネシウムである。本品は定量するとき, 酸化マグネシウム (MgO:40.30)40.0~44.0%を含む。
1355	41	002255	チアントール			本品は, ジメチルチアントレン及びジトルエンジスルフィドからなる。本品は, 定量するとき, イオウ (S:32.06)23.5~26.5%を含む。
1356	42	107291	チオキノロン			本品を乾燥したものは, 定量するとき, 6- ヒドロキシ- 1, 3- ベンゾキサチオール- 2- オン (C <sub>7</sub> H <sub>4</sub> O <sub>3</sub> S:168.17)98.0%以上を含む。
1357	42	504227	チオジプロピオン酸ジラウリル			本品は, 主として 3, 3'-チオジプロピオン酸と「ラウリルアルコール」とのジエステル (C <sub>30</sub> H <sub>58</sub> O <sub>4</sub> S:514.85)からなる。
1358	51	107266	チオ尿素			本品は, 主としてチオ尿素からなる。
1359	41	001407	チオ硫酸ナトリウム		チオ硫酸 Na	本品は, チオ硫酸ナトリウムの 5水和物 (Na <sub>2</sub> S <sub>2</sub> O <sub>3</sub> ·5H <sub>2</sub> O:248.17)である。本品を乾燥したものを定量するとき, チオ硫酸ナトリウム (Na <sub>2</sub> S <sub>2</sub> O <sub>3</sub> :158.10)99.0%以上を含む。
1360	42	509073	チタン 酸化チタン焼結物		Ti 酸化 T 焼結物	本品は, 「チタン末」と酸化チタン」の混合物 (1:5)を減圧下で 3~5時間, 900~1000 で焼結したものである。
1361	42	504228	チタン酸コバルト		チタン酸 Co	本品は, 「酸化チタン」と炭酸コバルトの混合物 (12:13)を大気中約 900~1000 で 1~3時間加熱して焼結したもので, 主としてチタン酸コバルト (CoTiO <sub>3</sub> :154.83)からなる。
1362	42	523145	チタン酸リチウムコバルト		チタン酸 Li·Co	本品は, 「酸化チタン」, 炭酸コバルト及び炭酸リチウムの混合物を加熱焼成し, 粉砕して得

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						られるもので、主としてチタン酸リチウムコバルト(Li <sub>2</sub> CoTi 308:344.45)からなる。
1363	42	523146	窒化ホウ素			本品を乾燥したものは、定量するとき、窒化ホウ素 (BN:24.82)95.0%以上を含む。
1364	42	001409	窒素			本品は、定量するとき、窒素 (N2:28.01)99.5/v%以上を含む。
1365	41	001411	チモール			本品は、定量するとき、チモール (C <sub>10</sub> H <sub>14</sub> O:150.22)98.0%以上を含む。
1366	42	523147	チャエキス(1)		茶エキス-1	本品は、チャノキ Thea sinensis Linne (Theaceae)の葉から製したもの(緑茶)から水、エタノール溶液、プロピレングリコール溶液又はグリセリン溶液にて抽出して得られるエキスである。
1367	42	523148	チャエキス(2)		茶エキス-2	本品は、チャノキ Thea sinensis O.Kuntze (Theaceae)の葉から製したもの(緑茶)からエタノールで抽出して得られるエキスである。
1368	42	520764	チャ乾留液		茶乾留液	本品は、チャノキ Thea sinensis Linne (Theaceae)の葉(生)を減圧下、乾留によって得られる液で、エタノール又はプロピレングリコールを含むものもある。
1369	42	520765	チャ実エキス		茶実エキス	本品は、チャノキ Thea sinensis Linne (Theaceae)の種子の脱脂物から水で抽出して得られるエキスである。
1370	42	522041	チャ実油	茶油	茶実油	本品は、チャノキ Thea sinensis Linne (Theaceae)の種子から得た脂肪油である。
1371	99	999999	茶抽出エキス末			本品は、茶 (Camellia sinensis)の葉を熱水にて抽出・精製処理した後、乾燥粉末した茶抽出乾燥品である。
1372	42	532088	長鎖 - ヒドロキシ脂肪酸 (14~ 25)		- ヒドロキシ脂肪酸 (14~ 25)	本品は、ラリンをけん化して得られる脂肪酸から、ヒドロキシ脂肪酸を分画したもので主として、炭素数 14~ 25の - ヒドロキシ直鎖脂肪酸、 - ヒドロキシシリン脂肪酸及び - ヒドロキシアンチリン脂肪酸の混合物からなる。
1373	42	532089	長鎖 - ヒドロキシ脂肪酸 (14~ 25)コレステリル		- ヒドロキシ脂肪酸 (14~ 25)コレステリル	本品は、「長鎖 - ヒドロキシ脂肪酸 (14~ 25)」と「コレステロール」のエステルからなる。
1374	42	532090	長鎖分岐脂肪酸 (12~ 31)		分岐脂肪酸 (12~ 31)	本品は、ラリンをけん化して得られる脂肪酸から、ヒドロキシ脂肪酸以外の分岐脂肪酸を分画したもので、主として、炭素数 12~ 31 のイン脂肪酸及びアンチリン脂肪酸の混合物からなる。
1375	42	532091	長鎖分岐脂肪酸 (12~ 31)2- エチルヘキシル	ラリン分岐脂肪酸 (12~ 31)オクチル	分岐脂肪酸 (12~ 31)エチルヘキシル	本品は、主として「長鎖分岐脂肪酸 (12~ 31)」と2- エチルヘキサノールのエステルからなる。
1376	42	532092	長鎖分岐脂肪酸 (12~ 31)コレステリル	長鎖分岐脂肪酸コレステリル	分岐脂肪酸 (12~ 31)コレステリル	本品は、主として「長鎖分岐脂肪酸 (12~ 31)」と「コレステロール」のエステルからなる。
1377	42	505104	チヨウジエキス			本品は、チヨウジ Syzygium aromaticum Merrill et Perry (Eugenia caryophyllata Thunberg) (Myrtaceae)のつぼみを乾燥したものをエタノール溶液にて抽出して得られるエキスである。
1378	42	001412	チヨウジ油			本品は、Syzygium aromaticum Merrill et Perry (Eugenia caryophyllata Thunberg) (Myrtaceae)のつぼみ又は葉を水蒸気蒸留して得られる精油である。本品を定量するとき、総オイゲノール 80.0vol%以上を含む。
1379	42	532181	チヨレイエキス			本品は、チヨレイマイタケ Polyporus umbellatus Fries (Polyporaceae)の菌核をエタノール溶液で抽出して得られるエキスである。
1380	42	520771	L- チロシン		チロシン	本品を乾燥したものは、定量するとき、L- チロシン (C <sub>9</sub> H <sub>11</sub> NO 3:181.19)98.5%以上を含む。
1381	01	001394	沈降炭酸カルシウム		沈降炭酸 Ca	本品は定量するとき、炭酸水素ナトリウム (NaHCO <sub>3</sub> )99.0%以上を含む。
1382	01	120130	チンピ	陳皮		本品はウンシュウマン Citrus unshiu Markovich 又は Citrus reticulata Blanco (Rutaceae)の成熟した果皮である。
1383	42	101346	チンピエキス			本品は、ウンシュウマン Citrus unshiu Markovich 又はその他近縁植物 (Rutaceae)の成熟した果皮から水、「エタノール」、「1,3- ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1384	99	999999	チンピエキス			本品は、日局チンピ:ウンシュウマン Citrus unshiu Markovich (Citrus aurantium Linne Subsp.nobilis Makino)又は、その近縁植物 (Rutaceae)の成熟した果皮の30v/v%エタノール抽出物を1,3- ブチレングリコールにて溶かしたものである。
1385	99	999999	チンピエキス散			本品は日局チンピ (Citrus unshiu Markovich)の水抽出液にデキストリンを添加して乾燥粉末としたもので、チンピエキス45~ 55%を含む。
1386	99	999999	チンピエキス散			本品は日局チンピ:ウンシュウマン Citrus unshiu Markovich (Citrus aurantium Linne subsp.nobilis Makino)又は近縁植物 (Rutaceae)の成熟した果皮:を30v/v%エタノールで抽

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						出し、得られたエキスを芒硝末(乾燥硫酸ナトリウム)にて倍散したものである。
1387	99	999999	チンピ抽出液		チンピエキス	本品は日局チンピ:ウンキウミカン Citrus unshiu Markovich (Citrus aurantium Linne subsp.nobilis Makino)又はその近縁植物(Rutaceae)の成熟した果皮を30v/v%エタノールにて抽出したものである。
1388	42	101347	チンピ末			本品は、ウンキウミカン Citrus unshiu Markovich 又はその他近縁植物(Rutaceae)の成熟した果皮を粉末としたものである。
1389	99	999999	チンピ流エキス			本品は、ウンキウミカン Citrus unshiu Marcov. (Citrus aurantium Linne subsp.nobilis marcov.)又はその他近縁植物(Rutaceae)の成熟した果皮の流エキスである。本品 1m 中に原生薬 1gの可溶性成分を含む。
1390	42	520772	月見草油			本品は、ツキミノウ Oenothera tetraptera Cav. Oenothera hookeri Torr. & Gray 又はその他同属植物(Onagraceae)の種子から得た脂肪油である。
1391	42	520773	ツバキエキス		椿エキス	本品は、ツバキ Camellia japonica Linne (Theaceae)の種子の脱脂物から水にて抽出して得られるエキスである。
1392	41	002265	ツバキ油		椿油	本品は、ツバキ Camellia japonica Linne (Theaceae)の種皮を除いた種子から得た脂肪油である。
1393	42	520774	ツボクサエキス	センテラエキス		本品は、ツボクサ Centella asiatica Linne (Umbelliferae)の葉及び茎からエタノール又はプロピレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
1394	53	108688	デイト			本品は定量するとき、デイト(C <sub>12</sub> H <sub>17</sub> NO)97.0%以上を含む。
1395	42	509075	低温焼成酸化亜鉛		低温焼成酸化Zn	本品は、湿式法で得られた塩基性炭酸亜鉛を300~400°Cで強熱したものである。本品は、定量するとき、酸化亜鉛(ZnO:81.39)として96.0%以上を含む。
1396	42	532227	低酸価キャンデリラロウ			本品は、「キャンデリラロウ」から樹脂分を除去したので、主としてヘントリアンタンなどの炭化水素からなり、ロウを含む。
1397	42	532206	低酸価ミンロウ			本品は、「ミンロウ」にグリンドールを加えた後、熱処理して得たもので、主として低酸価ミンロウからなる。
1398	42	532093	低窒素ヒドロキシエチルセルロースジメチルジアリルアンモニウムクロリド	塩化ジメチルジアリルアンモニウム・ヒドロキシエチルセルロースジメチルジアリルアンモニウム共重合体	塩化低窒素ヒドロキシエチルセルロースジメチルジアリルアンモニウム	本品は、ヒドロキシエチルセルロースに塩化ジメチルジアリルアンモニウムを重合して得られるカチオン性のポリマーであり、平均分子量は約100000~140000である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.07)0.5~1.5%を含む。
1399	42	532094	低比重流動パラフィン(1)		低比重流動パラフィン-1	本品は、石油から得た揮発性の炭化水素の混合物である。
1400	42	532095	低比重流動パラフィン(2)		低比重流動パラフィン-2	本品は、石油から得た液状の炭化水素類の混合物である。
1401	42	520775	低融点パラフィン	パラフィンワックス115°F		本品は、石油から得た固形の炭化水素類の混合物である。
1402	42	504229	デオキシリボ核酸		DNA	本品は、魚類の精巢から抽出して得られるポリヌクレオチドである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)14.5%以上、リン(P:30.97)9.0%以上を含む。
1403	42	507075	デオキシリボ核酸カリウム塩		DNA・K	本品は、サケ科 Salmonidae などの魚類の精巢から得られるポリヌクレオチドのカリウム塩である。本品は窒素(N:14.01)13.5~14.9%、リン(P:30.97)8.0~9.0%を含む。
1404	42	509076	デオキシリボ核酸ナトリウム		DNA・Na	本品は、サケ科 Salmonidae などの魚類の精巢から得られるポリヌクレオチドのナトリウム塩である。本品は定量するとき、窒素(N:14.01)13.5~16.0%、リン(P:30.97)8.4~9.3%を含む。
1405	42	532096	デカイソステアリン酸デカグリセリル			本品は、主として「イソステアリン酸」とポリグリセリンのデカエステルからなり、そのグリセリンの平均重合度は10である。
1406	42	520777	デカオレイン酸ポリグリセリル	デカオレイン酸デカグリセリル		本品は、主として「オレイン酸」とポリグリセリンのデカエステルからなり、そのグリセリンの平均重合度は10である。
1407	42	511043	デカステアリン酸デカグリセリル			本品は、「ステアリン酸」とデカグリセリンのデカエステルからなる。
1408	42	520778	デカメチルシクロペンタシロキサン		シクロペンタシロキサン	本品は、シロキサン結合を骨格とした環状の重合体で、主としてデカメチルシクロペンタシロキサン(C <sub>10</sub> H <sub>30</sub> Si <sub>5</sub> :370.79)からなる。
1409	42	520779	デカメチルテトラシロキサン		テトラシロキサン	本品は、シロキサン結合を骨格とした直鎖状の重合体で、主としてデカメチルテトラシロキサン(C <sub>10</sub> H <sub>30</sub> Si <sub>4</sub> :31070.70)からなる。
1410	42	101750	デキストラン			本品は、Leuconostoc mesenteroides Van Tiegham によるショ糖の発酵によって生産された多糖類を部分加水分解したものである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1411	42	520780	デキストラン塩化ヒドロキシプロピルトリメチルアンモニウムエーテル	カチオン化デキストラン		本品は、主として「デキストラン」とグリセリルトリメチルアンモニウムクロライドのポリエーテルからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)2.2~2.8%を含む。
1412	42	006601	デキストラン硫酸ナトリウム		デキストラン硫酸Na	本品は、「デキストラン」のスルホン化物のナトリウム塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、イオウ(S:32.06)として15.0~20.0%を含む。
1413	42	502092	2- デシルテトラデカノール		デシルテトラデカノール	本品は、2- デシルテトラデカノール(C 24H 50O:354.66)からなる。
1414	42	520783	トライスステアリン酸ジグリセリル			本品は、主として「イソステアリン酸」とジグリセリンからなる。
1415	42	520782	トライスステアリン酸ペンタエリトリット	イソステアリン酸ペンタエリトリール		本品は、主として「イソステアリン酸」とペンタエリトリットのテトラエステル(C 77H 148O 8:1201.93)からなる。
1416	42	505106	テトラ2- エチルヘキサン酸ジグリセロールソルビタン	テトラオクタン酸ジグリセロールソルビタン	テトラエチルヘキサン酸ジグリセロールソルビタン、テトラエチルヘキサン酸ジグリセリルソルビタン	本品は、主として2- エチルヘキサン酸及びソルピタンとジグリセリンからなるのエステル化合物とのテトラエステルからなる。
1417	42	520784	テトラ2- エチルヘキサン酸ペンタエリトリット	テトラオクタン酸ペンタエリトリット	テトラエチルヘキサン酸ペンタエリトリット、テトラエチルヘキサン酸ペンタエリトリール	本品は、主として2- エチルヘキサン酸とペンタエリトリールのテトラエステル(C 37H 68O 8:640.90)からなる。
1418	41	500278	テトラオレイン酸ポリオキシエチレンソルビット		テトラオレイン酸POEソルビット	本品は、主として「オレイン酸」とポリオキシエチレンソルビットのテトラエステルである。
1419	42	532210	テトラキス(2- ヒドロキシプロピル)エチレンジアミン		テトラキスヒドロキシプロピルエチレンジアミン、テトラキスPGエチレンジアミン	本品を乾燥したものは、定量するとき、テトラキス(2- ヒドロキシプロピル)エチレンジアミン(C 14H 32N 2O 4:292.43)99.0%以上を含む。
1420	42	532097	テトラステアリン酸ポリオキシエチレンソルビット	ポリオキシエチレンソルビットテトラステアリン酸エステル	テトラステアリン酸POEソルビット	本品は、主として「ステアリン酸」とポリオキシエチレンソルビットのテトラエステルである。酸化エチレンの付加モル数は60である。
1421	42	532296	テトラステアリン酸ポリオキシエチレンペンタエリトリット		テトラステアリン酸POEペンタエリトリット、テトラステアリン酸POEペンタエリトリール	本品は、主として「ステアリン酸」とポリオキシエチレンペンタエリトリットのテトラエステルで、酸化エチレンの平均付加モル数は、150である。
1422	42	523150	N-(テトラデシロキシヒドロキシプロピル)-N-ヒドロキシエチルデカナミド		テトラデシロキシPGヒドロキシエチルデカナミド	本品は、主としてN-(3-テトラデシロキシ-2-ヒドロキシプロピル)-N-2-ヒドロキシエチルデカナミド(C 29H 59NO 4:485.80)からなる。
1423	42	523151	テトラデセン			本品は、主として1-テトラデセン(C 14H 28:196.38)からなる。
1424	41	500279	テトラデセンスルホン酸ナトリウム	-オレフィンスルホン酸ナトリウム	テトラデセンスルホン酸Na	本品は、主としてテトラデセンスルホン酸ナトリウム(C 14H 27NaO 3S:298.42)及びヒドロキシテトラデカンスルホン酸ナトリウム(C 14H 29NaO 4S:316.43)からなり、乾燥したものを定量するとき、テトラデセンスルホン酸ナトリウムとして90.0%以上を含む。
1425	42	508068	テトラデセンスルホン酸ナトリウム液		テトラデセンスルホン酸Na液	本品は、主として炭素数14からなる -オレフィンを無水硫酸でスルホン化した後、水酸化ナトリウムで中和し加水分解したものである。本品を定量するとき、テトラデセンスルホン酸ナトリウム(C 14H 27NaO 3S:298.42)として表示量の90~110%を含む。
1426	42	501094	テトラヒドロキシベンゾフェノン			本品を乾燥したものは、定量するとき、テトラヒドロキシベンゾフェノン(C 13H 10O 5:246.22)95.0~105.0%を含む。
1427	42	523152	テトラヒドロテトラメチルシクロテトラシロキサン			本品は、シロキサン骨格を持った環状化合物で、テトラヒドロテトラメチルシクロテトラシロキサン(C 4H 16O 4Si 4:252.20)からなる。
1428	42	532297	テトラ2-ヘキシルデカン酸アスコルビル	テトライソパルミチン酸アスコルビル	テトラヘキシルデカン酸アスコルビル、ピタミンCテトラヘキシルデカン酸、ピタミンCテトライソパルミチン酸	本品は、主として2-ヘキシルデカン酸と「アスコルビン酸」のテトラエステル(C 70H 128O 10:1129.78)からなる。
1429	42	501095	テトラミリスチン酸ペンタエリトリット		テトラミリスチン酸ペンタエリトリール	本品は、主として「ミリスチン酸」とペンタエリトリットのテトラエステルからなる。
1430	42	504236	テトラメチルトリヒドロキシヘキサデカン			本品は、定量するとき、テトラメチルトリヒドロキシヘキサデカン(C 20H 42O 3:330.55)98.0%以上を含む。
1431	42	523153	7-デヒドロコレステロール	プロビタミンD3	デヒドロコレステロール	本品は、主として7-デヒドロコレステロール(C 27H 44O:384.65)からなる。
1432	41	101702	デヒドロ酢酸			本品は、定量するとき、デヒドロ酢酸(C 8H 8O 4:168.15)98.5%以上を含む。
1433	41	006604	デヒドロ酢酸ナトリウム		デヒドロ酢酸Na、デヒドロ酢酸塩	本品は、定量するとき、デヒドロ酢酸ナトリウム(C 8H 7NaO 4H 2O:208.15)98.0~102.0%を含む。
1434	42	520787	デュークエキス			本品は、Ransium domesticum Jack var. duku(Meliaceae)果皮から、エタノール溶液にて抽出して得られるエキスである。
1435	42	532200	テルミナリアエキス			本品は、コバテイシ Terminalia sericea Brunch (Combretaceae)の樹皮及び根からメタノール



連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						で抽出して得られるエキスを、乾燥して得られた粉末である。
1436	42	002267	テレピン油			本品は、Pinus 族の植物 (Pinaceae) の材又はバルサムを水蒸気蒸留して得た精油である。
1437	42	532298	デンチャエキス			本品は、Rubus suavissimus Shugan Lee. (Rosaceae) の葉を熱湯に浸漬した後、葉を乾燥し、更に加熱したものを熱湯にて抽出して得られるエキスである。「1, 3- ブチレングリコール」を含むものもある。
1438	41	001239	天然ケイ酸アルミニウム		天然ケイ酸 A1	本品は、天然に産する含水ケイ酸アルミニウムである。
1439	41	104455	天然ゴムラテックス		ゴムラテックス	本品は、ゴムノキ Hevea brasiliensis (Mue 11-Arg) の幹より滲出した乳状の液を濃縮し、アンモニア水を加えたものである。
1440	42	104457	天然ビタミン E			本品は、ダイズ Glycine max . Merril その他の植物から得られる混合トコフェロールである。本品を定量するとき、総トコフェロールとして 68.0% 以上を含む。
1441	42	520791	デンブン・アクリル酸ナトリウムグラフト重合体		デンブン・アクリル酸 Na グラフト重合体	本品は、デンブンにアクリル酸及び微量のメチレンビスアクリルアミドをグラフト重合した後、水酸化ナトリウムで部分中和したものである。
1442	42	504240	デンブン牛脂脂肪酸エステル			本品は、デンブンと牛脂脂肪酸からなるエステルである。
1443	42	532098	トウガシエキス	ハクガシエキス		本品は、トウガ Benincasa cerifera Savi の種子又は Benincasa cerifera Savi forma emarginata K.Kimura et Sugiyama (Cucurbitaceae) の種子から水にて抽出して得られるエキスである。
1444	01	120133	トウガラシ	蕃椒		本品はトウガラシ Capsicum annuum Linne (Solanaceae) の果実である。本品は換算した生薬の乾燥物に対し、総カプサイシン (カプサイシン及びジヒドロカプサイシン) 0.10% 以上を含む。
1445	41	002270	トウガラシチンキ		トウガラシエキス	本品は、トウガラシ Capsicum annuum Linne (Solanaceae) 又はその変種の果実をエタノールで浸出して製したチンキ剤で、本品は、日本薬局方トウガラシを中切にしたもの 100g に「エタノール」約 600mL を加え、時々かき混ぜながら可溶性成分がじゅうぶんに溶けるまで放置して布ごしし、残留物を「エタノール」少量で洗い、圧搾し、浸出液及び洗液を合わせ、2日間放置した後ろ過し、更に「エタノール」を加えて全量を 1000mL として製する。
1446	01	520794	トウキ	当帰		本品はトウキ Angelica acutiloba Kitagawa 又はホツカイトウキ Angelica acutiloba Kitagawa var.sugiyamae Hikino (Umbelliferae) の根を、通例、湯通ししたものである。
1447	42	520795	トウキエキス (1)		トウキエキス- 1	本品は、トウキ Angelica acutiloba Kitagawa 又はその他近縁植物 (Umbelliferae) の根から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、又は「1, 3- ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1448	42	520796	トウキエキス (2)		トウキエキス- 2	本品は、トウキ Angelica acutiloba Kitagawa 又はその他近縁植物 (Umbelliferae) の根から n - ヘキサン及び n - ブタノール可溶部を除いた後、水、「エタノール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1449	99	999999	トウキエキス散			本品は日局トウキ Angelica acutiloba Kitagawa の根を 30v/v% エタノールで抽出し、得られたエキスを芒硝末 (乾燥硫酸ナトリウム) にて倍散したものである。
1450	42	520797	トウキ水			本品は、トウキ Angelica acutiloba Kitagawa (Umbelliferae) の根茎から水にて抽出して得られたエキスより、水蒸気蒸留して得られる液である。
1451	99	999999	トウキ抽出液		トウキエキス	本品は日局トウキ:当帰 Angelica acutiloba Kitagawa 又はその他近縁植物 (Umbelliferae) の根 (通例湯通ししたもの) を 30v/v% エタノールにて抽出したものである。
1452	99	999999	トウキ抽出液 LP			本品はトウキ:当帰 Angelica acutiloba Kitagawa 又はその他近縁植物 (Umbelliferae) の根 (通例、湯通ししたもの) の 30v/v% エタノール抽出物を流動パラフィンにて溶かしたものである。
1453	99	999999	トウキ流エキス			本品は、トウキ Angelica acutiloba KITAGAWA 又はその他近縁植物 (Umbelliferae) の乾燥根の流エキスである。本品 1m 中に原生薬 1g の可溶性成分を含む。
1454	42	520798	トウキンセンカエキス			本品は、トウキンセンカ Calendula officinalis Linne (Compositae) の頭花から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3- ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1455	42	511044	トウキンセンカ末			本品は、トウキンセンカ Calendula officinalis L. (Compositae) の花を乾燥し、粉末にしたものである。
1456	41	006800	銅クロロフィリンナトリウム		銅クロロフィリン Na	本品は、クロロフィルより得たクロロフィリンを銅に置換し、ナトリウム塩にしたものである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1457	42	532099	銅クロロフィルナトリウム・亜硫酸水素ナトリウム複合物		銅クロロフィルNa・亜硫酸水素Na複合物	本品は、銅クロロフィルナトリウムを「亜硫酸水素ナトリウム」で処理して得たものである。
1458	42	532100	冬虫夏草エキス			本品は、トウチユウカソウ <i>Cordyceps sinensis</i> (Berk.) Sacc. (Clavicipitaceae) の子実体と、その寄主であるコウモリガ科 Hepialidae の昆虫 <i>Hepialus armoricanus</i> Oberthur などの幼虫の複合体をエタノール溶液で抽出したエキスからなる。本品は、定量するとき、マンニトール (C 6H 14O 6 182.17) 0.06~ 0.21% を含む。
1459	99	999999	糖転移ステビア			本品は、粧配規「ステビアエキス」にグルコースを付加して製したものである。
1460	42	532101	豆乳発酵液			本品は、ダイズ <i>Glycine max</i> Merrill (Leguminosae) の種子から得た豆乳を乳酸菌 <i>Lactobacillus delbrueckii</i> で発酵して得た培養液にエタノールを加え、ろ過して得られるエキスである。本品は、定量するとき、窒素 (N: 14.01) 0.01~ 0.04% を含む。
1461	99	999999	豆乳ピフィズ菌発酵液			本品は、大豆 <i>Glycine max</i> Merrill (Leguminosae) の種子から得た豆乳を、ピフィズ菌 <i>Bifidobacterium breve</i> で発酵して得た培養液に、1,3-ブチレングリコールを加え、ろ過して得られるエキスである。本品は定量するとき、シロ糖 (C 12H 22O 11: 342.30) 0.15~ 0.35% を含む。
1462	42	520802	豆乳末			本品は、ダイズ <i>Glycine max</i> Merrill (Leguminosae) の種子を水浸後、磨砕し、水を加えて加熱し、不溶性残渣を除いて製した乳液を乾燥した粉末である。本品は、定量するとき、窒素 (N: 14.01) として 7.0~ 8.0% を含む。
1463	42	107376	トウニンエキス			本品は、モモ <i>Prunus persica</i> Batsch 又は <i>Prunus persica</i> Batsch var. <i> davidiana</i> Maximowicz (Rosaceae) の種子から水、「エタノール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1464	42	520803	トウヒエキス			本品は、 <i>Citrus aurantium</i> Linne 又はダイダイ <i>Citrus aurantium</i> Linne var. <i> daidai</i> Makino (Rutaceae) の成熟した果皮から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1465	42	104861	トウビ油			本品は、ダイダイ <i>Citrus aurantium</i> L. var. <i> daidai</i> Makino ( <i>Citrus aurantium</i> L. subsp. <i> amara</i> Engler) (Rutaceae) の成熟した果皮を水蒸気蒸留して得た精油である。本品を定量するとき、d-リネン (C 10H 16: 136.24) 90.0% 以上を含む。
1466	42	532194	トウモロコシエキス		コーンエキス	本品は、トウモロコシ <i>Zea mays</i> Linne (Gramineae) の種子から水で抽出して得られるエキスである。
1467	41	001438	トウモロコシデンブ		コーンデンブ、コーンスターチ	本品は、トウモロコシ <i>Zea mays</i> Linne (Gramineae) の種子から得たデンブである。
1468	42	507076	トウモロコシ穂軸粒		コーン穂軸粒	本品は、トウモロコシ <i>Zea mays</i> Linne (Gramineae) の穂軸を破碎し、整粒したものである。
1469	42	107373	トウモロコシ末		コーン末	本品は、トウモロコシ <i>Zea mays</i> Linne (Gramineae) の種子の粉末である。
1470	42	002275	トウモロコシ油		コーン油	本品は、トウモロコシ <i>Zea mays</i> Linne (Gramineae) の種子から得た脂肪油である。
1471	26	120217	トウカツ			本品はウド <i>Aralia cordata</i> Thunberg (Araliaceae) の、通例、根茎である。
1472	42	520811	トウダミエキス			本品は、トウダミ <i>Houttuynia cordata</i> Thunberg (Saururaceae) の開花期の地上部から水、エタノール溶液、1,3-ブチレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
1473	42	532102	トウダミ末	ジュウヤク末		本品は、トウダミ <i>Houttuynia cordata</i> Thunberg (Saururaceae) の花期の地上部を粉末にしたものである。
1474	99	999999	? - - トコフェリルリン酸ナトリウム		ビタミンEリン酸Na、ビタミンEリン酸ナトリウム、dl- - トコフェリルリン酸Na	本品は、? - - トコフェリルリン酸ナトリウム (C 29H 50O 5PNa : 532.67) と ? - - トコフェリルリン酸ジナトリウム (C 29H 49O 5PNa 2 : 554.66) からなる。
1475	42	109575	d- - トコフェロール		ビタミンE	本品は、大豆油、ナタネ油又は綿実油の脱臭留出油から抽出して得られる d- - トコフェロール (C 27H 46O 7. 402.63) からなる。本品は、定量するとき、総トコフェロール (d- - トコフェロールとして) 96.0% 以上を含み、総トコフェロール量の 90.0% 以上の d- - トコフェロールを含む。
1476	41	109577	dl- - トコフェロール		トコフェロール	本品は、定量するとき、dl- - トコフェロール (C 29H 50O 7. 430.71) 96.0% 以上を含む。
1477	42	508069	トサカ抽出液			本品は、ニワトリ <i>Gallus gallus domesticus</i> Brisson のトサカをたん白分解酵素で分解して得た溶液である。
1478	42	510054	トサカ抽出末			本品は、ニワトリ <i>Gallus gallus domesticus</i> Brisson のトサカから得たムコ多糖類である。本品

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						は、ムコ多糖類として35~55%を含む。
1479	99	999999	菟絲子抽出物 M			本品は、マメダオシ <i>Cuscuta australis</i> R.Brown の種子から抽出して得た脂肪を精製したものである。
1480	42	520813	トシヨブ油			本品は、 <i>Juniperus oxycedrus</i> Linne (Cupressaceae) の木部から得られる揮発性油である。
1481	99	999999	トツカツエキス末			本品はウド <i>Aralia cordata</i> Thunberg (Araliaceae) の乾燥根茎(独活 <i>Araliae cordatae</i> Rhizoma) を精製水にて抽出し、粉末としたものである。
1482	42	520814	トデカメチルシクロヘキサシロキサン		シクロヘキサシロキサン	本品は、シロキサン結合を骨格とした環状の重合体で、主としてトデカメチルシクロヘキサシロキサン(C12H36O6Si6.444.95)からなる。
1483	42	109803	トデシルベンゼンスルホン酸			本品は、定量するとき、換算した乾燥物に対し、トデシルベンゼンスルホン酸(C18H30O3S:326.50)96.0%以上を含む。
1484	42	504243	トデシルベンゼンスルホン酸トエタノールアミン液		トデシルベンゼンスルホン酸TEA液	本品は、主として「トデシルベンゼンスルホン酸」のトエタノールアミン塩からなる水溶液である。本品は、定量するとき、トデシルベンゼンスルホン酸トエタノールアミン(C24H45NO6S:475.69)として表示量の90~110%を含む。
1485	42	106656	(トデシルベンゼンスルホン酸ナトリウム)			
1486	51	523429	(トデシルベンゼンスルホン酸ナトリウム液)			
1487	42	520815	トマトエキス			本品は、トマト <i>Lycopersicon esculentum</i> Miller ( <i>Solanum lycopersicum</i> Linne) (Solanaceae) の果実(生)から水、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1488	42	520816	トマト果汁			本品は、トマト <i>Lycopersicon esculentum</i> Miller ( <i>Solanum lycopersicum</i> Linne) (Solanaceae) の果実(生)から圧搾、ろ過して得られる果汁である。
1489	41	002277	トラガント			本品は、トラガント <i>Astragalus gummifer</i> Labillardiere (Leguminosae) 又は同属植物の幹から得た分泌物である。
1490	42	504244	トアセチルグリセリル		ト酢酸グリセリル	本品は、主として「酢酸」とグリセリンのトエステル(C9H14O6:218.20)からなる。
1491	42	504245	トアセチルリノレイン酸グリセリル		ト酢酸リノレイン酸グリセリル	本品は、主として「リノレイン酸」をアセチル化したもののトグリセライド(C63H110O12:1059.56)である。
1492	42	505112	トイソステアリン酸グリセリル			本品は、主として「イソステアリン酸」とグリセリンからなるトエステル(C57H110O6:891.50)である。
1493	42	508071	トイソステアリン酸硬化ヒマシ油		トイソステアリン酸水添ヒマシ油	本品は、主として「イソステアリン酸」と「硬化ヒマシ油」からなるトエステルである。
1494	42	532104	トイソステアリン酸ジグリセリル			本品は、主として「イソステアリン酸」と「ジグリセリン」のトエステルからなる。
1495	42	503098	トイソステアリン酸トリメチロールプロパン		トイソステアリン酸TMP	本品は、主として「イソステアリン酸」とトリメチロールプロパンのトエステル(C60H116O6:933.58)からなる。
1496	42	502095	トイソステアリン酸ポリオキシエチレングリセリル		トイソステアリン酸POEグリセリル	本品は、主として「イソステアリン酸」とポリオキシエチレングリセリンのトエステルからなる。酸化エチレンの平均付加モル数は、5~60である。
1497	42	504246	トイソステアリン酸ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油		トイソステアリン酸POE硬化ヒマシ油、トイソステアリン酸POE水添ヒマシ油	本品は、主として「イソステアリン酸」と「ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油」のトエステルからなる。酸化エチレンの平均付加モル数は、15~60である。
1498	42	532103	トイソステアリン酸ポリオキシエチレンソルビタン		トイソステアリン酸POEソルビタン	本品は、主として「イソステアリン酸」とソルビタンのトエステルに酸化エチレンを付加したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は160である。
1499	42	520817	トイソパルミチン酸グリセリル			本品は、主としてイソパルミチン酸とグリセリンのトエステル(C51H98O6:807.27)からなる。
1500	41	107458	トイソプロパノールアミン		TIPA	本品は、主としてトイソプロパノールアミンからなり、通例、ジイソプロパノールアミン及びモノイソプロパノールアミンを含む。本品は、定量するとき、トイソプロパノールアミン(C9H21NO3:191.27)として95.0~105.0%を含む。
1501	42	510055	トウンデカン酸グリセリル			本品は、主としてウンデカン酸とグリセリンのトエステル(C36H68O6:596.93)からなる。
1502	41	001446	トエタノールアミン		TEA	本品は、主としてトエタノールアミンからなり、通例、ジエタノールアミン及びモノエタノールアミンを含む。本品は、定量するとき、トエタノールアミン(C6H15NO3:149.19)として99.0~105.0%を含む。
1503	42	520818	ト2-エチルヘキサン酸グリセリル	トオクタノ酸グリセリル	トエチルヘキサン酸グリセリル	本品は、主として、2-エチルヘキサン酸とグリセリンのトエステル(C27H50O6:470.69)からなる。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1504	42	503099	トリ(2-エチルヘキサン酸)トリメチロールプロパン	トリオクタノ酸トリメチロールプロパン	トリエチルヘキサン酸 TM P、トリオクタノ酸 TM P	本品は、2-エチルヘキサン酸とトリメチロールプロパンのトリエステル(C <sub>30</sub> H <sub>56</sub> O <sub>6</sub> :512.7)からなる。
1505	42	107446	トリエチレングリコール		トリエチレングリコール	本品は、主としてトリエチレングリコール(C <sub>6</sub> H <sub>14</sub> O <sub>4</sub> :150.17)からなる。
1506	42	504247	トリオキシステアリン酸グリセリル			本品は、主として「トリオキシステアリン酸」とグリセリンのトリエステル(C <sub>57</sub> H <sub>110</sub> O <sub>9</sub> :939.50)からなる。
1507	41	106822	トリオレイン酸ソルビタン			本品は、主として「オレイン酸」と「ソルビット」からなるトリエステルである。
1508	41	108413	トリオレイン酸ポリオキシエチレンソルビタン(20E.O.)		トリオレイン酸 POE (20)ソルビタン	本品は、主として「トリオレイン酸ソルビタン」に酸化エチレンを付加重合したもので、酸化エチレンの平均付加モル数は、20である。
1509	42	520820	トリオレイン酸ポリグリセリル			本品は、主として「オレイン酸」とポリグリセリンのトリエステルからなる。グリセリンの平均重合度は10である。
1510	41	111164	トリ(カプリル・カプリン酸)グリセリル			本品は、主として、カプリル酸とカプリン酸の混合脂肪酸とグリセリンのトリエステルで、主としてトリ(カプリル・カプリン酸)グリセリンからなる。
1511	42	504248	トリ(カプリル・カプリン酸)グリセリル・ドステアリン酸グリセリル混合物			本品は、主としてトリ(カプリル・カプリン酸)グリセリルとドステアリン酸グリセリルの混合物である。
1512	42	509079	トリ(カプリル・カプリン・ミリスチン・ステアリン酸)グリセリル			本品は、カプリル酸約25%、カプリン酸約15%、「ミリスチン酸」約20%及び「ステアリン酸」約40%の混合脂肪酸と、グリセリンからなるトリエステルである。
1513	42	505117	トリカプリル酸グリセリル			本品は、主としてカプリル酸とグリセリンのトリエステル(C <sub>27</sub> H <sub>50</sub> O <sub>6</sub> :470.66)からなる。
1514	42	505119	トリカプリン酸グリセリル			本品は、主として「カプリン酸」とグリセリンのトリエステルからなる。
1515	41	107430	トリクロロカルバニリド		トリクロロカルバン	本品を乾燥したものは、定量するとき、トリクロロカルバニリド(C <sub>13</sub> H <sub>9</sub> Cl <sub>3</sub> N <sub>2</sub> O:315.59)95.0%以上を含む。
1516	42	109801	(トリクロロヒドロキシジフェニルエーテル)			
1517	42	532201	2,4,6-トリス[4-(2-エチルヘキシルオキシカルボニル)アニリノ]1,3,5-トリアジン		トリスエチルヘキシルオキシカルボニルアニリノトリアジン	本品は、定量するとき2,4,6-トリス[4-(2-エチルヘキシルオキシカルボニル)アニリノ]1,3,5-トリアジン(C <sub>48</sub> H <sub>66</sub> N <sub>6</sub> O <sub>6</sub> :823.09)として95.0%以上を含む。
1518	42	503100	トリステアリン酸グリセリル			本品は、主として「ステアリン酸」とグリセリンのトリエステル(C <sub>57</sub> H <sub>110</sub> O <sub>6</sub> :891.50)からなる。
1519	41	106823	トリステアリン酸ソルビタン			本品は、主として「ステアリン酸」と「ソルビット」のトリエステルからなる。
1520	42	520824	トリステアリン酸デカグリセリル			本品は、主として「ステアリン酸」とデカグリセリンのトリエステルからなる。
1521	42	503101	トリステアリン酸ポリオキシエチレングリセリル		トリステアリン酸 POEグリセリル	本品は、主として「ステアリン酸」とポリオキシエチレングリセリンからなるトリエステルである。
1522	42	502100	トリステアリン酸ポリオキシエチレンソルビタン		トリステアリン酸 POEソルビタン	本品は、主として「ステアリン酸」とポリオキシエチレンソルビタンからなるトリエステルである。
1523	41	500298	トリステアリン酸ポリオキシエチレンソルビタン(20E.O.)		トリステアリン酸 POE (20)ソルビタン	本品は、主として「トリステアリン酸ソルビタン」に酸化エチレンを付加重合したもので、酸化エチレンの平均付加モル数は、20である。
1524	42	523155	トリステアリン酸ポリオキシエチレンソルビタン(160E.O.)		トリステアリン酸 POE (160)ソルビタン	本品は、主としてソルビタンのステアリン酸トリエステルに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は160である。
1525	42	520823	トリステアリン酸ポリオキシエチレンソルビット		トリステアリン酸 POEソルビット	本品は、主として「ステアリン酸」とポリオキシエチレンソルビットのトリエステルからなる。酸化エチレンの平均付加モル数は3である。
1526	42	503102	トリパルミチン酸グリセリル			本品は、主として「パルミチン酸」とグリセリンのトリエステル(C <sub>51</sub> H <sub>98</sub> O <sub>6</sub> :807.34)からなる。
1527	42	520825	トリパルミチン酸ピリキシン	ピリキシントリパルミチン酸	ビタミンB6トリパルミチン酸	本品は、「パルミチン酸」とピリキシンのトリエステルである。本品を乾燥したものは、定量するとき、トリパルミチン酸ピリキシン(C <sub>56</sub> H <sub>104</sub> N <sub>2</sub> O <sub>6</sub> :884.42)95.0%以上を含む。
1528	42	002280	L-トリブタン		トリブタン	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-トリブタン(C <sub>11</sub> H <sub>24</sub> N <sub>2</sub> O <sub>2</sub> :204.23)98.5%以上を含む。
1529	42	505124	トリベヘン酸グリセリル			本品は、主として「ベヘニン酸」とグリセリンのトリエステルからなる。
1530	42	509080	トリポリオキシエチレンアルキル(12~15)エーテルリン酸(8E.O.)		トリPOE(8)アルキル(12~15)エーテルリン酸	本品は、主として炭素数12~15のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるもののリン酸トリエステルからなり、酸化エチレンの平均付加モル数は8である。
1531	42	508072	トリ(ポリオキシエチレンイソステアリン酸)トリメチロールプロパン(3E.O.)		トリPOE(3)イソステアリン酸 TM P	本品は、主としてポリオキシエチレントリメチロールプロパンと「イソステアリン酸」のトリエステルからなる。酸化エチレンの平均付加モル数は、3である。
1532	41	500299	トリミリスチン酸グリセリル			本品は、主として「ミリスチン酸」とグリセリンのトリエステル(C <sub>45</sub> H <sub>86</sub> O <sub>6</sub> :723.17)からなる。
1533	42	511049	トリミリスチン酸ポリオキシエチレントリメチロールプロパン(5E.O.)		トリミリスチン酸 POE (5)TM P	本品は、主として「ミリスチン酸」とポリオキシエチレントリメチロールプロパンとのトリエステルからなる。酸化エチレンの平均付加モル数は5である。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1534	42	509081	トリ(ミング油脂脂肪酸・パルミチン酸)グリセリル		トリ(ミング油脂脂肪酸・パルミチン酸)グリセリル	本品は、主としてミング油脂脂肪酸と「パルミチン酸」の混合物とグリセリンのトエステルである。
1535	42	523156	トリメチルグリシン	ベタイン		本品を乾燥したものは、定量するとき、トリメチルグリシン (C <sub>5</sub> H <sub>11</sub> NO <sub>2</sub> : 117.15) 98.0%以上を含む。
1536	42	520827	トリメチルシロキシケイ酸		トリシロキサン	本品は、シロキサン構造を主骨格とした架橋構造をもつ化合物で [(CH <sub>3</sub> ) <sub>3</sub> SiO <sub>1/2</sub> ] <sub>x</sub> ・SiO <sub>2</sub> <sub>y</sub> であらわされ、Xは1~3、Yは0.5~8である。
1537	42	532105	トリメリ酸トリドデシル			本品は、主としてトリメリ酸とドデシルアルコールのトエステル (C <sub>48</sub> H <sub>84</sub> O <sub>6</sub> : 757.32) からなる。
1538	42	505127	トヤシ油脂脂肪酸グリセリル			本品は、主として「ヤシ油脂脂肪酸」とグリセリンのトエステルからなる。
1539	42	504256	ト라우リリアミン			本品は、主としてト라우リリアミン (C <sub>36</sub> H <sub>75</sub> N: 522.00) からなる。
1540	42	504257	ト라우リン酸グリセリル			本品は、主として「ラウリン酸」とグリセリンのトエステルからなる。
1541	42	508073	トリ(リノレイン・カプロン・カプリル・カプリン酸)グリセリル			本品は、主として「リノレイン酸、カプロン酸、カプリル酸及び「カプリン酸」からなる混合脂肪酸とグリセリンとのトエステルである。
1542	41	107368	トレエン			本品は、トレエン (C <sub>7</sub> H <sub>8</sub> : 92.14) である。
1543	42	520833	トレメンチラエキス			本品は、トレメンチラ <i>Potentilla tormentilla</i> Schrk (Rosaceae) の根から、水にて抽出して得られるエキスである。
1544	42	532239	トレハロース			本品は、主として、トレハロース (C <sub>12</sub> H <sub>22</sub> O <sub>11</sub> : 342.30) からなる。
1545	42	532106	トレハロース液			本品は、「トレハロース」の水溶液である。
1546	42	532183	トレハロース硫酸ナトリウム		トレハロース硫酸 Na	本品は、「トレハロース」の硫酸エステルのナトリウム塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、イオウ (S: 32.06) 18.0~22.5% を含む。
1547	99	999999	トレメラエキス-			本品は、シロキクラゲ <i>Tremella fuciformis</i> Berk. (シロキクラゲ目 Tremellales, シロキクラゲ科 Tremellaceae) の子実体に含まれる多糖体の抽出液である。
1548	42	520835	ナイロン末			本品は、ポリアミ系の重合体である。
1549	42	002281	ナタネ油			本品は、「セイヨウアブラナ <i>Brassica napus</i> Linne' 又は <i>Brassica campestris</i> Linne' (Cruciferae) の種子から得られた脂肪油である。
1550	42	520836	納豆エキス			本品は、「ダイズ <i>Glycine max</i> Merrill (Legminosae) の種子をナットウ菌 <i>Bacillus natto</i> Sawamura で発酵して得た納豆の20%エタノール溶液エキスに「無水エタノール」を加えて析出する塊状粘質物を10%エタノール溶液に分散させて得られる液である。
1551	41	500301	軟質ラノリン脂肪酸			本品は、ラノリンをけん化して得た軟質の脂肪のような物質を精製したものである。
1552	42	506019	軟質ラノリン脂肪酸コレステリル			本品は、主として「軟質ラノリン脂肪酸」と「コレステロール」のモノエステルからなる。
1553	42	001461	ニコチン酸			本品を乾燥したものは、定量するとき、ニコチン酸 (C <sub>6</sub> H <sub>5</sub> NO <sub>2</sub> : 123.11) 99.5%以上を含む。
1554	41	001463	ニコチン酸アミド			本品を乾燥したものは、定量するとき、ニコチン酸アミド (C <sub>6</sub> H <sub>6</sub> N <sub>2</sub> O: 122.13) 98.0%以上を含む。
1555	41	110588	ニコチン酸 dl- - トコフェロール	ビタミンEニコチネート	ビタミンEニコチン酸エステル	本品は、定量するとき、ニコチン酸 dl- - トコフェロール (C <sub>35</sub> H <sub>53</sub> NO <sub>3</sub> : 535.81) 95.0%以上を含む。
1556	41	007206	ニコチン酸ベンジル			本品は、定量するとき、ニコチン酸ベンジル (C <sub>13</sub> H <sub>11</sub> NO <sub>2</sub> : 213.24) 96.0%以上を含む。
1557	42	504263	ニコチン酸メチル			本品は、乾燥したものは、定量するとき、ニコチン酸メチル (C <sub>7</sub> H <sub>7</sub> NO <sub>2</sub> : 137.13) 97.5%以上を含む。
1558	42	532185	二酸化ケイ素被覆炭化ケイ素			本品は、型炭化ケイ素に二酸化ケイ素を9:1の割合で被覆したものである。
1559	41	104611	二トロセルロース			本品は、セルロースの硝酸エステルで、通例、「イソプロパノール」又はその他の溶剤で潤したものである。
1560	99	999999	乳酵母エキス			本品は、酵母 <i>Kluyveromyces lactis</i> 及び <i>Kluyveromyces fragilis</i> の菌体を乾燥して粉末にしたものから「精製水」にて抽出し、「エタノール」を加えたものである。
1561	41	001468	乳酸			本品は、乳酸及び無水乳酸の混合物で、定量するとき、乳酸 (C <sub>3</sub> H <sub>6</sub> O <sub>3</sub> : 90.08) 85.0~92.0%を含む。
1562	42	532257	乳酸アルキル(12,13)			本品は、主として、「乳酸」と炭素数12,13の分岐アルキル基を有するアルコールのエステルである。
1563	42	100452	乳酸アルミニウム		乳酸 A 1	本品は、乳酸アルミニウム (C <sub>9</sub> H <sub>15</sub> AlO <sub>9</sub> : 291.19) からなる。本品は定量するとき、換算した

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						脱水物に対し、アルミニウム (Al : 26 98) 8.9~ 9.4%及び乳酸 (C 3H 6O3 : 90.08) 89.0~ 93.7%を含む。
1564	42	504266	乳酸オクチルデシル			本品は、主として「乳酸」と「2-オクチルデカノール」のエステル (C 23H 46O 3 : 370.61) からなる。
1565	99	999999	乳酸球菌発酵液 D 2			本品は、乳酸球菌の発酵液である。
1566	41	101322	乳酸セチル			本品は、主として「乳酸」と「セタノール」のエステル (C 19H 38O 3 : 314.51) からなる。
1567	41	106682	乳酸ナトリウム液		乳酸Na液	本品は、定量するとき、表示量の 97.0~ 103.0%に対応する乳酸ナトリウム (C 3H 5NaO 3 : 112.06)を含む。
1568	41	500308	乳酸ミリスチル			本品は、主として「乳酸」と「ミリスチルアルコール」のエステル (C 17H 34O 3 : 287.45) からなる。
1569	42	503104	乳酸ラウリル			本品は、主として「乳酸」と「ラウリルアルコール」のエステル (C 15H 30O 3 : 258.41) からなる。
1570	42	510057	乳脂			本品は、牛乳から得られる脂を精製したものである。
1571	42	520842	乳脂肪エマルション			本品は、牛乳から乳脂肪分以外の成分を除去したものである。本品は、定量するとき、乳脂肪分として、18.0%以上を含む。
1572	42	523157	乳たん白			本品は、脱脂した牛乳から得たたん白質を、噴霧乾燥したものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素 (N : 14.01) 13.0~ 15.0%を含む。
1573	41	001472	乳糖			本品は、主として乳糖 (C 12H 22O 11 H 2O : 360.31) からなる。
1574	41	002286	尿素			本品は、定量するとき、尿素 (CH 4N 2O : 60.06) 99.0%以上を含む。
1575	99	104577	ニンジンエキス		人参エキス	本品はオタネニンジン <i>Panax ginseng</i> C.A.Meyer ( <i>Panax schinseng</i> Nees) (Araliaceae) の根の含有成分を 50vol% エタノール溶液にて低温抽出して得られた成分を 20vol% エタノール溶液に溶かしたものである。本品は定量するとき、ギンセノシド Rg 1 (C 42H 72O 14 : 801.03) として 0.05~ 0.12w/v% を含む。
1576	42	104577	ニンジンエキス		人参エキス	本品は、オタネニンジン <i>Panax ginseng</i> C.A.Meyer ( <i>Panax schinseng</i> Nees) (Araliaceae) の根又は根 (生) を蒸して乾燥したものから水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液又は「無水エタノール」にて抽出して得られるエキスである。
1577	99	999999	ニンジン抽出液		ニンジンエキス	本品はオタネニンジン <i>Panax ginseng</i> C.A. Meyer ( <i>Panax schinseng</i> Nees) (Araliaceae) の含有成分を 50v/v% エタノールにて低温抽出して得られた成分を 10v/v% エタノールに溶かしたものであり、ジンセノサイド Rg 1 (C 42H 72O 14 : 801.03) として 0.05~ 0.12w/v% 含む。
1578	42	104583	ニンジン末		人参末	本品は、オタネニンジン <i>Panax ginseng</i> C.A.Meyer ( <i>Panax schines</i> Nees (Araliaceae)) の根を粉砕したものである。
1579	99	999999	ニンニク B 1エキス末			本品は別添規格 ((1)-1)「ニンニク」( <i>Allium sativum</i> Linne (')) (Liliaceae) の鱗茎抽出液に塩酸チアミンを添加して乾燥粉末としたもので、塩酸チアミン 4.05~ 4.95% を含む。
1580	42	104591	ニンニクエキス			本品は、ニンニク <i>Allium scorodoplasum</i> L. 又は <i>Allium sativum</i> L. (Liliaceae) の鱗茎から水、「無水エタノール」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られたエキスである。
1581	41	001224	濃グリセリン			本品は、グリセリン (C 3H 8O 3 : 92.09) 95.0%以上を含む (比重による)。
1582	41	500312	- ナラクトン	アルデヒドC- 18		本品は、定量するとき、- ナラクトン (C 9H 16O 2 : 156.22) 97.0%以上を含む。
1583	42	520849	ノナン酸コレステリル			本品は、主として「ノナン酸」と「コレステロール」のエステル (C 36H 62O 2 : 526.89) からなる。
1584	42	532107	ノナン酸ジヒドロコレステリル			本品は、主として「ノナン酸」と「ジヒドロコレステロール」のエステル (C 36H 64O 2 : 528.91) からなる。
1585	42	502108	ノナン酸パニリルアミド		ヒドロキシメキシベンジルノナミド、ノニル酸パニリルアミド	本品を乾燥したものは、定量するとき、ノニル酸パニリルアミド (C 17H 27NO 3 : 293.41) 95.0%以上を含む。
1586	42	520850	ノバラエキス			本品は、 <i>Rosa canina</i> Linne (Rosaceae) の果実から、水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液、もしくは「エチレングリコール」及び「エタノール」の混液 (7:3) にて抽出して得られるエキスである。
1587	42	532231	ノバラ油			本品は、 <i>Rosa canina</i> Linne (Rosaceae) の果実を水蒸気蒸留して得た精油である。
1588	41	500314	パーシック油			本品は、ホンアンズ <i>Prunus armeniaca</i> Linne (モモ <i>Prunus persica</i> Batch) 及びその変種

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						(Rosaceae)の核仁から得た脂肪油である。
1589	42	532190	パーフルオロアルキルエーテルポリオキシエチレンリン酸		パーフルオロアルキルエーテルPOEリン酸	本品は、モノ(パーフルオロアルキルエーテルポリオキシエチレン)リン酸とジ(パーフルオロアルキルエーテルポリオキシエチレン)リン酸の混合物である。
1590	42	532108	パーフルオロアルキルシラン被覆セリサイト			本品は、「セリサイト」をパーフルオロアルキルシランで被覆処理したものである。
1591	99	999999	パーフルオロアルキルシランポリシロキサン被覆セリサイト			本品は、粧配規「セリサイト」をパーフルオロアルキルシランポリシロキサンで被覆処理したものである。
1592	42	523158	パーフルオロアルキルリン酸エステルジエタノールアミン塩		パーフルオロアルキルリン酸DEA	本品は、モノパーフルオロアルキルエチルリン酸エステルのジエタノールアミン塩とジパーフルオロアルキルエチルリン酸エステルのジエタノールアミン塩との混合物からなり、通常、水を含む。
1593	42	523159	パーフルオロポリエーテル			本品は、主として酸化ヘキサフルオロプロピレンと酸化ジフルオロメチレンの共重合体からなる。酸化ジフルオロメチレン1モルに対する酸化ヘキサフルオロプロピレンの重合度比は、20～40である。
1594	42	508078	パーム核油			本品は、アブラヤシ <i>Elaeis guineensis</i> Jacq. (Palmae)の果実の核を圧搾して得た脂肪油である。
1595	42	504270	パーム核油脂肪酸			本品は、「パーム核油」から得られる高級脂肪酸の混合物で、主としてラウリン酸(C <sub>12</sub> H <sub>24</sub> O <sub>2</sub> )からなる。
1596	42	523160	パーム核油脂肪酸アシル-N-カルボキシエチル-N-ヒドロキシエチルエチレンジアミナドウム液	パーム核油アルキルN-カルボキシエチル-N-ヒドロキシエチルエチレンジアミナドウム	パーム核油脂肪酸アシルカルボキシエチルヒドロキシエチルエチレンジアミナドウム液	本品は、主としてパーム核油脂肪酸アシル-N-カルボキシエチル-N-ヒドロキシエチルエチレンジアミナドウムの水溶液からなる。本品は定量するとき、パーム核油脂肪酸アシル-N-カルボキシエチル-N-ヒドロキシエチルエチレンジアミナドウムとして、表示量の90.0～110.0%を含む。
1597	42	523161	パーム核油脂肪酸アミドプロピルベタイン液			本品は、パーム核油脂肪酸アミドプロピルベタインの水溶液である。本品を定量するとき、パーム核油脂肪酸アミドプロピルベタインを27～33%含む。
1598	42	523162	パーム核油脂肪酸ジエタノールアミド(1)		パーム核油脂肪酸ジエタノールアミド 1	本品は、「パーム核油脂肪酸」と当量の「ジエタノールアミン」とを縮合して得られるアルキロールアミドである。
1599	42	523163	パーム核油脂肪酸ジエタノールアミド(2)		パーム核油脂肪酸ジエタノールアミド 2	本品は、主としてパーム核油脂肪酸とジエタノールアミンとを縮合して得られる1:2型アルキロールアミドである。
1600	42	523164	パーム脂肪酸			本品は、主として「パーム核油」と「パーム油」から得られる脂肪酸の混合物である。
1601	42	504271	パーム油			本品は、アブラヤシ <i>Elaeis guineensis</i> Jacq.の果実の果肉から得られる脂肪油である。
1602	42	520855	パール末		真珠末	本品は、アコヤガイ <i>Pinctada martensii</i> Dunker、カワシンジュガイ <i>Margaritifera margaritifera</i> Linne' (Unionidae)、クロチヨウガイ <i>Pinctada margaritifera</i> Linne' (Pteriidae)及びシナカラスガイ <i>Crystaria plicata</i> Leach (Unionidae)の真珠層又は真珠を粉碎したものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、炭酸カルシウム(CaCO <sub>3</sub> :100.09)85.0%以上を含む。
1603	42	509083	パイロフェライト質クレイ			本品は、主として天然に産する含水ケイ酸アルミニウムからなる。
1604	99	999999	ハクガイシ加水分解エキス		ハクガイシ水解エキス	本品は、アブラナ科(Cruciferae)に属するアブラナ属( <i>Brassica</i> )のハクガイシ( <i>Sinapis alba</i> L. ( <i>Brassica hirta</i> MOENCH, <i>B. alba</i> BOISS))の種子を水抽出し、加水分解処理して得られた液である。
1605	42	520861	バクガ液汁		麦芽液汁	本品は、「オオムギ」 <i>Hordeum vulgare</i> Linne' (Gramineae)の芽(生)を圧搾して得られる液汁である。
1606	42	508076	バクガエキス		麦芽エキス	本品は、「オオムギ」 <i>Hordeum vulgare</i> Linne' (Gramineae)の芽を「エタノール」にて約70%で抽出して得られるエキスである。
1607	42	523165	バクガ根エキス		麦芽根エキス	本品は、「オオムギ」 <i>Hordeum vulgare</i> Linne' (Gramineae)の根から水で抽出して得たエキスである。
1608	41	500313	白糖			本品は、主としてショ糖(C <sub>12</sub> H <sub>22</sub> O <sub>11</sub> :342.30)からなる。
1609	51	523392	白糖発酵液			本品は、「白糖」を水で溶解し、酵母 <i>Saccharomyces</i> により発酵した後、得られた液をろ過したものである。
1610	42	111921	バクモンドウエキス			本品は、ジャムシク <i>Ophiopogon japonicus</i> Ker-Gawler 又はその他同属植物(Liliaceae)の根の膨大部から水で抽出して得られるエキスである。本品は、定量するとき、糖類(ショ糖とし

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						て)85.0~105.0%を含む。
1611	51	520864	馬脂			本品は、ウマ <i>Equus caballus</i> Linne (Equidae) の脂肉から得られる脂肪を精製したものである。
1612	42	520866	パセリエキス(1)	オランダゼリエキス(1)	パセリエキス-1、オランダゼリエキス-1	本品は、オランダゼリ(パセリ) <i>Petroselinum sativum</i> Hoffman (Umbelliferae) の葉から水、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1613	42	520867	パセリエキス(2)	オランダゼリエキス(2)	パセリエキス-2、オランダゼリエキス-2	本品は、オランダゼリ(パセリ) <i>Petroselinum sativum</i> Hoffman (Umbelliferae) の根から水、「プロピレングリコール」及び「モノラウリン酸ポリオキシエチレンソルビタン(20E.O.)」の混液(81:15:4)にて抽出して得られるエキスである。
1614	42	520868	ハダカムギ葉汁濃縮物			本品は、ハダカムギ <i>Hordeum vulgare</i> Linne var. nudum Hooker f. (Gramineae) の葉を圧搾して得られる液を噴霧乾燥したもの又はこれを更に水に溶解した後、ろ過し、得られたろ液を濃縮又は噴霧乾燥したものである。
1615			ハアセチル化シヨ糖変性アルコール			本品は、「エタノール」にハアセチル化シヨ糖を加え、変性させたものである。
1616	41	500315	ハチミツ			本品は、ヨーロッパミツパチ <i>Apis mellifera</i> Linne 又はトウヨウミツパチ <i>Apis indica</i> Radoszkowski (Apidae) がその巣に集めた甘味物を採集したものである。
1617	41	500316	パチルアルコール	グリセリンモノステアリルエーテル		本品は、主としてグリセリンのモノステアリルエーテル(C21H44O3:344.58)からなる。
1618	01	120141	ハッカ	薄荷		本品はハッカ <i>Mentha arvensis</i> Linne var. piperascens Malinvaud (Labiatae) の地上部である。
1619	42	105562	ハッカ末			本品は、ハッカ <i>Mentha arvensis</i> Linne var. piperascens Malinvaud 又はその仲間雑種(Labiatae)の地上部を粉末にしたものである。
1620	42	001488	ハッカ油			本品は、 <i>Mentha arvensis</i> Linne 及び <i>Mentha piperita</i> を水蒸気蒸留して得られる精油である。本品は定量するとき、総メントール(メントール(C10H20O:156.27)として)50.0%以上を含む。
1621	42	510060	ハトムギ油			本品は、ハトムギ <i>Coix lacryma-jobi</i> Linne var. ma-yuen Stapf (Gramineae) の種子から得られる脂肪油である。
1622	41	107548	バニリン	ワニリン		本品は、主としてバニリン(C8H8O3:152.15)からなる。
1623	42	507080	パパイヤ末			本品は、パパイヤ <i>Carica papaya</i> L. (Caricaceae) の果肉及び果皮を乾燥させ、粉末としたものである。本品を定量するとき、粗たん白として60.0~70.0%を含む。
1624	42	105015	パパイン			本品は、主としてパパイヤ <i>Carica papaya</i> L. (Caricaceae) の果汁から得られるたん白質分解酵素からなる。本品は定量するとき、40000Pa.U.N./g以上の活性を有する。
1625	42	508077	パプリカ色素			本品はトウガラシ <i>Capsicum frutescens</i> Linne (Solanaceae) の果実をヘキサンの抽出した後、ヘキサンを留去して得られるカロチノイド系色素を「大豆油」に溶解したものである。
1626	42	532248	ハマナスエキス	マイカイカエキス		本品は、ハマナス <i>Rosa rugosa</i> Thunberg (Rosaceae) の花からエタノール溶液にて抽出して得られたエキスである。
1627	42	507082	ハマメリスエキス			本品は、ハマメリス <i>Hamamelis virginiana</i> L. (Hamamelidaceae) の葉又は葉及び樹皮から水、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」、「エタノール」又はこれらの混液で抽出したものである。
1628	42	502109	ハマメリス水	ウィッチヘーゼル水		本品は、ハマメリス <i>Hamamelis virginiana</i> L. (Hamamelidaceae) の葉、樹皮、根及び枝等を水蒸気蒸留して得た液 又は、これに「エタノール」を加えたものである。
1629	42	520877	ハマメリス末			本品は、ハマメリス <i>Hamamelis virginiana</i> L. (Hamamelidaceae) の樹皮を粉末としたものである。
1630	42	522114	歯磨用塩化ナトリウム		歯磨用塩化Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、塩化ナトリウム(NaCl:58.44)98.0%以上を含む。
1631	41	500318	歯磨用リン酸水素カルシウム		歯磨用リン酸水素Ca	本品は、リン酸水素カルシウムに、リン酸、ピロリン酸若しくはポリリン酸のアルカリ塩、カルシウム塩又はマグネシウム塩を添加して製したものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、リン酸水素カルシウム(CaHPO4:136.06)として93.0%以上を含む。
1632	42	520880	馬油			本品は、ウマ <i>Equus caballus</i> (Equidae) のたてがみ及び尾の基部、あるいは皮下脂肪層から得た脂肪油である。
1633	42	104960	パラアミノ安息香酸		PABA	本品を乾燥したものは、定量するとき、パラアミノ安息香酸(C7H7NO2:137.14)98.5%以上を含む。



連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1634	41	500319	パラアミ安息香酸エチル		エチルPABA	本品を乾燥したものは、定量するとき、パラアミ安息香酸エチル(C <sub>9</sub> H <sub>11</sub> NO <sub>2</sub> :165.19)99.0%以上を含む。
1635	42	520881	パラアミ安息香酸グリセリル		PABAグリセリル	本品を乾燥したものは、定量するとき、パラアミ安息香酸グリセリル(C <sub>10</sub> H <sub>13</sub> NO <sub>4</sub> :211.22)99.0%以上を含む。
1636	42	520882	バラエキス			本品は、セイヨウバラ <i>Rosa centifolia</i> Linne (Rosaceae)の花から水、「プロピレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1637	41	522119	パラオキシ安息香酸エステル	パラオキシ安息香酸イソブチル、パラオキシ安息香酸イソプロピル、パラオキシ安息香酸エチル、パラオキシ安息香酸ブチル、パラオキシ安息香酸プロピル、パラオキシ安息香酸メチル	イソブチルパラベン、イソプロピルパラベン、エチルパラベン、ブチルパラベン、プロピルパラベン、メチルパラベン、パラベン	本品は、定量するとき、パラオキシ安息香酸メチル(C <sub>8</sub> H <sub>8</sub> O <sub>3</sub> :152.15)99.0%以上を含む。
1638	01	002294	パラオキシ安息香酸プロピル		プロピルパラベン、パラベン	本品を乾燥したものは定量するとき、パラオキシ安息香酸プロピル(C <sub>10</sub> H <sub>12</sub> O <sub>3</sub> )99.0%以上を含む。
1639	42	111233	パラオキシ安息香酸ベンジル			本品は、定量するとき、パラオキシ安息香酸ベンジル(C <sub>14</sub> H <sub>12</sub> O <sub>3</sub> :228.23)99.0%以上を含む。
1640	01	002295	パラオキシ安息香酸メチル		メチルパラベン、パラベン	本品を乾燥したものは定量するとき、パラオキシ安息香酸メチル(C <sub>8</sub> H <sub>8</sub> O <sub>3</sub> )99.0%以上を含む。
1641	42	504277	パラオキシ安息香酸メチルナトリウム			本品を乾燥したものは、定量するとき、パラオキシ安息香酸メチルナトリウム(C <sub>8</sub> H <sub>7</sub> NaO <sub>3</sub> :174.13)99.0%以上を含む。
1642	41	002296	パラクロルフェノール		クロルフェノール	本品は、定量するとき、パラクロルフェノール(C <sub>6</sub> H <sub>5</sub> ClO)99.0%以上を含む。
1643	41	500595	パラジメチルアミ安息香酸 2-エチルヘキシル	パラジメチルアミ安息香酸オクチル	ジメチルPABAエチルヘキシル	本品は、定量するとき、パラジメチルアミ安息香酸 2-エチルヘキシル(C <sub>17</sub> H <sub>27</sub> NO <sub>2</sub> :277.41)95.0%以上を含む。
1644	42	501105	パラジメチルアミ安息香酸アヨレ		ジメチルPABAアヨレ	本品は、定量するとき、パラジメチルアミ安息香酸アヨレ(C <sub>14</sub> H <sub>21</sub> NO <sub>2</sub> :235.33)70.0%を含む。
1645	42	504279	パラヒドロキシアニソール			本品は、主としてパラヒドロキシアニソールからなる。
1646	41	001495	パラフィン			本品は、石油から得た固形の炭化水素類の混合物である。
1647	41	500328	パラフェノールスルホン酸亜鉛		フェノールスルホン酸亜鉛	本品は、定量するとき、パラフェノールスルホン酸亜鉛(C <sub>12</sub> H <sub>10</sub> O <sub>8</sub> S <sub>2</sub> Zn·8H <sub>2</sub> O:555.83)98.0%以上を含む。
1648	42	504280	パラフェノールスルホン酸ナトリウム(二水和物)		パラフェノールスルホン酸Na・2水和物	本品は、主としてパラフェノールスルホン酸のナトリウム塩(C <sub>6</sub> H <sub>5</sub> NaO <sub>4</sub> S·2H <sub>2</sub> O:232.19)からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、パラフェノールスルホン酸ナトリウム(C <sub>6</sub> H <sub>5</sub> NaO <sub>4</sub> S:196.19)として98.0~102.0%を含む。
1649	41	500329	パラメチルアセトフェノン			本品は、定量するとき、パラメチルアセトフェノン(C <sub>9</sub> H <sub>10</sub> O:134.18)98.0%以上を含む。
1650	42	509084	パラメキシケイ皮酸イソプロピル・ジイソプロピルケイ皮酸エステル混合物		パラメキシケイ皮酸イソプロピル・ケイ皮酸ジイソプロピル混合物、パラメキシケイ皮酸イソプロピル・桂皮酸ジイソプロピル混合物	本品は、定量するとき、パラメキシケイ皮酸イソプロピル72.0~79.0%、2,4-ジイソプロピルケイ皮酸エチル15.0~21.0%、2,4-ジイソプロピルケイ皮酸メチル3.0~9.0%を含む。
1651	41	500607	パラメキシケイ皮酸 2-エチルヘキシル	パラメキシケイ皮酸オクチル	パラメキシケイ皮酸エチルヘキシル、パラメキシケイ皮酸エチルヘキシル	本品は、定量するとき、パラメキシケイ皮酸 2-エチルヘキシル(C <sub>18</sub> H <sub>26</sub> O <sub>3</sub> :290.40)98.0%以上を含む。
1652	42	520132	パリエタリアエキス			本品は、パリエタリア <i>Parietaria officinalis</i> Linne (Urticaceae)の葉から、プロピレングリコール溶液又は1,3-ブチレングリコール溶液により抽出して得られるエキスである。
1653	41	104981	パルミン酸			本品は、主としてパルミン酸(C <sub>16</sub> H <sub>32</sub> O <sub>2</sub> :256.43)からなる。
1654	41	500331	パルミン酸亜鉛		パルミン酸Zn	本品は、主としてパルミン酸(C <sub>16</sub> H <sub>32</sub> O <sub>2</sub> :256.43)の亜鉛塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、亜鉛(Zn:65.38)10.5~13.0%を含む。
1655	41	100653	パルミン酸アスコルビル		ビタミンCパルミート	本品を乾燥したものは、定量するとき、パルミン酸-L-アスコルビル(C <sub>22</sub> H <sub>38</sub> O <sub>7</sub> :414.54)93.0%以上を含む。
1656	42	502110	パルミン酸アミド			本品は、主としてパルミン酸アミド(C <sub>16</sub> H <sub>33</sub> NO:255.44)からなる。
1657	42	503110	パルミン酸イソステアリル			本品は、主として「パルミン酸」と「イソステアリルアルコール」のエステル(C <sub>34</sub> H <sub>68</sub> O <sub>2</sub> :560.84)99.0%以上を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						8.91)からなる。
1658	41	103133	パルミチン酸イソプロピル			本品は、主として「パルミチン酸」と「イソプロパノール」のエステル(C 19H 38O2 : 298.51)からなる。
1659	42	501107	パルミチン酸 2-エチルヘキシル	パルミチン酸オクチル	パルミチン酸エチルヘキシル	本品は、主として「パルミチン酸」と「イステアリルアルコール」のエステル(C 34H 68O2 : 508.91)からなる。
1660	42	510063	パルミチン酸カリウム		パルミチン酸K	本品は、主として「パルミチン酸」のカリウム塩(C 16H 31KO 2 : 294.51)からなる。
1661	42	101323	パルミチン酸セチル			本品は、主として「パルミチン酸」と「セタノール」のエステル(C 32H 64O2 : 480.86)からなる。
1662	42	109836	パルミチン酸デキストリン			本品は、主として「パルミチン酸」と「デキストリン」のエステルからなる。
1663	42	502112	パルミチン酸ナトリウム		パルミチン酸Na	本品は、主として「パルミチン酸」のナトリウム塩(C 16H 31NaO 2 : 278.41)からなる。
1664	42	532109	パルミチン酸 2-ヘキシルデシル	パルミチン酸イソセチル	パルミチン酸ヘキシルデシル	本品は、主として「パルミチン酸」と2-ヘキシルデカノールのエステル(C 32H 64O2 : 480.86)からなる。
1665	42	502113	パルミチン酸ポリエチレングリコール		パルミチン酸PEG	本品は、主として「パルミチン酸」とポリエチレングリコールとのモノエステルからなる。
1666	42	532110	パルミチン酸モノエタノールアミド	パルミチン酸エタノールアミド		本品は、主として「パルミチン酸」と当量の「モノエタノールアミン」を縮合して得られるアルキロールアミド(C 18H 37NO 2 : 299.49)である。
1667	41	001501	パルミチン酸レチノール		ビタミンAパルミチン酸エステル、ビタミンAパルミチート	本品は、パルミチン酸レチノール又はパルミチン酸レチノールに植物油を加えたものである。本品は、定量するとき、表示ビタミンA単位の95～105%を含む。
1668	42	520891	N-パルミチル-L-アスパラギン酸ジエチル		パルミチルアスパラギン酸ジエチル	本品は主として、N-パルミチル-L-アスパラギン酸ジエチル(C 34H 45NO 5 : 427.63)からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N : 14.01)3.11～3.31%を含む。
1669	42	504291	N-パルミチルアスパラギン酸ジトエタノールアミン液		パルミチルアスパラギン酸 2TEA液	本品は、N-パルミチルアスパラギン酸ジトエタノールアミンの水溶液である。本品は、定量するとき、表示量の90～110%のN-パルミチルアスパラギン酸ジトエタノールアミン(C 32H 67N 3O 11 : 669.90)を含む。
1670	42	511053	パルミチルメチルタウリンナトリウム		パルミチルメチルタウリンNa	本品を乾燥したものは、定量するとき、パルミチルメチルタウリンナトリウム(C 19H 38NNaO 4S : 399.57)92.5%以上を含む。
1671	41	001502	バレিশヨデンブ		ジャガイモデンブ、バレিশヨスターチ	本品は、バレিশヨSolanum tuberosum Linne´(Solanaceae)の塊茎から得たデンブである。
1672	41	100156	ハロカルバン		クロフルカルバン	本品を乾燥したものは、定量するとき、ハロカルバン(C 14H 9C 12F 3N 2O : 349.14)98.0～104.0%を含む。
1673	41	001503	バンクレアチン			本品は、主としてブタSus scrofa Linne´var. domestica Gray (Suidae)のすい臓から製したものである。でんぷん消化力、たん白消化力及び脂肪消化力がある酵素剤である。通例、適当な賦形剤で薄めてある。
1674	42	508079	パン酵母処理ヒマシ油			本品は、「ヒマシ油」一部と日局生理食塩液一部を混合し、パン酵母0.2部を加え、加温処理した後、分離精製して得た油である。
1675	99	999999	パンジロウ葉エキス			本品は別添規格(1)パンジロウ葉を70w/v%エタノールにて抽出して得られたものであり、本品は定量するとき、100m 中に総ポリフェノール700～1100mgを含む。
1676	42	105007	パンテチン液			本品は、主としてパンテチンの水溶液で、本品を定量するとき、表示量の90～110%に対応するパンテチン(C 22H 42N 4O 8S 2 : 554.72)を含む。
1677	42	523166	D-パンテチン-S-スルホン酸カルシウム液		D-パンテチンスルホン酸Ca液	本品は、主としてD-パンテチン-S-スルホン酸カルシウム(C 22H 42CaN 4O 7S 4 : 754.94)を70%含む水溶液からなる。本品の換算した脱水物は、定量するとき、窒素(N : 14.01)7.1～8.0%及びカルシウム(Ca : 40.08)4.3～6.0%を含む。
1678	42	532111	パンテチン-S-スルホン酸ナトリウム液		パンテチンスルホン酸Na液	本品は、主としてD-パンテチン-S-スルホン酸ナトリウム(C 11H 21N 2NaO 7S 2 : 380.42)を70%含む水溶液からなる。本品の換算した脱水物は、定量するとき、窒素(N : 14.01)7.1～8.0%を含む。
1679	41	500338	D-パントテニルアルコール			本品は、定量するとき、換算した脱水物に対し、D-パントテニルアルコール(C 4H 19NO 4 : 205.25)97.0%以上を含む。
1680	41	500599	DL-パントテニルアルコール			本品を乾燥したものは、定量するとき、DL-パントテニルアルコール(C 9H 19NO 4 : 205.25)97.0%以上を含む。
1681	42	501110	パントテニルエチルエーテル			本品は、定量するとき、換算した脱水物に対し、パントテニルエチルエーテル(C 11H 23NO 4 : 233.31)97.0%以上を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1682	99	999999	パントテニルエチルエーテル			本品は、定量するとき換算した脱水物に対しパントテニルエチルエーテル (C <sub>11</sub> H <sub>23</sub> NO <sub>4</sub> )97.0%を含む。
1683	41	001505	パントテン酸カルシウム		パントテン酸 Ca	本品を乾燥したものは、定量するとき、DL-パントテニルアルコール(C <sub>9</sub> H <sub>19</sub> NO <sub>4</sub> :205.25)97.0%以上を含む。
1684	42	520893	ヒアルロン酸ナトリウム(1)		ヒアルロン酸Na-1	本品は、ニワトリGallus gallus domesticus Brisson (Phasianidae)のトサカより得られるヒアルロン酸のナトリウム塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)2.8~4.0%及びグルクロン酸(C <sub>6</sub> H <sub>10</sub> O <sub>7</sub> :194.14)43.0~51.0%を含む。
1685	42	520894	ヒアルロン酸ナトリウム(2)		ヒアルロン酸Na-2	本品は、乳酸球菌 Streptococcus zooepidemicus 又は Streptococcus equi を用いる発酵法により得られるヒアルロン酸のナトリウム塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)3.0~4.0%及びグルクロン酸(C <sub>6</sub> H <sub>10</sub> O <sub>7</sub> :194.14)40.0~50.0%を含む。
1686	42	522042	ヒアルロン酸ナトリウム(3)		ヒアルロン酸Na-3	本品は、ニワトリGallus gallus domesticus Brisson (Phasianidae)のトサカより得られるヒアルロン酸のナトリウム塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)2.8~4.0%及びグルクロン酸(C <sub>6</sub> H <sub>10</sub> O <sub>7</sub> :194.14)37.0~43.0%を含む。
1687	42	520895	ヒアルロン酸ナトリウム液		ヒアルロン酸Na液	本品は、ニワトリGallus gallus domesticus Brisson のトサカより得られるヒアルロン酸ナトリウムの水溶液である。本品を定量するとき、ヒアルロン酸ナトリウムとして1.0~1.5%を含む。
1688	99	999999	ピオ GL エキス			本品は、アマチャヅル Gynostemma pentaphyllum Makino (Cucurbitaceae)の茎とヘチマ Luffa cylindrica M.Roemen (Cucurbitaceae)の子葉との融合細胞より抽出して得られるエキスに、「1,3-ブチレングリコール」を加えたものである。
1689	99	999999	ピオ GL エキス(2)		ピオ GL エキス-2	本品は、アマチャヅル Gynostemma pentaphyllum Makino (Cucurbitaceae)の茎とヘチマ Luffa cylindrica M.Roemen (Cucurbitaceae)の子葉との融合細胞より精製水(経原基)で抽出して得られるエキスに、1,3-ブチレングリコール(経原基)を加えたものである。
1690	41	008200	ピオチン		ビタミンH	本品を乾燥したものは、定量するとき、ピオチン(C <sub>10</sub> H <sub>16</sub> N <sub>2</sub> O <sub>3</sub> :244.31)98.0%以上を含む。
1691	42	522043	ヒキオコシエキス(1)	延命草エキス(1)	ヒキオコシエキス-1、延命草エキス-1	本品は、ヒキオコシ Isodon japonicus Hara(Amethystantus japonicus Nakai,Plectranthus japonicus(Burm.)Koidz),又はクロバナヒキオコシ Isodon trichocarpus Kudo(Plectranthus trichocarpus Maxim.)(Labiatae)の地上部から水、「エタノール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1692	42	522044	ヒキオコシエキス(2)	延命草エキス(2)	ヒキオコシエキス-2、延命草エキス-2	本品は、ヒキオコシ Isodon japonicus Hara 又はクロバナヒキオコシ Isodon trichocarpus Kudo (Labiatae)の地上部から「酢酸エチル」にて抽出した後、「酢酸エチル」を留去し、「エタノール」及び水を加えたものである。
1693	42	505139	ピサボロール			本品は、主としてピサボロール(C <sub>15</sub> H <sub>26</sub> O:222.36)からなり、本品を定量するとき、78.0%以上を含む。
1694	42	523167	非晶型酸化チタン		非晶型酸化Ti	本品を乾燥したものは、定量するとき、酸化チタン(TiO <sub>2</sub> :79.88)88.0%以上を含む。
1695	42	504293	ビスコースレーヨン			本品は、セルロースをビスコース法により再生した繊維である。
1696	42	003617	L-ヒスチジン		ヒスチジン	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-ヒスチジン(C <sub>6</sub> H <sub>9</sub> N <sub>3</sub> O <sub>2</sub> :155.16)98.5%以上を含む。
1697	42	505026	ビスフェノールA型エポキシ樹脂オレイン酸エステル			本品は、ビスフェノールAとエピクロルヒドリンから生成したエポキシ化合物と、「オレイン酸」のエステルである。
1698	42	505029	ビスフェノールA型エポキシ樹脂ステアリン酸エステル(1)		ビスフェノールA型エポキシ樹脂ステアリン酸エステル-1	本品は、ビスフェノールAとエピクロルヒドリンから生成したエポキシ化合物と、ステアリン酸のエステルである。
1699	42	505030	ビスフェノールA型エポキシ樹脂リシノレイン酸エステル			本品は、ビスフェノールAとエピクロルヒドリンから生成したエポキシ樹脂と、リシノレイン酸のエステルである。
1700	41	001509	ビタミンA油			本品は、水産動物の新鮮な肝臓及び幽門垂から得た脂肪油か、あるいはその脂肪油、その濃縮物又はビタミンAの脂肪酸エステルに肝油類又は植物油を加えたものである。本品は、定量するとき、表示ビタミンA単位の90~120%を含む。
1701	42	532112	ヒドロアピエチルアルコール	ヒドロアピエチルアルコール		本品は、「ロジン」の還元により得られるヒドロアピエチルアルコールの混合物で、主としてテトラヒドロアピエチルアルコール、ジヒドロアピエチルアルコールからなり、デヒドロアピエチルアルコールも含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1702	42	532113	N - [2- ヒドロキシ- 3- [3- (ジヒドロキシメチルシリル)プロポキシ]プロピル 加水分解カゼイン		ジヒドロキシメチルシリルプロポキシヒドロキシプロピル加水分解カゼイン、ジヒドロキシメチルシリルプロポキシPG加水分解カゼイン	本品は、「加水分解カゼイン」に3- グリシドキシプロピルメチルジヒドロキシシランを付加したものである。本品は、定量するとき、窒素 (N : 14.01) 5.0~ 15.0%を含む。
1703	42	532114	N - [2- ヒドロキシ- 3- [3- (ジヒドロキシメチルシリル)プロポキシ]プロピル 加水分解コラーゲン		ジヒドロキシメチルシリルプロポキシヒドロキシプロピル加水分解コラーゲン、ジヒドロキシメチルシリルプロポキシPG加水分解コラーゲン	本品は、「加水分解コラーゲン末」に3- グリシドキシプロピルメチルジヒドロキシシランを付加したものである。本品は、定量するとき、窒素 (N : 14.01) 5.0~ 15.0%を含む。
1704	42	532299	N - [2- ヒドロキシ- 3- [3- (ジヒドロキシメチルシリル)プロポキシ]プロピル 加水分解シルク		ジヒドロキシメチルシリルプロポキシヒドロキシプロピル加水分解シルク、ジヒドロキシメチルシリルプロポキシPG加水分解シルク	本品は、「加水分解シルク」に3- グリシドキシプロピルメチルヒドロキシシランを付加したものである。本品は、定量するとき、窒素 (N : 14.01) 5.0~ 15.0%を含む。
1705	42	520911	ヒドロキシアパタイト	ハイドロオキシアパタイト		本品は、主としてヒドロキシアパタイト (3Ca <sub>3</sub> (PO <sub>4</sub> ) <sub>2</sub> ·Ca(OH) <sub>2</sub> :1004.62) からなる。
1706	42	504295	ヒドロキシエタンジホスホン酸			本品は、1- ヒドロキシエタン-1,1- ジホスホン酸の水溶液で、本品を定量するとき、表示量の90~ 110%に対応する1-ヒドロキシエタン-1,1- ジホスホン酸 (C <sub>2</sub> H <sub>8</sub> O <sub>7</sub> P <sub>2</sub> :206.03)を含む。
1707	42	504296	ヒドロキシエタンジホスホン酸四ナトリウム	1- ヒドロキシエタン- 1, 1- ジホスホン酸四ナトリウム	ヒドロキシエタンジホスホン酸 4Na	本品は、「ヒドロキシエタンジホスホン酸」のテトラナトリウム塩の水溶液で、定量するとき、表示量の90~ 110%に対応する1-ヒドロキシエタン-1,1- ジホスホン酸四ナトリウム (C <sub>2</sub> H <sub>4</sub> Na <sub>4</sub> O <sub>7</sub> P <sub>2</sub> :293.96)を含む。
1708	41	500600	ヒドロキシエチルエチレンジアミン三酢酸三ナトリウム液		HEDTA・3Na液	本品は、定量するとき、表示量の90~ 110%に対応するヒドロキシエチルエチレンジアミン三酢酸三ナトリウム三水塩 (C <sub>10</sub> H <sub>15</sub> N <sub>2</sub> Na <sub>3</sub> O <sub>7</sub> :398.25)を含む。
1709	42	532240	ヒドロキシエチルキトサン液			本品は、「キトサン」の酸化エチレン付加物の水溶液又は、これに「エタノール」を加えたものである。本品は、定量するとき、窒素 (N: 14.01) 0.02~ 0.09%を含む。
1710	42	504297	ヒドロキシエチルジフェニルイミダゾール			本品を乾燥したものは、定量するとき、1- ヒドロキシエチル- 4, 5- ジフェニルイミダゾール (C <sub>17</sub> H <sub>16</sub> N <sub>2</sub> O:264.33) 98.0%以上を含む。
1711	41	102993	ヒドロキシエチルセルロース			本品は、セルロースのヒドロキシエチルエーテルである。
1712	42	509085	ヒドロキシエチルセルロースエチルエーテル			本品は、「ヒドロキシエチルセルロース」のエチルエーテルである。
1713	41	500601	ヒドロキシエチルセルロースジメチルジアリルアンモニウムクロリド		塩化ヒドロキシエチルセルロースジメチルジアリルアンモニウム	本品は、ヒドロキシエチルセルロースに塩化ジメチルジアリルアンモニウムをグラフト重合して得られるカチオン性の重合体であり、平均分子量は約 100000~ 140000である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素 (N : 14.01) 1.4~ 2.2%を含む。
1714	41	500343	ヒドロキシシトネラール			本品は、定量するとき、ヒドロキシシトネラール (C <sub>10</sub> H <sub>20</sub> O <sub>2</sub> :172.27) 90.0%以上を含む。
1715	99	999999	ヒドロキシステアリルフィトスフィンゴシン			本品は酵母 (Saccharomyces) の一種であるPichia 種の代謝産物を加熱する過すことにより無菌処理して得られたフィトスフィンゴシンを2-ヒドロキシステアリン酸でアシル化し、主としてN-ヒドロキシステアリルフィトスフィンゴシン (C <sub>36</sub> H <sub>73</sub> NO <sub>5</sub> :分子量 600.0) からなる。構造式を別紙に示す。(略)
1716	42	520918	ヒドロキシステアリン酸	オキシステアリン酸		本品は、主として12- ヒドロキシステアリン酸 (C <sub>18</sub> H <sub>36</sub> O <sub>3</sub> :300.48) からなる。
1717	42	523168	ヒドロキシステアリン酸 2- エチルヘキシル	オキシステアリン酸オクチル	ヒドロキシステアリン酸エチルヘキシル	本品は、主として「ヒドロキシステアリン酸」と2-エチルヘキサノールのエステル (C <sub>26</sub> H <sub>52</sub> O <sub>3</sub> :412.69) からなる。
1718	42	504298	ヒドロキシステアリン酸コレステリル	オキシステアリン酸コレステリル		本品は、主として「ヒドロキシステアリン酸」と「コレステロール」のエステル (C <sub>45</sub> H <sub>80</sub> O <sub>3</sub> :669.13) からなる。
1719	42	520921	2- (2- ヒドロキシデシルメチルアミノ)エチルリン酸ナトリウム液		ヒドロキシデシルメチルアミノエチルリン酸Na液	本品は、主として2- (2- ヒドロキシデシルメチルアミノ)エチルリン酸ナトリウムの水溶液からなる。
1720	42	523169	ヒドロキシプロピルキトサン液			本品は、「キトサン」の酸化プロピレン付加物の水溶液である。本品は定量するとき、窒素 (N: 14.01) 0.1~ 0.3%を含む。
1721	41	002303	ヒドロキシプロピルセルロース			本品は、セルロースのヒドロキシプロピルエーテルである。
1722	42	504299	ヒドロキシプロピルデンプン			本品は、「トモロコシデンプン」のヒドロキシプロピルエーテルである。本品を乾燥したものは、定量するとき、ヒドロキシプロピル基 (C <sub>3</sub> H <sub>7</sub> O:59.09) として2.0~ 7.0%を含む。
1723	42	008206	ヒドロキシプロピルメチルセルロース			本品は、セルロースのメチル及びヒドロキシプロピルの混合エーテルである。
1724	41	500345	2- (2- ヒドロキシ- 5- メチルフェニル)ベンゾトリアゾール		トリアゾール、ヒドロキシメチルフェニルベンゾトリアゾール	本品を乾燥したものは、定量するとき、2- (2- ヒドロキシ- 5- メチルフェニル)ベンゾトリアゾール (C <sub>13</sub> H <sub>11</sub> N <sub>3</sub> O:225.25) 95.0~ 104.0%を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1725	42	523170	ヒドロキシメキシベンゾフェノンスルホン酸	オキシベンゾンスルホン酸		本品を乾燥したものは、定量するとき、ヒドロキシメキシベンゾフェノンスルホン酸 (C 14H 12 O6: 308.31)を90.0~ 110.0%以上を含有する。
1726	42	523171	ヒドロキシメキシベンゾフェノンスルホン酸 (三水塩)		ヒドロキシメキシベンゾフェノンスルホン酸 3水塩	本品を乾燥したものは、定量するとき、ヒドロキシメキシベンゾフェノンスルホン酸 (C 14H 18 O9: 362.26)95.0%以上を含む。
1727	41	500602	ヒドロキシメキシベンゾフェノンスルホン酸ナトリウム	オキシベンゾンスルホン酸ナトリウム	ヒドロキシメキシベンゾフェノンスルホン酸 Na オキシベンゾンスルホン酸 Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、ヒドロキシメキシベンゾフェノンスルホン酸ナトリウム (C 14H 11NaO 6: 330.30)90%以上を含む。
1728	42	504303	ヒドロキシラリル			本品は、「ラリル」をヒドロキシ化したものである。
1729	42	532115	ビニルアルコール・ビニルアミン共重合体塩酸塩		ビニルアルコール・ビニルアミン共重合体 HCl	本品は、酢酸ビニルと N-ビニルホルムアミドの共重合体のけん化、加水分解物の塩酸塩からなる。本品は、その平均分子量は60000~ 150000である。
1730	42	520526	ビニルピロリドン・N,N-ジメチルアミン/エチルメタクリル酸共重合体ジエチル硫酸塩液		VP・メタクリル酸ジメチルアミン/エチル共重合体ジエチル硫酸液	本品は主として、ビニルピロリドンとN,N-ジメチルアミン/エチルメタクリル酸の共重合体のジエチル硫酸塩からなり、水又は「エタノール」を含む。本品は定量するとき、換算した乾燥物につき、窒素 (14.01)8.8~ 12.0%を含む。
1731	42	502117	ビニルピロリドン・スチレン共重合体エマルション		VP・スチレン共重合体エマルション	本品は、ビニルピロリドンとスチレンの共重合体のエマルションである。
1732	42	523172	ビニルピロリドン・ヘキサデセン共重合体		VP・ヘキサデセン共重合体	本品は、主として、ビニルピロリドンとヘキサデセンとの共重合体である。本品は、定量するとき、窒素 (N: 14.01)2.0~ 3.0%を含む。
1733	42	504304	ビニルメチルエーテル・マレイン酸エチル共重合体液		メキシエチレン・MA共重合体エチルエステル液	本品は、ビニルメチルエーテルとマレイン酸モノエチルからなる共重合体のエタノール溶液である。
1734	42	504305	ビニルメチルエーテル・マレイン酸ブチル共重合体液	メキシエチレン無水マレイン酸共重合体ブチルエステル液	メキシエチレン・MA共重合体ブチルエステル液	本品は、ビニルメチルエーテルと無水マレイン酸の共重合体をブタノールでモノエステル化したもののエタノール溶液である。
1735	41	102832	ヒノキチオール			本品を乾燥したものは、定量するとき、ヒノキチオール (C 10H 12O2: 164.20)98.0~ 105.0%を含む。
1736	42	523173	ヒノキ末			本品は、ヒノキ <i>Chamaecyparis obtusa</i> Siebold et Zucca 又はその同属植物 (Cupressaceae) の幹及び枝を乾燥し、粉末としたものである。
1737	42	532236	ヒノキ水			本品は、ヒノキ <i>Chamaecyparis obtusa</i> Siebold et Zuccarini (Cupressaceae) の幹及び枝から水で抽出して得られたエキスを、水蒸気蒸留して得られる液で、「1,3-ブチレングリコール」を含むものもある。
1738	42	504306	ビバリン酸イソステアリル	ネオペンタン酸イソステアリル		本品は、主としてビバリン酸と「イソステアリルアルコール」のエステル (C 23H 46O2: 354.62)からなる。
1739	42	504307	ビバリン酸イソデシル			本品は、主としてビバリン酸とイソデシルアルコールのエステル (C 15H 30O2: 242.41)からなる。
1740	42	532116	ビバリン酸 2-オクチルドデシル	ネオペンタン酸 2-オクチルドデシル	ビバリン酸オクチルドデシル	本品は、主としてビバリン酸と2-オクチルドデカノールのエステル (C 25H 50O2: 382.67)からなる。
1741	42	509088	ビフィズス菌エキス			本品は、ビフィズス菌 <i>Bifidobacterium bifidum</i> から得られたエキスの水溶液である。本品を定量するとき、窒素 (N: 14.01)として0.04~ 0.08%を含む。
1742	41	001515	ヒマシ油			本品は、「トウゴマ <i>Ricinus communis</i> Linne' (Euphorbiaceae) の種子を圧搾して得た脂肪油である。
1743	42	510056	ヒマシ油・オリーブ油エステル交換物			本品は、主として「ヒマシ油」と「オリーブ油」をエステル交換して得られるものである。
1744	42	509089	ヒマシ油脂肪酸ナトリウム液		ヒマシ油脂肪酸 Na 液	本品は、主としてヒマシ油脂肪酸のナトリウム塩の水溶液で、定量するとき、ヒマシ油脂肪酸ナトリウム27~ 33%を含む。
1745	42	509090	ヒマシ油脂肪酸ポリプロピレングリコール (5.5 P.O.)		ヒマシ油脂肪酸 PPG (5.5)	本品は、ヒマシ油脂肪酸に酸化プロピレンを付加重合して得られる。酸化プロピレンの平均付加モル数は、5.5である。
1746	42	501113	ヒマシ油脂肪酸メチル			本品は、ヒマシ油脂肪酸のメチルエステルで、主として「シノレイン酸メチル」からなる。
1747	42	532117	ヒマラヤヒラタケ培養液			本品は、ウスヒラタケ <i>Pleurotus pulmonarius</i> (Fr.) Que i Pleurotaceae を豆乳および「ブドウ糖」の水溶液中で培養し、除菌ろ過して得られる培養液である。本品は、定量するとき、窒素 (N: 14.01)0.01~ 0.06%を含む。
1748	42	507086	ヒマワリ油粕			本品は、ヒマワリ <i>Helianthus annuus</i> Linne' (Compositae) の種子を圧搾して脱油した後、乾燥、粉末としたものである。
1749	42	520923	ヒマワリ油 (1)	サンフラワー油	ヒマワリ油- 1	本品は、ヒマワリ <i>Helianthus annuus</i> Linne' (Compositae) の種子から得た脂肪油である。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1750	42	520924	ヒマワリ油 (2)		ヒマワリ油- 2	本品は、オレイン酸を多く含むヒマワリHelianthus annuus Linne (Compositae)の種子から得た脂肪油である。
1751	99	999999	ヒマワリ油脂肪酸			本品は、オレイン酸を多く含むヒマワリ Helianthus annuus Linne (Compositae)の種子から得た脂肪油を、加水分解し精製して得られた脂肪酸である。
1752	42	532118	ビャクダンエキス	白檀抽出液		本品は、ビャクダン Santalum album Linne (Santalaceae)の心材から水で抽出して得られたエキスで、通常グリセリンを含む。
1753	41	001259	氷酢酸			本品は、定量するとき、酢酸 (C 2H 4O 2:60.05)99.0%以上を含む。
1754	42	107764	ビリチオン亜鉛		ビリチオン Zn	本品を乾燥したものは、定量するとき、ビリチオン亜鉛 (C 10H 8N 2O 2S 2Zn :317.69)95.0%以上を含む。
1755	41	500603	ビリチオン亜鉛水性懸濁液	ジソクビリチオン液	ビリチオンZn水性懸濁液、Znビリチオン液	本品は、定量するとき、ビス(2- ビリヂルチオ- 1- オキシド)亜鉛 (C 10H 8N 2O 2S 2Zn :317.71)として表示量の93.0~ 102.0%を含む。
1756	42	105740	ビリキシン		ビタミンB6	本品を乾燥したものは、定量するとき、ビリキシン (C 8H 11NO 3:169.18)98.0%以上を含む。
1757	42	520925	微粒子酸化チタン		微粒子酸化Ti	本品は、酸化チタンを更に微粉状にしたものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、酸化チタン(TiO 2 79.88)90.0%以上を含む。
1758	42	532119	微粒子ベンガラ			本品は、「ベンガラ」を微粉状にしたものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、三酸化鉄(Fe 2O3 159.69)90.0%以上を含む。
1759	41	002310	ピロ亜硫酸ナトリウム		ピロ亜硫酸Na	本品は、定量するとき、ピロ亜硫酸ナトリウム (Na 2S 2O 5:190.10)95.0%以上を含む。
1760	99	999999	ピロクトン オラミン		ピロクトンオラミン	本品を乾燥したものは定量するとき、ピロクトン オラミン (C 14H 23NO 2・C 2H 7NO :298.42)98.0%以上を含む。
1761	42	503114	ピログルタミン酸 イソステアリン酸ポリオキシエチレングリセリル		PCAイソステアリン酸POEグリセリル	本品は、主としてピログルタミン酸及び「イソステアリン酸」とポリオキシエチレングリセリルのジエステルからなる。本品を乾燥したものは、窒素 (N :14.01)0.84%以上を含む。
1762	42	502118	ピログルタミン酸 イソステアリン酸ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油		PCAイソステアリン酸POE硬化ヒマシ油、PCAイソステアリン酸POE水添ヒマシ油	本品は、主としてピログルタミン酸及び「イソステアリン酸」とポリオキシエチレン硬化ヒマシ油のジエステルからなる。
1763	42	504309	ピログルタミン酸オレイン酸グリセリル	オレイン酸ピロリドンカルボン酸グリセリル	PCAオレイン酸グリセリル	本品は、主として「ピロリドンカルボン酸」と「オレイン酸グリセリル」のエステル (C 26H 45O (N :467.65)からなる。
1764	41	500351	DL- ピロリドンカルボン酸		DL- PCA	本品を乾燥したものは、定量するとき、DL- ピロリドンカルボン酸 (C 5H 7NO 3:129.12)として97.0~ 103.0%を含む。
1765	42	532164	L- ピロリドンカルボン酸		PCA	本品を乾燥したものは、定量するとき、L- ピロリドンカルボン酸 (C 5H 7NO 3:129.12)として97.0%以上を含む。
1766	42	504310	d1- ピロリドンカルボン酸エチル		d1- PCAエチル	本品を乾燥したものは、定量するとき、dl- ピロリドンカルボン酸エチル (C 7H 11NO 3:157.17)98.0%以上を含む。
1767	42	520926	d1- ピロリドンカルボン酸カリウム		d1 PCA・K	本品を乾燥したものは、定量するとき、dl- ピロリドンカルボン酸カリウム (C 5H 6KNO 3 167.21)97.0~ 103.0%を含む。
1768	42	503115	DL- ピロリドンカルボン酸トリエタノールアミン		DL- PCA・TEA	本品は、主として DL- ピロリドンカルボン酸トリエタノールアミンからなる。本品は、定量するとき、DL- ピロリドンカルボン酸トリエタノールアミン (C 11H 22N 2O 6:278.30)として表示量の90~ 110%を含む。
1769	42	505144	DL- ピロリドンカルボン酸ナトリウム・アラントイン		DL- PCA・Nアラントイン	本品は、アラントイン (C 4H 6N 4O 3)と DL- ピロリドンカルボン酸ナトリウム (C 5H 6NNaO 3)の分子化合物である。本品は、定量するとき、換算した脱水物に対し、DL- ピロリドンカルボン酸ナトリウム・アラントイン (C 9H 12N 5NaO 6:309.22)として97.0~ 103.0%を含む。
1770	41	106654	DL- ピロリドンカルボン酸ナトリウム液		DL- PCA・Na液	本品は、DL- ピロリドンカルボン酸のナトリウム塩の水溶液である。本品は、定量するとき、DL- ピロリドンカルボン酸ナトリウム (C 5H 6NNaO 3:151.10)として48.0~ 52.0%を含む。
1771	42	532300	L- ピロリドンカルボン酸ラウリル	ラウリルピロリドンカルボン酸	PCAラウリル	本品は、主として「L- ピロリドンカルボン酸」と「ラウリルアルコール」のエステル (C 17H 31NO 3:297.44)からなる。
1772	42	502120	ピロリン酸カルシウム		ピロリン酸Ca	本品は、ピロリン酸のカルシウム塩である。本品を乾燥したものは、下記の定量法で定量するとき、2法ともにピロリン酸カルシウム (Ca P 207:254.10)95%以上を含む。
1773	41	106742	ピロリン酸ナトリウム		ピロリン酸Na	本品は、ピロリン酸ナトリウムの10水和物である。本品を乾燥したものは、定量するとき、ピロ

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						リン酸ナトリウム (Na <sub>4</sub> P <sub>2</sub> O <sub>7</sub> :265.90)として98.0%以上を含む。
1774	42	520929	ビワ葉エキス			本品は、ビワ <i>Eriobotrya japonica</i> Lindley (Rosaceae)の葉から水、「エタノール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液若しくは「無水エタノール」にて抽出して得られるエキスである。
1775	99	999999	ファレノプシスエキストラクト(2)		ファレノプシスエキストラクト 2	本品は、コチ ヨウラン ( <i>Phalaenopsis amabilis</i> Blume, またはその近縁植物 ( <i>Phalaenopsis schilleriana</i> Reichb.f., <i>Phalaenopsis lueddemanniana</i> Reichb.f., <i>Phalaenopsis equestris</i> Reichb.f., <i>Phalaenopsis intermedia</i> Veitch. )及びこれらの交配植物)の全草から1,3-ブチレングリコール溶液で抽出したエキスである。
1776	42	502121	フィチン酸			本品は、「コマヌカ」等から得られたイノシトールのヘキサリン酸エステルである。本品は、定量するとき表示量の90~110%のフィチン酸 (C <sub>6</sub> H <sub>18</sub> O <sub>4</sub> :660.04)を含む。
1777	41	105179	フィトステロール			本品は、植物油脂から抽出して得たステロールで、主として -シトステロール (C <sub>29</sub> H <sub>50</sub> :414.71), スチグマステロール (C <sub>29</sub> H <sub>48</sub> :412.70)及びカンベステロール (C <sub>28</sub> H <sub>48</sub> :400.69)からなる。
1778	99	999999	フィトステロール配糖体			本品は、コマヌカ油より抽出精製して得られる物質で、主として、フィトステロール配糖体、スフィンゴ糖脂質などの脂質を含む。
1779	01	001521	フェナセチン			本品を乾燥したものは定量するとき、フェナセチン (C <sub>10</sub> H <sub>13</sub> N <sub>2</sub> ) 98.0%以上を含む。
1780	41	105151	フェニルエチルアルコール			本品は、定量するとき、フェニルエチルアルコール (C <sub>8</sub> H <sub>10</sub> :122.17)98.0%以上を含む。
1781			フェニルエチルアルコール変性アルコール			本品は、「エタノール」にフェニルエチルアルコールを加え、変性させたものである。
1782	41	001534	フェノール			本品は、定量するとき、フェノール (C <sub>6</sub> H <sub>6</sub> :94.11)98.0%以上を含む。
1783	42	520933	フェノキシソプロパノール			本品は、定量するとき、1-フェノキシ-2-プロパノール (C <sub>9</sub> H <sub>12</sub> O <sub>2</sub> :152.20)99.0%以上を含む。
1784	41	100125	フェノキシエタノール			本品は、定量するとき、2-フェノキシエタノール (C <sub>8</sub> H <sub>10</sub> O <sub>2</sub> :138.17)96.0%以上を含む。
1785	42	522113	フキタンポポエキス			本品は、フキタンポポ <i>Tussilago farfara</i> Linne (Compositae)の花又は花及び葉から水、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」若しくはこれらの混液又は1%尿素含有エタノール溶液により抽出したエキスである。
1786	42	101064	ブクリヨウエキス			本品は、マツホド <i>Poria cocos</i> Wolf (Polyporaceae)の菌核で、通例、外層をほとんど除いたものから水、「エタノール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1787	99	999999	フサザキスイセン根エキス			フサザキスイセン <i>Narcissus tazetta</i> の根 (鱗茎)を水で抽出して得られるエキスである。
1788	99	999999	不織布			本品はパルプをビスコース化し、接着剤を使用せず、短繊維スパンボンド方式によりセルロース系繊維を素材とし、布状に形成したシートである。
1789	42	507087	ブタジエン・アクリロニトリル共重合体			本品は、ブタジエンとアクリロニトリルの共重合体である。
1790	41	101088	ブタノール			本品は、主としてn-ブタノール (C <sub>4</sub> H <sub>10</sub> :74.12)からなる。
1791			t-ブタノール変性アルコール			本品は、「エタノール」にt-ブタノールを加え、変性させたものである。
1792	99	999999	ブタブラセンタエキス-1			本品は、健康なブタ(注) <i>Sus scrofa</i> Linne var. <i>domesticus</i> Gray (Suidae)の胎盤から凍結、融解などの方法により、無菌的に「精製水」で、抽出して得られるエキスである。
1793	41	101815	フタル酸ジエチル			本品は、定量するとき、フタル酸ジエチル (C <sub>12</sub> H <sub>14</sub> O <sub>4</sub> :222.24)99.0%以上を含む。
1794			フタル酸ジエチル変性アルコール			本品は、「エタノール」にフタル酸ジエチルを加え、変性させたものである。
1795	42	002326	フタル酸ジブチル			本品の乾燥したものは、定量するとき、フタル酸ジブチル (C <sub>16</sub> H <sub>22</sub> O <sub>4</sub> :280.38)99.0%以上を含む。
1796	42	101884	フタル酸ジメチル			本品は、定量するとき、フタル酸ジメチル (C <sub>10</sub> H <sub>10</sub> O <sub>4</sub> :194.19)99.0%以上を含む。
1797	41	101097	ブチルヒドロキシアニソール		BHA	本品は、主としてブチルヒドロキシアニソール (C <sub>11</sub> H <sub>16</sub> O <sub>2</sub> :180.25)からなる。
1798	41	500605	4-tert-ブチル-4'-メトキシジベンゾイルメタン		t-ブチルメトキシジベンゾイルメタン	本品を乾燥したものは、定量するとき、4-tert-ブチル-4'-メトキシジベンゾイルメタン (C <sub>20</sub> H <sub>22</sub> O <sub>3</sub> :310.39)として97.0~104.0%を含む。
1799	41	100040	1,3-ブチレングリコール		BG	本品は、主として1,3-ブチレングリコール (C <sub>4</sub> H <sub>10</sub> O <sub>2</sub> :90.12)からなる。
1800	42	520936	ブッチャーブルームエキス			本品は、ナギイカダ <i>Ruscus aculeatus</i> Linne (Liliaceae)の根茎から水、エタノール溶液又はプロピレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1801	42	532199	ブッチャーブルームエキス(2)		ブッチャーブルームエキス- 2	本品は、ナギイカダ <i>Ruscus aculeatus</i> Linne (Liliaceae) の根茎からメタノールで抽出して得られるエキスを、乾燥して得られた粉末である。
1802	42	523177	ブドウエキス			本品は、ブドウ <i>Vitis vinifera</i> Linne (Vitaceae) の果実(生)を細切し、50%プロピレングリコール溶液で抽出して得られるエキスである。
1803	42	520938	ブドウ種子油	グレープシードオイル		本品は、ブドウ <i>Vitis vinifera</i> Linne (Vitaceae) の種子から得た脂肪油である。
1804	42	523178	ブドウ水			本品は、ブドウ <i>Vitis vinifera</i> Linne (Vitaceae) の果実(生)から、水蒸気蒸留して得られる留液である。
1805	41	001540	ブドウ糖			本品は、主としてブドウ糖 (C 6H 12O 6: 180. 16) からなる。
1806	42	520941	ブドウ葉エキス			本品は、ブドウ <i>Vitis vinifera</i> Linne (Vitaceae) の葉から水、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られたエキスである。
1807	42	532230	ブナエキス			本品は、ブナ <i>Fagus sylvatica</i> Linne (Fagaceae) の幼芽から水で抽出して得られたエキスを濃縮した後、有機酸を除去して得られたものである。本品は、窒素 (N: 14. 01) として、0. 02% 以上を含有する。
1808	51	523396	フノ粉			本品は、フクロノリ <i>Gloiopeltis furcata</i> その他粘性を有する諸種紅藻類植物の全草から得た粉末である。
1809	42	523179	部分加水分解キチン	部分脱アセチル化キチン	部分水解キチン	本品は、キチンを加水分解して部分的に脱アセチル化して得られるものである。本品を乾燥したものの脱アセチル化率は、30. 0~ 60. 0% である。
1810	42	523180	部分水素添加アピエチン酸メチル	水素添加アピエチン酸メチル	部分水添アピエチン酸メチル	本品は、主として、アピエチン酸メチルエステル (C 21H 32O 2 316. 49) の部分水素添加物からなる。
1811	42	532120	部分水素添加エゴマ油		部分水添エゴマ油	本品は、「エゴマ油」を、部分水素添加したものである。
1812	42	523181	部分水素添加牛脂脂肪酸		部分水添牛脂脂肪酸	本品は、「牛脂脂肪酸」を部分水素添加して得られるものである。
1813	42	509091	部分水素添加スクワレン		部分水添スクワレン	本品は、「スクワレン」を部分的に水素添加したものである。
1814	42	523182	部分水素添加パーム油脂肪酸	硬化パーム油脂肪酸	部分水添パーム油脂肪酸	本品は、「パーム油脂肪酸」を部分水素添加したものである。
1815	42	523183	部分水素添加馬油		部分水添馬油	本品は、「馬油」を部分水素添加したものである。
1816	42	523184	部分水素添加ホホバ油		部分水添ホホバ油	本品は、「ホホバ油」を部分水素添加して得られるエステルである。
1817	42	523185	部分中和型ポリオキシエチレンオレイルエーテルリン酸ナトリウム		部分中和型 POEオレイルエーテルリン酸 Na	本品は、主としてオレイルアルコールに酸化エチレンを付加して得られる誘導体のリン酸エステルナトリウム塩からなる。酸化エチレンの平均付加モル数は7である。
1818	42	523186	部分中和型ポリオキシエチレンラウリルエーテルリン酸ナトリウム		部分中和型 POEラウリルエーテルリン酸 Na	本品は、主として「ラウリルアルコール」に酸化エチレンを付加して得られる誘導体のリン酸エステルのナトリウム塩からなる。酸化エチレンの平均付加モル数は4である。
1819	42	102419	フマル酸			本品は、定量するとき、フマル酸 (C 4H 4O 4: 116. 07) 99. 0% 以上を含む。
1820	42	532196	フマル酸ジアルキル(12~ 15)			本品は、主として「フマル酸」と炭素数 12~ 15 のアルキル基を有するアルコールのジエステルからなる。
1821	42	523187	ブラセンタエキス(1)	胎盤抽出液(1)	ブラセンタエキス- 1、胎盤抽出液- 1	本品は、ブタ <i>Sus scrofa</i> Linne var. domesticus Gray (Suidae) の胎盤から凍結、融解などの方法により、無菌的に水で、抽出して得られるエキスである。本品を定量するとき、窒素 (N: 14. 01) 0. 01~ 0. 40% を含む。
1822	42	523188	ブラセンタエキス(2)	胎盤抽出液(2)	ブラセンタエキス- 2、胎盤抽出液- 2	本品は、ブタ <i>Sus scrofa</i> Linne var. domesticus Gray (Suidae) の胎盤から凍結、融解などの方法により、無菌的に水で、抽出して得られるエキスである。本品を定量するとき、窒素 (N: 14. 01) 0. 02~ 0. 15% 及びアルカリフォスファターゼ 1000 キングアームストロング単位以上を含む。
1823	42	504321	フラビンアデニンジヌクレオチドナトリウム二水塩		フラビンアデニンジヌクレオチド 2Na 2水塩	本品は、定量するとき、換算した脱水物に対し、フラビンアデニンジヌクレオチドナトリウム (C 27H 31N 9 Na 2O 15P 2 829. 51) 90% 以上を含む。
1824	42	501117	プリスタン			本品は、主としてウバザメ <i>Cetorhinus maximus</i> Gunner 等深海に棲息するサメ類の肝油から得られる飽和炭化水素で、主成分は 2, 6, 10, 14 - テトラメチルペンタデカン (C 19H 40) である。
1825	42	520945	プルーンエキス	セイヨウスモモエキス		本品は、セイヨウスモモ <i>Prunus domestica</i> Lindl. (Rosaceae) の果実を水で抽出して得られるエキスである。
1826	42	520946	プルーン酵素分解物			本品は、セイヨウスモモ <i>Prunus domestica</i> Lindl. (Rosaceae) の果肉を繊維素分解酵素で分解して得られるものである。



連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1827			ブルシン変性アルコール			本品は、「エタノール」にブルシンを加え、変性させたものである。
1828	42	108494	プルラン	トグルコ多糖		本品は、Aureobasidium pullulans 又は Pullularia pullulans を培養するとき、菌体外に生産される中性単純多糖で、その構造は、-1,4結合による3個のグルコースからなるマルトトオースが-1,6結合で繰り返し鎖状に結合したものである。
1829			フレーバーH-No.14変性アルコール			本品は、「エタノール」にフレーバーH-No.14を加え、変性させたものである。
1830	99	999999	フレッシュE			本品は、茶(The sisensis L.)の枝葉を減圧下にて、乾留を行い、留分1部にエチルアルコール24部を加え混合したものである。
1831	42	523191	プロテアーゼ(1)		プロテアーゼ-1	本品は、枯草菌 Bacillus subtilis の産生する酵素をろ過精製したもので、通例、賦形剤を含む。本品は、定量するとき、プロテアーゼとして、表示単位の90.0~110.0%を含む。
1832	42	523192	プロテアーゼ(2)		プロテアーゼ-2	本品は、放線菌 Streptomyces griseolus の産生する酵素をろ過精製したもので、通例、賦形剤を含む。本品は、定量するとき、プロテアーゼとして、表示単位の90.0~110.0%を含む。
1833	42	504322	プロパノール	n-プロピルアルコール		
1834			プロパノール変性アルコール			本品は、「エタノール」にプロパノールを加え、変性させたものである。
1835	42	510066	プロパン			本品を定量するとき、プロパン(C <sub>3</sub> H <sub>8</sub> 44.10)95.0%以上を含む。
1836	42	532122	プロピオン酸アラキル	プロピオン酸エイコサニル		本品は、主としてプロピオン酸とエイコサノールのエステル(C <sub>23</sub> H <sub>46</sub> O <sub>2</sub> :354.62)からなる。
1837	42	510067	プロピオン酸ポリオキシプロピレンミリスチルエーテル(2P.O.)		プロピオン酸POP(2)ミリスチルエーテル	本品は、「ミリスチルアルコール」に酸化プロピレンを付加重合して得られるエーテルのプロピオン酸エステルである。酸化プロピレンの平均付加モル数は2である。
1838	41	002328	プロピレングリコール		PG	本品は、主としてプロピレングリコール(C <sub>3</sub> H <sub>8</sub> O <sub>2</sub> :76.10)からなる。
1839	42	003618	L-プロリン		プロリン	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-プロリン(C <sub>5</sub> H <sub>9</sub> NO <sub>2</sub> :115.13)98.5%以上を含む。
1840	42	523194	ヘイフラワーエキス			本品は、イネ科(Gramineae)の牧草で、ハルガヤ属(Anthoxanthum)、カモガヤ属(Dactylis)、スズメテッポウ属(Alopecurus)、スズメチャキ属(Bromus)及びカモジグサ属(Agropyron)に属する植物の地上部を水で抽出したエキスに「プロピレングリコール」及び「白糖」を加えたものである。
1841	42	520951	ヘーゼルナッツ油			本品は、ヘーゼルナッツ Guevina avellana Mol (Proteaceae)の種子から得られる脂肪油である。
1842	42	510068	ヘキサオキシステアリン酸ジベンタエリトリール		ヘキサオキシステアリン酸ジベンタエリトリール	本品は、主として「ヒドロキシステアリン酸」とジベンタエリトリールのヘキサエステル(C <sub>118</sub> H <sub>226</sub> O <sub>19</sub> :1949.07)からなる。
1843	41	001561	ヘキサクロロフェン			本品を乾燥したものは、定量するとき、ヘキサクロロフェン(C <sub>12</sub> H <sub>6</sub> Cl <sub>6</sub> :406.91)98.0%以上を含む。
1844	41	500365	ヘキサステアリン酸ポリオキシエチレンソルビット		ヘキサステアリン酸POEソルビット	本品は、主として「ステアリン酸」とポリオキシエチレンソルビットのヘキサエステルである。
1845	42	523195	N-(ヘキサデシロキシヒドロキシプロピル)-N-ヒドロキシエチルデカナミド		ヘキサデシロキシPGヒドロキシエチルデカナミド	本品は、主としてN-(3-ヘキサデシロキシ-2-ヒドロキシプロピル)-N-2-ヒドロキシエチルデカナミド(C <sub>31</sub> H <sub>63</sub> NO <sub>4</sub> :513.85)からなる。
1846	42	523196	N-(ヘキサデシロキシヒドロキシプロピル)-N-ヒドロキシエチルヘキサデカナミド		ヘキサデシロキシPGヒドロキシエチルヘキサデカナミド	本品は、主としてN-(3-ヘキサデシロキシ-2-ヒドロキシプロピル)-N-2-ヒドロキシエチルヘキサデカナミド(C <sub>37</sub> H <sub>75</sub> NO <sub>4</sub> :598.01)からなる。
1847	41	100105	ヘキシルデカノール			本品は、主として2-ヘキシルデカノール(C <sub>16</sub> H <sub>34</sub> O:242.44)からなる。
1848	42	532171	(2-ヘキシルデカン酸・セバシン酸)ジグリセリルオリゴエステル	(イソバルボン酸・セバシン酸)ジグリセリルオリゴエステル	(ヘキシルデカン酸・セバシン酸)ジグリセリルオリゴエステル	本品は、主として、2-ヘキシルデカン酸及びセバシン酸と「ジグリセリン」からなるオリゴエステルである。
1849	42	523197	2-ヘキシルデシルリン酸アルギニン		ヘキシルデシルリン酸アルギニン	本品は、主として、2-ヘキシルデシルリン酸のアルギニン塩からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、アルギニン(C <sub>6</sub> H <sub>14</sub> N <sub>4</sub> O <sub>2</sub> :174.20)30.0~40.0%を含む。
1850	41	500367	ヘキシレングリコール			本品は、主としてヘキシレングリコール(C <sub>6</sub> H <sub>14</sub> O <sub>2</sub> :118.18)からなる。
1851	42	105064	ペクチン			本品は、主にオレンジ、レモン、ライム等のかんきつ類又はリンゴ等から得られたコロイド性多糖類で、主としてD-ガラクトロン酸及びそのメチルエステルからなる。
1852	42	520954	ヘクトライト			本品は、天然に産するコロイド性含水ケイ酸マグネシウムである。
1853	42	520959	ヘチマエキス(1)	ヘチマ抽出液	ヘチマエキス-1	本品は、ヘチマ Luffa cylindrica (L.) Roemen (Cucurbitaceae)の地上部から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
1854	42	510069	ヘチマエキス(2)		ヘチマエキス-2	本品は、ヘチマ Luffa cylindrica M. Roemen (Cucurbitaceae)の全草を水で抽出して乾燥し、

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						これをメタノールで抽出して得られたものを乾燥し、更にこれに「ブタノール」と水を加え、得られた「ブタノール」層を乾燥し、これを「エタノール」及び水の混液に溶解したものである。
1855	42	505148	ヘチマ水			本品は、ヘチマ <i>Luffa cylindrica</i> M. Roemen (Cucurbitaceae) の茎を切り、流出した液を採取したものである。
1856	42	520960	ヘチマ末			本品は、ヘチマ <i>Luffa cylindrica</i> M. Roemen (Cucurbitaceae) の果実を粉末としたものである。
1857	42	503119	ベニバナ赤		紅花赤	本品は、ベニバナ <i>Carthamus tinctorius</i> Linne' (Compositae) の花から抽出して得られた赤色色素である。
1858	42	509092	ベニバナ赤処理セルロースパウダー		ベニバナ赤処理セルロース末、紅花赤処理セルロース末	本品は、「結晶セルロース」をベニバナ <i>Carthamus tinctorius</i> L. (Compositae) の花の水抽出液に浸漬した後、ろ過して乾燥したものである。
1859	42	520963	ベニバナエキス(1)		ベニバナエキス-1、紅花エキス-1	本品は、ベニバナ <i>Carthamus tinctorius</i> Linne' (Compositae) の花をそのまま又は黄色色素の大部分を除き、圧搾して板状としたものから、エタノール溶液又は1,3-ブチレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
1860	42	520964	ベニバナエキス(2)		ベニバナエキス-2、紅花エキス-2	本品は、ベニバナ <i>Carthamus tinctorius</i> Linne' (Compositae) の全草から、エタノール溶液により抽出して得られるエキスである。
1861	42	521298	ベニバナエキス(3)		ベニバナエキス-3、紅花エキス-3	本品は、ベニバナ <i>Carthamus tinctorius</i> Linne' (Compositae) の花をそのまま又は黄色色素の大部分を除き、圧搾して板状としたものから「無水エタノール」にて抽出して得られるエキスである。
1862	42	505149	ベニバナ黄	サフロールイエロー	紅花黄	本品は、ベニバナ <i>Carthamus tinctorius</i> Linne' (Compositae) の花期の管状花より抽出して得られる黄色色素である。
1863	42	520968	ヘプタステアリン酸ポリグリセリル	ヘプタステアリン酸デカグリセリル		本品は、主として「ステアリン酸」とポリグリセリンのヘプタエステルからなる。グリセリンの平均重合度は10である。
1864	42	532123	2-ヘプタデシル-N-ヒドロキシエチル-N-カルボキシラートメチルイミダゾリウムクロライド・2-ヘプタデシル-N,N-ビスヒドロキシエチルイミダゾリウム塩		塩化ヘプタデシルヒドロキシエチルカルボキシラートメチルイミダゾリウム・ヘプタデシルビスヒドロキシエチルイミダゾリウム塩	本品は、主として、2位に炭素数17のアルキル基を有する1-ヒドロキシエチルイミダゾリンをカルボキシメチル化及びアセチル化して得られるもので、通常、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」、水又はこれらの混液を含む。
1865	42	504328	ヘプタン酸ステアリル			本品は、主としてヘプタン酸と「ステアリルアルコール」のエステル(C <sub>25</sub> H <sub>50</sub> O <sub>2</sub> :382.67)よりなる。
1866	41	109250	ベヘニルアルコール			本品は、主としてベヘニルアルコール(C <sub>22</sub> H <sub>46</sub> O:326.60)からなる。
1867	42	520970	ベヘニルジメチルアミノオキシド液			本品は、主としてベヘニルジメチルアミノオキシドからなり「エタノール」若しくは「プロピレングリコール」及び水を含む。
1868	41	100762	ベヘニン酸			本品は、高級飽和脂肪酸の混合物で、主としてベヘニン酸(C <sub>22</sub> H <sub>44</sub> O <sub>2</sub> :340.59)からなる。
1869	42	523198	ベヘニン酸エイコサニル	ベヘン酸エイコサニル		本品は、主として、「ベヘニン酸」とエイコサニル-ルのエステル(C <sub>42</sub> H <sub>84</sub> O <sub>2</sub> :621.32)からなる。
1870	42	505150	ベヘン酸グリセリル			本品は、主としてベヘン酸とグリセリンのモノエステル及びジエステルからなる。
1871	42	510070	ペラルゴン酸2-エチルヘキシル	ペラルゴン酸オクチル	ペラルゴン酸エチルヘキシル	本品は、主としてペラルゴン酸と2-エチルヘキシルアルコールのエステル(C <sub>17</sub> H <sub>34</sub> O <sub>2</sub> :270.46)からなる。
1872	41	109870	ベンガラ	三二酸化鉄		本品は、主として三二酸化鉄(Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub> )からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、三二酸化鉄(Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub> :159.69)90.0%以上を含む。
1873	42	520501	ベンガラ・カルミン被覆雲母チタン	ベンガラ・カルミン被覆マイカチタン	ベンガラ・カルミン被覆雲母Ti	本品は、雲母チタンを「ベンガラ」と「カルミン」で被覆したものである。
1874	42	520505	ベンガラ・黒酸化鉄・コンジョウ被覆雲母チタン	ベンガラ・黒酸化鉄・コンジョウ被覆マイカチタン	ベンガラ・黒酸化鉄・紺青被覆雲母Ti ベンガラ・黒酸化Fe・紺青被覆雲母Ti	本品は、雲母チタンを「ベンガラ」と「黒酸化鉄」及び「コンジョウ」で被覆したものである。
1875	42	520503	ベンガラ・黒酸化鉄被覆雲母チタン	ベンガラ・黒酸化鉄被覆マイカチタン	ベンガラ・黒酸化鉄被覆雲母Ti ベンガラ・黒酸化Fe被覆雲母Ti	本品は、雲母チタンを「ベンガラ」と「黒酸化鉄」で被覆したものである。
1876	42	522046	ベンガラ・コンジョウ被覆雲母チタン	ベンガラ・コンジョウ被覆マイカチタン	ベンガラ・紺青被覆雲母Ti	本品は、雲母チタンを「ベンガラ」と「コンジョウ」で被覆したものである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1877	42	520508	ベンガラ被覆雲母	ベンガラ被覆マイカ		本品は、「マイカ」を「ベンガラ」で被覆したものである。
1878	42	520509	ベンガラ被覆雲母チタン	ベンガラ被覆マイカチタン	ベンガラ被覆雲母Ti	本品は、「雲母チタン」を「ベンガラ」で被覆したものである。
1879	41	001574	ベンジルアルコール			本品は、定量するとき、ベンジルアルコール(C <sub>7</sub> H <sub>8</sub> O:108.14)97.0%以上を含む。
1880	42	523199	ベンジルオキシエタノール			本品は、定量するとき、ベンジルオキシエタノール(C <sub>9</sub> H <sub>10</sub> O <sub>2</sub> :152.19)95.0%以上を含む。
1881	42	520974	ベンジルジメチルステアリルアンモニウムヘクトライト			本品は、ヘクトライト中の主としてナトリウムイオンからなるカチオンをベンジルジメチルステアリルアンモニウムでイオン交換したベンジルジメチルステアリルアンモニウムヘクトライトである。
1882	42	532301	ペンタイソステアリン酸ポリグリセリル			本品は、主として「イソステアリン酸」とポリグリセリンのペンタエステルからなる。グリセリンの平均重合度は10である。
1883	42	505152	ペンタ-2-エチルヘキサン酸ジグリセロールソルピタン	ペンタオクタノ酸ジグリセロールソルピタン	ペンタエチルヘキサン酸ジグリセロールソルピタン	本品は、主としてソルピタンと「ジグリセリン」からなるエーテル化合物と2-エチルヘキサン酸のペンタエステルである。
1884	42	523200	ペンタエリスリールクエン酸高級脂肪酸エステル・ミノロウ・ニオン乳化剤混合物		(クエン酸・高級脂肪酸)ペンタエリトリール・ミノロウ・ニオン乳化剤混合物、(ケルピタン)約35%、「サラミノロウ」約20%及び「ステアリン酸アルミニウム」約5%からなる混合物である。	
1885	42	520975	ペンタオレイン酸ポリオキシエチレンソルピット		ペンタオレイン酸 POEソルピット	本品は、主として「オレイン酸」とポリオキシエチレンソルピットのペンタエステルからなる。酸化エチレンの平均付加モル数は40である。
1886	42	520976	ペンタオレイン酸ポリグリセリル			本品は、主として「オレイン酸」とポリグリセリンのペンタエステルからなる。グリセリンの平均重合度は6~10である。
1887	42	510071	ペンタステアリン酸デカグリセリル			本品は、主として「ステアリン酸」とデカグリセリンのペンタエステルからなる。
1888	42	511056	- ベンタデカラクトン			本品は、定量するとき、- ベンタデカラクトン(C <sub>15</sub> H <sub>28</sub> O <sub>2</sub> :240.39)96.0%以上を含む。
1889	42	520979	n- ペンタン		ペンタン	本品は、定量するとき、n- ペンタン(C <sub>5</sub> H <sub>12</sub> :72.15)95.0%以上を含む。
1890	42	532168	1,2- ペンタンジオール	ペンチレングリコール		本品は定量するとき、1,2- ペンタンジオール(C <sub>5</sub> H <sub>12</sub> O <sub>2</sub> :104.15)95.0%以上を含む。
1891	41	001579	ベントナイト			本品は、天然に産するコロイド性含水ケイ酸アルミニウムである。
1892	41	001586	ホウ砂			本品は、定量するとき、ホウ砂(Na <sub>2</sub> B <sub>4</sub> O <sub>7</sub> ・10H <sub>2</sub> O:381.37)98.5~110.0%を含む。
1893	42	520983	飽和脂肪酸グリセリル			本品は、主として「ステアリン酸」、「パルミチン酸」、「ミリスチン酸」及び「ラウリン酸」からなる混合脂肪酸のモノ、ジ及びトリグリセリルの混合物である。
1894	42	510072	飽和脂肪酸セチル			本品は、炭素数12~18の飽和脂肪酸と「セタノール」のエステルである。
1895	42	523201	ホエイ(1)		ホエイ-1	本品は、生乳又は脱脂粉乳水溶液に、乳酸菌 Lactobacillus bulgaricus を接種培養して得る発酵乳から固形分を除いて得た乳漿である。
1896	42	523202	ホエイ(2)	乳清	ホエイ-2	本品は、牛乳たん白質の水溶液又は脱脂粉乳及びブドウ糖の水溶液を、乳酸連鎖球菌 Streptococcus thermophilus又は乳酸桿菌 Lactobacillus bulgaricusで発酵させた液をろ過したものである。
1897	42	532124	ホエイ(3)		ホエイ-3	本品は、牛乳にたん白凝固剤レンネット及び乳酸菌 Lactococcus lactis、Lactococcus cremoris、Streptococcus thermophilus、Leuconostoc mesenteroides 及び Lactobacillus bulgaricus のいずれか一つ又は組み合わせて加え、発酵して得られた乳清から乳清たん白を除去し、乾燥したものである。本品は、定量するとき、カルシウム(Ca:40.08)0.3~1.5%、マグネシウム(Mg:24.31)0.1~0.5%及び窒素(N:14.01)1.0~3.0%含む。
1898	42	523203	ホエイ末			本品は、「ホエイ(1)」を粉末にしたものである。
1899	42	523204	ボダイジュ水			本品は、フコボダイジュ Tilia cordata Miller (Tiliaceae)の花から水にて抽出して得られたエキスより、水蒸気蒸留して得られる留液である。
1900	42	523205	ボタンエキス		牡丹エキス	本品は、ボタン Paeonia suffruticosa Andrews(Paeonia moutan Sims)(Paeoniaceae)の根皮からエタノール溶液で抽出して得られるエキスである。
1901	42	508082	没食子酸オクチル			本品は、主として没食子酸とn-オクタノールのエステル(C <sub>15</sub> H <sub>22</sub> O <sub>5</sub> :282.34)からなる。
1902	41	104604	没食子酸プロピル			本品は、主として没食子酸プロピル(C <sub>10</sub> H <sub>16</sub> O <sub>5</sub> :212.20)からなる。
1903	42	102874	ホップエキス			本品は、ホップ Humulus lupulus Linne' (Moraceae)の雌花穂から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエ

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						キスである。
1904	42	102875	ホップ末			本品は、ホップ <i>Humulus lupulus</i> Linne' (Moraceae) の雌花穂を粉末にしたものである。
1905	42	507092	ホホバアルコール			本品は、「ホホバ油」から得られる高級アルコールで、主としてオクタデセノール、エイコセノール、ドコセノール、テトラコセノールからなる。
1906	42	520987	ホホバ油			本品は、ホホバ <i>Simmondsia chinensis</i> 又は <i>Simmondsia californica</i> Nuttall (Euphorbiaceae) の種子から得たエステルである。
1907	42	108622	ポリアクリル酸			本品は、主としてアクリル酸又はメタクリル酸の重合体である。
1908	42	520988	ポリアクリル酸アミド		ポリアクリルアミド	本品は、アクリル酸アミドの重合体である。
1909	42	522047	ポリアクリル酸アルキル			本品は、アクリル酸アルキル (C1~C4) 又はメタクリル酸アルキル (C1~C4) の重合体である。
1910	42	522048	ポリアクリル酸アルキル液			本品は、アクリル酸アルキル (C1~4,8) 又はメタクリル酸アルキル (C1~4,8) の重合体のトルエン溶液である。
1911	42	522049	ポリアクリル酸アルキルエマルション			本品は、主としてアクリル酸アルキル (C1~C4, C8) 又はメタクリル酸アルキル (C1~C4, C8) の重合体のエマルションである。
1912	42	109243	ポリアクリル酸液			本品は、アクリル酸又はメタクリル酸の重合体の水、エタノール又はこれらの混液の溶液である。
1913	42	522116	ポリアクリル酸エチルエマルション			本品は、主としてポリアクリル酸エチルのエマルションからなる。
1914	42	522050	ポリアクリル酸エマルション (1)		ポリアクリル酸エマルション-1	本品は、アクリル酸又はメタクリル酸の重合体のエマルションである。
1915	42	522051	ポリアクリル酸エマルション (2)		ポリアクリル酸エマルション-2	本品は、アクリル酸又はメタクリル酸の重合体のエマルションである。
1916	42	520993	ポリアクリル酸塩			本品は、アクリル酸又はメタクリル酸の重合体のアンモニウム塩、カリウム塩、ナトリウム塩又はこれらの混合物である。
1917	41	106734	ポリアクリル酸ナトリウム		ポリアクリル酸Na	本品は、アクリル酸重合物のナトリウム塩である。
1918	42	522117	ポリアクリル酸ブチルエマルション			本品は、主としてポリアクリル酸ブチルのエマルションである。
1919	42	532172	ポリアスパラギン酸ナトリウム液		ポリアスパラギン酸Na液	本品は、ポリアスパラギン酸のナトリウム塩の水溶液で、本品を定量するとき、窒素 (N: 14.01) 2.3~3.0% を含む。
1920	42	505155	ポリアミドエピクロロヒドリン樹脂			本品は、アジピン酸ジエチルジアミンからなるポリアミドにエピクロロヒドリンを付加縮合して得られるポリアミドエピクロロヒドリン樹脂である。
1921	42	522052	ポリアミドエピクロロヒドリン樹脂液 (1)		ポリアミドエピクロロヒドリン樹脂液-1	本品は、「ポリアミドエピクロロヒドリン樹脂」の水溶液である。
1922	42	522053	ポリアミドエピクロロヒドリン樹脂液 (2)		ポリアミドエピクロロヒドリン樹脂液-2	本品は、「ポリアミドエピクロロヒドリン樹脂」の水溶液である。
1923	42	108623	ポリイソブレン			本品は、主として2-メチル-2,3-ブタジエンの重合体で、その平均分子量は、300~25000である。
1924	42	505156	ポリエチレンイミン		PEI	本品は、エチレンイミンの分岐状重合体の水溶液である。本品は、定量するとき、ポリエチレンイミン (C <sub>2</sub> H <sub>5</sub> N) <sub>n</sub> として 27~33% を含む。
1925	41	108860	ポリエチレングリコール 200		PEG-4、ポリエチレングリコール	本品は、酸化エチレンの重合体で、平均分子量は、190~210である。
1926	41	108556	ポリエチレングリコール 300		PEG-6、ポリエチレングリコール	本品は、酸化エチレンの重合体で、平均分子量は、280~320である。
1927	41	110357	ポリエチレングリコール 400		PEG-8、ポリエチレングリコール	本品は、酸化エチレンの重合体で、平均分子量は、380~420である。
1928	41	110358	ポリエチレングリコール 600		PEG-12、ポリエチレングリコール	本品は、酸化エチレンの重合体で、平均分子量は、570~630である。
1929	41	105285	ポリエチレングリコール 1000		PEG(20)、PEG1000	本品は、酸化エチレンの重合体で、平均分子量は、950~1050である。
1930	41	109876	ポリエチレングリコール 1500		PEG(30)、PEG1500	本品は、酸化エチレンの重合体で、重合度が5~6のもの及び28~36のもの等量混合物である。
1931	42	105288	ポリエチレングリコール 1540		PEG(31)、PEG1540	本品は、酸化エチレンの重合体で、平均分子量は、1290~1650である。
1932	42	502125	ポリエチレングリコール 2000		PEG(40)、PEG2000	本品は、酸化エチレンの重合体で、平均分子量は 1850~2150 である。
1933	41	105315	ポリエチレングリコール 4000		PEG(80)、PEG4000	本品は、酸化エチレンの重合体で、平均分子量は、2600~3800である。
1934	41	109877	ポリエチレングリコール 6000		PEG(120)、PEG6000	本品は、酸化エチレンの重合体で、平均分子量は、7300~9300である。
1935	42	508083	ポリエチレングリコール 11000		PEG(220)、PEG11000	本品は、酸化エチレンの重合体で、平均分子量は 9300~12500 である。
1936	41	105289	ポリエチレングリコール 20000		PEG(400)、PEG20000	本品は、酸化エチレンの重合体で、平均分子量は、15500~25000である。
1937	42	505157	ポリエチレングリコール・エピクロロヒドリン・牛脂アルキルアミン・ジプロピレントリアミン縮合物		PEG・エピクロロヒドリン・牛脂アルキルアミン・ジプロピレントリアミン縮合物	本品は、ポリエチレングリコール、エピクロロヒドリン、牛脂アルキルアミン及びジプロピレントリアミンの縮合物である。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1938	42	505158	ポリエチレングリコール・エピクロヒドリン・ヤシ油アルキルアミン・ジプロピレントアミン液		PEG・エピクロヒドリン・ヤシ油アルキルアミン・ジプロピレントアミン液	本品は、「ポリエチレングリコール 600」,エピクロヒドリン,炭素数 8~ 18のヤシ油アルキルアミン及びジプロピレントアミンとの縮重合物の 50%水溶液である。
1939	42	507095	ポリエチレンテレフタレート・アルミニウム・エポキシ積層末		PET・Al・エポキシ積層末	本品は,アルミニウムを蒸着したポリエチレンテレフタレートフィルムに必要に応じて「酸化鉄」で又は法定色素で着色したエポキシ樹脂を被膜処理し,微細な薄片にしたものである。
1940	42	509099	ポリエチレンテレフタレート・金積層末		PET・金積層末	本品は,ポリエチレンテレフタレートに金を蒸着したフィルムを粉末状に切断したものである。本品は,定量するとき,金(Au:196.97)4.5~ 5.5%を含む。
1941	42	520998	ポリエチレンテレフタレート・ポリオレフィン積層フィルム末	ポリエチレンテレフタレート・ポリオレフィン積層末	PET・ポリオレフィン積層末	本品は,ポリエチレンテレフタレートとポリオレフィンの積層フィルムを粉末状に切断したものである。
1942	42	520999	ポリエチレンテレフタレート・ポリメチルメタクリレート積層フィルム末		PET・ポリメチルメタクリレート積層末、PET・ポリメチルメタクリレート積層末	本品は,ポリエチレンテレフタレートとポリメチルメタクリレートの積層フィルムを粉末状に切断したものである。
1943	42	507098	ポリエチレン・ポリエステル積層末			本品は,ポリエチレン及びテレフタル酸とペンタエリトリールからなるポリエステルの積層フィルムを粉末状に切断したものである。
1944	42	507099	ポリエチレン・ポリエチレンテレフタレート積層末		ポリエチレン・PET積層末	本品は,ポリエチレンテレフタレートとポリエチレンの積層フィルムを粉末状に切断したものである。
1945	41	105310	ポリエチレン末			本品は,エチレンを重合して得られるポリエチレンである。
1946	42	508087	ポリエチレンワックス			本品は,エチレンを重合して得られる低融点のポリエチレンである。
1947	42	506024	ポリ塩化ジメチルメチレンビペリジニウム液	ポリ塩化N,N -ジメチル-3,5-メチレンビペリジニウム		本品は,平均分子量約 20万~ 28万のポリ塩化ジメチルメチレンビペリジニウムの溶液である。本品は,定量するとき,塩化ジメチルメチレンビペリジニウム(C <sub>8</sub> H <sub>16</sub> C <sub>2</sub> N <sub>2</sub> :161.67)として表示量の 90~ 110%を含む。
1948	51	523406	ポリオキシエチレンアセチル化ラノリン(7E.O.)		POE(7)アセチル化ラノリン、POE(7)酢酸ラノリン	本品は,「酢酸ラノリン」に酸化エチレンを付加重合して得られたもので,酸化エチレンの平均付加モル数は 7である。
1949	42	508088	ポリオキシエチレンアラキルエーテル(20E.O.)		POE(20)アラキルエーテル	本品は,主としてアラキルアルコールからなる高級脂肪族アルコールに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は 20である。
1950	42	120052	ポリオキシエチレンアラキルエーテル・ステアリルアルコール混合物		POEアラキルエーテル・ステアリルアルコール混合物	本品は,ポリオキシエチレンアラキルエーテル及び「ステアリルアルコール」の混合物である。
1951	41	500606	ポリオキシエチレンアルキル(12,13)エーテル(10E.O.)		POE(10)アルキル(12,13)エーテル	本品は,主として炭素数 12及び 13のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合したもので,酸化エチレンの平均付加モル数は 10である。
1952	42	532125	ポリオキシエチレンアルキル(12~ 14)エーテル		POEアルキル(12~ 14)エーテル	本品は,主として炭素数 12~ 14のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるものである。酸化エチレンの付加モル数は 3~ 12である。
1953	42	509100	ポリオキシエチレンアルキル(12~ 14)エーテル(3E.O.)		POE(3)アルキル(12~ 14)エーテル	本品は,主として炭素数 12~ 14のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるものである。酸化エチレンの平均付加モル数は 3である。
1954	42	508091	ポリオキシエチレンアルキル(12~ 14)エーテル(12E.O.)		POE(12)アルキル(12~ 14)エーテル	本品は,主として炭素数 12~ 14のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるものである。酸化エチレンの平均付加モル数は 12である。
1955	42	523208	ポリオキシエチレン-sec-アルキル(14)エーテル		POE・sec-アルキル(14)エーテル	本品は,直鎖のパラフィン酸を酸化して得られる平均炭素数 14の第 2級アルコールに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は 3~ 3である。
1956	42	523206	ポリオキシエチレンアルキル(12~ 15)エーテル酢酸プロピル		POEアルキル(12~ 15)エーテル酢酸プロピル	本品は,主としてポリオキシエチレンアルキル(12~ 15)エーテル酢酸プロピルからなる。酸化エチレンの平均付加モル数は 8である。
1957	42	523207	ポリオキシエチレンアルキル(12~ 15)エーテル酢酸ヘキサデシル		POEアルキル(12~ 15)エーテル酢酸ヘキサデシル	本品は,主としてポリオキシエチレンアルキル(12~ 15)エーテル酢酸ヘキサデシルからなる。酸化エチレンの平均付加モル数は 8である。
1958	42	508092	ポリオキシエチレンアルキル(12,13)エーテル硫酸ジエタノールアミン(3E.O.)液		POE(3)アルキル(12,13)エーテル硫酸 DEA液	本品は,主として炭素数 12及び 13のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるものの硫酸エステルジエタノールアミン塩からなる。酸化エチレンの平均付加モル数は 3である。本品は定量するとき,ポリオキシエチレンアルキル(12,13)エーテル硫酸ジエタノールアミン(3E.O.)(平均分子量:510.29)として表示量の 90~ 110%を含む。
1959	42	508093	ポリオキシエチレンアルキル(11,13,15)エーテル硫酸トリエタノールアミン(1E.O.)		POE(1)アルキル(11,13,15)エーテル硫酸 TEA	本品は,主として炭素数 11,13及び 15のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるものの硫酸エステルトリエタノールアミン塩からなる。本品は,定量するとき,ポリオキシエチレンアルキル(11,13,15)エーテル硫酸トリエタノールアミン(1E.O.)(平均分子量:485.53)として表示量の 90~ 110%を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1960	42	508094	ポリオキシエチレンアルキル(12,13)エーテル硫酸トエタノールアミン(3E.O.)		POE(3)アルキル(12,13)エーテル硫酸TEA	本品は,主として炭素数12及び13のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるものの硫酸エステル(トエタノールアミン)塩からなる.酸化エチレンの平均付加モル数は3である.本品は,定量するとき,表示量の90~110%のポリオキシエチレンアルキル(12,13)エーテル硫酸トエタノールアミン(3E.O.)を含む.
1961	42	507101	ポリオキシエチレンアルキルエーテル硫酸トエタノールアミン(3E.O.)液		POE(3)アルキルエーテル硫酸TEA液	本品は,主としてポリオキシエチレンアルキルエーテル硫酸トエタノールアミンの水溶液である.酸化エチレンの平均付加モル数は3である.本品は定量するとき表示量の90~110%ポリオキシエチレンアルキルエーテル硫酸トエタノールアミンを含む.
1962	42	508095	ポリオキシエチレンアルキル(12,13)エーテル硫酸トエタノールアミン・ナトリウム(3E.O.),アルキル(12,13)硫酸ナトリウム混合物液		POE(3)アルキル(12,13)エーテル硫酸TEA・Na,アルキル(12,13)硫酸Na混合物液	本品は,主として炭素数12,13のアルキル基を有するアルコール又はこれに酸化エチレンを付加重合して得られるものの硫酸エステル(ナトリウム)塩又は硫酸エステル(トエタノールアミン)塩の水溶液の混合物である.本品を,定量するとき,表示量の90~110%のポリオキシエチレンアルキル(12,13)エーテル硫酸トエタノールアミン・ナトリウム(3E.O.),アルキル(12,13)硫酸ナトリウムを含む.
1963	42	508097	ポリオキシエチレンアルキル(11~15)エーテル硫酸ナトリウム(3E.O.)		POE(3)アルキル(11~15)エーテル硫酸Na	本品は,主として炭素数11~15のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるものの硫酸エステル(ナトリウム)塩からなる.酸化エチレンの平均付加モル数は3である.本品は定量するとき,ポリオキシエチレンアルキル(11~15)エーテル硫酸ナトリウム(3E.O.) (平均分子量:450)として表示量の90~110%を含む.
1964	42	508096	ポリオキシエチレンアルキル(11,13,15)エーテル硫酸ナトリウム(1E.O.)		POE(1)アルキル(11,13,15)エーテル硫酸Na	本品は,主として炭素数11,13及び15のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるものの硫酸エステル(ナトリウム)塩からなる.本品は,定量するとき,ポリオキシエチレンアルキル(11,13,15)エーテル硫酸ナトリウム(1E.O.) (平均分子量:358.34)として表示量の90~110%のポリオキシエチレンアルキル(11,13,15)エーテル硫酸ナトリウム(1E.O.)を含む.
1965	51	507100	ポリオキシエチレンアルキル(12,13)エーテル硫酸ナトリウム(2E.O.)液		POE(2)アルキル(12,13)エーテル硫酸Na液	本品は,主として炭素数12,13のアルキル基を有するポリオキシエチレンアルキルエーテル硫酸ナトリウムの水溶液である.酸化エチレンの平均付加モル数は,2である.本品は,定量するとき,ポリオキシエチレンアルキル(12,13)エーテル硫酸ナトリウム(2E.O.) (平均分子量:376.10)として表示量の90~110%を含む.
1966	42	508098	ポリオキシエチレンアルキル(12,13)エーテル硫酸ナトリウム(3E.O.)		POE(3)アルキル(12,13)エーテル硫酸Na	本品は,主として炭素数12及び13のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるものの硫酸エステル(ナトリウム)塩からなる.酸化エチレンの平均付加モル数は3である.本品は,定量するとき,ポリオキシエチレンアルキル(12,13)エーテル硫酸ナトリウム(3E.O.) (平均分子量:432)として表示量の90~110%を含む.
1967	42	508099	ポリオキシエチレンアルキル(12~14)エーテル硫酸ナトリウム(3E.O.)		POE(3)アルキル(12~14)エーテル硫酸Na	本品は,主として炭素数12~14のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるものの硫酸エステル(ナトリウム)塩からなる.酸化エチレンの平均付加モル数は3である.本品は定量するとき,ポリオキシエチレンアルキル(12~14)エーテル硫酸ナトリウム(3E.O.) (平均分子量:428.21)として表示量の90~110%を含む.
1968	42	508100	ポリオキシエチレンアルキル(12~15)エーテル硫酸ナトリウム(3E.O.)		POE(3)アルキル(12~15)エーテル硫酸Na	本品は,主として炭素数12~15のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるものの硫酸エステル(ナトリウム)塩である.酸化エチレンの平均付加モル数は3である.本品を定量するとき,ポリオキシエチレンアルキル(12~15)エーテル硫酸ナトリウム(3E.O.) (平均分子量:439.4)として表示量の90~110%を含む.
1969	42	508101	ポリオキシエチレンアルキル(12,13)エーテルリン酸		POE(10)アルキル(12,13)エーテルリン酸	本品は,主として炭素数12及び13のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるもののリン酸エステルからなる.酸化エチレンの平均付加モル数は10である.
1970	42	510073	ポリオキシエチレンアルキル(12~15)エーテルリン酸		POEアルキル(12~15)エーテルリン酸	本品は,主として炭素数12~15のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるもののリン酸エステルである.
1971	42	508103	ポリオキシエチレンアルキル(12~15)エーテルリン酸(8E.O.)		POE(8)アルキル(12~15)エーテルリン酸	本品は,主として炭素数12~15のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるもののリン酸エステルからなる.酸化エチレンの平均付加モル数は,8である.
1972	42	508104	ポリオキシエチレンアルキル(12~15)エーテルリン酸(10E.O.)		POE(10)アルキル(12~15)エーテルリン酸	本品は,主として炭素数12~15のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるもののリン酸エステルからなる.酸化エチレンの平均付加モル数は,10である.
1973	42	510074	ポリオキシエチレンアルキル(12~16)エーテルリン酸		POEアルキル(12~16)エーテルリン酸	本品は,主として炭素数12~16のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるもののリン酸エステルからなる.

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1974	42	509101	ポリオキシエチレンアルキル(12~16)エーテルリン酸(6E.O.)		POE(6)アルキル(12~16)エーテルリン酸	本品は、主として炭素数12~16のアルキル基を有するアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるもののリン酸エステルからなる。
1975	42	521043	ポリオキシエチレンアルキル(12~14)スルホコハク酸二ナトリウム液		POEアルキル(12~14)スルホコハク酸2Na液	本品は、炭素数12~14のポリオキシエチレンアルキルスルホコハク酸二ナトリウムの水溶液である。本品を定量するとき、表示量の90.0~110.0%に対応するポリオキシエチレンアルキルスルホコハク酸二ナトリウムを含む。酸化エチレンの平均付加モル数は1~7である。
1976	41	500386	ポリオキシエチレンアルキルフェニルエーテルリン酸		POEアルキルフェニルエーテルリン酸	本品は、主として炭素数8~12のアルキル基を有するフェノールに酸化エチレンを付加重合して得られる誘導体のリン酸エステルからなる。
1977	41	500387	ポリオキシエチレンアルキルフェニルエーテルリン酸トエタノールアミン		POEアルキルフェニルエーテルリン酸TEA	本品は、主として炭素数8~12のアルキル基を有するフェノールに酸化エチレンを付加重合して得られる誘導体のリン酸エステルトエタノールアミン塩からなる。
1978	41	500388	ポリオキシエチレンアルキルフェニルエーテルリン酸ナトリウム		POEアルキルフェニルエーテルリン酸Na	本品は、主として炭素数8~12のアルキル基を有するフェノールに酸化エチレンを付加重合して得られる誘導体のリン酸エステルナトリウム塩からなる。
1979	42	507103	ポリオキシエチレン(アルキロール・ラノリンアルコール)エーテル(16E.O.)		POE(16)(アルキロール・ラノリンアルコール)エーテル、POE(16)(アルキルラノリン)エーテル	本品は、ラノリンアルコール及び高級アルコール(セタノール、オレイルアルコール、ステアリルアルコール)の混合物に酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は16である。
1980	42	532302	ポリオキシエチレンアルモンド油		POEアルモンド油	本品は、主として「アルモンド油」に酸化エチレンを付加重合したもので、酸化エチレンの平均付加モル数は60である。
1981	42	521008	ポリオキシエチレンイソステアリルエーテル		POEイソステアリルエーテル	本品は、主として「イソステアリルアルコール」に酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は2~25である。
1982	42	509102	ポリオキシエチレン液状ラノリン(75E.O.)		POE(75)液状ラノリン	本品は、「液状ラノリン」に酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は、75である。
1983	42	521013	ポリ(オキシエチレン・オキシプロピレン)メチルポリシロキサン共重合体		POE・POPジメチル共重合体	本品は、主として直鎖状メチルポリシロキサンのメチル基の一部を、ポリ(オキシエチレン・オキシプロピレン)基に置換した重合体である。
1984	42	505159	ポリオキシエチレンオクチルエーテルリン酸		POEオクチルエーテルリン酸	本品は、主としてオクチルアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られるもののリン酸エステルからなる。
1985	42	502128	ポリオキシエチレンオクチルデシルエーテル		POEオクチルデシルエーテル	本品は、主として「オクチルデカノール」に酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は、5~25である。
1986	41	105381	ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル		POEオクチルフェニルエーテル	本品は、オクチルフェノールに酸化エチレンを付加重合したものである。
1987	42	505160	ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル硫酸ナトリウム液		POEオクチルフェニルエーテル硫酸Na液	本品は、主としてポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル硫酸ナトリウムの水溶液である。酸化エチレンの平均付加モル数は、2である。本品は、定量するとき、ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル硫酸ナトリウム(C <sub>20</sub> H <sub>33</sub> NaO <sub>6</sub> S:424.53)として表示量の90~110%を含む。
1988	42	105384	ポリオキシエチレンオレイルアミン		POEオレイルアミン	本品は、主としてオレイルアミンに酸化エチレンを重合して得られるものである。酸化エチレンの平均付加モル数は、5~15である。
1989	41	105385	ポリオキシエチレンオレイルエーテル		POEオレイルエーテル	本品は、主として「オレイルアルコール」に酸化エチレンを付加重合したものである。
1990	41	500391	ポリオキシエチレンオレイルエーテルリン酸		POEオレイルエーテルリン酸	本品は、主として「オレイルアルコール」に酸化エチレンを付加重合して得られる誘導体のリン酸エステルからなる。
1991	42	503123	ポリオキシエチレンオレイルエーテルリン酸ジエタノールアミン		POEオレイルエーテルリン酸DEA	本品は、主として「オレイルアルコール」に酸化エチレンを付加重合して得られる誘導体のリン酸エステルのジエタノールアミン塩からなる。
1992	41	110366	ポリオキシエチレンオレイルエーテルリン酸ナトリウム		POEオレイルエーテルリン酸Na	本品は、主として「オレイルアルコール」に酸化エチレンを付加重合して得られる誘導体のリン酸エステルナトリウム塩からなる。
1993	42	504338	ポリオキシエチレンオレイルセチルエーテル		POEオレイルセチルエーテル	本品は、主として「オレイルアルコール」及び「セタノール」からなる混合物に酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は、2~24である。
1994	42	504340	ポリオキシエチレンオレイン酸グリセリル		POEオレイン酸グリセリル	本品は、主としてモノオレイン酸グリセリルに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は、5~30である。
1995	42	523209	ポリオキシエチレン(カプリル/カプリン酸)グリセリル	ポリオキシエチレンカプリル/カプリン酸グリセリル	POE(カプリル・カプリン酸)グリセリル	本品は、主としてカプリル酸及びカプリン酸のモノ、ジ及びトリグリセリルの混合物に酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は4~8である。
1996	42	521015	ポリオキシエチレンカプリル酸グリセリル		POEカプリル酸グリセリル、ポリオキシエチレンカプリル酸グリセリル	本品は、主として「カプリル酸」とグリセリルのエステルに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は6である。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
1997	42	503124	ポリオキシエチレン 還元ラリリン		POE還元ラリリン、POE水添ラリリン	本品は、還元ラリリンに酸化エチレンを付加重合させたものである。酸化エチレンの平均付加モル数は、5~ 40である。
1998	42	508106	ポリオキシエチレン牛脂アルキルジエタノールアミン(2E.O.)		POE(2)牛脂アルキルDEA	本品は、主としてポリオキシエチレン牛脂アルキルジエタノールアミンからなる。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)として3.0~ 4.0%を含む。
1999	42	523211	ポリオキシエチレン牛脂脂肪酸グリセリル		POE牛脂脂肪酸グリセリル	本品は、「牛脂脂肪酸」とグリセリルのエステルに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は82である。
2000	42	521017	ポリオキシエチレン牛脂脂肪酸グリセリル液		POE牛脂脂肪酸グリセリル液	本品は、主として牛脂脂肪酸グリセリルに酸化エチレンを付加重合したものの水溶液である。酸化エチレンの平均付加モル数は82~ 130である。
2001	42	509103	ポリオキシエチレングリセリン(26E.O.)		POE(26)グリセリン、POE(26)グリセリル	本品は、グリセリンに酸化エチレンを約26モル付加重合したものである。
2002	41	105359	ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油		POE硬化ヒマシ油、POE水添ヒマシ油	本品は、「硬化ヒマシ油」に酸化エチレンを付加重合したものである。
2003	25	108405	ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油 60	ポリオキシエチレングリセリンナド オキシステアリン酸 60	POE(60)硬化ヒマシ油、POE(60)水添ヒマシ油	本品はヒマシ油に水素を添加して得た硬化油に、酸化エチレンを付加重合させて得た非イオン界面活性剤で、酸化エチレンの平均付加モル数は約60である。
2004	42	509104	ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油コハク酸(50E.O.)		POE(50)硬化ヒマシ油コハク酸、POE(50)水添ヒマシ油コハク酸	本品は、「ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油」と無水コハク酸より得られるエステルである。酸化エチレンの平均付加モル数は50である。
2005	42	504341	ポリオキシエチレンコレステロールエーテル		POEコレステロールエーテル	本品は、コレステロールに酸化エチレンを付加重合したものである。
2006	42	501124	ポリオキシエチレンコレステリルエーテル		POEコレステリルエーテル	本品は、主として「コレステロール」に酸化エチレンを付加重合したものである。
2007	42	508107	ポリオキシエチレンジエタノールアミンラウリン酸エステル(4E.O.)		POE(4)DEAラウリン酸エステル	本品は、主としてポリオキシエチレンジエタノールアミンのラウリン酸エステルからなる。酸化エチレンの平均付加モル数は4である。
2008	42	532126	ポリオキシエチレンジオレイン酸メチルグルコシド		POEジオレイン酸メチルグルコシド	本品は、主としてジオレイン酸メチルグルコシドに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は120である。
2009	42	504343	ポリオキシエチレンジニルフェニルエーテル		POEジニルフェニルエーテル	本品は、主としてジニルフェニルに酸化エチレンを付加重合したものである。
2010	42	521019	ポリオキシエチレンステアリンアミン		POEステアリンアミン	本品は、主としてステアリンアミンに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は2である。
2011	41	105420	ポリオキシエチレンステアリンエーテル		POEステアリンエーテル	本品は、主として「ステアリンアルコール」に酸化エチレンを付加重合したものである。
2012	41	110368	ポリオキシエチレンステアリンエーテルリン酸		POEステアリンエーテルリン酸	本品は、主として「ステアリンアルコール」に酸化エチレンを付加重合して得られるもののリン酸エステルからなる。
2013	41	500396	ポリオキシエチレンステアリン酸アミド		POEステアリン酸アミド	本品は、主として「ステアリン酸」をアミド化して得られる脂肪酸アミドに酸化エチレンを付加重合したものである。
2014	42	521022	ポリオキシエチレンスルホコハク酸 - シトステリルニナドウム液		POEスルホコハク酸 - シトステリルニナドウム液	本品は、ポリオキシエチレンスルホコハク酸 - シトステリルニナドウムの水溶液である。本品を定量するとき、表示量の90~ 110%に対応するポリオキシエチレンスルホコハク酸 - シトステリルニナドウム(C <sub>33</sub> H <sub>66</sub> O <sub>7</sub> Na・C <sub>21</sub> H <sub>40</sub> ) <sub>n</sub> )を含む。
2015	42	503127	ポリオキシエチレンスルホコハク酸ラウリンニナドウム	ポリオキシエチレンラウリンスルホコハク酸ニナドウム	POEスルホコハク酸ラウリンニナドウム、POEラウリンスルホコハク酸 2Na	本品は、ポリオキシエチレンスルホコハク酸ラウリンニナドウム(C <sub>21</sub> H <sub>40</sub> Na <sub>2</sub> O <sub>10</sub> :542.66)からなる。酸化エチレンの平均付加モル数は1~ 3である。本品を定量するとき、表示量の90.0~ 110.0%を含む。
2016	42	532127	ポリオキシエチレンセスキステアリン酸メチルグルコシド	セスキステアリン酸ポリオキシエチレンメチルグルコシド	POEセスキステアリン酸メチルグルコシド、セスキステアリン酸POEメチルグルコシド	本品は、主としてモノステアリン酸メチルグルコシド及びジステアリン酸メチルグルコシドに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は20である。
2017	41	008806	ポリオキシエチレンセチルエーテル		POEセチルエーテル	本品は、「セタノール」に酸化エチレンを付加重合したものである。
2018	41	500398	ポリオキシエチレンセチルエーテルリン酸		POEセチルエーテルリン酸	本品は、主として「セタノール」に酸化エチレンを付加重合して得られるもののリン酸エステルからなる。
2019	41	500399	ポリオキシエチレンセチルエーテルリン酸ナドウム		POEセチルエーテルリン酸Na	本品は、主として「セタノール」に酸化エチレンを付加重合して得られるもののリン酸エステルのナドウム塩からなる。
2020	42	504346	ポリオキシエチレンセチルステアリンジエーテル		POEセチルステアリンジエーテル	本品は、主としてポリエチレングリコールのセチルステアリンジエーテルである。
2021	42	501125	ポリオキシエチレンセトステアリンエーテル		POEセトステアリンエーテル	本品は、主としてセトステアリンアルコールに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は、2~ 30である。
2022	42	532266	ポリオキシエチレンセトステアリンヒドロキシミリスチレンエーテル	ポリオキシエチレン牛脂アルキルヒドロキシミリスチレンエーテル	POEセトステアリンヒドロキシミリスチレンエーテル、POE牛脂アルキルヒドロキシ	本品は、「セトステアリンアルコール」に酸化エチレンを付加重合した後、更に - 酸化ミリスチレンを付加させたものである。酸化エチレンの平均重合度は60である。



連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
					ミスチレンエーテル	
2023	41	500400	ポリオキシエチレンソルビットミソロウ		POEソルビットミソロウ	本品は、「ソルビット」に酸化エチレンを付加重合して得られるポリオキシエチレンソルビット「ミソロウ」を反応させたものである。
2024	42	508109	ポリオキシエチレンソルビトールラノリン(40E.O.)		POE(40)ソルビトールラノリン	本品は、ポリオキシエチレンソルビトールとラノリンとの縮合物である。酸化エチレンの平均付加モル数は40である。
2025	51	523409	ポリオキシエチレン大豆脂肪酸アミン(5E.O.)		POE(5)大豆脂肪酸アミン	本品は、大豆脂肪酸アミンに酸化エチレンを付加重合して得られたもので、酸化エチレンの平均付加モル数は5である。
2026	51	523410	ポリオキシエチレンドデシルフェニルエーテル		POEドデシルフェニルエーテル	本品は、ドデシルフェニルエーテルに酸化エチレンを付加重合して得られたもので、酸化エチレンの平均付加モル数は2~4である。
2027	42	505163	ポリオキシエチレンドデシルエーテル液		POEドデシルエーテル、ポリオキシエチレンドデシルエーテル	本品は、主としてドデシルアルコールに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は、3~15である。
2028	42	522105	ポリオキシエチレンドデシルエーテル酢酸		POEドデシルエーテル酢酸	本品は、ドデシルアルコールに酸化エチレンを付加重合し、モノクロ酢酸を反応させて得られたものである。
2029	42	520310	ポリオキシエチレンドデシルエーテル酢酸ナトリウム		POEドデシルエーテル酢酸Na	本品は、主としてポリオキシエチレンドデシルエーテル酢酸のナトリウム塩からなる。酸化エチレンの平均付加モル数は3~6である。
2030	41	105377	ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル		POEノニルフェニルエーテル	本品は、ノニルフェニルエーテルに酸化エチレンを付加重合したものである。
2031	51	523411	ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル硫酸アンモニウム(4E.O.)液		POE(4)ノニルフェニルエーテル硫酸アンモニウム、ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル硫酸アンモニウム(4E.O.)	本品は、主としてノニルフェニルエーテルに酸化エチレンを付加重合して得られるものの硫酸エステルのアンモニウム塩である。酸化エチレンの平均付加モル数は、4である。本品は、定量するとき、ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル硫酸アンモニウム(4E.O.) (平均分子量:493.66)として表示量の90.0~100.0%を含む。
2032	42	523212	ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル硫酸ナトリウム液		POEノニルフェニルエーテル硫酸Na液	本品は、主としてポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル硫酸ナトリウムの水溶液である。酸化エチレンの平均付加モル数は4である。本品を定量するとき、ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル硫酸ナトリウムとして表示量の90.0~110.0%を含む。
2033	41	105340	ポリオキシエチレンヒマシ油		POEヒマシ油	本品は、「ヒマシ油」に酸化エチレンを付加重合したものである。
2034	42	503130	ポリオキシエチレンフィタスタノール		POEフィタスタノール	本品は、主としてフィタスタノールに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は、15~30である。
2035	42	503131	ポリオキシエチレンフィタステロール		POEフィタステロール	本品は、「フィタステロール」に酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は5~30である。
2036	42	501126	ポリオキシエチレンブチルエーテル		POEブチルエーテル	本品は、主として「ブチノール」に酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は5~89である。
2037	42	501123	ポリオキシエチレン2-ヘキシルデシルエーテル	ポリオキシエチレンイソセチルエーテル	POEヘキシルデシルエーテル、POEイソセチルエーテル	本品は、主として「ヘキシルデカノール」に酸化エチレンを付加重合したものであり、酸化エチレンの平均付加モル数は5~50である。
2038	42	105339	ポリオキシエチレンベヘニルエーテル		POEベヘニルエーテル	本品は、「ベヘニルアルコール」に酸化エチレンを付加重合させたものである。酸化エチレンの平均付加モル数は5~50である。
2039	42	521029	ポリオキシエチレン飽和脂肪酸(10~18)グリセリド		POE飽和脂肪酸(10~18)グリセリド	本品は、主として炭素数10~18の飽和脂肪酸のモノグリセリドに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は、6である。
2040	42	505166	ポリオキシエチレン・ポリオキシプロピレン液状ラノリン		POE・POP液状ラノリン	本品は、「液状ラノリン」に酸化エチレン及び酸化プロピレンを付加重合したものである。
2041	42	509106	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレン2-エチルヘキシルエーテルリン酸(4E.O.) (30P.O.)		POE(4)POP(30)エチルヘキシルエーテルリン酸	本品は、主として2-エチルヘキシルアルコールに酸化エチレン及び酸化プロピレンを付加重合して得られるもののリン酸エステルであり、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ約30及び約4である。
2042	42	508110	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンオリゴサクシネート(3E.O.) (20P.O.)		POE(3)POP(20)オリゴサクシネート	本品は、「コハク酸」とポリオキシアルキレングリコールとのオリゴエステルである。酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ約20及び約3である。
2043	42	504349	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレン還元ラノリン		POE・POP還元ラノリン、POE・POP水添ラノリン	本品は、「還元ラノリン」に酸化エチレン及び酸化プロピレンを付加重合したものである。
2044	41	500403	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール(1E.O.) (2P.O.)	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコールエーテル	POE(1)POP(2)	本品は、酸化プロピレンを重合して得られるポリプロピレングリコールに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ2及び1である。





連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						30である。
2080	42	522068	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール(40E.O.)(54P.O.)	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコールエーテル	POE(40)POP(54)	本品は、酸化プロピレンを重合して得られるポリプロピレングリコールに酸化エチレンを付加重合したもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ約54及び約40である。
2081	42	523213	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール(48E.O.)(35P.O.)	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコールエーテル	POE(48)POP(35)	本品は、酸化プロピレンを重合して得られるポリプロピレングリコールに酸化エチレンを付加重合したもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ約35及び約48である。
2082	41	500422	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール(50E.O.)(40P.O.)	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコールエーテル	POE(50)POP(40)	本品は、酸化プロピレンを重合して得られるポリプロピレングリコールに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ40及び50である。
2083	42	522069	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール(150E.O.)(30P.O.)	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコールエーテル	POE(150)POP(30)	本品は、酸化プロピレンを重合して得られるポリプロピレングリコールに酸化エチレンを付加重合したもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ約30及び約150である。
2084	41	500420	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール(150E.O.)(35P.O.)	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコールエーテル	POE(150)POP(35)	本品は、酸化プロピレンを重合して得られるポリプロピレングリコールに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ35及び150である。
2085	25	108269	ポリオキシエチレン(160)ポリオキシプロピレン(30)グリコール		POE(160)POP(30)	本品は水にプロピレンオキシドを付加重合させて得られるポリプロピレングリコールにエチレンオキシドを付加重合したもので、 $HO(C_2H_4O)_n(C_3H_6O)_m(C_2H_4O)_n'H$ で表され、プロピレンオキシド及びエチレンオキシドの平均重合度は、それぞれ約30及び約160である。
2086	41	500415	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール(160E.O.)(30P.O.)	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコールエーテル	POE(160)POP(30)	本品は、酸化プロピレンを重合して得られるポリプロピレングリコールに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ30及び160である。
2087	42	522070	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール(160E.O.)(31P.O.)	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコールエーテル	POE(160)POP(31)	本品は、ポリプロピレングリコールに酸化エチレンを付加重合したもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ約31及び約160である。
2088	42	522071	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール(190E.O.)(60P.O.)	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコールエーテル	POE(190)POP(60)	本品は、酸化プロピレンを重合して得られるポリプロピレングリコールに酸化エチレンを付加重合したもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ約60及び約190である。
2089	41	500423	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール(200E.O.)(40P.O.)	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコールエーテル	POE(200)POP(40)	本品は、酸化プロピレンを重合して得られるポリプロピレングリコールに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ40及び200である。
2090	41	500431	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール(200E.O.)(70P.O.)	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコールエーテル	POE(200)POP(70)	本品は、酸化プロピレンを重合して得られるポリプロピレングリコールに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ70及び200である。
2091	42	522072	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール(240E.O.)(60P.O.)	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコールエーテル	POE(240)POP(60)	本品は、酸化プロピレンを重合して得られるポリプロピレングリコールに酸化エチレンを付加重合したもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ約60及び約240である。
2092	41	500427	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール(300E.O.)(55P.O.)	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコールエーテル	POE(300)POP(55)	本品は、酸化プロピレンを重合して得られるポリプロピレングリコールに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ55及び300である。
2093	42	501127	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコールエーテル(24E.O.)(24P.O.)		POE(24)POP(24)グリセリルエーテル	本品は、グリセリンに酸化エチレン及び酸化プロピレンを付加重合したもので、平均重合度は、それぞれ約24である。
2094	42	521034	ポリオキシエチレン・ポリオキシプロピレンステアリルエーテル		POE・POPステアリルエーテル	本品は、主として「ステアリアルアルコール」に酸化プロピレン及び酸化エチレンを付加重合したものである。酸化プロピレンの平均付加モル数は30~38であり、酸化エチレンの平均付加モル数は3~6である。
2095	42	522074	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンステアリルエーテル(34E.O.)(23P.O.)		POE(34)POP(23)ステアリルエーテル	本品は、主として「ステアリアルアルコール」に酸化プロピレンを付加重合した後、更に酸化エチレンを付加重合したもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ約23及び約34である。
2096	42	105428	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンセチル		POE・POPセチルエーテル	本品は、主として「セタノール」に酸化プロピレン及び酸化エチレンを付加重合したものであ



連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2113	42	503134	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンセチルエーテルリン酸	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンセチルエーテルリン酸 (10E.O., 5P.O.), ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンセチルエーテルリン酸 (20E.O., 5P.O.)	POE・POPセチルエーテルリン酸、POE (10)POP (5)セチルエーテルリン酸、POE (20)POP (5)セチルエーテルリン酸	本品は、主として「セタノール」に酸化エチレン、酸化プロピレンを付加重合して得られる誘導体のリン酸エステルからなる。酸化プロピレンの平均付加モル数は5であり、酸化エチレンの平均付加モル数は10~20である。
2114	42	523214	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンデシルエーテル酢酸プロピル		POE・POPデシルエーテル酢酸プロピル	本品は、主としてポリオキシエチレンポリオキシプロピレンデシルエーテル酢酸プロピルからなる。酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ約2及び約6である。
2115	42	503135	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンデシルテトラデシルエーテル		POE・POPデシルテトラデシルエーテル	本品は、2-デシルテトラデシルアルコールに酸化エチレン及び酸化プロピレンを付加重合したものである。酸化プロピレンの平均付加モル数は6~20であり、酸化エチレンの平均付加モル数は10~30である。
2116	42	523215	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレントリメチロールプロパン		POE・POP・TMP (POE・POP)TMP	本品は、トリメチロールプロパンに酸化エチレン及び酸化プロピレンを付加重合したものである。酸化プロピレンの付加モル数は25~68であり、酸化エチレンの付加モル数は10~25である。
2117	42	502134	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンブチルエーテル		POE・POPブチルエーテル	本品は、「ブタノール」に酸化エチレン及び酸化プロピレンを付加重合したものである。
2118	41	500448	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンブチルエーテル (2E.O.) (2P.O.)		POE (2)POP (2)ブチルエーテル	本品は、「ブタノール」に酸化プロピレン及び酸化エチレンを同時に反応させ付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ2である。
2119	41	500449	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンブチルエーテル (4E.O.) (4P.O.)		POE (4)POP (4)ブチルエーテル	本品は、「ブタノール」に酸化プロピレン及び酸化エチレンを同時に反応させ付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ4である。
2120	41	500450	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンブチルエーテル (5E.O.) (5P.O.)		POE (5)POP (5)ブチルエーテル	本品は、「ブタノール」に酸化プロピレン及び酸化エチレンを同時に反応させ付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均付加モル数は、それぞれ5である。
2121	41	500452	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンブチルエーテル (9E.O.) (10P.O.)		POE (9)POP (10)ブチルエーテル	本品は、「ブタノール」に酸化プロピレン及び酸化エチレンを同時に反応させ付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ10及び9である。
2122	41	500451	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンブチルエーテル (10E.O.) (7P.O.)		POE (10)POP (7)ブチルエーテル	本品は、「ブタノール」に酸化プロピレン及び酸化エチレンを同時に反応させ付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ7及び10である。
2123	41	500453	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンブチルエーテル (12E.O.) (12P.O.)		POE (12)POP (12)ブチルエーテル	本品は、「ブタノール」に酸化プロピレン及び酸化エチレンを同時に反応させ付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ12である。
2124	41	500455	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンブチルエーテル (17E.O.) (17P.O.)		POE (17)POP (17)ブチルエーテル	本品は、「ブタノール」に酸化プロピレン及び酸化エチレンを同時に反応させ付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ17である。
2125	41	500454	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンブチルエーテル (20E.O.) (15P.O.)		POE (20)POP (15)ブチルエーテル	本品は、ブタノールに酸化プロピレン及び酸化エチレンを同時に反応させ付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ15及び20である。
2126	41	500457	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンブチルエーテル (30E.O.) (30P.O.)		POE (30)POP (30)ブチルエーテル	本品は、「ブタノール」に酸化プロピレン及び酸化エチレンを同時に反応させ付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ30である。
2127	41	500456	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンブチルエーテル (35E.O.) (28P.O.)		POE (35)POP (28)ブチルエーテル	本品は、「ブタノール」に酸化プロピレン及び酸化エチレンを同時に反応させ付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ28及び35である。
2128	41	500459	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンブチルエーテル (36E.O.) (36P.O.)		POE (36)POP (36)ブチルエーテル	本品は、「ブタノール」に酸化プロピレン及び酸化エチレンを同時に反応させ付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ36である。
2129	41	500460	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンブチルエーテル (37E.O.) (38P.O.)		POE (37)POP (38)ブチルエーテル	本品は、「ブタノール」に酸化プロピレン及び酸化エチレンを同時に反応させ付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ38及び37である。
2130	41	500458	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンブチルエーテル (45E.O.) (33P.O.)		POE (45)POP (33)ブチルエーテル	本品は、「ブタノール」に酸化プロピレン及び酸化エチレンを同時に反応させ付加重合させたもので、酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均重合度は、それぞれ33及び45である。
2131	42	508112	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンヘキシレングリコールエーテル (300E.O.) (75P.O.)		POE (300)POP (75)ヘキシレングリコール	本品は、「ヘキシレングリコール」に酸化プロピレン及びエチレン酸を付加重合したもので、平均重合度は、それぞれ約75及び約200である。
2132	42	504351	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンペンタエリトリールエーテル (5E.O.) (65P.O.)		POE (5)POP (65)ペンタエリトリールエーテル	本品は、ペンタエリトリールに酸化プロピレン及び酸化エチレンを付加重合したもので、その平均重合度は、それぞれ約65及び約5である。
2133	42	523216	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンラウリルエーテル		POE・POPラウリルエーテル	本品は、「ラウリルアルコール」に酸化エチレン及び酸化プロピレンを付加重合させたものである。酸化プロピレンの平均付加モル数は5~25、酸化エチレンの平均付加モル数は3~2

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						5である。
2134	42	504352	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンラノリン	ポリオキシエチレンポリプロピレンラノリン (50E.O., 12P.O.)	POE・POPラノリン、POE (50)POP (12)ラノリン	本品は、ラノリンに酸化プロピレン及び酸化エチレンを付加重合したものである。酸化プロピレンの平均付加モル数は12であり、酸化エチレンの平均付加モル数は50である。
2135	42	511057	ポリオキシエチレンミノロウ (8E.O.)		POE (8)ミノロウ	本品は、「ミノロウ」に酸化エチレンを付加したものであり、酸化エチレンの平均付加モル数は8である。
2136	42	504353	ポリオキシエチレンミズチルエーテル	ポリエチレングリコールミズチルエーテル	POEミズチルエーテル	本品は、主として「ミズチルアルコール」に酸化エチレンを付加重合して得たものである。
2137	42	523217	ポリオキシエチレンミズチルエーテル硫酸ナトリウム液		POEミズチルエーテル硫酸Na液	本品は、主としてポリオキシエチレンミズチルエーテル硫酸ナトリウムの水溶液からなる。酸化エチレンの平均付加モル数は3~4である。本品は、定量するとき、表示量の90.0~110.0%に対応するポリオキシエチレンミズチルエーテル硫酸ナトリウム(C <sub>14</sub> H <sub>29</sub> O <sub>4</sub> Na・C <sub>2</sub> H <sub>4</sub> O)を含む。
2138	42	504355	ポリオキシエチレンミズチルエーテル硫酸ナトリウム (3E.O.) 液		POE (3)ミズチルエーテル硫酸Na液、ポリオキシエチレンミズチルエーテル硫酸ナトリウム (3E.O.)	本品は、主としてポリオキシエチレンミズチルエーテル硫酸ナトリウムからなり、酸化エチレンの平均付加モル数は3である。本品は、定量するとき、ポリオキシエチレンミズチルエーテル硫酸ナトリウム (3E.O.)として表示量の90~110%を含む。
2139	42	503136	ポリオキシエチレンメチルグルコシド		POEメチルグルコシド	本品は、メチルグルコシドに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は10~20である。
2140	42	532304	ポリオキシエチレンメチルシロキサン・ポリオキシプロピレンオレイルメチルシロキサン・ジメチルシロキサン共重合体		POEメチルシロキサン・POPオレイルメチルシロキサン・ジメチルシロキサン共重合体	本品は、主として「メチルポリシロキサン」のメチル基の一部を、ポリオキシプロピレンオレイルメチルシロキサン・ジメチルシロキサン共重合体及びポリオキシエチレン基で置換した型の重合体である。酸化プロピレン及び酸化エチレンの平均付加モル数は4及び10である。
2141	42	521039	ポリオキシエチレン・メチルポリシロキサン共重合体		POE・ジメチルシロキサン共重合体	本品は、主として直鎖状のメチルポリシロキサンのメチル基の一部を、炭素又は酸素を介してポリオキシエチレン基で置換した型の重合体である。
2142	42	523218	ポリオキシエチレンモノ硬化 (パーム油・パーム核油) 脂肪酸グリセリル		POE硬化 (パーム油・パーム核油) 脂肪酸グリセリル、POE水添 (パーム油・パーム核油) 脂肪酸グリセリル	本品は、主として硬化パーム油脂肪酸及び硬化パーム核油脂肪酸とグリセリンのモノエステルに酸化エチレンを付加重合して得られたものである。酸化エチレンの平均付加モル数は6である。
2143	42	523219	ポリオキシエチレンモノヤシ油脂肪酸グリセリル		POEヤシ油脂肪酸グリセリル	本品は、主としてモノヤシ油脂肪酸グリセリルに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は7~78モルである。
2144	42	521040	ポリオキシエチレンヤシ油アルキルアミン		POEヤシ油アルキルアミン	本品は、主としてヤシ油アルキルアミンに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は2~15である。
2145	42	503137	ポリオキシエチレンヤシ油アルキルジメチルアミンオキシド	アルキルエトキシジメチルアミンオキシド (3E.O.)	POEヤシ油アルキルジメチルアミンオキシド	本品は、ポリオキシエチレンヤシ油アルキルジメチルアミンオキシドの水溶液であり、酸化エチレンの平均付加モル数は3である。本品は、定量するとき、ポリオキシエチレンヤシ油アルキルジメチルアミンオキシド (3E.O.) 22.0~28.0%を含む。
2146	42	507105	ポリオキシエチレンヤシ油脂肪酸アミド (5E.O.)		POE (5)ヤシ油脂肪酸アミド	本品は、ヤシ油脂肪酸アミド又はヤシ油脂肪酸モノエタノールアミドに酸化エチレンを付加重合して得られるものであり、酸化エチレンの平均付加モル数は約5である。
2147	42	521046	ポリオキシエチレンヤシ油脂肪酸イソプロパノールアミドスルホコハク酸二ナトリウム液		POEヤシ油脂肪酸イソプロパノールアミドスルホコハク酸2Na液	本品は、主としてポリオキシエチレンヤシ油脂肪酸イソプロパノールアミドスルホコハク酸二ナトリウムの水溶液で、酸化エチレンの平均付加モル数は4である。本品は、定量するとき、ポリオキシエチレンヤシ油脂肪酸イソプロパノールアミドスルホコハク酸二ナトリウムとして、表示量の90.0~110.0%を含む。
2148	42	504401	ポリオキシエチレンヤシ油脂肪酸グリセリル	モノヤシ油脂肪酸ポリオキシエチレングリセリン	POEヤシ油脂肪酸グリセリル、ポリオキシエチレンヤシ油脂肪酸グリセリン	本品は、主としてモノヤシ油脂肪酸グリセリンに酸化エチレンを付加重合して得られる。酸化エチレンの平均付加モル数は7~30である。
2149	42	504357	ポリオキシエチレンヤシ油脂肪酸ジエタノールアミド		POEヤシ油脂肪酸ジエタノールアミド	本品は、主として「ヤシ油脂肪酸ジエタノールアミド」に酸化エチレンを付加重合したものである。
2150	42	508113	ポリオキシエチレンヤシ油脂肪酸ソルビタン (20E.O.)		POE (20)ヤシ油脂肪酸ソルビタン	本品は、主として「ヤシ油脂肪酸ソルビタン」に酸化エチレンを付加重合したもので、その平均付加モル数は約20である。
2151	41	500461	ポリオキシエチレンヤシ油脂肪酸モノエタノールアミド		POEヤシ油脂肪酸エタノールアミド	本品は、主として「ヤシ油脂肪酸モノエタノールアミド」に酸化エチレンを付加重合したもので、酸化エチレンの平均付加モル数は、2~20である。
2152	42	521047	ポリオキシエチレンヤシ油脂肪酸モノエタノールアミド硫酸ナトリウム液		POEヤシ油脂肪酸エタノールアミド硫酸Na液	本品は、主としてポリオキシエチレンヤシ油脂肪酸モノエタノールアミド硫酸ナトリウムの水溶液からなる。酸化エチレンの平均付加モル数は3である。本品は、定量するとき、ポリオキシエチレンヤシ油脂肪酸モノエタノールアミド硫酸ナトリウムとして、表示量の90.0~110.0%を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						を含む。
2153	42	507106	ポリオキシエチレン(5)ヤシ油脂脂肪酸モノエタノールアミドリン酸エステル		POE(5)ヤシ油脂脂肪酸エタノールアミドリン酸エステル	本品は、ヤシ油脂脂肪酸モノエタノールアミドに、酸化エチレンを付加重合して得られたものリン酸とのエステルであり、酸化エチレンの平均重合度は約5である。
2154	41	105370	ポリオキシエチレンラウリルエーテル		POEラウリルエーテル	本品は、主として「ラウリルアルコール」に酸化エチレンを付加重合したものである。
2155	42	523220	ポリオキシエチレンラウリルエーテル酢酸		POEラウリルエーテル酢酸	本品は、主として、ポリオキシエチレンラウリルエーテル酢酸からなる。酸化エチレンの平均付加モル数は2.5~10である。
2156	42	532128	ポリオキシエチレンラウリルエーテル酢酸カリウム液		POEラウリルエーテル酢酸K液	本品は、主として「ポリオキシエチレンラウリルエーテル酢酸」のカリウム塩の水溶液である。酸化エチレンの平均付加モル数は4.5~10である。
2157	42	521048	ポリオキシエチレンラウリルエーテル酢酸ナトリウム		POEラウリルエーテル酢酸Na	本品は、主として「ポリオキシエチレンラウリルエーテル酢酸」のナトリウム塩からなり、水を含むものもある。酸化エチレンの平均付加モル数は、3~16である。
2158	51	530009	ポリオキシエチレンラウリルエーテル酢酸ナトリウム液(10E.O.)		POE(10)ラウリルエーテル酢酸Na液	本品は、主としてポリオキシエチレンラウリルエーテル酢酸ナトリウムの水溶液である。酸化エチレンの平均付加モル数は、10である。本品は、定量するとき、表示量の90~110%に対応するポリオキシエチレンラウリルエーテル酢酸ナトリウム(10E.O.) $C_{34}H_{67}NaO_{13}$ を含む。
2159	42	511058	ポリオキシエチレンラウリルエーテル酢酸ナトリウム(16E.O.)液		POE(16)ラウリルエーテル酢酸Na液	本品は、主として「ポリオキシエチレンラウリルエーテル酢酸」のナトリウム塩の水溶液である。酸化エチレンの平均付加モル数は16である。本品は、定量するとき、ポリオキシエチレンラウリルエーテル酢酸ナトリウム $C_{46}H_{91}NaO_{19}$ (971.21)19.8~24.2%を含む。
2160	42	521050	ポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸アンモニウム液		POEラウリルエーテル硫酸アンモニウム液	本品は、「ポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸」のアンモニウム塩の水溶液である。酸化エチレンの平均付加モル数は2~3である。本品は、定量するとき、表示量の90.0~110.0%に対応するポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸アンモニウムを含む。
2161	42	523221	ポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸ジエタノールアミン・ヤシ油脂脂肪酸ジエタノールアミド混合物		POEラウリルエーテル硫酸DEA・ヤシ油脂脂肪酸ジエタノールアミド混合物	本品は、「ポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸」のジエタノールアミン塩とヤシ油脂脂肪酸ジエタノールアミドからなる混合物である。ポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸の酸化エチレンの平均付加モル数は4である。
2162	41	500466	ポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸トリエタノールアミン		ラウレス硫酸TEA、ポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸塩、ラウレス硫酸トリエタノールアミン	本品は、主としてポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸トリエタノールアミンからなる。本品は、定量するとき、表示量の90~110%に対応するポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸トリエタノールアミン $C_{18}H_{41}NO_7$ ( $C_{21}H_{40}$ )nを含む。
2163	41	500467	ポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸ナトリウム		ラウレス-5硫酸Na、ラウレス-7硫酸Na、ラウレス-8硫酸Na、ラウレス-12硫酸Na、ラウレス硫酸Na、ポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸塩	本品は、主としてポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸ナトリウムからなる。本品は、定量するとき、表示量の90~110%に対応するポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸ナトリウム $C_{12}H_{25}NaO_4S$ ( $C_{21}H_{40}$ )nを含む。
2164	41	500468	ポリオキシエチレンラウリルエーテルリン酸		POEラウリルエーテルリン酸	本品は、主として「ラウリルアルコール」に酸化エチレンを付加重合して得られる誘導体のリン酸エステルからなる。
2165	42	521051	ポリオキシエチレンラウリルエーテルリン酸トリエタノールアミン		POEラウリルエーテルリン酸TEA	本品は、主として「ラウリルアルコール」に酸化エチレンを付加重合して得られる誘導体のリン酸エステルのトリエタノールアミン塩からなる。
2166	41	500469	ポリオキシエチレンラウリルエーテルリン酸ナトリウム		POEラウリルエーテルリン酸Na	本品は、主として「ラウリルアルコール」に酸化エチレンを付加重合して得られるもののリン酸エステルのナトリウム塩からなる。
2167	51	523415	ポリオキシエチレンラウリン酸アミド(2E.O.)		POE(2)ラウリン酸アミド	本品は、ラウリン酸アミドに酸化エチレンを付加重合したもので、酸化エチレンの平均付加モル数は、2である。
2168	42	523222	ポリオキシエチレンラウリン酸モノエタノールアミド		POEラウリン酸エタノールアミド	本品は、主として「ラウリン酸」と当量のモノエタノールアミンを縮合して得られるラウリン酸モノエタノールアミドに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は2~10である。
2169	42	532129	ポリオキシエチレンラウリン酸モノエタノールアミド硫酸ナトリウム液		POEラウリン酸エタノールアミド硫酸Na液	本品は、主としてポリオキシエチレンラウリン酸モノエタノールアミド硫酸のナトリウム塩の水溶液からなる。酸化エチレンの平均付加モル数は3である。本品は、定量するとき、ポリオキシエチレンラウリン酸モノエタノールアミド硫酸ナトリウムとして、表示量の90~110%を含む。
2170	41	105365	ポリオキシエチレンラリン		PEG-5ラリン、PEG-10ラリン、PEG-20ラリン、PEG-24ラリン、PEG-27ラリン、PEG-30ラリン、PEG-35ラリン、PEG-40ラリン、PEG-50ラリン、PEG-55ラリン、PE	本品は、「ラリン」に酸化エチレンを付加重合したものである。



連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
					G-60ラノリン、PEG-75ラノリン、PEG-85ラノリン、PEG-100ラノリン、PEG-150ラノリン	
2171	41	500471	ポリオキシエチレンラノリンアルコール		ラネス-5、ラネス-10、ラネス-15、ラネス-16、ラネス-20、ラネス-25、ラネス-40	本品は、主として「ラノリンアルコール」に酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は、5~40である。
2172	42	502135	(ポリオキシエチレンラノリンアルコール(2))			
2173	42	523223	ポリオキシエチレンリノレイン酸アミド	ポリオキシエチレンリノール酸アミド	POEリノレイン酸アミド、POEリノール酸アミド	本品は、リノレイン酸アミドに酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は7である。
2174	42	521055	ポリオキシブチレンポリグリセリンモノステアリルエーテル		ポリオキシブチレンポリグリセリンステアリルエーテル	本品は、主としてポリオキシブチレンポリグリセリンモノステアリルエーテルからなる。酸化ブチレンとグリセリンの平均重合度は、それぞれ14及び13である。
2175	42	523224	ポリオキシプロピレンカルボキシアルキル(14~18)ジグリコシド		POPカルボキシアルキル(14~18)ジグリコシド	本品は、主として、ポリオキシプロピレンカルボキシアルキル(14~18)ジグリコシドからなる。
2176	42	501129	ポリオキシプロピレングリセリルエーテル	ポリオキシプロピレングリセリン	POPグリセリルエーテル	本品は、グリセリンに酸化プロピレンを付加重合したものである。
2177	42	501130	ポリオキシプロピレングリセリルエーテルリン酸		POPグリセリルエーテルリン酸	本品は、グリセリンに酸化プロピレンを付加重合したもののリン酸エステルである。
2178	42	504359	ポリオキシプロピレン硬質ラノリン		POP硬質ラノリン、POP水添ラノリン	本品は、硬質ラノリンに酸化プロピレンを付加重合したものである。
2179	42	523225	ポリオキシプロピレングリセリルエーテル		POPジグリセリルエーテル	本品は、ジグリセリンに酸化プロピレンを付加重合したものである。酸化プロピレンの平均付加モル数は9~14である。
2180	42	521058	ポリオキシプロピレンステアリルエーテル		POPステアリルエーテル	本品は、主として「ステアリアルアルコール」に酸化プロピレンを付加重合したものである。
2181	42	509108	ポリオキシプロピレンセチルエーテル(10P.O.)		POP(10)セチルエーテル	本品は、「セタノール」に酸化プロピレンを付加重合したものである。酸化プロピレンの平均付加モル数は10である。
2182	42	505167	ポリオキシプロピレンソルビット		POPソルビット	本品は、「ソルビット」に酸化プロピレンを付加重合したものである。酸化プロピレンの平均付加モル数は6~60である。
2183	42	509109	ポリオキシプロピレンソルビトール・ヒマシ油(8P.O.)		POP(8)ソルビトール・ヒマシ油	本品は、「ソルビット」に酸化プロピレンを付加重合して得られるポリオキシプロピレンソルビットと「ヒマシ油」を反応させて得られるものであり、酸化プロピレンの平均付加モル数は8である。
2184	42	523226	ポリオキシプロピレンドカグリセリルエーテル		POPデカグリセリルエーテル	本品は、デカグリセリンに酸化プロピレンを付加重合したものである。酸化プロピレンの平均付加モル数は70である。
2185	41	500477	ポリオキシプロピレンブチルエーテル(1)		POPブチルエーテル-1	本品は、「ブタノール」に酸化プロピレンを付加重合したものである。酸化プロピレンの平均付加モル数は、2~33である。
2186	41	500487	ポリオキシプロピレンブチルエーテル(2)		POPブチルエーテル-2	本品は、「ブタノール」に酸化プロピレンを付加重合したものである。酸化プロピレンの平均付加モル数は、40~52である。
2187	42	502137	ポリオキシプロピレンブチルエーテル(3)		POPブチルエーテル-3	本品は、「ブタノール」に酸化プロピレンを付加重合して得られるものである。
2188	42	503141	ポリオキシプロピレンブチルエーテルリン酸		POPブチルエーテルリン酸	本品は、ポリプロピレングリコールブチルエーテルのリン酸エステルである。
2189	42	511059	ポリオキシプロピレンミリスチルエーテル(3P.O.)		POP(3)ミリスチルエーテル	本品は、主として「ミリスチルアルコール」に酸化プロピレンを付加重合したものである。酸化プロピレンの平均モル数は3である。
2190	42	503142	ポリオキシプロピレンメチルグルコシド	ポリオキシプロピレンメチルグルコースエーテル	POPメチルグルコシド	本品は、メチルグルコシドに酸化プロピレンを付加重合したものである。酸化プロピレンの平均付加モル数は10~25である。
2191	42	521059	ポリオキシプロピレン・メチルポリシロキサン共重合体		POP・ジメチコン共重合体	本品は、主として直鎖状のメチルポリシロキサンのメチル基の一部を、ポリオキシプロピレン基で置換した型の共重合体である。
2192	42	508115	ポリオキシプロピレンラノリン(5P.O.)		POP(5)ラノリン	本品は、「ラノリン」に酸化プロピレンを付加重合したものである。酸化プロピレンの平均モル数は5である。
2193	42	503143	ポリオキシプロピレンラノリンアルコールエーテル		POPラノリルエーテル	本品は、「ラノリンアルコール」に酸化プロピレンを付加重合したものである。
2194	42	532303	ポリ(オキシエチレン・オキシプロピレン)・ブチレン・メチルポリシロキサン共重合体		POE・POP・ブチレン・ジメチコン共重合体	本品は、主として両末端にヒドロキシル基を有するメチルポリシロキサンとポリ(オキシエチレン・オキシプロピレン)をブチレンで結合したブロック共重合体である。
2195	42	521062	ポリグリセリン			本品は、グリセリンを脱水縮合して得られるもので、グリセリンの平均重合度は2~10である。
2196	99	999999	ポリグリコシルオキシエチルメタクリレート液			本品は、ポリグリコシルオキシエチルメタクリレートと「グリセリン」及び「精製水」の混液に溶かした液である。
2197	42	505054	ポリグルタミン酸エチル			本品は、γ-グルタミン酸エチルの重合体で、その分子量は約150000である。本品を乾燥

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						したものは、定量するとき、窒素 (N : 14.01)として、9.5~ 10.1%含む。
2198	42	502138	ポリ酢酸ビニル		ポリVA	本品は、主として酢酸ビニルの重合体である。
2199	42	522077	ポリ酢酸ビニル液		ポリVA液	本品は、「ポリ酢酸ビニル」のエタノール溶液である。
2200	42	522078	ポリ酢酸ビニルエマルジョン		ポリVAエマルジョン	本品は、「ポリ酢酸ビニル」を水又はアルコール溶液中に乳化分散させたもので、「ポリビニルアルコール」を含む。
2201	42	521064	ポリスチレン			本品は、スチレンの重合体である。
2202	51	523417	ポリスチレン樹脂エマルジョン		ポリスチレンエマルジョン、ポリスチレン樹脂エマルジョン	本品は、スチレン重合体 (重合度 : 4000~ 5000, 平均分子量 : 500000)のエマルジョンである。
2203	01	001594	ポリソルベート80			本品は無水ソルビトールの水酸基の一部をオレイン酸でエステル化したもののポリオキシエチレンエーテルである。
2204	42	523227	ポリテトラフルオロエチレン	ポリ四フッ化エチレン		本品は、主としてテトラフルオロエチレンの重合体からなる。
2205	42	532305	ポリヒドロキシステアリン酸	ポリオキシステアリン酸		本品は、「ヒドロキシステアリン酸」の重合体で、その平均重合度は6である。
2206	41	008804	ポリビニルアルコール			本品は、「ポリ酢酸ビニル」を加水分解して得たもので、ビニルアルコールの直鎖重合体である。
2207	42	105460	ポリビニルイソブチルエーテル			本品は、主としてイソブチルアルコールとアセチレンから合成されたビニルイソブチルエーテルを重合したものである。
2208	41	008805	ポリビニルピロリドン		PVP	本品は、ビニルピロリドンの直鎖重合体である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素 (N : 14.01)として12.0~ 12.7%を含む。
2209	42	504362	ポリビニルブチラール			本品は、「ポリビニルアルコール」とブチルアルデヒドの縮合物である。
2210	42	111801	ポリプロピレン			本品は、プロピレンの重合体であり、その平均重合度は6である。
2211	42	501131	ポリプロピレングリコール		PPG	本品は、酸化プロピレンの重合体である。
2212	42	523228	ポリプロピレン末			本品は、プロピレンを重合して得られるものである。
2213	42	521068	ポリメタクリル酸アミド			本品は、メタクリル酸アミドの重合体である。
2214	42	509115	ポリメタクリル酸メチル・ポリエステル積層末(1)		ポリメタクリル酸メチル・ポリエステル積層末-1	本品は、ポリメタクリル酸メチルとテレフタル酸、「ステアリン酸」、「マルミン酸」及びペンタエリトリールからなるポリエステルの積層フィルムを粉末状に切断したものである。
2215	42	509116	ポリメタクリル酸メチル・ポリエステル積層末(2)		ポリメタクリル酸メチル・ポリエステル積層末-2	本品は、ポリメタクリル酸メチルとテレフタル酸とペンタエリトリールからなるポリエステルの層状粒子である。
2216	42	521111	ポリメタクリロイルエチルジメチルベタイン液			本品は、N - メタクリロイルエチル - N,N - ジメチルアンモニウム - N - メチルカルボキシベタインの重合体で、水、「エタノール」又はこれらの混液の溶液である。
2217	99	999999	ポリメタクリロイルオキシエチルホスホリルコリン液			本品は、ポリメタクリロイルオキシエチルホスホリルコリンの水溶液である。
2218	99	999999	ポリメタクリロイル-L-リジン		ポリメタクリロイルリジン	本品は、メタクリロイル-L-リジンの重合体である。
2219	99	999999	ポリメチルシルセスキオキサン			本品は、シロキサン結合を骨格とした網目状構造の高分子量体で、(CH <sub>3</sub> SiO <sub>1.5</sub> ) <sub>n</sub> で表される。分子量は、1,000,000以上である。
2220	41	106738	ポリリン酸ナトリウム		ポリリン酸Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、五酸化リン (P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> : 141.94)として53.0~ 80.0%を含む。
2221	42	101968	dL- ボルネオール			本品は、定量するとき、ボルネオール (C <sub>10</sub> H <sub>18</sub> O : 154.24)95.0%以上を含む。
2222	42	002348	ボレイ末	カキガラ末		本品は、カキ Ostrea gigas Thunberg (Ostreidae) の貝がらの白色部を、粉碎、洗浄、整粒したものである。
2223	41	500492	マイカ			本品は、天然に産する含水ケイ酸アルミニウムカリウムである。
2224	41	104226	マイクロクリスタリンワックス			本品は、石油から得た固形の炭化水素類の混合物で、主としてイソパラフィンからなる。
2225	42	521074	マカデミアナッツ油			本品は、マカデミア Macadamia ternifolia F. Muell (Proteaceae) の種子から得た脂肪油である。
2226	42	523230	マカデミアナッツ油脂肪酸コレステリル			本品は、主として、「マカデミアナッツ油」から得られた脂肪酸と、「コレステロール」のエステルからなる。
2227	42	532130	マカデミアナッツ油脂肪酸ジヒドロコレステリル			本品は、主として「マカデミアナッツ油」から得られた脂肪酸と「ジヒドロコレステロール」のエステルからなる。
2228	42	532131	マカデミアナッツ油脂肪酸フィステリル			本品は、主として「マカデミアナッツ油」から得られた脂肪酸と「ジヒドロコレステロール」のエステルからなる。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2229	42	523231	マグネシア・シリカ			本品は、無水ケイ酸及び酸化マグネシウム」の混合物からなる。本品は、定量するとき、換算した強熱物に対し、二酸化ケイ素 (SiO <sub>2</sub> :60.08) 86.0~ 93.0%及び酸化マグネシウム (MgO :40.30) 7.0~ 10.0%を含む。
2230	01	001601	マクロゴール 1500	ポリエチレングリコール 1500	PEG1500、PEG(30)	本品はエチレンオキシドと水との付加重合体で、HOCH <sub>2</sub> (CH <sub>2</sub> OCH <sub>2</sub> ) <sub>n</sub> CH <sub>2</sub> OHで表され、nが5~ 6及び28~ 36の等量混合物である。
2231	99	999999	まごじゃくしエキス-		マゴジャクシエキス-	本品はマゴジャクシ Ganoderma neo-japonicum Imaz.のエキスである。
2232	42	105194	マツエキス		松エキス	本品は、セイヨウアカマツ Pinus sylvestris Linne (Pinaceae)の球果から水、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液、若しくは、1%尿素含有エタノール溶液、1%尿素含有1,3-ブチレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
2233	42	532306	マツリカエキス	サンパギータエキス		本品は、マツリカ Jasminum sambac Aiton (Oleaceae)の花からヘキサンで抽出した後、ヘキサンを留去したものに、エタノールを加えたものである。
2234	42	521076	マフノリ			本品は、マフノリ Gloiopeltis aenax Agardh (Endocladaceae)の全藻を乾燥したものである。
2235	42	103981	マムシ油			本品は、マムシ Agkistrodon blomhoffii Boie 又はその他同属動物 (Crotalinae)の脂肪組織から得た脂肪油である。
2236	99	999999	マヨラナエキス			本品は、マヨラナ :マジョラム Origanum majorana Linne (Labiatae)の葉を85vol%エタノール溶液にて抽出したエキスを50vol% 1,3-ブチレングリコール溶液に溶かしたものである。
2237	42	532205	マリアアザミエキス	オオアザミエキス		本品は、オオアザミ Silybum marianum Gaertn (Compositae)の果実からアセトンで抽出して得られるエキスを乾燥させたものである。
2238	42	109329	マルチトール			本品は、「マルチトール液」を結晶化 粉末化したものである。
2239	42	521077	マルチトール液			本品は、でんぷんより得られる「マルトース」を還元して得られたものの水溶液である。
2240	42	532307	マルチトールヒドロキシルキル(12,14)エーテル液			本品は、「マルチトール」に、1-エポキシデカン及び1-エポキシテトラデカンの混合物を付加して得られたマルチトールヒドロキシルキル(炭素数12,14)エーテルの60%水溶液である。
2241	42	103961	マルトース	麦芽糖		本品は、デンプンを糖化して得た麦芽糖である。
2242	42	532204	マルトースシロ糖縮合物			本品は、固定化酵素法により「マルトース」とシロ糖を縮合して得られるオリゴ糖である。
2243	42	523232	マレイン酸ジ-2-エチルヘキシル	マレイン酸ジオクチル	マレイン酸ジエチルヘキシル	本品は、主としてマレイン酸と2-エチルヘキシルアルコールのジエステルからなる。
2244	42	509117	マレイン酸変性エステルガム			本品は、「エステルガム」をマレイン酸で変性させたものである。
2245	42	521078	マロニエエキス	セイヨウトチノキエキス		本品は、セイヨウトチノキ Aesculus hippocastanum Linne (Hippocastanaceae)の種子、葉又は樹皮から水、無水エタノール、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」、「グリセリン」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
2246	42	532189	マロニエエキス・シトステロール・大豆リン脂質混合物			本品は、セイヨウトチノキ Aesculus hippocastanum Linne (Hippocastanaceae)の種子からメタノールで抽出して得られるエキス末とシトステロール及び大豆リン脂質の混合物である。
2247	99	509118	マロニエエキス末			本品は、セイヨウトチノキ Aesculus hippocastanum Linne (Hippocastanaceae)の乾燥種子を抽出し乾燥、粉末化したのものである。本品は、定量するとき、換算した乾燥物に対し、トメルベングリシドの混合物 [エスシン(主配糖体 C sita 55< /sita> H< /sita> 86< /sita> O< /sita> 24< /sita> :1131.27)として]14~ 26%含む。
2248	42	521079	マンガンバイオレット	ピロリン酸マンガンアンモニウム		本品は、主としてピロリン酸のマンガン及びアンモニウムの塩からなる。
2249	99	999999	マンゴスチンエキス			本品は、マンゴスチン Garcinia mangostana (オトギリノ科)の果皮から得た抽出液である。
2250	41	111412	D-マンニット			本品を乾燥したものは、定量するとき、D-マンニット(C <sub>6</sub> H <sub>14</sub> O <sub>6</sub> :182.17)98.0%以上を含む。
2251	42	521083	水飴			本品は、デンプンを糖化したもので、主としてデキストリン及びマルトースからなる。
2252	41	500495	ミソロウ			本品は、トウヨウミソバチ Apis indica Radoszkowski(Apidae)、ヨーロッパミソバチ Apis mellifera Linne などのミソバチの巣から得たるものを精製したものである。
2253	99	999999	雅の湯エキスパウダー			本品は、温泉水を濃縮し乾燥して製したものである。
2254	42	104372	ミリスチルアルコール			本品は、主としてミリスチルアルコール(C <sub>14</sub> H <sub>30</sub> O:214.39)からなる高級脂肪酸アルコールの混合物である。
2255	42	521089	ミリスチルジメチルアミノオキシド液			本品は、ミリスチルジメチルアミノオキシド(C <sub>16</sub> H <sub>35</sub> NO:257.46)の水溶液である。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2256	42	532132	ミリスチルベタイン液	ミリスチルジメチルアミ酢酸液		本品は、主としてミリスチルジメチルアミ酢酸からなる水溶液である。本品は、定量するとき、ミリスチルジメチルアミ酢酸 29.0~ 32.0%を含む。
2257	42	502143	ミリスチル硫酸ナトリウム		ミリスチル硫酸 Na	本品は、主としてミリスチル硫酸ナトリウム (C 14H 29NaO 4S : 316.43) からなる。
2258	41	104368	ミリスチン酸			本品は、主としてミリスチン酸 (C 14H 28O 2 : 228.37) からなる。
2259	41	500497	ミリスチン酸亜鉛		ミリスチン酸 Zn	本品は、主として「ミリスチン酸」の亜鉛塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、亜鉛 (Zn : 65.38) 11.5~ 13.5%を含む。
2260	42	523233	ミリスチン酸アルミニウム		ミリスチン酸 Al	本品は、主として「ミリスチン酸」のアルミニウム塩からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、アルミニウム (Al : 26.98) 3.5~ 6.5%を含む。
2261	42	508117	ミリスチン酸イソステアリル			本品は、主として「ミリスチン酸」と「イソステアリルアルコール」のエステル (C 32H 64O 2 : 480.86) からなる。
2262	42	509120	ミリスチン酸イソトデシル			本品は、主として「ミリスチン酸」とイソトデシルアルコールのエステル (C 27H 54O 2 : 410.81) からなる。
2263	42	521091	ミリスチン酸イソプロパノールアミン液			本品は、主としてミリスチン酸モノイソプロパノールアミン、ミリスチン酸ジイソプロパノールアミン及びミリスチン酸トイソプロパノールアミンの混合物の50%水溶液からなる。本品を定量するとき、窒素 (N : 14.01) 1.6~ 2.3%を含む。
2264	41	009100	ミリスチン酸イソプロピル			本品は、主として「ミリスチン酸」と「イソプロパノール」のエステル (C 17H 34O 2 : 270.45) からなる。
2265	41	100124	ミリスチン酸オクチルデシル			本品は、主として「ミリスチン酸」と「オクチルデカノール」のエステル (C 34H 68O 2 : 508.91) からなる。
2266	42	504372	ミリスチン酸カリウム		ミリスチン酸 K	本品は、主として「ミリスチン酸」のカリウム塩からなる。
2267	42	510075	ミリスチン酸カルシウム		ミリスチン酸 Ca	本品は、主として「ミリスチン酸」のカルシウム塩からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、カルシウム (Ca : 40.08) 7.2~ 8.1%を含む。
2268	42	501134	ミリスチン酸グリセリル	モノミリスチン酸グリセリル		本品は、主として「ミリスチン酸」とグリセリンのモノエステルからなる。
2269	42	501135	ミリスチン酸ジエタノールアミド			本品は、主として「ミリスチン酸」と当量のジエタノールアミンを縮合して得られるアルキロールアミド (C 18H 37NO 3 : 315.50) である。
2270	41	500500	ミリスチン酸セチル			本品は、主として「ミリスチン酸」と「セタノール」のエステル (C 30H 60O 2 : 452.80) からなる。
2271	42	523234	ミリスチン酸デキストリン			本品は、主として「ミリスチン酸」と「デキストリン」のエステルからなる。
2272	42	504373	ミリスチン酸デシル			本品は、主として「ミリスチン酸」とデカノールのエステル (C 24H 48O 2 : 368.64) からなる。
2273	42	504374	ミリスチン酸ブチル			本品は、主として「ミリスチン酸」と「ブタノール」のエステル (C 18H 36O 2 : 284.48) からなる。
2274	42	503149	ミリスチン酸 2-ヘキシルデシル	ミリスチン酸イソセチル	ミリスチン酸ヘキシルデシル	本品は、主として「ミリスチン酸」と「ヘキシルデカノール」のエステル (C 30H 60O 2 : 452.81) からなる。
2275	42	510076	ミリスチン酸ポリエチレングリコール		ミリスチン酸 PEG	本品は、主として「ミリスチン酸」とポリエチレングリコールのモノエステルからなる。酸化エチレンの平均付加モル数は 2~ 70 である。
2276	42	510077	ミリスチン酸ポリオキシエチレンミリスチルエーテル (3E.O.)		ミリスチン酸 POE (3)ミリスチルエーテル	本品は、「ミリスチルアルコール」に酸化エチレンを付加重合して得られるエーテルのミリスチン酸エステルである。酸化エチレンの平均付加モル数は 3 である。
2277	41	500501	ミリスチン酸マグネシウム		ミリスチン酸 Mg	本品は、主として「ミリスチン酸」のマグネシウム塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、マグネシウム (Mg: 24.31) 4.5~ 6.0%を含む。
2278	41	104370	ミリスチン酸ミリスチル			本品は、主として「ミリスチン酸」と「ミリスチルアルコール」のエステル (C 28H 56O 2 : 424.75) からなる。
2279	42	521093	ミリスチン酸ラフィノーズ			本品は、「ミリスチン酸」とラフィノーズのエステルである。
2280	42	509121	ミリスチル加水分解コラーゲン液		ミリスチル加水分解コラーゲン液	本品は、加水分解コラーゲンと「ミリスチン酸」との縮合物の 20% エタノール溶液である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素 (N: 14.01) を 1.6~ 1.8% を含む。
2281	42	523235	ミリスチル加水分解コラーゲンカリウム液		ミリスチル加水分解コラーゲン K 液	本品は、加水分解コラーゲンと「ミリスチン酸」との縮合物のカリウム塩の水溶液である。本品は、定量するとき、窒素 (N : 14.01) 1.6~ 3.0% を含む。
2282	42	523236	N - ミリスチル- L - グルタミン酸		ミリスチルグルタミン酸	本品は、主として N - ミリスチル- L - グルタミン酸からなり、本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素 (N : 14.01) 3.5~ 4.5% を含む。
2283	42	523237	N - ミリスチル- L - グルタミン酸カリウム		ミリスチルグルタミン酸 K	本品は、主として N - ミリスチル- L - グルタミン酸のカリウム塩からなり、本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素 (N : 14.01) 2.8~ 3.8% を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2284	41	500503	N - ミスチル- L - グルタミン酸ナトリウム		ミスチルグルタミン酸 Na	本品は、主として N - ミスチル- L - グルタミン酸のナトリウム塩からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N : 14.01) 3.4 ~ 3.7%を含む。
2285	42	523238	ミスチルサクシニルアテロコラーゲン液			本品は、コラーゲンのテロペプチドを酵素により取り除いて得た水溶性コラーゲンを、ミスチル化した後サクシニル化した、ミスチルサクシニルアテロコラーゲンの水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N : 14.01) 0.11 ~ 0.17%を含む。
2286	42	504375	ミスチルメチルアミ酢酸ナトリウム	ミスチルサルコシンナトリウム	ミスチルメチルアミ酢酸 Na ミスチルサルコシン Na	本品は、主としてミスチルメチルアミ酢酸ナトリウム(C 17H 32NNaO 3 : 321.44)からなる。
2287	42	532308	N - ミスチル- N - メチル - - アラニン		ミスチルメチル - - アラニン	本品は、主として N - ミスチル- N - メチル - - アラニン(C 18H 35NO 3 : 313.47)からなる。
2288	42	523239	N - ミスチル- N - メチル - - アラニンナトリウム		ミスチルメチル - - アラニン Na	本品は、主として、N - ミスチル- N - メチル - - アラニンナトリウム(C 18H 34NNaO 3 : 335.46)からなる。
2289	42	508118	ミスチルメチル - - アラニンナトリウム液		ミスチルメチル - - アラニン Na 液	本品は、主として「N - ミスチル- N - メチル - - アラニンナトリウム」の水溶液で、定量するとき、ミスチルメチル - - アラニンナトリウム(C 18H 34NNaO 3 : 335.46)として 22.0 ~ 28.0%を含む。
2290	42	504377	ミスチルメチルタウリンナトリウム		ミスチルメチルタウリン Na	本品は、主として N - ミスチルメチルタウリンのナトリウム塩からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、N - ミスチルメチルタウリンナトリウム(C 17H 34NNaO 4S : 371.52) 92.0%以上を含む。
2291	41	104247	ミンク油			本品は、ミンク Mustela vison(Mustelidae)の皮下脂肪組織から得た脂肪油を精製したものである。
2292	42	504378	ミンク油脂肪酸エチル			本品は、主として「ミンク油」から得た脂肪酸とエタノールとのエステルからなる。
2293	42	510078	ミンクワックス			本品は、ミンク Mustela vison の新鮮な脂肪組織から得た、ミンク油の高融点部分を分離精製したものである。
2294	42	521096	ムクロジエキス			本品は、ムクロジ Sapindus mukurossi Gaertner (Sapindaceae)の果皮から水、「エタノール」又はこれらの混液で抽出して得られるエキスである。
2295	42	523240	ムコ多糖体	酸性ムコポリサッカライド		本品は、ウシ Bos taurus Linne' var. domesticus Gmelin (Bovidae)又はブタ Sus scrofa Linne' var. domesticus Gray (Suidae)の皮膚、結合組織、十二指腸粘膜、すい臓、肝臓などの臓器又は、魚類の軟骨から酵素処理又は、アルカリ処理によって得られるムコ多糖類(ヒアルロン酸、コンドロイチン硫酸、その他のムコ多糖体)を乾燥したものである。
2296	42	523241	ムコ多糖体液	ムコ多糖抽出液		本品は、ウシ Bos taurus Linne' var. domesticus Gmelin (Bovidae)又は、ブタ Sus scrofa Linne' var. domesticus Gray (Suidae)の皮膚、軟骨、結合組織、幽門、十二指腸粘膜、眼球ガラス体などの臓器から酵素処理又はアルカリ処理によって得られるムコ多糖類(ヒアルロン酸、コンドロイチン硫酸、その他のムコ多糖体)の水溶液で、エタノール又はグリセリンを含むものもある。
2297	41	110698	無水亜硫酸ナトリウム		無水亜硫酸 Na	本品は、定量するとき、亜硫酸ナトリウム(Na 2SO 3 : 126.04) 97.0%以上を含む。
2298	41	001076	無水エタノール			本品は、15 でエタノール(C 2H 6O 46.07) 99.5vol%以上を含む(比重による)。
2299	41	001216	無水クエン酸			本品は、定量するとき、無水クエン酸(C 6H 8O 7 192.13) 99.5%以上を含む。
2300	41	100549	無水ケイ酸			本品を強熱したものは、定量するとき、二酸化ケイ素(SiO 2 : 60.08) 96.0%以上を含む。
2301	42	521099	無水ケイ酸アルミニウム		無水ケイ酸 Al	本品は、天然に産する含水ケイ酸アルミニウム又はカオリンを熱処理したものである。
2302	42	532133	無水ケイ酸被覆雲母	無水ケイ酸被覆マイカ		本品は、「マイカ」に「無水ケイ酸」を被覆処理したものである。
2303	42	532134	無水ケイ酸被覆(酸化セリウム・酸化チタン)ゾル		無水ケイ酸被覆(酸化セリウム・酸化チタン)ゾル	本品は、「酸化セリウム」及び「酸化チタン」を「無水ケイ酸」で被覆処理したものを水に分散して得たものである。
2304	42	532135	無水ケイ酸被覆酸化(鉄・チタン)ゾル		無水ケイ酸被覆酸化(Fe・Ti)ゾル	本品は、主として水溶液中で生成させた鉄・チタン複合酸化物を無水ケイ酸で被覆処理して得られるゾルである。本品を定量するとき、酸化チタン(TiO 2 : 79.88) 3.5 ~ 25.0%を含む。
2305	42	523242	無水ケイ酸・ベンガラ被覆雲母			本品は、「マイカ」に「ベンガラ」及び「無水ケイ酸」を被覆処理したものである。
2306	42	523243	無水ケイ酸・ベンガラ被覆チタンセリサイト		無水ケイ酸・ベンガラ被覆 Ti 並りサイト	本品は、「チタンセリサイト」に「ベンガラ」及び「無水ケイ酸」を被覆処理したものである。
2307	42	106771	チオ硫酸ナトリウム(無水)	無水チオ硫酸ナトリウム	無水チオ硫酸 Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、チオ硫酸ナトリウム(Na 2S 2O 3 : 158.11) 95.0%以上を含む。
2308	41	106743	無水ピロリン酸ナトリウム		無水ピロリン酸 Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、ピロリン酸ナトリウム(Na 4P 2O 7 : 265.90) 97.0%以上を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2309	42	521101	無水マルトース			本品は、定量するとき、換算した脱水物に対し、無水マルトース(C <sub>12</sub> H <sub>22</sub> O <sub>11</sub> :342.30)92.0%以上を含む。
2310	42	507108	無水マレイン酸・ジイソブチレン共重合体ナトリウム液		MA・ジイソブチレン共重合体Na液	本品は、無水マレイン酸・ジイソブチレン共重合体のナトリウム塩の水溶液である。
2311	51	521102	無水メタケイ酸ナトリウム		無水メタケイ酸Na	本品は、定量するとき、二酸化ケイ素(SiO <sub>2</sub> :60.08)として44.0~53.0%、酸化ナトリウム(Na <sub>2</sub> O:61.98)として45.0~54.0%を含む。
2312	99	106760	無水硫酸ナトリウム		無水硫酸Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、硫酸ナトリウム(Na <sub>2</sub> SO <sub>4</sub> :142.04)99.0%以上を含む。
2313	42	106760	無水硫酸ナトリウム		無水硫酸Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、硫酸ナトリウム(Na <sub>2</sub> SO <sub>4</sub> :142.04)99.0%以上を含む。
2314	42	111809	無水硫酸マグネシウム		無水硫酸Mg	本品は、「硫酸マグネシウム」を、強熱したものである。本品を強熱したものは定量するとき、硫酸マグネシウム(MgSO <sub>4</sub> :120.36)99.0%以上を含む。
2315	41	001714	無水リン酸水素カルシウム	無水リン酸カルシウム	無水リン酸水素Ca	本品は、「リン酸」のカルシウム塩からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、リン酸水素カルシウム(CaHPO <sub>4</sub> :136.06)98.0%以上を含む。
2316	42	108892	無水リン酸一水素ナトリウム	無水リン酸水素二ナトリウム	無水リン酸水素2Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、リン酸一水素ナトリウム(Na <sub>2</sub> HPO <sub>4</sub> :141.96)98.0%以上を含む。
2317	41	109340	無水リン酸三ナトリウム		無水リン酸3Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、無水リン酸三ナトリウム(Na <sub>3</sub> PO <sub>4</sub> :163.94)99.0~103.0%を含む。
2318	42	532309	ムラサキセンブリエキス			本品は、「ムラサキセンブリ Swertia pseudochinensis Hara (Gentianaceae)の開花期の全草からエタノールで抽出して得られるエキスである。
2319	42	532243	ムラヤコエンジーエキス			本品は、「Murraya koenigii Sprengel (Rutaceae)の枝及び葉軸から、エタノール溶液で抽出して得られたエキスを、ろ過したものである。
2320	42	523244	メタクリル酸ラウリル・ジメタクリル酸エチレングリコール共重合体		メタクリル酸ラウリル・ジメタクリル酸グリコール共重合体	本品は、主としてメタクリル酸ラウリルとジメタクリル酸エチレングリコールの共重合体である。
2321	51	523418	N-メタクリロイルエチルN,N-ジメチルアンモニウム・-N-メチルカルボキシベタイン重合体液		メタクリロイルエチルジメチルアンモニウム・-N-メチルカルボキシベタイン重合体液	本品は、N-メタクリロイルエチルN,N-ジメチルアンモニウム・-N-メチルカルボキシベタイン重合体のエタノール及び水の混液の30%溶液である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)として、5.7~6.0%を含む。
2322	51	523419	N-メタクリロイルエチルN,N-ジメチルアンモニウム・-N-メチルカルボキシベタイン・N-メタクリロイルエチル-N,N,N-トリメチルアンモニウムクロライド、2-ヒドロキシエチルメタクリレート共重合体		メタクリロイルエチルジメチルアンモニウム・-N-メチルカルボキシベタイン・塩化メタクリロイルエチルトリメチルアンモニウムクロライド共重合体	本品は、N-メタクリロイルエチルN,N-ジメチルアンモニウム・-N-メチルカルボキシベタイン・塩化メタクリロイルエチル-N,N,N-トリメチルアンモニウムクロライド及び2-ヒドロキシエチルメタクリレート共重合体のエタノール及び水の混液の40%溶液である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)として、1.6~2.1%を含む。
2323	42	523245	メタクリロイルエチルジメチルベタイン 塩化メタクリロイルエチルトリメチルアンモニウム・メタクリル酸2-ヒドロキシエチル共重合体液		メタクリロイルエチルジメチルベタイン 塩化メタクリロイルエチルトリメチルアンモニウム・HEMA共重合体液	本品は、メタクリロイルエチルジメチルベタイン、塩化メタクリロイルエチルトリメチルアンモニウム及びメタクリル酸2-ヒドロキシエチルの共重合体で、水、「エタノール」又はこれらの混液の溶液である。本品の平均分子量は100000である。
2324	42	521108	メタクリロイルエチルジメチルベタイン 塩化メタクリロイルエチルトリメチルアンモニウム・メタクリル酸メキシポリエチレングリコール共重合体液		メタクリロイルエチルジメチルベタイン 塩化メタクリロイルエチルトリメチルアンモニウム・メタクリル酸メキシポリエチレングリコール共重合体液	本品は、主としてメタクリロイルエチルジメチルベタイン、塩化メタクリロイルエチルトリメチルアンモニウム及びメタクリル酸メキシポリエチレングリコールの共重合体で、水、「エタノール」又はこれらの混液の溶液からなる。本品の平均分子量は100000である。
2325	42	521112	N-メタクリロイルオキシエチルN,N-ジメチルアンモニウム・-N-メチルカルボキシベタイン・メタクリル酸アルキルエステル共重合体液	メタクリロイルエチルベタイン・メタクリル酸エステル共重合体液	メタクリロイルオキシエチルジメチルアンモニウム・-N-メチルカルボキシベタイン・メタクリル酸アルキル共重合体液	本品は、主としてN-メタクリロイルオキシエチルN,N-ジメチルアンモニウム・-N-メチルカルボキシベタインと、メタクリル酸アルキル(C <sub>1</sub> -C <sub>4</sub> ,C <sub>6</sub> ,C <sub>8</sub> ,C <sub>12</sub> ,C <sub>13</sub> ,C <sub>18</sub> )との共重合体の水、「エタノール」変性アルコール又はこれらの混液の溶液である。
2326	99	999999	2-メタクリロイルオキシエチルホスホリルコリン・メタクリル酸ブチル共重合体液		メタクリロイルオキシエチルホスホリルコリン・メタクリル酸ブチル共重合体液	本品は、2-メタクリロイルオキシエチルホスホリルコリンとメタクリル酸ブチルのおよそ8:2モル比の共重合体の水溶液である。
2327	99	999999	2-メタクリロイルオキシエチルホスホリルコリン・メタクリル酸ブチル共重合体液		メタクリロイルオキシエチルホスホリルコリン・メタクリル酸ブチル共重合体液	本品は、2-メタクリロイルオキシエチルホスホリルコリンとメタクリル酸ブチルのおよそ8:2モル比の共重合体の水溶液である。
2328	99	999999	2-メタクリロイルオキシエチルホスホリルコリン・メタクリル酸ブチル共重合体液		メタクリロイルオキシエチルホスホリルコリン・メタクリル酸ブチル共重合体液	本品は、2-メタクリロイルオキシエチルホスホリルコリンとメタクリル酸ブチルのおよそ8:2モル比の共重合体の水溶液である。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2329	24	103929	メタケイ酸アルミニウム酸マグネシウム		メタケイ酸アルミニウム Mg	本品は定量するとき、換算した乾燥物に対し、酸化アルミニウム (Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> :101.96) 29.1~ 35.5%, 酸化マグネシウム (MgO:40.30) 11.4~ 14.0%及び二酸化ケイ素 (SiO <sub>2</sub> :60.08) 29.2~ 35.6%を含む。
2330	42	103929	メタケイ酸アルミニウム酸マグネシウム		メタケイ酸アルミニウム Mg	本品は、メタケイ酸アルミニウム酸マグネシウムからなる。
2331	41	106692	メタリン酸ナトリウム		メタリン酸 Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、五酸化リン(P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> :141.94)として65.0~ 83.0%を含む。
2332	42	521117	メタリン酸ナトリウム処理酸化チタン		メタリン酸 Na 処理酸化 Ti	本品は、「酸化チタン」をメタリン酸ナトリウムで表面処理したものである。
2333	41	001621	L-メチオニン		メチオニン	本品を乾燥したものは、定量するとき、L-メチオニン(C <sub>5</sub> H <sub>11</sub> NO <sub>2</sub> :149.21) 98.0%以上を含む。
2334	42	523247	(メチルクロロイソチアゾリノン・メチルイソチアゾリノン液)			
2335	42	521119	メチルシクロポリシロキサン		シクロジメチコン	本品は、シロキサン結合を骨格とした、環状の重合体で [(C <sub>2</sub> H <sub>5</sub> ) <sub>2</sub> SiO] <sub>n</sub> であらわされる。平均重合度は3~ 8である。
2336	42	532263	メチルシラノール・N-アセチルメチオニン加水分解エラスチン縮合液		メチルシラノール・アセチルメチオニン加水分解エラスチン縮合液、メチルシラノール酢酸メチオニン加水分解エラスチン縮合液	本品は、主としてメチルシラノールのアセチルメチオニンモノエステルのオリゴマーに加水分解エラスチンを反応させたものの水溶液である。
2337	42	532264	メチルシラノール加水分解エラスチン縮合液		メチルシラノール加水分解エラスチン縮合液	本品は、主としてメチルシラノールと加水分解エラスチンの反応生成物の水溶液である。
2338	42	532262	メチルシラノール・乳酸加水分解エラスチン縮合液		メチルシラノール・乳酸加水分解エラスチン縮合液	本品は、主として、メチルシラノールの乳酸モノエステルのオリゴマーと加水分解エラスチンの反応生成物の水溶液である。
2339	42	532245	メチルシラノール・乳酸縮合液			本品は、主としてメチルシラノールの乳酸モノエステルのオリゴマーの水溶液である。
2340	42	532259	メチルシラノール・ポリオキシエチレンヤシ油脂肪酸グリセリン縮合物		メチルシラノール・POEヤシ油脂肪酸グリセリン縮合物	本品は、主としてメチルシラノールのオリゴマーのポリオキシエチレンヤシ油脂肪酸モノグリセリドエステルである。酸化エチレンの平均付加モル数は、8である。
2341	42	523248	メチルシロキサン網状重合体			本品は、シロキサン結合を骨格とした網状重合体で、(C <sub>2</sub> H <sub>5</sub> SiO) <sub>n</sub> で表される。分子量は100000以上である。
2342	41	001624	メチルセルロース			本品は、セルロースのメチルエーテルである。本品を乾燥したものは、定量するとき、メチル基(-OCH <sub>3</sub> :31.03) 26.0~ 33.0%を含む。
2343	42	521120	メチルハイドロジェンポリシロキサン			本品は、主として直鎖状のメチルポリシロキサンのメチル基の一部を水素で置換したものである。その平均重合度は、10~ 50である。
2344	42	504384	N-メチルピロリドン		メチルピロリドン	本品は、主としてN-メチルピロリドン(C <sub>5</sub> H <sub>9</sub> NO:99.13)からなる。
2345	41	500516	メチルフェニルグリシッド酸エチル			本品は、定量するとき、メチルフェニルグリシッド酸エチル(C <sub>12</sub> H <sub>14</sub> O <sub>3</sub> :206.24) 98.0%以上を含む。
2346	41	104207	メチルフェニルポリシロキサン			本品は、主として直鎖状のジメチルポリシロキサンのメチル基の一部がフェニル基、あるいはフェニル基とジメチルシロキシ基になっている重合体からなり、その平均重合度は、1~ 410である。
2347	42	521121	3-メチル-1,3-ブタンジオール	インブレングリコール		本品は、主として3-メチル-1,3-ブタンジオール(C <sub>5</sub> H <sub>12</sub> O <sub>2</sub> :104.05)からなる。
2348	41	104210	メチルポリシロキサン		ジメチコン	本品は、主として直鎖状のジメチルポリシロキサン((CH <sub>3</sub> ) <sub>2</sub> SiO[(CH <sub>3</sub> ) <sub>2</sub> SiO] <sub>n</sub> Si(CH <sub>3</sub> ) <sub>2</sub> )からなり、その平均重合度は、3~ 650である。
2349	42	508121	メチルポリシロキサンエマルジョン		ジメチコンエマルジョン	本品は、「メチルポリシロキサン」を主として炭素数12~ 18の脂肪酸のポリエチレングリコールエステルで分散させた約40%水懸濁液である。
2350	42	523249	メチルポリシロキサン・セチルメチルポリシロキサン・ポリ(オキシエチレン・オキシプロピレン)メチルポリシロキサン共重合体		ジメチコン・セチルメチルポリシロキサン・POE・POPメチルポリシロキサン共重合体	本品は、主として直鎖状のメチルポリシロキサンのメチル基の一部をセチル基及びポリ(オキシエチレン・オキシプロピレン)基で置換した型の重合体である。本品の酸化エチレン及び酸化プロピレンの平均付加モル数は、それぞれ56及び68である。
2351	42	532198	1,1'-メチレン-ビス(4-インシアナトシクロヘキサノール)ポリプロピレングリコール共重合体		メチレンビス(インシアナトシクロヘキサノール)・PPG共重合体	本品は、1,1'-メチレン-ビス(4-インシアナトシクロヘキサノール)とポリプロピレングリコールの共重合体である。酸化プロピレンの平均付加モル数は、12~ 55である。
2352	42	521124	メドウフォーム油			本品は、Limnanthes alba Hartw. (Limnathaceae)の種子から得た脂肪油である。
2353	41	108609	メキシエチレン無水マレイン酸共重合体		メキシエチレン・MA共重合体	本品は、メチルビニルエーテルと無水マレイン酸との共重合体である。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2354	42	523250	メキシ - シクロデキストリン液			本品は、主として「 - シクロデキストリン」をメチルエーテル化して得られたメキシ - シクロデキストリンの水溶液からなり、水酸化ナトリウムを含む。
2355	42	521128	メリッサエキス	コウスイハッカエキス		本品は、コウスイハッカ <i>Melissa officinalis</i> Linne (Labiatae) の葉から水、「エタノール」、「ジエチレングリコールエチルエーテル」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液若しくは 1%尿素含有エタノール溶液、1%尿素含有 1,3-ブチレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
2356	42	104107	メロートエキス			本品は、メロート <i>Melilotus officinalis</i> Linne (Leguminosae) の花、葉又は花及び葉から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
2357	41	101585	綿実油			本品は、ワタ <i>Gossypium hirsutum</i> Linne (Malvaceae) 又はその同属植物の種子から得た脂肪油である。
2358	42	502145	綿実油脂肪酸グリセリル			本品は、「綿実油」から得られる脂肪酸のモノグリセリドである。
2359	42	523251	1-メンチルグリセリルエーテル	3-1-メントキシプロパン-1,2-ジオール	メンチルグリセリルエーテル	本品は、定量するとき 3-1-メントキシプロパン-1,2-ジオール (C <sub>13</sub> H <sub>26</sub> O <sub>3</sub> :230.35) 98.0%以上を含む。
2360	41	001641	d1-メントール			本品は、定量するとき d1-メントール (C <sub>10</sub> H <sub>20</sub> :156.27) 98.0%以上を含む。
2361	01	001642	1-メントール		メントール	本品は定量するとき 1-メントール (C <sub>10</sub> H <sub>20</sub> ) 98.0%以上を含む。
2362	41	001642	1-メントール		メントール	本品は、定量するとき 1-メントール (C <sub>10</sub> H <sub>20</sub> :156.27) 98.0%以上を含む。
2363	41	500523	モクロウ			本品は、ハゼノキ <i>Rhus succedanea</i> Linne (Anacardiaceae) の果皮から得た脂肪を漂白したものである。
2364	42	511061	モノイステアリン酸 n-アルキレン (20~30)グリコール		イステアリン酸アルキレン (20~30)グリコール	本品は、主として「イステアリン酸」と n-アルキレン (炭素数 20~30)-1,2-グリコールとのモノエステルである。
2365	42	510079	モノイステアリン酸アルキレン (18,20)直鎖グリコール		イステアリン酸アルキレン (18,20)グリコール	本品は、主として「イステアリン酸」と炭素数 18と20の直鎖 1,2-アルキレングリコールとのモノエステルである。
2366	42	532136	モノイステアリン酸グリセリル		イステアリン酸グリセリル	本品は、主として「イステアリン酸」とグリセリンのモノエステル (C <sub>21</sub> H <sub>42</sub> O <sub>4</sub> :358.56) からなる。
2367	41	500524	モノイステアリン酸ソルビタン		イステアリン酸ソルビタン	本品は、主として「イステアリン酸」と「ソルビット」からなるモノエステルである。
2368	42	532137	モノイステアリン酸ポリエチレングリコール	イステアリン酸ポリエチレングリコール	イステアリン酸 PEG	本品は、主として「イステアリン酸」とポリエチレングリコールのモノエステルからなる。ポリエチレングリコールの平均重合度は、2~40である。
2369	42	523252	モノイステアリン酸ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油		イステアリン酸 POE 硬化ヒマシ油、イステアリン酸 POE 水添ヒマシ油	本品は、主としてポリオキシエチレン硬化ヒマシ油と「イステアリン酸」のモノエステルである。酸化エチレンの平均付加モル数は 20~58 である。
2370	42	521134	モノイステアリン酸ポリグリセリル		イステアリン酸ポリグリセリル	本品は、主として「イステアリン酸」とポリグリセリンのモノエステルからなる。グリセリンの平均重合度は 2~10 である。
2371	42	523253	モノイステアリン酸モノミリスチン酸グリセリル		イステアリン酸ミリスチン酸グリセリル	本品は、主として「イステアリン酸」及び「ミリスチン酸」とグリセリンとのジエステル (C <sub>35</sub> H <sub>68</sub> O <sub>5</sub> :568.93) からなる。
2372	42	532138	モノウンデシレン酸グリセリル		ウンデシレン酸グリセリル	本品は、主として「ウンデシレン酸」とグリセリンのモノエステル (C <sub>14</sub> H <sub>26</sub> O <sub>4</sub> :258.36) からなる。
2373	51	523422	モノエタノールアミン液		モノエタノールアミン	本品は、「エタノールアミン」の水溶液である。本品を定量するとき、モノエタノールアミン (C <sub>2</sub> H <sub>7</sub> NO:61.08) として表示量の 97.5~103.0% を含む。
2374	42	532139	モノオキシエチレンラウリン酸モノエタノールアミド		オキシエチレンラウリン酸エタノールアミド、POE (1)ラウリン酸エタノールアミド	本品は、主として「ラウリン酸」と等量の「エタノールアミン」を縮合して得られるラウリン酸モノエタノールアミドに等モルの酸化エチレンを付加したものである。
2375	42	523254	モノオレイルグリセリルエーテル	セラキルアルコール	オレイルグリセリルエーテル	本品は、主としてグリセリンの -モノオレイルエーテル (C <sub>21</sub> H <sub>42</sub> O <sub>3</sub> :342.57) からなる。
2376	41	106815	モノオレイン酸ソルビタン		オレイン酸ソルビタン	本品は、主として「オレイン酸」と「ソルビット」からなるモノエステルである。
2377	41	105299	モノオレイン酸ポリエチレングリコール		オレイン酸 PEG	本品は、主として「オレイン酸」とポリエチレングリコールのモノエステルからなる。酸化エチレンの平均付加モル数は 2~70 である。
2378	41	110401	モノオレイン酸ポリオキシエチレンソルビタン (6 E.O.)		オレイン酸 POE (6)ソルビタン	本品は、主として「モノオレイン酸ソルビタン」に酸化エチレンを付加重合して得られたものである。酸化エチレンの平均付加モル数は、6 である。
2379	41	105409	モノオレイン酸ポリオキシエチレンソルビタン (20 E.O.)		オレイン酸 POE (20)ソルビタン	本品は、主として「モノオレイン酸ソルビタン」に酸化エチレンを付加重合して得られたものである。酸化エチレンの平均付加モル数は、20 である。



連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2380	42	509125	モノオレイン酸ポリオキシエチレンソルピタン(20E.O.)酢酸セチル 酢酸ラノールアルコール混合物		オレイン酸 POE (20)ソルピタン 酢酸セチル 酢酸ラノール混合物	本品は、「モノオレイン酸ポリオキシエチレンソルピタン(20E.O.)」50%以上、酢酸セチル、10~25%及び「酢酸ラノールアルコール」1~5%を混合したものである。
2381	42	521138	モノオレイン酸ポリグリセリル		オレイン酸ポリグリセリル	本品は、主として「オレイン酸」とポリグリセリンのモノエステルからなる。グリセリンの平均重合度は2~10である。
2382	42	511062	モノオレイン酸ポリプロピレングリコール(26P.O.)		オレイン酸 PPG(26)	本品は、主として「オレイン酸」とポリプロピレングリコールのモノエステルからなる。酸化プロピレンの平均付加モル数は26である。
2383	42	507110	モノオレイン酸ポリプロピレングリコール(36P.O.)	モノオレイン酸ポリプロピレングリコール 200	オレイン酸 PPG(36)	本品は、「ポリプロピレングリコール」のモノオレイン酸エステルである。酸化プロピレンの平均付加モル数は36である。
2384	42	523255	モノ(カプリル/カプリン酸)メチルグルコシド液		(カプリル・カプリン酸)メチルグルコシド液	本品は、主としてカプリル酸及び「カプリン酸」とメチルグルコシドとのモノエステルの水溶液である。
2385	42	521140	モノカプリル酸ジプロピレングリコール		カプリル酸 DPG	本品は、主としてカプリル酸と「ジプロピレングリコール」のモノエステルからなる。
2386	42	521141	モノ牛脂脂肪酸グリセリル		牛脂脂肪酸グリセリル	本品は、主として「牛脂脂肪酸」とグリセリンのモノエステルからなる。
2387	42	521142	モノ酢酸モノステアリン酸グリセリル		酢酸ステアリン酸グリセリル	本品は、主として「酢酸」と「ステアリン酸」からなるグリセリド(C <sub>23</sub> H <sub>44</sub> O <sub>5</sub> :400.60)である。
2388	42	532140	モノサフラワール油脂脂肪酸グリセリル		サフラワール油脂脂肪酸グリセリル	本品は、主として「サフラワール油脂脂肪酸」とグリセリンのモノエステルからなる。
2389	42	002358	モノステアリン酸アルミニウム		ステアリン酸 A1	本品は、主としてモノステアリン酸アルミニウムからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、アルミニウム(AI:26.98)7.0~8.6%を含む。
2390	41	102269	モノステアリン酸エチレングリコール		ステアリン酸グリコール	本品は、主として「ステアリン酸」と「エチレングリコール」からなるモノエステルである。
2391	41	102129	モノステアリン酸ソルピタン		ステアリン酸ソルピタン	本品は、主として「ステアリン酸」と「ソルピタン」からなるモノエステルである。
2392	41	105636	モノステアリン酸プロピレングリコール		ステアリン酸 PG	本品は、主として「ステアリン酸」と「プロピレングリコール」からなるモノエステルである。
2393	41	105300	モノステアリン酸ポリエチレングリコール		ステアリン酸 PEG	本品は、「ステアリン酸」に酸化エチレンを付加重合させるか又は「ステアリン酸」とポリエチレングリコールのモノエステルからなる。
2394	41	108277	モノステアリン酸ポリオキシエチレングリセリル		ステアリン酸 POEグリセリル	本品は、主としてモノステアリン酸グリセリンに酸化エチレンを付加重合して得られる。
2395	41	109147	モノステアリン酸ポリオキシエチレンソルピタン		ステアリン酸 POEソルピタン	本品は、主としてモノステアリン酸ソルピタンに酸化エチレンを付加重合して得たものである。酸化エチレンの平均重合度付加モル数は、6~20である。
2396	42	521143	モノステアリン酸ポリグリセリル		ステアリン酸ポリグリセリル	本品は、「ステアリン酸」とポリグリセリンのモノエステルからなる。グリセリンの平均付加モル数は2~10である。
2397	42	508123	モノ二ヒドログアヤコール		二ヒドログアヤコール	本品を定量するとき、主として5-二ヒドログアヤコール(C <sub>7</sub> H <sub>14</sub> O <sub>4</sub> :169.13)98.0~102.0%を含む。
2398	42	508124	モノ二ヒドログアヤコールナトリウム		二ヒドログアヤコール Na	本品は、5-二ヒドログアヤコールナトリウムと水との等量混合物である。本品は定量するとき、主として5-二ヒドログアヤコールナトリウム(C <sub>7</sub> H <sub>13</sub> NaO <sub>4</sub> :191.12)47.0~53.0%を含む。
2399	42	521145	モノパルミチン酸エチレングリコール	パルミチン酸エチレングリコール	パルミチン酸グリコール	本品は、主として「パルミチン酸」とエチレングリコールのモノエステルからなる。
2400	41	106816	モノパルミチン酸ソルピタン		パルミチン酸ソルピタン	本品は、主として「パルミチン酸」と「ソルピタン」からなるモノエステルである。
2401	41	109912	モノパルミチン酸ポリオキシエチレンソルピタン(20E.O.)		パルミチン酸 POE(20)ソルピタン	本品は、主として「モノパルミチン酸ソルピタン」に酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は、20である。
2402	42	523256	モノヒドロキシステアリン酸グリセリル	モノオキシステアリン酸グリセリル	ヒドロキシステアリン酸グリセリル、オキシステアリン酸グリセリル	本品は、主として「ヒドロキシステアリン酸」とグリセリンのモノエステル(C <sub>21</sub> H <sub>42</sub> O <sub>5</sub> :374.56)からなる。
2403	42	508125	モノヒドロキシステアリン酸硬化ヒマシ油		ヒドロキシステアリン酸硬化ヒマシ油、オキシステアリン酸硬化ヒマシ油、オキシステアリン酸水添ヒマシ油	本品は、主として「ヒドロキシステアリン酸」と「硬化ヒマシ油」のエステルからなる。
2404	42	521146	モノミスチン酸デカグリセリル		ミスチン酸デカグリセリル	本品は、主として「ミスチン酸」とポリグリセリンのモノエステルからなる。グリセリンの平均重合度は10である。
2405	42	532141	モノラウリン酸グリセリル		ラウリン酸グリセリル	本品は、主として「ラウリン酸」とグリセリンのモノエステル(C <sub>15</sub> H <sub>30</sub> O <sub>4</sub> :274.41)からなる。
2406	41	005802	モノラウリン酸ソルピタン		ラウリン酸ソルピタン	本品は、主として「ラウリン酸」と「ソルピタン」からなるモノエステルである。
2407	41	109914	モノラウリン酸ポリエチレングリコール		ラウリン酸 PEG	本品は、主として「ラウリン酸」に酸化エチレンを付加重合させるか又は「ラウリン酸」とポリエチレングリコールのモノエステルからなる。
2408	42	109916	モノラウリン酸ポリオキシエチレンソルピタン		ラウリン酸 POEソルピタン	本品は、主として「モノラウリン酸ソルピタン」に酸化エチレンを付加重合したものである。酸化エチレンの平均付加モル数は10~80である。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2409	41	109477	モノラウリン酸ポリオキシエチレンソルピタン (20 E.O.)		ラウリン酸 POE (20)ソルピタン	本品は、主として「モノラウリン酸ソルピタン」に酸化エチレンを付加重合して得たものである。酸化エチレンの平均付加モル数は、20である。
2410	41	111817	モノラウリン酸ポリオキシエチレンソルピット		ラウリン酸 POEソルピット	本品は、主として「ラウリン酸」とポリオキシエチレンソルピットのモノエステルからなる。
2411	42	521150	モノラウリン酸ポリグリセリル		ラウリン酸ポリグリセリル	本品は、主として「ラウリン酸」とポリグリセリンのモノエステルからなる。グリセリンの平均付加モル数は4~10である。
2412	42	521151	モノラウリン脂肪酸グリセリル		ラウリン脂肪酸グリセリル	本品は、主として「軟質ラウリン脂肪酸」、「ラウリン脂肪酸」、「硬質ラウリン脂肪酸」又はこれらの混合物とグリセリンのモノエステルからなる。
2413	42	532142	モノリノール酸グリセリル		リノール酸グリセリル	本品は、主として「リノール酸」とグリセリンのモノエステル (C 21H 38O4 : 354.53) からなる。
2414	42	523257	モモ核粒		桃核粒	本品は、モモ Prunus persica Batsch 又は Prunus persica Batsch var. davidiana Maximowicz (Rosaceae) の核 (内果皮) を乾燥、破碎し、整粒したものである。
2415	42	521153	モモ果汁		桃果汁	本品は、モモ Prunus persica Batsch (Rosaceae) の果実 (生) を圧搾して得られる果汁である。
2416	42	520806	モモ葉エキス		桃葉エキス	本品は、モモ Prunus persica Batsch (Rosaceae) の葉から水、エタノール、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液若しくは「無水エタノール」にて抽出して得られるエキスである。
2417	42	521154	モヤシエキス			本品は、リョクトウ Phaseolus radiatus Linne (Leguminosae) より得られたもやしから豆部を除去した後、水にて抽出して得られるエキスである。
2418	42	521155	モルティエセラ油	- リルン酸油		本品は、糸状菌の一種である Mortierella isabellina から得られる油脂であり、- リルン酸を含む混合脂肪酸のトリグリセライドである。
2419	42	501138	モルホリン			本品は、定量するとき、テトラヒドロ-1,4-オキサジン (C 4H 9NO : 87.12) 98.0%以上を含む。
2420	42	504389	モンモリロナイト			本品は、主として Al 2O5・4SiO 2・4H 2O からなる粘土鉱物である。
2421	99	999999	益母草エキス			本品は、益母草 Leonurus sibiricus L. (Labiatae) の花期の地上部から水及び「1,3-ブチレングリコール」の等量混液で抽出して得られるエキスである。
2422	42	521157	ヤグルマギクエキス			本品は、ヤグルマギク Centaurea cyanus Linne (Compositae) の頭花から水、エタノール、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
2423	42	510081	ヤグルマギク水			本品は、ヤグルマギク Centaurea cyanus L. (Compositae) の花から水蒸気蒸留によって得られる水層成分である。
2424	41	500543	ヤシ油			本品は、ココヤシ Cocos nucifera Linne (Palmae) の種皮を除いた種子を圧搾して得た脂肪油である。
2425	42	503154	ヤシ油アルキルジメチルアミノオキシド液			本品は、主としてヤシ油アルキルジメチルアミノオキシドの水溶液である。本品は定量するとき、ヤシ油アルキルジメチルアミノオキシドとして表示量の90~110%を含む。
2426	42	532143	ヤシ油アルキルベタイン液	ヤシ油アルキルジメチルアミン酢酸液		本品は、主としてヤシ油アルキルジメチルアミン酢酸の水溶液からなる。本品は、定量するとき、ヤシ油アルキルジメチルアミン酢酸として、表示量の90.0~110.0%を含む。
2427	42	508128	ヤシ油アルキル硫酸マグネシウム・トリエタノールアミン		ヤシ油アルキル硫酸 Mg・TEA	本品は、ヤシ油アルコールを硫酸化した後、水酸化マグネシウム及びトリエタノールアミン (モル比 1:4) により中和したものの水溶液である。本品を定量するとき、ヤシ油アルキル硫酸マグネシウム・トリエタノールアミン (平均分子量 : 383) として 25~31% を含む。
2428	42	523258	ヤシ油アルコール			本品は、「ヤシ油」又は「パーム核油」を還元して得られる高級脂肪酸アルコールの混合物で、主としてラウリンアルコール (C 12H 26O 186.34) からなる。
2429	42	523259	ヤシ油カリ石けん液			本品は、ヤシ油脂肪酸のカリウム塩の40%水溶液である。
2430	42	521160	ヤシ油脂肪酸			本品は、「ヤシ油」より得られる脂肪酸である。
2431	42	532178	N-ヤシ油脂肪酸アシル-DL-アラニントリエタノールアミン液		ヤシ油脂肪酸アシル DL-アラニン TEA 液	本品は、主として「DL-アラニン」と「ヤシ油脂肪酸」との縮合物のトリエタノールアミン塩の水溶液である。本品は、定量するとき、窒素 (N : 14.01) として 1.6~2.2% を含む。
2432	42	503156	N-ヤシ油脂肪酸アシル-L-アルギニンエチル-DL-ピロリドンカルボン酸塩		ヤシ油脂肪酸アシルアルギニンエチル DL-PCA塩	本品は、定量するとき、N-ヤシ油脂肪酸アシル-L-アルギニンエチル-DL-ピロリドンカルボン酸塩 90%以上を含む。
2433	42	532144	N-ヤシ油脂肪酸アシル加水分解酵母カリウム	ヤシ油脂肪酸加水分解酵母たん白カリウム	ヤシ油脂肪酸アシル加水分解酵母 K、ヤシ油脂肪酸加水分解酵母たん白カリウム	本品は、酵母 Candida utilis たん白の加水分解物とヤシ油脂肪酸との縮合物のカリウム塩である。本品は、定量するとき、有機性固形分に対し、窒素 (N : 14.01) 5.0~11.0% を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2434	42	532145	N - ヤシ油脂肪酸アシル加水分解トウモロコシたん白カリウム		ヤシ油脂肪酸アシル加水分解トウモロコシたん白K、ヤシ油脂肪酸アシル加水分解トウモロコシたん白K	本品は、「ヤシ油脂肪酸」と加水分解トウモロコシたん白との縮合物のカリウム塩からなる。本品は、定量するとき、有機性固形分に対し、窒素(N:14.01)5.0~11.0%を含む。
2435	42	532146	N - ヤシ油脂肪酸アシル加水分解パレイショたん白カリウム	ヤシ油脂肪酸加水分解ジャガイモたん白カリウム	ヤシ油脂肪酸アシル加水分解パレイショたん白K、ヤシ油脂肪酸加水分解ジャガイモたん白K	本品は、「ヤシ油脂肪酸」とパレイショ Solanum tuberosum Linne' (Solanaceae) の根茎から得られたたん白の加水分解物との縮合物のカリウム塩からなる。本品は、定量するとき、有機性固形分に対し、窒素(N:14.01)5.0~11.0%を含む。
2436	42	532147	N - ヤシ油脂肪酸アシル-N' - カルボキシエチル-N' - ヒドロキシエチルエチレンジアミンナトリウム	ヤシ油アルキル-N - カルボキシエチル-N - ヒドロキシエチルイミダゾールナトリウム	ヤシ油脂肪酸アシルカルボキシエチルヒドロキシエチルエチレンジアミンNa、ヤシ油アルキルカルボキシエチルヒドロキシエチルイミダゾールナトリウム	本品は、主として、2位に炭素数11~17のアルキル基を有する1-ヒドロキシエチルイミダゾールナトリウムをカルボキシエチル化して得られるもので、通常、「イソプロパノール」、「エタノール」、水又はこれらの混液を含む。
2437	42	532148	N - ヤシ油脂肪酸アシル-N' - カルボキシエチル-N' - カルボキシエチルエチレンジアミンナトリウム液	ヤシ油アルキル-N - カルボキシエチル-N - カルボキシエチルイミダゾールナトリウムヒドロキシド	ヤシ油脂肪酸アシルカルボキシエチルカルボキシエチルエチレンジアミン2Na、N - ヤシ油脂肪酸アシル-N' - カルボキシエチル-N' - カルボキシエチルエチレンジアミンナトリウム、ヤシ油アルキルカルボキシエチルカルボキシエチルイミダゾールナトリウムヒドロキシド	本品は、主として2位に炭素数11~17のアルキル基を有する1-ヒドロキシエチルイミダゾールナトリウムにモノクロロプロピオン酸ナトリウムを水酸化ナトリウム溶液中で反応させて得たものである。
2438	42	532149	N - ヤシ油脂肪酸アシル-N' - カルボキシメチルエチル-N' - カルボキシメチルエチレンジアミンナトリウムラウリル硫酸	2 - ココアルキル - 2 - イミダゾールナトリウムラウリルサルフェート 1 - カルボキシメチルジナトリウム	ヤシ油脂肪酸アシルカルボキシメチルエチルカルボキシメチルエチレンジアミン2Naラウリル硫酸、ココアルキルイミダゾールナトリウムラウリルサルフェートカルボキシメチル2Na	本品は、主として2位に炭素数11~17のアルキル基を有する1-ヒドロキシエチルイミダゾールナトリウムにカルボキシメチル化して得たもののナトリウム塩にラウリル硫酸ナトリウムをイオン結合させたものである。
2439	42	523260	N - ヤシ油脂肪酸アシル-N - カルボキシメチルエチル-N - カルボキシメチルエチレンジアミンナトリウムポリオキシエチレンドデシル硫酸液		ヤシ油脂肪酸アシルカルボキシメチルエチルカルボキシメチルエチレンジアミン2Na・POEドデシル硫酸液	本品は、主としてN - ヤシ油脂肪酸アシル-N - カルボキシメチルエチル-N - カルボキシメチルエチレンジアミンナトリウムポリオキシエチレンドデシル硫酸でヘキシレングリコール及び水の混液の溶液からなる。
2440	42	521161	N - ヤシ油脂肪酸アシル-N - カルボキシメチルエチル-N - カルボキシメチルエチレンジアミンナトリウム	ウンデシルカルボキシメチルエチルカルボキシメチルイミダゾールナトリウムベタインナトリウム液	ヤシ油脂肪酸アシルカルボキシメチルエチルカルボキシメチルエチレンジアミン2Na、ウンデシルカルボキシメチルイミダゾールナトリウムベタインNa	本品は、主としてN - ヤシ油脂肪酸アシル-N - カルボキシメチルエチル-N - カルボキシメチルエチレンジアミンナトリウムからなる。
2441	42	532173	N - ヤシ油脂肪酸アシルグリシンカリウム		ヤシ油脂肪酸アシルグリシンK	本品は、主として「ヤシ油脂肪酸」と「グリシン」との縮合物のカリウム塩からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)3.3~4.8%を含む。
2442	42	532150	N - ヤシ油脂肪酸アシルグリシンカリウム液		ヤシ油脂肪酸アシルグリシンK液	本品は、「N - ヤシ油脂肪酸アシルグリシンカリウム」の水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)1.1~1.6%を含む。
2443	42	532179	N - ヤシ油脂肪酸アシルグリシントリエタノールアミン液		ヤシ油脂肪酸アシルグリシンTEA液	本品は、主として「ヤシ油脂肪酸」と「グリシン」との縮合物のトリエタノールアミン塩の水溶液である。本品を定量するとき、窒素(N:14.01)1.5~2.7%を含む。
2444	42	521162	N - ヤシ油脂肪酸アシル-L - グルタミン酸		ヤシ油脂肪酸アシルグルタミン酸	本品は、主としてN - ヤシ油脂肪酸アシル-L - グルタミン酸からなり、本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)3.0~5.0%を含む。
2445	42	523261	N - ヤシ油脂肪酸アシル-L - グルタミン酸カリウム		ヤシ油脂肪酸アシルグルタミン酸K	本品は、主としてN - ヤシ油脂肪酸アシル-L - グルタミン酸カリウムからなり、本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)3.0~5.0%を含む。
2446	42	521164	N - ヤシ油脂肪酸アシル-L - グルタミン酸トリエタノールアミン液		ヤシ油脂肪酸アシルグルタミン酸TEA液	本品は、主としてN - ヤシ油脂肪酸アシル-L - グルタミン酸トリエタノールアミンを約30%含む水溶液である。本品を定量するとき、窒素(N:14.01)1.6~1.9%を含む。
2447	42	502046	N - ヤシ油脂肪酸アシル-L - グルタミン酸ナトリウム		ヤシ油脂肪酸アシルグルタミン酸Na	本品を乾燥したものは、定量するとき、N - ヤシ油脂肪酸アシル-L - グルタミン酸ナトリウム93%以上を含む。
2448	42	521165	ヤシ油脂肪酸アミド			本品は、主としてヤシ油脂肪酸アミドからなる。
2449	42	521167	ヤシ油脂肪酸アミドプロピルベタイン			本品は、主としてヤシ油脂肪酸アミドプロピルジメチルアミン酢酸(C <sub>19</sub> H <sub>38</sub> N <sub>2</sub> O <sub>3</sub> )からなる。定量するとき、ヤシ油脂肪酸アミドプロピルジメチルアミン酢酸を80%以上含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2450	42	522079	ヤシ油脂脂肪酸アミドプロピルベタイン液			本品は、主としてヤシ油脂脂肪酸アミドプロピルジメチルアミ酢酸からなり、通常、水、「エタノール」、「イソプロパノール」、「グリセリン」又はこれらの混液を含む。本品は、定量するとき表示量の90～110%に対応するヤシ油脂脂肪酸アミドプロピルジメチルアミ酢酸を含む。
2451	42	507114	ヤシ油脂脂肪酸エチルエステルスルホン酸ナトリウム	ヤシ油脂脂肪酸アシルイセチオン酸ナトリウム	ヤシ油脂脂肪酸エチルエステルスルホン酸Na ヤシ油脂脂肪酸アシルイセチオン酸Na	本品は、主としてヤシ油脂脂肪酸と2-ヒドロキシエタンスルホン酸との縮合物のナトリウム塩からなる。
2452	42	523262	ヤシ油脂脂肪酸加水分解カゼインカリウム液		ヤシ油脂脂肪酸加水分解カゼインK液	本品は、「カゼイン」の加水分解物と「ヤシ油脂脂肪酸」との縮合物のカリウム塩の水溶液である。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N:14.01)5.0～11.0%を含む。
2453	42	532310	ヤシ油脂脂肪酸加水分解ケラチンカリウム液		ヤシ油脂脂肪酸加水分解ケラチンK液	本品は、「ケラチンたん白質」の加水分解物と「ヤシ油脂脂肪酸」との縮合物のカリウム塩の水溶液である。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N:14.01)5.0～11.0%を含む。
2454	42	532311	ヤシ油脂脂肪酸加水分解酵母たん白カリウム		ヤシ油脂脂肪酸加水分解酵母たん白K	本品は、「酵母たん白」の加水分解物と「ヤシ油脂脂肪酸」との縮合物のカリウム塩である。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N:14.01)5.0～11.0%を含む。
2455	42	532218	ヤシ油脂脂肪酸加水分解コムギたん白カリウム液		ヤシ油脂脂肪酸加水分解コムギたん白K液、ヤシ油脂脂肪酸加水分解小麦たん白K液	本品は、「コムギたん白」の加水分解物と「ヤシ油脂脂肪酸」との縮合物のカリウム塩の水溶液である。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N:14.01)5.0～11.0%を含む。
2456	42	508129	ヤシ油脂脂肪酸加水分解コラーゲン		ヤシ油脂脂肪酸加水分解コラーゲン	本品は、加水分解コラーゲンとヤシ油脂脂肪酸との縮合物からなり、水、「プロピレングリコール」又はこれらの混液を含む。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)として1.4～2.2%を含む。
2457	42	532216	ヤシ油脂脂肪酸加水分解コラーゲン(2)		ヤシ油脂脂肪酸加水分解コラーゲン-2	本品は、「ヤシ油脂脂肪酸」と加水分解コラーゲンとの縮合物である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)として、7.0～13.0%を含む。
2458	42	521172	ヤシ油脂脂肪酸加水分解コラーゲンカリウム		ヤシ油脂脂肪酸加水分解コラーゲンK	本品は、加水分解コラーゲンと「ヤシ油脂脂肪酸」との縮合物のカリウム塩を粉末としたものである。本品は定量するとき、窒素(N:14.01)として7.0%以上を含む。
2459	42	521173	ヤシ油脂脂肪酸加水分解コラーゲンカリウム液		ヤシ油脂脂肪酸加水分解コラーゲンK液	本品は、加水分解コラーゲンと「ヤシ油脂脂肪酸」との縮合物のカリウム塩の水溶液である。本品は定量するとき、窒素(N:14.01)1.6～3.9%を含む。
2460	42	503157	ヤシ油脂脂肪酸加水分解コラーゲントリエタノールアミン		ヤシ油脂脂肪酸加水分解コラーゲンTEA	本品は、加水分解コラーゲンと「ヤシ油脂脂肪酸」との縮合物のトリエタノールアミン塩又はその水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)2.0%以上を含む。
2461	42	502149	ヤシ油脂脂肪酸加水分解コラーゲンナトリウム		ヤシ油脂脂肪酸加水分解コラーゲンNa	本品は、加水分解コラーゲンと「ヤシ油脂脂肪酸」との縮合物のナトリウム塩の水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)2.0%以上を含む。
2462	42	532312	ヤシ油脂脂肪酸加水分解ジャガイモたん白カリウム		ヤシ油脂脂肪酸加水分解ジャガイモたん白K、ヤシ油脂脂肪酸加水分解バレイショたん白K	本品は、「ジャガイモたん白」の加水分解物と「ヤシ油脂脂肪酸」との縮合物のカリウム塩である。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N:14.01)5.0～11.0%を含む。
2463	42	523263	ヤシ油脂脂肪酸加水分解大豆たん白カリウム液		ヤシ油脂脂肪酸加水分解大豆たん白K液	本品は、「ヤシ油脂脂肪酸」と加水分解大豆たん白との縮合物のカリウム塩の水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)0.7～3.0%を含む。
2464	42	532313	ヤシ油脂脂肪酸加水分解トウモロコシたん白カリウム		ヤシ油脂脂肪酸加水分解トウモロコシたん白K、ヤシ油脂脂肪酸加水分解コーンたん白K	本品は、「トウモロコシたん白」の加水分解物と「ヤシ油脂脂肪酸」との縮合物のカリウム塩である。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N:14.01)5.0～11.0%を含む。
2465	42	502150	ヤシ油脂脂肪酸カリウム		ヤシ油脂脂肪酸K	本品は、「ヤシ油脂脂肪酸」のカリウム塩である。
2466	42	522080	ヤシ油脂脂肪酸カリウム液		ヤシ油脂脂肪酸K液	本品は、主として「ヤシ油脂脂肪酸」のカリウム塩の水溶液で、定量するとき、ヤシ油脂脂肪酸カリウム27.0～33.0%を含む。
2467	42	504393	ヤシ油脂脂肪酸グリセリル	モノヤシ油脂脂肪酸グリセリン		本品は、主として「ヤシ油脂脂肪酸」とグリセリンのモノエステルからなる。
2468	42	521178	N-ヤシ油脂脂肪酸/硬化牛脂脂肪酸アシル-L-グルタミン酸ナトリウム		ヤシ油脂脂肪酸・硬化牛脂脂肪酸アシル-L-グルタミン酸Na(ヤシ油・硬化牛脂)脂肪酸アシル-L-グルタミン酸Na	本品は、主として「N-ヤシ油脂脂肪酸アシル-L-グルタミン酸ナトリウム」と「N-硬化牛脂脂肪酸アシル-L-グルタミン酸ナトリウム」の混合物からなり、本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)3.1～3.4%を含む。
2469	42	504396	ヤシ油脂脂肪酸サルコシン			本品は、主として「ヤシ油脂脂肪酸」とサルコシンからなる酸アミドである。
2470	42	504397	ヤシ油脂脂肪酸サルコシントリエタノールアミン		ヤシ油脂脂肪酸サルコシンTEA	本品は、主として「ヤシ油脂脂肪酸サルコシン」のトリエタノールアミン塩からなる。
2471	42	504398	ヤシ油脂脂肪酸サルコシンナトリウム		ヤシ油脂脂肪酸サルコシンNa	本品は、「ヤシ油脂脂肪酸サルコシン」のナトリウム塩の水溶液である。
2472	42	523264	ヤシ油脂脂肪酸 酸化加水分解ケラチンカリウム液		ヤシ油脂脂肪酸 酸化加水分解ケラチンK液	本品は、「加水分解ケラチン末」又は「加水分解ケラチン液」を酸化し、シスチン残基をシステ

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						イン酸残基としたものと、ヤシ油脂脂肪酸」との縮合物のナトリウム塩の水溶液である。本品は、定量するとき、有機性固形分(注1)に対し、窒素(N:14.01)5.0~11.0%を含む。
2473	41	101533	ヤシ油脂脂肪酸ジエタノールアミド			本品は、ヤシ油脂脂肪酸と当量のジエタノールアミンとを縮合して得られるアルキロールアミドである。
2474	42	532151	ヤシ油脂脂肪酸ジエタノールアミド(2)	ヤシ油脂脂肪酸ジエタノールアミド(1:2型)	ヤシ油脂脂肪酸ジエタノールアミド 2	本品は、主として「ヤシ油脂脂肪酸」とジエタノールアミンとを縮合して得られる1:2型アルキロールアミドである。
2475	42	504399	ヤシ油脂脂肪酸シヨ糖エステル	シヨ糖ヤシ油脂脂肪酸エステル		本品は、主として「ヤシ油脂脂肪酸」とシヨ糖からなるエステルである。
2476	42	508130	ヤシ油脂脂肪酸ソルビタン			本品は、主として「ヤシ油脂脂肪酸」とソルビタンのモノエステルからなる。
2477	42	521180	ヤシ油脂脂肪酸タウリンナトリウム		ヤシ油脂脂肪酸タウリンNa	本品は、主として、ヤシ油脂脂肪酸タウリンナトリウムからなり、通常、塩化ナトリウムを含む。本品を乾燥したものは、定量するとき、ヤシ油脂脂肪酸タウリンナトリウム(R・CONHC <sub>2</sub> H <sub>4</sub> SO <sub>3</sub> Na:平均分子量346)として45.0~55.0%を含む。
2478	42	504400	ヤシ油脂脂肪酸トリエタノールアミン液		ヤシ油脂脂肪酸TEA液	本品は、主として「ヤシ油脂脂肪酸」のトリエタノールアミン塩の水溶液で、定量するとき、ヤシ油脂脂肪酸トリエタノールアミン36.0~44.0%を含む。
2479	42	502151	ヤシ油脂脂肪酸ナトリウム		ヤシ油脂脂肪酸Na	本品は、主として「ヤシ油脂脂肪酸」のナトリウム塩である。
2480	42	532314	N-ヤシ油脂脂肪酸N-メチル-L-アラニン		ヤシ油脂脂肪酸メチル-L-アラニン	本品は、主としてN-ヤシ油脂脂肪酸-N-メチル-L-アラニンからなる。
2481	42	504402	ヤシ油脂脂肪酸メチルアラニンナトリウム液		ヤシ油脂脂肪酸メチルアラニンNa液	本品は、主としてN-ヤシ油脂脂肪酸-N-メチル-L-アラニンナトリウムの水溶液で、定量するとき、N-ヤシ油脂脂肪酸-N-メチル-L-アラニンナトリウム22~28%を含む。
2482	42	504403	ヤシ油脂脂肪酸メチルタウリンナトリウム		ヤシ油脂脂肪酸メチルタウリンK	本品は、主としてヤシ油脂脂肪酸メチルタウリンのナトリウム塩の水溶液で、定量するときヤシ油脂脂肪酸メチルタウリンナトリウム(RCON(CH <sub>3</sub> )C <sub>2</sub> H <sub>4</sub> SO <sub>3</sub> Na:平均分子量380)として表示量の90~110%を含む。
2483	42	502152	ヤシ油脂脂肪酸メチルタウリンナトリウム		ヤシ油脂脂肪酸メチルタウリンNa	本品は、主としてヤシ油脂脂肪酸メチルタウリンのナトリウム塩からなる。通常、「イソプロパノール」、エタノール、水又はこれらの混液の溶液である。
2484	42	523265	ヤシ油脂脂肪酸メチルタウリンマグネシウム液		ヤシ油脂脂肪酸メチルタウリンMg液	本品は、主としてヤシ油脂脂肪酸メチルタウリンマグネシウムの水溶液である。本品は定量するとき、ヤシ油脂脂肪酸メチルタウリンマグネシウム((RCON(CH <sub>3</sub> )CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> SO <sub>3</sub> ) <sub>2</sub> Mg:平均分子量674.3)として24.0~29.0%を含む。
2485	41	500545	ヤシ油脂脂肪酸モノエタノールアミド		ヤシ油脂脂肪酸エタノールアミド	本品は、「ヤシ油脂脂肪酸」と当量の「エタノールアミン」とを縮合して得られるアルキロールアミドからなる。
2486	42	523266	ヤシ油脂脂肪酸リジン液			本品は、主として「ヤシ油脂脂肪酸」の「リジン」塩の水溶液である。本品は、定量するとき、ヤシ油脂脂肪酸リジン26.5~33.0%を含む。
2487	42	521181	ユーカリエキス			本品は、ユーカリ Eucalyptus globulus Labillardiere 又はその他近縁植物(Myrtaceae)の葉から水、エタノール、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
2488	42	532152	ユーカリ水			本品は、ユーカリ Eucalyptus globulus Labillardiere (Myrtaceae)の葉を水蒸気蒸留して得られた水層成分である。
2489	42	002364	ユーカリ油			本品は、ユーカリ Eucalyptus globulus Labillardiere 又はその他近縁植物(Myrtaceae)の葉を水蒸気蒸留して得た精油である。
2490	42	523267	ユーグレナ多糖体末			本品は、ミドリムシ Euglenella gracilis Klebs (Euglenida) から得られる多糖体の粉末である。
2491	42	523268	ユーグレナ油			本品は、ミドリムシ Euglenella gracilis Klebs (Euglenida) を通気培養後、「オレイン酸」を添加して嫌気培養して得られた液状油で、主として、不飽和エステルからなり、他に少量のトリグリセライドを含む。
2492	42	521184	ユキノシタエキス			本品は、ユキノシタ Saxifraga stolonifera Meerburg (Saxifragaceae) の全草から水、「エタノール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
2493	42	523835	ユズエキス		柚エキス 柚子エキス	本品は、ユズ Citrus junos Siebold (Rutaceae) の果実から、エタノール溶液にて抽出して得られるエキスである。
2494	42	503159	油性アルニカエキス			本品は、アルニカ Arnica montana L. (Compositae) の花又は根を「パーシツク油」、流動パラフィン、日局ダイズ油、「大豆油」、「ミスチン酸イソプロピル」又はこれらの混液で抽出して得られたエキスである。
2495	42	503021	油性オトギリソウエキス(1)		油性オトギリソウエキス-1	本品は、「セイヨウオトギリソウ Hypericum perforatum L. 又はコゴマオトギリソウ Hypericum

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						perforatum L. var. angustifolium D.C. (Guttiferae)の開花期の全草を小麦胚芽油又は小麦胚芽油とトウモロコシ油の混合液で抽出したものである。
2496	42	522081	油性オドリコウエキス(2)		油性オドリコウエキス- 2	本品は、セイヨウオドリコHypericum perforatum L.又はコゴメオドリコHypericum perforatum L. var. angustifolium D.C. (Guttiferae)の花を「オリーブ油」で抽出して得られるものである。
2497	42	503023	油性オドリコウエキス			本品は、オドリコウ Lamium album Linne' (Labiatae)の花を「パーシク油」、流動パラフィン」又はこれらの混液で抽出して得られるエキスである。
2498	42	522082	油性カモミラエキス	油性カミソレエキス		本品は、カミソレ Matricaria chamomilla L. (Compositae)の花から「パーシク油」、流動パラフィン」、大豆油」、ミスチン酸イソプロピル」、トリ(カプリル・カプリン酸)グリセリン」、ヒマワリ油(1)」又はこれらの混液にて抽出、又は「スクワラン」にて加温抽出して得られるものである。
2499	42	521187	油性カロットエキス			本品は、ニンジン Daucus carota Linne var. sativa DC. (Umbelliferae)の根から「大豆油」、ラッカセイ油」又は「ヒマワリ油」にて抽出して得られるエキスである。
2500	42	509127	油性ゴボウエキス			本品は、ゴボウ Arctium lappa L. (Compositae)の根を「流動パラフィン」と「パーシク油」の混液(2:1)で抽出して得られるエキスである。
2501	42	510083	油性コラーゲンエキス			本品は、ウシ又はブタの皮膚組織から「オリーブ油」にて抽出して得られるエキスである。本品を定量するとき、窒素(N:14.01)として0.035~0.040%を含む。
2502	42	512031	油性混合植物抽出液			本品は、カミソレ Matricaria chamomilla L. (Compositae)、シナノキ Tilia platyphyllos Scopoli (Tiliaceae)、コウスイハツカ Melissa officinalis L. (Labiatae)、マンネンロウ Rosmarinus officinalis L. (Labiatae)、オタネニンジン Panax ginseng C.A. Meyer (Araliaceae)、キズタ Hedera rhombea Sieb. et Zucc. (Araliaceae)及び Citrus aurantium L. subsp. amara Engl. (Rutaceae)の枝、葉、根又は花を、ヒマワリ油で抽出したものである。
2503	42	521192	油性シコンエキス(1)		油性シコンエキス- 1	本品は、ムラサキ Lithospermum erythrorhizon Siebold et Zuccarini (Boraginaceae)の根から「ワルマチン酸イソプロピル」又は「スクワラン」にて抽出して得られるエキスである。
2504	42	521193	油性シコンエキス(2)		油性シコンエキス- 2	本品は、ムラサキ Lithospermum erythrorhizon Siebold et Zuccarini (Boraginaceae)の根からエーテルにて抽出し、エーテルを留去したエキスである。
2505	42	505183	油性シナノキエキス	油性セイヨウシナノキエキス		本品は、シナノキ(セイヨウボダイジュ) Tilia europaea L. (Tiliaceae)の花又は葉を「ヒマワリ油(1)」で抽出したものである。
2506	42	522112	油性ショウガエキス	ショウガエキス		本品は、ショウガ Zingiber officinale Roscoe (Zingiberaceae)の根茎のアセトン抽出物から、ヘキサンを用いて抽出したエキスの無水エタノール溶液である。
2507	42	510085	油性シラカバエキス			本品は、シラカバ Betula alba L. (Betulaceae)の樹皮からエタノール溶液にて抽出して得られるエキスを濃縮し、「スクワラン」で抽出溶解したものである。
2508	42	504190	油性スギナエキス			本品は、スギナ Equisetum arvense Linne' (Equisetaceae)の栄養茎を乾燥したものに、「ヒマワリ油(1)」を加え、抽出したものである。
2509	42	510086	油性セイヨウノコギリウエキス			本品は、セイヨウノコギリウ Achillea millefolium L. (Compositae)の開花時の全草をヒマワリ油にて抽出して得られるエキスである。
2510	42	521195	油性セージエキス	油性サルビアエキス		本品は、セージ Salvia officinalis Linne' (Labiatae)の全草を「流動パラフィン」及び「パーシク油」の混液(2:1)又は「ヒマワリ油(1)」にて抽出して得られるエキスである。
2511	42	512032	油性テウチグルミエキス			本品は、テウチグルミ Juglans regia L. var. sinensis D.C. (Juglandaceae)の外果皮及び葉を乾燥し粉碎した後、「大豆油」及び日局ラッカセイ油の混合液にて抽出して得られるエキスである。
2512	42	512033	油性トウキエキス			本品は、トウキ Angelica acutiloba Kitagawa 又はその他近縁植物(Umbelliferae)の根を「スクワラン」で抽出して得られるエキスである。
2513	42	532153	油性トウキエキス(2)		油性トウキエキス- 2	本品は、トウキ Angelica acutiloba Kitagawa 又はその他近縁植物(Umbelliferae)の根からエーテルで抽出して得られるエキスである。
2514	42	505182	油性トウキンセンカエキス			本品は、トウキンセンカ Calendula officinalis Linne'、ホウキンセンカ Calendula arvensis Linne' (Compositae)花から「パーシク油」、流動パラフィン」、大豆油」、日局ラッカセイ油、又はこれらの混液で抽出したものである。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2515	42	510087	油性ニンジンエキス(2)		油性ニンジンエキス- 2	本品は、オタネニンジン <i>Panax ginseng</i> C. A. Meyer ( <i>Panax schinseng</i> Nees) (Araliaceae) の根からヘキサンにて抽出して得られるエキスを濃縮し、「サフラワー油」又は「スクワラン」で抽出又は溶解したものである。
2516	42	505184	油性バラエキス			本品は、バラ <i>Rose canina</i> L. (Rosaceae) の乾燥果実からベンゼンで抽出し、過剰した後、ベンゼンを留去したものに「アルモンド油」及び「トウモロコシ油」の混合油を加えたものである。
2517	42	532315	油性バラエキス			本品は、 <i>Rosa centifolia</i> Linne' (Rosaceae) の新鮮な花のヘキサン抽出物からヘキサンを留去したもののプロピレングリコール溶液である。
2518	42	510088	油性ビワ葉エキス			本品は、ビワ <i>Eriobotrya japonica</i> Lindley (Rosaceae) の葉から無水エタノールにて抽出して得られるエキスを濃縮し、「スクワラン」で抽出溶解したものである。
2519	42	503160	油性プラセンタエキス	プラセンター・キッド・オイルソルブル		本品は、健康なブタ <i>Sus scrofa</i> Linne' var. <i>domesticus</i> Gray (Suidae) の胎盤から、エーテルで抽出して得た減圧乾燥物を「オリブ油」又は、「ゴマ油」に溶かしたものである。本品は、定量するとき、レシチン 0.1~ 0.6% を含む。
2520	42	523270	油性ボダイジュエキス	油性セイヨウボダイジュエキス		本品は、ナツボダイジュ <i>Tilia platyphyllos</i> Scop. (Tiliaceae) の花及び葉から「パーシク油」、流動パラフィン」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
2521	42	510090	油性ホップエキス			本品は、ホップ <i>Humulus lupulus</i> L. (Moraceae) の雌花穂(球果)から「パーシク油」及び「流動パラフィン」の混液にて抽出されるエキスである。
2522	42	503145	油性マロニエエキス			本品は、マロニエ(セイヨウトチノキ) <i>Aesculus hippocastanum</i> L. (Hippocastanaceae) の果実を「ヒマワリ油(1)」で抽出して得られるエキスである。
2523	42	523271	油性モモ葉エキス		油性桃葉エキス	本品は、モモ <i>Prunus persica</i> Batsch (Rosaceae) の葉から無水エタノールにて抽出して得られるエキスを濃縮し、「スクワラン」で抽出溶解したものである。
2524	42	504404	油性ヨクイニンエキス			本品は、ハトムギ <i>Coix lachryma-jobi</i> Linne' var. <i>ma-yuen</i> Stapf (Gramineae) の種皮を除いた種子から、「ミスチン酸オクチルデシル」にて抽出して得られたエキス、またはヘキサンにて抽出した後ヘキサンを留去して得られたエキスである。
2525	42	523272	油性卵黄エキス(1)		油性卵黄エキス- 1	本品は、ニワトリ <i>Gallus gallus domesticus</i> Brisson (Phasianidae) の卵黄から「イソプロパノール」とエタノールの混液で抽出して得られるエキスである。
2526	42	523273	油性卵黄エキス(2)		油性卵黄エキス- 2	本品は、ニワトリ <i>Gallus gallus domesticus</i> Brisson (Phasianidae) の卵黄から「トウモロコシ油」で抽出して得られるエキスである。
2527	42	503174	油性ローズマリーエキス(1)		油性ローズマリーエキス- 1	本品は、マンネンロウ <i>Rosmarinus officinalis</i> L. (Labiatae) の葉を「ヒマワリ油(1)」にて抽出して得られたエキスである。
2528	42	522083	油性ローズマリーエキス(2)		油性ローズマリーエキス- 2	本品は、マンネンロウ <i>Rosmarinus officinalis</i> L. (Labiatae) の全草を「パーシク油」及び「流動パラフィン」の混液から抽出したエキスである。
2529	42	510092	油性ローズマリーエキス(3)		油性ローズマリーエキス- 3	本品は、マンネンロウ <i>Rosmarinus officinalis</i> L. (Labiatae) の葉から水、「エタノール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスを濃縮し、「スクワラン」で抽出溶解したものである。
2530	42	510093	油性ローヤルゼリーエキス			本品は、「ローヤルゼリー」から水とエタノールの混液にて抽出して得られるエキスを濃縮し、「スクワラン」で抽出溶解したものである。
2531	42	503161	ユリエキス			本品は、ユリ <i>Lilium candidum</i> L. (Liliaceae) の球根から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
2532	42	521198	ヨウ化ニンニクエキス			本品は、ニンニク <i>Allium sativum</i> Linne' (Liliaceae) の鱗茎から「エタノール」により抽出されたエキスを、ヨウ素化して得られたものである。
2533	42	521199	ヨウ化パラジメチルアミノチリルヘプチルメチルチアソリウム			本品を乾燥したものは、定量するとき、2- $\phi$ -ジメチルアミノチリル-3-ヘプチル-4-メチルチアソリウムアイオダイド(C 21H 31N 2S : 470.46) 97.0%以上を含む。
2534	99	999999	溶性シスチン			本品は、N,N'-ジアセチル-L-シスチンジメチルエステル(C 21H 20N 2O 6S 2 : 352.44) からなる。本品は、定量するとき、窒素(N : 14.01) 7.5~ 8.5%を含む。
2535	42	107719	ヨクイニンエキス			本品は、ハトムギ <i>Coix lachryma-jobi</i> Linne' var. <i>ma-yuen</i> Stapf (Gramineae) の種皮を除いた種子から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
2536	42	521204	ヨモギエキス			本品は、ヨモギ <i>Artemisia princeps</i> Pampanini, <i>モウコヨモギ</i> <i>Artemisia mongolia</i> Fischer 又

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						はヤマモモギ Artemisia montana Pampanini (Compositae) の葉から水, エタノール, 「プロピレングリコール」, 「1, 3- ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
2537	99	999999	モモギエキス			本品は, モモギ Artemisia princeps Pampanini 又はモウコモモギ Artemisiamongolia Fischer の葉の 1, 3- ブチレングリコール抽出液である。
2538	42	532170	モモギエキス(2)		モモギエキス- 2	本品は, モモギ Artemisia princeps Pampanini (Compositae) の葉から, 水で加熱抽出して得られるエキスであり, 「1, 3- ブチレングリコール」を含むものがある。
2539	42	521206	モモギ水			本品は, モモギ Artemisia princeps Pampanini 又はヤマモモギ Artemisia montana Pampanini (Compositae) の葉から水で抽出して得られたエキスを, 水蒸気蒸留して得られる水層成分である。
2540	42	521207	ライム果汁			本品は, ライム Citrus aurantifolia Swingle 又はその変種 (Rutaceae) の果実 (生) を圧搾して得られる果汁である。
2541	42	523275	ライムギ末	ライ麦粉		本品は, ライムギ Secale cereale Linne' (Gramineae) の種子を, 種皮を除いて粉末としたものである。
2542	42	532154	ラウリルアミノ酢酸ナトリウム液		ラウリルアミノ酢酸Na液	本品は, ラウリルアミノ酢酸のナトリウム塩の水溶液からなる。本品は, 定量するとき, 窒素(N: 14. 01) 0. 5~ 1. 7% を含む。
2543	42	504406	ラウリルアミノプロピオン酸ナトリウム液		ラウリルアミノプロピオン酸Na液	本品は, ラウリルアミノプロピオン酸のナトリウム塩の水溶液からなる。本品を定量するとき, ラウリルアミノプロピオン酸ナトリウム(C 18H 34NaO 4: 351. 46) として表示量の 90~ 110% を含む。
2544	42	504407	ラウリルアミノプロピオン酸液			本品は, 主として, ラウリルアミノプロピオン酸の水溶液である。
2545	41	106684	- ラウリルアミノプロピオン酸ナトリウム		- ラウリルアミノプロピオン酸Na	本品は, 主として - ラウリルアミノプロピオン酸ナトリウムからなる。通常, 「イソプロパノール」, エタノール, 水又はこれらの混液を含む。
2546	41	103811	ラウリルアルコール			本品は, 主としてラウリルアルコール(C 12H 26O: 186. 34) からなる。
2547	42	521210	ラウリルイソキノリウムサッカリン			本品を乾燥したものは, 定量するとき, ラウリルイソキノリウムサッカリン(C 28H 36N 2O 3S: 480. 67) 90. 0% 以上を含む。
2548	42	523276	N - ラウリル- N - カルボキシメチルエチル- N - カルボキシメチルエチレンジアミンナトリウムポリオキシエチレントデシル硫酸液		ラウリルカルボキシメチルエチルカルボキシメチルエチレンジアミン2Na・POEトデシル硫酸液	本品は, 主として N - ラウリル- N - カルボキシメチルエチル- N - カルボキシメチルエチレンジアミンナトリウムポリオキシエチレントデシル硫酸の水溶液からなる。酸化エチレンの平均付加モル数は 3 である。
2549	41	500608	ラウリルジアミノエチルグリシンナトリウム液		ラウリルジアミノエチルグリシンNa液	本品は, 主としてラウリルジアミノエチルグリシンナトリウムからなり, 通常エタノール, 水の混液を含む。本品は, 定量するとき, 表示量の 90~ 110% に対応するラウリルジアミノエチルグリシンナトリウム(C 18H 38N 3NaO 2: 351. 51) を含む。
2550	42	509128	N - ラウリルジエタノールアミン		ラウリルDEA	本品は, 主としてラウリルジエタノールアミンからなる。本品は, 定量するとき, ラウリルジエタノールアミン(C 16H 35NO 2: 273. 46) として 95. 0% 以上を含む。
2551	41	500549	ラウリルジメチルアミノ酢酸ベタイン		ラウリルジメチルベタイン	本品は, 主としてラウリルジメチルアミノ酢酸ベタインからなる。通常, イソプロパノール, エタノール, 水又はこれらの混液を含む。
2552	42	501141	ラウリルジメチルアミノオキシド液			本品は, 主としてラウリルジメチルアミノオキシドの水溶液で, 定量するとき, ラウリルジメチルアミノオキシド(C 14H 31NO: 229. 41) として 27. 0~ 37. 0% を含む。
2553	42	502155	ラウリルスルホ酢酸ナトリウム		ラウリルスルホ酢酸Na	本品を定量するとき, ラウリルスルホ酢酸ナトリウム(C 14H 27NaO 5S: 330. 41) 92. 5% 以上を含む。
2554	42	532316	N - ラウリルヒドロキシ酢酸アミド硫酸ナトリウム		ラウリルヒドロキシ酢酸アミド硫酸Na	本品は, 主として N - ラウリルヒドロキシ酢酸アミド硫酸ナトリウムからなる。本品は定量するとき, N - ラウリルヒドロキシ酢酸アミド硫酸ナトリウム(C 14H 28NaO 5S: 346. 44) として 27. 0~ 33. 0% を含む。
2555	42	523277	ラウリルヒドロキシスルホベタイン液			本品は, 定量するとき, ラウリルジメチルアミノ- 2- ヒドロキシプロピルスルホベタイン(C 17H 37NO 4S: 351. 49) として 28. 0~ 32. 0% を含む。
2556	42	501142	ラウリル硫酸アンモニウム			本品は, 主としてラウリル硫酸アンモニウムからなる。本品を定量するとき, ラウリル硫酸アンモニウム(C 12H 29NO 4S: 283. 43) として表示量の 90~ 110% を含む。
2557	42	501143	ラウリル硫酸カリウム		ラウリル硫酸K	本品は, 主としてラウリル硫酸カリウム(C 12H 29KO 4S: 304. 49) からなる。
2558	42	502157	ラウリル硫酸ジエタノールアミン		ラウリル硫酸DEA	本品は, 主としてラウリル硫酸のジエタノールアミン塩である。本品を定量するとき, ラウリル硫



連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						酸ジエタノールアミン(C 18H 37NO 6 : 371.53)として表示量の90~110%を含む。
2559	41	107444	ラウリル硫酸トリエタノールアミン		ラウリル硫酸TEA ラウリル硫酸塩	本品は、主としてラウリル硫酸トリエタノールアミンからなる。本品は、定量するとき、ラウリル硫酸トリエタノールアミン(C 18H 41NO 7 : 415.58)として表示量の90~110%を含む。
2560	41	001662	ラウリル硫酸ナトリウム		ラウリル硫酸Na ラウリル硫酸塩	本品は、主としてラウリル硫酸ナトリウム(C 12H 25NaO 4S : 288.38)からなる。
2561	42	521212	ラウリル硫酸マグネシウム		ラウリル硫酸Mg	本品は、主としてラウリル硫酸マグネシウム(C 24H 50MgO 8S 2 : 555.06)からなる。
2562	42	521214	ラウリル硫酸マグネシウム液		ラウリル硫酸Mg液	本品は、「ラウリル硫酸マグネシウム」の水溶液である。
2563	42	504414	ラウリル硫酸モノエタノールアミン		ラウリル硫酸MEA	本品は、主としてラウリル硫酸のモノエタノールアミン塩である。本品を定量するとき、ラウリル硫酸モノエタノールアミン(C 14H 33NO 5S : 327.49)として表示量の90~110%を含む。
2564	42	504417	ラウリリン酸			本品は、主として「リン酸」と「ラウリルアルコール」のモノエステルからなり、ジエステルも含む。
2565	42	504418	ラウリリン酸ナトリウム(1)		ラウリリン酸Na-1	本品は、主としてラウリリン酸のモノナトリウム塩である。
2566	42	511074	ラウリリン酸ナトリウム(2)		ラウリリン酸Na-2	本品は、主としてラウリリン酸のナトリウム塩である。
2567	41	103809	ラウリン酸			本品は、主としてラウリン酸(C 12H 24O 2 : 200.32)からなる。
2568	41	500553	ラウリン酸亜鉛		ラウリン酸Zn	本品は、主として「ラウリン酸」の亜鉛塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、亜鉛(Zn : 65.38)として12.5~14.5%を含む。
2569	42	509129	ラウリン酸アミドプロピルジメチルアミン酢酸液	ラウリン酸アミドプロピルジメチルアミン酢酸液		本品は、主としてラウリン酸アミドプロピルジメチルアミン酢酸の水溶液からなる。本品は、定量するとき、表示量の90~110%に対応するラウリン酸アミドプロピルジメチルアミン酢酸を含む。
2570	42	504419	ラウリン酸イソステアリル			本品は、主として「ラウリン酸」と「イソステアリルアルコール」のエステル(C 30H 60O 2 : 452.80)からなる。
2571	42	508134	ラウリン酸加水分解コラーゲンナトリウム		ラウリン酸加水分解コラーゲンNa	本品は、主として「ラウリン酸」と加水分解コラーゲンとの縮合物のナトリウム塩からなり、プロピレングリコール溶液を含む。本品を定量する時、窒素(N : 14.01)として3.5%以上を含む。
2572	42	504420	ラウリン酸カリウム		ラウリン酸K	本品は、主として「ラウリン酸」のカリウム塩(C 12H 23KO 2 : 238.42)からなる。
2573	41	103812	ラウリン酸ジエタノールアミド			本品は、「ラウリン酸」と当量の「ジエタノールアミン」とを縮合して得られるアルキロールアミドである。
2574	42	504422	ラウリン酸ジエチレングリコール		ラウリン酸ジグリコール	本品は、主として「ラウリン酸」と「ジエチレングリコール」のモノエステルからなる。
2575	42	504423	ラウリン酸トリエタノールアミン液		ラウリン酸TEA液	本品は、主として「ラウリン酸」のトリエタノールアミン塩(C 18H 39NO 5 : 349.51)の水溶液である。
2576	42	504425	ラウリン酸プロピレングリコール		ラウリン酸PG	本品は、主として「ラウリン酸」と「プロピレングリコール」のモノエステル(C 15H 30O 3 : 258.40)からなる。
2577	41	108822	ラウリン酸ヘキシル			本品は、主として「ラウリン酸」と「ヘキシルアルコール」からなるエステル(C 18H 36O 2 : 284.48)である。
2578	42	504428	ラウリン酸ポリオキシエチレングリセリル		ラウリン酸POEグリセリル	本品は、主としてモノラウリン酸グリセリンに酸化エチレンを付加重合したものである。
2579	42	503164	ラウリン酸ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油モノラウリン酸エステル	ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油モノラウリン酸エステル	ラウリン酸POE硬化ヒマシ油、ラウリン酸POE水添ヒマシ油、POE硬化ヒマシ油、ラウリン酸エステル、POE水添ヒマシ油、ラウリン酸エステル	本品は、主として、「ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油」と「ラウリン酸」とのモノエステルからなる。
2580	42	532317	ラウリン酸マルチールエステル		ラウリン酸マルチール	本品は、主として「ラウリン酸」と「マルチール」のエステルである。
2581	42	507116	ラウリン酸ミリスチン酸ジエタノールアミド			本品は、「ラウリン酸」と「ミリスチン酸」を約7:3の比率で混合した脂肪酸と当量の「ジエタノールアミン」とを縮合して得られるアルキロールアミドである。
2582	42	509047	ラウリン酸ミリスチン酸トリエタノールアミン		ラウリン酸ミリスチン酸TEA	本品は、主として「ラウリン酸」と「ミリスチン酸」を約3:1の比率で混合した脂肪酸のトリエタノールアミン塩からなる。
2583	42	532155	ラウリン酸モノイソプロパノールアミド		ラウリン酸イソプロパノールアミド	本品は、主として「ラウリン酸」と当量のイソプロパノールアミンを縮合して得られるアルキロールアミド(C 19H 31NO 2 : 257.41)である。
2584	42	532156	ラウリン酸モノエタノールアミド	ラウリン酸エタノールアミド		本品は、主として「ラウリン酸」と当量のモノエタノールアミンを縮合して得られるアルキロールアミド(C 14H 29NO 2 : 243.39)である。
2585	42	532176	N - ラウロイル - L - アスパラギン酸ナトリウム液		ラウロイルアスパラギン酸Na液	本品は、主としてN - ラウロイル - L - アスパラギン酸ナトリウムを含む水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N : 14.01)0.7~1.4%を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2586	42	523278	ラウロイルアミドエチルヒドロキシエチルカルボキシメチルベタインヒドロキシプロピルリン酸ナトリウム液		ラウロイルアミドエチルヒドロキシエチルカルボキシメチルベタインPGリン酸Na液	本品は、ラウロイルアミドエチルヒドロキシエチルカルボキシメチルベタインヒドロキシプロピルリン酸ナトリウムの水溶液である。
2587	42	521216	ラウロイル加水分解コラーゲンカリウム		ラウロイル水解コラーゲンK	本品は、コラーゲンたん白質の加水分解物と「ラウリン酸」との縮合物のカリウム塩からなる。本品は、定量するとき、窒素 (N: 14.01)6.3~ 11.5%を含む。
2588	42	523279	ラウロイル加水分解シルクナトリウム液		ラウロイル水解シルクNa液	本品は、加水分解シルクと「ラウリン酸」との縮合物のナトリウム塩の水溶液である。本品は、定量するとき、窒素 (N: 14.01)1.0~ 2.5%を含む。
2589	42	532157	N - ラウロイル- N' - カルボキシメチル- N' - ヒドロキシエチルエチレンジアミナトリウム	ヒンデシレン酸- N - ヒドロキシエチル- N - カルボキシメチルイミダゾリウムベタインナトリウム	ラウロイルカルボキシメチルヒドロキシエチルエチレンジアミンNa ウンデシレン酸ヒドロキシエチルカルボキシメチルイミダゾリウムベタインNa	本品は、主として2位にウンデシル基を有する1-ヒドロキシエチルイミダゾリンをカルボキシメチル化して得たもののナトリウム塩である。通常、「イソプロパノール」、エタノール、水又はこれらの混液を含む。
2590	42	532158	N - ラウロイル- N' - カルボキシメチルエチル- N' - カルボキシメチルエチレンジアミナトリウムドデカノイルサルコシン	ラウリル- N - カルボキシメチルエチル- N - カルボキシメチルイミダゾリウムジナトリウムドデカノイルサルコシン	ラウロイルカルボキシメチルエチルカルボキシメチルエチレンジアミン2Naドデカノイルサルコシン、ラウリルカルボキシメチルエチルカルボキシメチルイミダゾリウム2Naドデカノイルサルコシン	本品は、主として、2位にラウリル基を有する1-ヒドロキシエチルイミダゾリンをカルボキシメチル化して得たもののナトリウム塩にドデカノイルサルコシンをイオン結合させたものである。
2591	42	523280	N - ラウロイル- L - グルタミン酸		ラウロイルグルタミン酸	本品は、主として N - ラウロイル- L - グルタミン酸からなり、本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素 (N: 14.01)3.5~ 4.5%を含む。
2592	42	523281	N - ラウロイル- L - グルタミン酸カリウム		ラウロイルグルタミン酸K	本品は、主として N - ラウロイル- L - グルタミン酸」のカリウム塩からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素 (N: 14.01)3.0~ 4.0%を含む。
2593	42	503165	ラウロイルグルタミン酸ジオクチルドデシル			本品は、主として「N - ラウロイル- L - グルタミン酸」と「オクチルドデカノール」とのエステルである。
2594	42	523282	N - ラウロイル- L - グルタミン酸ジ (コレステリル・オクチルドデシル)	ジ (コレステリル、オクチルドデシル)N - ラウロイル- L - グルタミン酸エステル	ラウロイルグルタミン酸ジ (コレステリル・オクチルドデシル)	本品は、主として「N - ラウロイル- L - グルタミン酸」と「コレステロール」及び「オクチルドデカノール」の混合アルコールのジエステルからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素 (N: 14.01)1.25~ 1.47%を含む。
2595	42	523283	N - ラウロイル- L - グルタミン酸ジ (コレステリル・ベヘニル・オクチルドデシル)	ジ (コレステリル、ベヘニル、オクチルドデシル)N - ラウロイル- L - グルタミン酸エステル	ラウロイルグルタミン酸ジ (コレステリル・ベヘニル・オクチルドデシル)	本品は、主として「N - ラウロイル- L - グルタミン酸」と「コレステロール」、「ベヘニルアルコール」、「オクチルドデカノール」の混合アルコールとのジエステルからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素 (N: 14.01)1.25~ 1.47%を含む。
2596	42	532159	N - ラウロイル- L - グルタミン酸ジ (フィステリル・2- オクチルドデシル)		ラウロイルグルタミン酸ジ (フィステリル・オクチルドデシル)	本品は、主として「N - ラウロイル- L - グルタミン酸」と「フィステロール」及び「オクチルドデカノール」の混合物のエステルからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素 (N: 14.01)1.29~ 1.51%を含む。
2597	42	532160	N - ラウロイル- L - グルタミン酸ジ- 2- ヘキシルデシル	ラウロイルグルタミン酸ジイソセチル	ラウロイルグルタミン酸ジヘキシルデシル	本品は、主として「N - ラウロイル- L - グルタミン酸」と「ヘキシルデカノール」のジエステル (C <sub>49</sub> H <sub>95</sub> NO <sub>5</sub> : 778.30)からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素 (N: 14.01)1.53~ 1.80%を含む。
2598	42	502160	ラウロイル- L - グルタミン酸トリエタノールアミン	N - アシル- L - グルタミン酸トリエタノールアミン液	ラウロイルグルタミン酸TEA、アシルグルタミン酸TEA液	本品は、「N - ラウロイル- L - グルタミン酸」のトリエタノールアミン塩の水溶液で、定量するとき N - ラウロイル- L - グルタミン酸トリエタノールアミン (C <sub>23</sub> H <sub>46</sub> N <sub>2</sub> O <sub>8</sub> : 478.63)として表示量の90~ 110%を含む。
2599	41	109262	N - ラウロイル- L - グルタミン酸ナトリウム		ラウロイルグルタミン酸Na	本品は、主として N - ラウロイル- L - グルタミン酸ナトリウムからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素 (N: 14.01)3.6~ 3.9%を含む。
2600	42	503166	ラウロイルグルタミン酸ポリオキシエチレンオクチルドデシルエーテルジエステル		ラウロイルグルタミン酸 POEオクチルドデシルエーテルジエステル	本品は、主として「N - ラウロイル- L - グルタミン酸」とポリオキシエチレンオクチルドデシルエーテルとからなるジエステルである。酸化エチレンの平均付加モル数は、2~ 5である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素 (N: 14.01)0.89%以上を含む。
2601	42	523284	ラウロイルグルタミン酸ポリオキシエチレンステアリルエーテルジエステル		ラウロイルグルタミン酸 POEステアリルエーテルジエステル	本品は、主として「N - ラウロイル- L - グルタミン酸」とポリオキシエチレンステアリルエーテルとからなるジエステルである。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素 (N: 14.01)0.93%以上を含む。
2602	42	532175	N - ラウロイル- L - グルタミン酸・マグネシウム		ラウロイルグルタミン酸Mg	本品は、主として「N - ラウロイル- L - グルタミン酸」のマグネシウム塩からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素 (N: 14.01)3.0~ 4.5%を含む。
2603	42	502162	ラウロイルサルコシン			本品は、主として「ラウリン酸」とN - メチルグリシンの縮合物 (C <sub>15</sub> H <sub>29</sub> NO <sub>3</sub> : 271.38)からなる。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2604	42	507117	ラウロイルサルコシンドエタノールアミン液		ラウロイルサルコシンTEA液	本品は、「ラウロイルサルコシン」を「トエタノールアミン」で中和した塩の水溶液で、定量するときラウロイルサルコシンドエタノールアミン(C 21H 44N 2O 6:420.59)27~ 33%を含む。
2605	41	500557	ラウロイルサルコシンナドウム		ラウロイルサルコシンNa ラウロイルサルコシン塩	本品は、主として「ラウロイルサルコシン」のナドウム塩(C 15H 28NNaO 3:293.38)からなる。
2606	42	532174	N - ラウロイル- L - スレオニンカリウム		ラウロイルスレオニンK	本品は、主としてN - ラウロイル- L - スレオニンカリウム(C 16H 29KO 4:324.502)からなり、本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)2.5~ 3.5%を含む。
2607	42	532318	ラウロイル乳酸ナドウム		ラウロイル乳酸Na	本品は、「ラウリン酸」と「乳酸」とのエステルの部分中和ナドウム塩である。
2608	42	523285	N - ラウロイル- N - メチル - - アラニン		ラウロイルメチル - - アラニン	本品は、主としてN - ラウロイル- N - メチル - - アラニン(C 16H 31NO 3:285.43)からなる。
2609	42	523286	N - ラウロイルN - メチル - - アラニンドエタノールアミン液		ラウロイルメチル - - アラニンTEA液	本品は、N - ラウロイル- N - メチル - - アラニンのトエタノールアミン塩の溶液である。本品は、定量するとき、表示量の90.0~ 110.0%に対応するN - ラウロイル- N - メチル - - アラニンドエタノールアミン(C 21H 46N 2O 6:434.62)を含む。
2610	42	503167	ラウロイルメチル - - アラニンナドウム液		ラウロイルメチル - - アラニンNa液	本品は、主としてN - ラウロイル- N - メチル - - アラニンナドウムの水溶液である。本品は、定量するとき、N - ラウロイルメチル - - アラニンナドウム(C 16H 30NNaO 3:307.41)27~ 33%を含む。
2611	41	500558	ラウロイルメチルタウリンナドウム		ラウロイルメチルタウリンNa	本品は、主としてラウロイルメチルタウリンのナドウム塩からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、ラウロイルメチルタウリンナドウム(C 15H 30NNaO 4S:343.46)95.0%以上を含む。
2612	41	500559	ラウロイルメチルタウリンナドウム液		ラウロイルメチルタウリンNa液	本品は、主として「ラウロイルメチルタウリンナドウム」からなり、通常、水、「イソプロパノール」、エタノール又はこれらの混液の溶液である。本品は、定量するとき、ラウロイルメチルタウリンナドウム(C 15H 30NNaO 4S:343.46)として表示量の90~ 110%を含む。
2613	42	511064	N - ラウロイル- L - リジン		ラウロイル - - リジン	本品を乾燥したものは、定量するとき、N - ラウロイル- L - リジン(C 18H 36N 2O 3:328.50)94.0%以上を含む。
2614	42	521220	酪酸コレステリル	酪酸コレステリン		本品は、主として食添の酪酸と「コレステロール」のエステル(C 31H 52O 2:456.76)からなる。
2615	42	521221	酪酸ジヒドロコレステリル	酪酸ジヒドロコレステリン		本品は、主として食添の酪酸と「ジヒドロコレステロール」からなるエステル(C 31H 54O 2:458.77)である。
2616	42	523287	ラクトフェリン液			本品は、脱脂牛乳から得られる糖たん白質であるラクトフェリンを含む10%エタノール水溶液である。本品は、定量するとき、窒素(N:14.01)0.15~ 0.30%を含む。
2617	42	504433	ラッカイン酸	ラック色素		本品は、「セラック」から得られる色素で、主として、ラッカイン酸(C 26H 19NO 12:537.44)からなる。
2618	42	523288	ラッカイン酸被覆雲母			本品は、「ラッカイン酸」のアルミニウムレーキで「マイカ」を被覆したものである。
2619	42	002376	ラッカセイ油	ピーナツ油		本品は、ラッカセイArachis hypogaea Linne '(Leguminosae)の種子から得た脂肪油である。
2620	42	504434	ラノステロール			本品は、「ラノリンアルコール」から得られたトシルペンアルコールで、主としてラノステロール(C 30H 50O:426.37)及びジヒドロラノステロール(C 30H 52O:428.75)からなる。
2621	41	103799	ラノリン			本品は、「ヒソジ Ovis aries Linne (Bovidae)の毛から得た脂肪」の物質を精製したものである。
2622	41	103800	ラノリンアルコール			本品は、「ラノリン」をけん化して得られる高級脂肪酸アルコール及びコレステロールなどの脂環族アルコールの混合物である。本品を乾燥したものは、定量するとき、コレステロール(C 27H 46O:386.66)30.0%以上を含む。
2623	41	500562	ラノリン脂肪酸			本品は、「ラノリン」をけん化して得たものである。
2624	41	110408	ラノリン脂肪酸イソプロピル			本品は、主として「ラノリン脂肪酸」と「イソプロパノール」からなるエステルである。
2625	42	503169	ラノリン脂肪酸オクチルトデシル			本品は、「ラノリン脂肪酸」、「硬質ラノリン脂肪酸」又は「軟質ラノリン脂肪酸」と「オクチルトデカノール」とのエステルである。
2626	42	506027	ラノリン脂肪酸コレステリル			本品は、主としてラノリン脂肪酸とコレステロールからなるモノエステルである。
2627	42	508135	ラノリン脂肪酸ジエタノールアミド			本品は、主として「ラノリン脂肪酸」と当量の「ジエタノールアミン」を縮合して得られるラノリン脂肪酸ジエタノールアミドと等量の水の混合物である。
2628	41	500564	ラノリン脂肪酸ポリエチレングリコール 200		ラノリン脂肪酸 PEG- 4	本品は、「軟質ラノリン脂肪酸」、「ラノリン脂肪酸」及び「硬質ラノリン脂肪酸」若しくはこれらの混合物に、「酸化エチレン」約4モルを付加重合させるか又は「ポリエチレングリコール 200」を

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						反応して得られるエステルである。
2629	41	500565	ラノリン脂肪酸ポリエチレングリコール 300		ラノリン脂肪酸 PEG- 6	本品は、軟質ラノリン脂肪酸、ラノリン脂肪酸、及び硬質ラノリン脂肪酸、若しくはこれらの混合物に、酸化エチレン約 7 モルを付加重合させるか又は「ポリエチレングリコール 300」を反応して得られるエステルである。
2630	41	500566	ラノリン脂肪酸ポリエチレングリコール 400		ラノリン脂肪酸 PEG- 8	本品は、軟質ラノリン脂肪酸、ラノリン脂肪酸、及び硬質ラノリン脂肪酸、若しくはこれらの混合物に、酸化エチレン約 10モルを付加重合させるか又は「ポリエチレングリコール 400」を反応して得られるエステルである。
2631	41	500567	ラノリン脂肪酸ポリエチレングリコール 600		ラノリン脂肪酸 PEG- 12	本品は、軟質ラノリン脂肪酸、ラノリン脂肪酸、及び硬質ラノリン脂肪酸、若しくはこれらの混合物に、酸化エチレン約 15モルを付加重合させるか又は「ポリエチレングリコール 600」を反応して得られるエステルである。
2632	41	500568	ラノリン脂肪酸ポリエチレングリコール 1000		ラノリン脂肪酸 PEG- 20	本品は、軟質ラノリン脂肪酸、ラノリン脂肪酸、及び硬質ラノリン脂肪酸、若しくはこれらの混合物に、酸化エチレン約 20モルを付加重合させるか又は「ポリエチレングリコール 1000」を反応して得られるエステルである。
2633	99	999999	ラフマエキス			本品は、ラフマ <i>Apocynum venetum</i> L. (Apocynaceae) の葉及び茎から熱水で抽出して得られるエキスである。
2634	42	523289	ラベンダーエキス(1)		ラベンダーエキス- 1	本品は、ラベンダー <i>Lavandula vera</i> De Candolle (Labiatae) の花から水、「プロピレングリコール」、「1, 3- ブチレングリコール」又はそれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
2635	42	523290	ラベンダーエキス(2)		ラベンダーエキス- 2	本品は、ラベンダー <i>Lavandula vera</i> De Candolle (Labiatae) の花からエタノール溶液で抽出して得られるエキスである。
2636	42	523291	ラベンダー水			本品は、ラベンダー <i>Lavandula vera</i> DeCandolle (Labiatae) の花から水蒸気蒸留して得られる水層成分である。
2637	42	521226	ラベンダー末			本品は、ラベンダー <i>Lavandula vera</i> De Candolle (Labiatae) の花を粉末にしたものである。
2638	42	002377	ラベンダー油			本品は、ラベンダー <i>Lavandula vera</i> DeCandolle (Labiatae) の花から水蒸気蒸留して得た精油である。本品は、定量するとき、酢酸リナリル (C 12H 20O2 : 196. 29) として 30. 0% 以上を含む。
2639	42	510094	卵黄脂肪油			本品は、ニワトリ <i>Gallus gallus domesticus</i> Brisson (Phasianidae) の卵黄より、リン脂質を除いた脂肪油である。
2640	41	107725	卵黄油			本品は、ニワトリ <i>Gallus gallus domesticus</i> Brisson (Phasianidae) の卵黄から有機溶剤で抽出して得た脂肪油で、リン脂質を含む。
2641	42	523292	卵黄リノホスファチジルコリン			本品は、ニワトリ <i>Gallus gallus domesticus</i> Brisson (Phasianidae) の卵黄をホスフォリパーゼ A2 で加水分解した後、エタノールで抽出精製した脂質で、主として、リノホスファチジルコリンからなる。本品は、定量するとき、リン (P: 30. 97) 4. 0~ 6. 0% を含む。
2642	42	107724	卵黄レシチン	卵黄リン脂質		本品は、ニワトリ <i>Gallus gallus domesticus</i> Brisson (Phasianidae) の卵黄から得られものである。本品を定量するとき、リン脂質 (平均分子量 : 788) として 60. 0% 以上を含む。
2643	42	521230	卵殻末			本品は、ニワトリ <i>Gallus gallus domesticus</i> Brisson (Phasianidae) の卵の殻を乾燥した後、粉碎したものである。
2644	42	532161	藍藻エキス			本品は、温泉に生息する淡水性の藍藻類 (Cyanophyta) の <i>Chroococcus</i> 及び <i>Microcystis</i> 並びに <i>Oscillatoriales</i> , <i>Spirulina</i> 及び <i>Phormidium</i> の全藻よりエタノールで抽出して得られるエキスである。本品は、「プロピレングリコール」を含む。
2645	42	508136	卵白 (非熱凝固)			本品は、卵白を加熱処理し、熱凝固成分を除去したものである。本品は、定量するとき、窒素 (N : 14. 01) として 12. 48% 以上を含む。
2646	99	999999	ランブータンエキス			本品は、ランブータン <i>Nephelium lappaceum</i> L. (ムクロシ科) の果皮から得た抽出液である。
2647	42	521233	リノール酸オクチルデシル	リノレイン酸オクチルデシル		本品は、主としてリノール酸とオクチルデカノール」のエステルからなる。
2648	42	523293	リノレイン酸アミドプロピルベタイン液			本品は、リノレイン酸アミドプロピルベタインの水溶液である。本品は、定量するとき、表示量の 90~ 110% のリノレイン酸アミドプロピルベタイン (C 2H 48N 2O 4 : 404. 64) を含む。
2649	42	503170	リノレイン酸グリセリル			本品は、主としてリノレイン酸とグリセリルのモノエステルからなる。
2650	42	501146	リノレイン酸セチル	リノール酸セチル		本品は、主としてリノレイン酸とセタノール」のエステル (C 34H 86O 2 : 522. 89) からなる。
2651	42	504438	リノレイン酸テトラヒドロフルフリル			本品は、主としてリノレイン酸とテトラヒドロフルフリルアルコールからなるエステル (C 23H 4

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
						204:382 58)である。
2652	42	503171	リシノレイン酸プロピレングリコール	モノリシノール酸プロピレングリ コール	リシノレイン酸 PG、リシノール酸 PG	本品は、主としてリシノレイン酸と「プロピレングリコール」のモノエステル(C 21H 40O4:356.55)からなる。
2653	42	511066	リシノレイン酸ヘキサグリセリル	リシノール酸ヘキサグリセリル		本品は、主としてリシノレイン酸とグリセリンの6量体とのモノエステルからなる。
2654	42	504440	リシノレイン酸ポリオキシプロピレンソルビット	モノリシノール酸ポリオキシプロ ピレンソルビット	リシノレイン酸 POPソルビット、リシノール 酸 POPソルビット	本品は、主としてリシノレイン酸とポリオキシプロピレンソルビットのモノエステルからなる。
2655	42	521237	L- リジン液		リジン液	本品は、定量するとき、表示量の90.0~110.0%に対応するL- リジン(C 6H 14N 2O 2:146.19)を含む。
2656	41	500570	リサロール			本品は、定量するとき、リサロール(C 10H 18O:154.25)として92.0%以上を含む。
2657			リサロール変性アルコール			本品は、「エタノール」にリサロールを加え、変性させたものである。
2658	42	512035	(リノール/オレイン酸)d1- - トコフェロール		(リノール・オレイン酸)d1- - トコフェ ロール、ビタミンE(リノール酸・オレイン 酸)エステル、ビタミンE(リノール・オレ ート)	本品は、主としてリノール酸とオレイン酸の混合脂肪酸とdl- - トコフェロールからなるエ ステルである。本品は、定量するとき、リノール酸 dl- - トコフェロール(C 47H 80O3:693.1 5)に換算したdl- - トコフェロール脂肪酸エステルとして96.0~102.0%を含む。また、dl - - トコフェロール脂肪酸エステルのうち、リノール酸 dl- - トコフェロール(C 47H 82O 3:695.17)は20.0~40.0%である。
2659	42	103851	リノール酸			本品は、主としてリノール酸(C 18H 32O 2:280.45)からなる。
2660	42	109925	リノール酸イソプロピル	リノレイン酸イソプロピル		本品は、主として「リノール酸」と「イソプロパノール」のエステル(C 21H 38O 2:322.51)から なる。
2661	42	102241	リノール酸エチル	リノレイン酸エチル		本品は、主として「リノール酸」のエチルエステル(C 20H 36O 2:308.50)からなる。
2662	42	504446	リノール酸ジエタノールアミド	リノレイン酸ジエタノールアミド		本品は、主として「リノール酸」と当量のジエタノールアミンとを縮合して得られるアルキロール アミドである。
2663	42	502170	リノール酸 dl- - トコフェロール		ビタミンEリノール酸エステル、ビタミンE リノレート	本品は、定量するとき、リノール酸 dl- - トコフェロール(C 47H 80O3:693.16)96.0%以 上を含む。
2664	42	508137	リノール酸ラノリンアルコール		リノール酸ラノリン、リノール酸ラノリンア ルコールエステル	本品は、主として「リノール酸」と「ラノリンアルコール」からなるエステルである。
2665	42	523296	リパーゼ(1)		リパーゼ-1	本品は、カビRhizopus japonicus から得られた脂肪分解酵素である。本品は、定量するとき、 表示単位以上を含む。
2666	42	523297	リパーゼ(2)		リパーゼ-2	本品は、酵母 Candida cylindracea から得られた脂肪分解酵素である。本品は、定量する とき、表示単位以上を含む。
2667	42	523298	リボ核酸(1)		RNA-1	本品は、主としてビール酵母菌体から得られるリボ核酸を精製したものである。
2668	42	523299	リボ核酸(2)		RNA-2	本品は、酵母 Candida utilis から抽出して得られるリボ核酸である。本品を乾燥したものは、 定量するとき、窒素(N:14.01)15.3~16.5%及びリン(P:30.97)9.0~9.8%を含む。
2669	42	521241	リボ核酸ナトリウム		RNA・Na	本品は、酵母 Candida utilis の菌体から抽出、精製して得られるポリヌクレオチドのナトリウム 塩である。本品を乾燥したものは、定量するとき、窒素(N:14.01)13.5~15.5%及びリン(P: 30.97)7.5~9.5%を含む。
2670	41	001672	硫酸亜鉛		硫酸 Zn	本品は、硫酸の亜鉛塩からなる。本品は、定量するとき、硫酸亜鉛(ZnSO 4・7H 2O:287.54) 99.0%以上を含む。
2671	42	001676	硫酸アルミニウム		硫酸 Al	本品は、定量するとき、硫酸アルミニウム(Al(SO 4) 3・18H 2O:666.43)98.0~112.0%を 含む。
2672	31	001677	硫酸アルミニウムカリウム	結晶物:カリミヨウバン、ミョウバ ン、乾燥物:焼ミョウバン	ミョウバン、カリミョウバン、硫酸 Al・K	本品には結晶物及び乾燥物がありそれぞれを硫酸アルミニウムカリウム及び硫酸アルミニウ ムカリウム(乾燥)と称する。
2673	41	001677	硫酸アルミニウムカリウム	ミョウバン	硫酸 Al・K	本品は、硫酸のアルミニウム塩とカリウム塩からなる。本品は、定量するとき、硫酸アルミニウ ムカリウム(AlK(SO 4) 2・12H 2O:474.38)99.5%以上を含む。
2674	01	001677	硫酸アルミニウムカリウム	ミョウバン	硫酸 Al・K	本品は定量するとき、硫酸アルミニウムカリウム(AlK(SO 4) 2・12H 2O)99.5%以上を含む。
2675	51	104953	硫酸オキシキリン			本品を乾燥したものは、定量するとき硫酸オキシキリン[(C 9H 7O N) 2H 2SO 4:388.41]9 0.0%以上を含む。
2676	51	523433	硫酸オキシキリン(2)		硫酸オキシキリン-2	本品を乾燥したものは、定量するとき、硫酸オキシキリン[(C 9H 7O N) 2H 2SO 4:388.41] 95.0%以上を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2677	42	101192	硫酸カルシウム		硫酸 Ca	本品は、定量するとき、硫酸カルシウム (CaSO <sub>4</sub> ・2H <sub>2</sub> O : 172.17) 98.0~ 105.0% を含む。
2678	42	509130	硫酸セルロースジ牛脂アルキルジメチルアンモニウム			本品は、主として硫酸セルロースのジ牛脂アルキルジメチルアンモニウム塩からなる。
2679	42	523302	硫酸セルロースジメチルジアルキル (12~ 20) アンモニウム			本品は、主として、硫酸セルロースのジメチルジアルキルアンモニウム塩からなり、アルキル鎖の炭素数は、12から20である。
2680	01	001690	硫酸鉄		硫酸 Fe	本品は定量するとき、硫酸鉄 (FeSO <sub>4</sub> ・7H <sub>2</sub> O) 98.0~ 104.0% を含む。
2681	31	001693	硫酸ナトリウム		硫酸 Na	本品には、結晶物 (10水塩) 及び無水物がありそれぞれを硫酸ナトリウム (結晶) 及び硫酸ナトリウム (無水) と称する。
2682	41	001693	硫酸ナトリウム		硫酸 Na	本品は、硫酸のナトリウム塩の10水和物からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、硫酸ナトリウム (Na <sub>2</sub> SO <sub>4</sub> : 142.04) として 99.0% 以上を含む。
2683	41	001696	硫酸バリウム		硫酸 Ba	本品は、硫酸のバリウム塩 (BaSO <sub>4</sub> : 233.40) からなる。
2684	42	523303	硫酸バリウム被覆雲母チタン		硫酸 Ba 被覆雲母 Ti	本品は、「雲母チタン」を「硫酸バリウム」で被覆したものである。
2685			硫酸プルシン変性アルコール			本品は、「エタノール」に硫酸プルシンを加え、変性させたものである。
2686	31	001702	硫酸マグネシウム		硫酸 Mg	本品には結晶物 (7水塩) 及び乾燥物 (3水塩) がありそれぞれを硫酸マグネシウム (結晶) 及び硫酸マグネシウム (乾燥) と称する。
2687	41	001702	硫酸マグネシウム		硫酸 Mg	本品は、硫酸のマグネシウム塩の7水和物からなる。本品を強熱したものは、定量するとき、硫酸マグネシウム (MgSO <sub>4</sub> : 120.36) として 99.0% 以上を含む。
2688	42	504451	硫酸化ヒマシ油	ロー t 油		本品は、ヒマシ油を硫酸化し水酸化ナトリウムで中和したものである。
2689	51	106054	粒状トウモロコシデンブ		粒状コーンデンブ、粒状コーンスターチ	本品は、日周トウモロコシデンブの温湯懸濁液を噴霧造粒して得た粒状のトウモロコシデンブである。
2690	41	500576	流動イソパラフィン	流動ポリイソブチレン		本品は、イソブテンと n-ブテンを共重合した後、水素添加して得られる側鎖を有する炭化水素の混合物で、その重合度は 5~ 10 である。
2691	41	001496	流動パラフィン			本品は、石油から得た液状の炭化水素類の混合物である。
2692	42	521262	流動ポリイソブレン			本品は、主として 2-メチル-1,3-ブタジエンを重合したもので、その平均分子量は 150 である。
2693	42	100606	リンゴエキス			本品は、「リンゴ Malus domestica Borkhausen (Rosaceae) の果実 (生) からプロピレングリコール溶液又は 1,3-ブチレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
2694	42	521278	リンゴ果汁			本品は、「リンゴ Malus domestica Borkhausen (Rosaceae) の果実 (生) から圧搾、ろ過して得られる液である。
2695	42	505197	DL-リンゴ酸			本品は、定量するとき、DL-リンゴ酸 (C <sub>4</sub> H <sub>6</sub> O <sub>5</sub> : 134.09) として 99.0% 以上を含む。
2696	42	532252	リンゴ酸ジアルキル (12, 13)			本品は、主としてリンゴ酸と炭素数 12 及び 13 の分岐アルキル基を有するアルコールのジエステルである。
2697	42	502172	リンゴ酸ジイソステアリル			本品は、主としてリンゴ酸と 5,7,7-トリメチル-2-(1,3,3-トリメチルブチル)-オクタン-1-オールからなるジエステル (C <sub>40</sub> H <sub>78</sub> O <sub>5</sub> : 639.05) である。
2698	42	532319	L-リンゴ酸・L-チロシン縮合物二ナトリウム塩		リンゴ酸・チロシン縮合物 2Na	本品は、主として L-リンゴ酸と L-チロシンの縮合物のナトリウム塩 (C <sub>13</sub> H <sub>13</sub> N <sub>3</sub> O <sub>7</sub> ・2Na : 341.22) である。
2699	42	532237	リンゴ水			本品は、「リンゴ果汁」を水蒸気蒸留して得られる液で、「エタノール」を含むものもある。
2700	42	532202	リンゴタンニン			本品は、「リンゴ Malus domestica Borkhausen (Rosaceae) の果実 (生) を圧搾、ろ過して得られる液汁から、糖及び有機酸を除去したものである。
2701	41	105169	リンゴ酸			本品は、定量するとき、リンゴ酸 (H <sub>3</sub> PO <sub>4</sub> : 98.00) 85.0% 以上を含む。
2702	99	999999	リンゴ酸 L-アスコルビルマグネシウム		ビタミンCリンゴ酸Mg、ビタミンCリンゴ酸マグネシウム、リンゴ酸アスコルビルマグネシウム、リンゴ酸アスコルビルMg	本品は定量するとき、換算した脱水物に対し、リンゴ酸 L-アスコルビルマグネシウム (C <sub>6</sub> H <sub>6</sub> Mg <sub>3</sub> /2O <sub>9</sub> : 289.54) 98.0% 以上を含む。
2703	42	506029	リンゴ酸 L-アスコルビルマグネシウム	リンゴ酸 L-アスコルビン酸エステルマグネシウム	リンゴ酸アスコルビルMg、リンゴ酸アスコルビン酸エステルMg、ビタミンCリンゴ酸エステルMg、ビタミンCリンゴ酸Mg	本品は、主としてリンゴ酸 L-アスコルビルマグネシウムからなる。本品は、定量するとき、換算した脱水物に対してリンゴ酸 L-アスコルビルマグネシウム (C <sub>6</sub> H <sub>6</sub> O <sub>9</sub> 1.5Mg : 289.54) として、85.0% 以上含む。
2704	42	510095	リンゴ酸アデニン	アデニン-リンゴ酸、モノリンゴ酸アデニン		本品を定量するとき、換算した乾燥物に対してアデニン-5-リンゴ酸 (C <sub>10</sub> H <sub>14</sub> N <sub>5</sub> O <sub>7</sub> : 347.23) 95.0~ 103.0% を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2705	42	521286	リン酸ジグリセリル二ナトリウム		リン酸ジグリセリル 2Na	本品は、主として、「リン酸」と「ジグリセリン」のモノエステルナトリウム塩からなる。
2706	42	523304	リン酸ジセチル	ジセチルリン酸		本品は、主として「リン酸」と「セタノール」のジエステル(C <sub>32</sub> H <sub>66</sub> O <sub>4</sub> P:546.85)からなる。
2707	42	523305	リン酸ジセチルアルミニウム		リン酸ジセチル Al	本品は、主として「リン酸ジセチル」のアルミニウム塩からなる。
2708	42	521282	リン酸一水素アンモニウム	リン酸水素二アンモニウム	リン酸 1水素アンモニウム、リン酸水素アンモニウム、リン酸 2アンモニウム	本品は、定量するとき、リン酸一水素アンモニウム(NH <sub>4</sub> ) <sub>2</sub> HPO <sub>4</sub> :132.06)95.0%以上を含む。
2709	42	110627	リン酸二水素アンモニウム	リン酸一アンモニウム	リン酸 2水素アンモニウム、リン酸 1アンモニウム	本品は、定量するとき、リン酸二水素アンモニウム(NH <sub>4</sub> ) <sub>2</sub> HPO <sub>4</sub> :115.03)96.0~102.0%を含む。
2710	31	523306	リン酸水素ニカリウム	リン酸一カリウム	リン酸水素 2K	本品を乾燥したものは、リン酸水素ニカリウム(K <sub>2</sub> HPO <sub>4</sub> )98.0%以上。
2711	41	109096	リン酸二水素カリウム		リン酸 2水素 K、リン酸 1K	本品は、「リン酸」のカリウム塩からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、リン酸二水素カリウム(KH <sub>2</sub> PO <sub>4</sub> :136.09)98.0%以上を含む。
2712	41	001714	リン酸水素カルシウム		リン酸水素 Ca	本品は、「リン酸」のカルシウム塩の2水和物からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、リン酸水素カルシウム(CaHPO <sub>4</sub> :136.06)98.0%以上を含む。
2713	41	500579	リン酸一水素ナトリウム	リン酸二ナトリウム	リン酸 1水素 Na、リン酸 2Na、リン酸水素 2Na	本品は、「リン酸」の二ナトリウム塩の12水和物からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、リン酸一水素ナトリウム(Na <sub>2</sub> HPO <sub>4</sub> :141.96)として98.0%以上を含む。
2714	41	009757	リン酸二水素ナトリウム		リン酸 2水素 Na、リン酸 1Na	本品は、「リン酸」のナトリウム塩の2水和物からなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、リン酸二水素ナトリウム(NaH <sub>2</sub> PO <sub>4</sub> :119.98)として98.0%以上を含む。
2715	42	523307	リン酸二水素ナトリウム(一水塩)		リン酸 2水素 Na(1水塩)、リン酸 1Na(1水塩)	本品を乾燥したものは、定量するとき、リン酸二水素ナトリウム(NaH <sub>2</sub> PO <sub>4</sub> :119.98)として98.0%以上を含む。
2716	42	501148	リン酸トオレイル	トオレイルリン酸		本品は、主として「リン酸」と「オレイルアルコール」のトエステル(C <sub>54</sub> H <sub>105</sub> O <sub>4</sub> P:849.39)からなる。
2717	42	521292	リン酸トステアリル			本品は、主として「リン酸」と「ステアリルアルコール」のトエステルからなる。
2718	42	532320	リン酸トセチル	トセチルリン酸		本品は、「リン酸」と「セタノール」のトエステルである。
2719	42	505199	リン酸トセチル(2)	リン酸トリバルニル	リン酸 トセチル- 2	本品は、主として「リン酸」と「セタノール」のトエステルからなる。
2720	41	009759	リン酸三ナトリウム		リン酸 3Na	本品は、「リン酸」の三ナトリウム塩の12水和物である。本品を乾燥したものは、定量するとき、リン酸三ナトリウム(Na <sub>3</sub> PO <sub>4</sub> :163.94)として99.0~103.0%を含む。
2721	42	009760	リン酸ピリキサル			本品を乾燥したものは、定量するとき、リン酸ピリキサル(C <sub>8</sub> H <sub>10</sub> N <sub>2</sub> O <sub>6</sub> P·H <sub>2</sub> O:265.16)98.0%以上を含む。
2722	42	103946	リン酸マグネシウム		リン酸 Mg	本品は、定量するとき、リン酸マグネシウム(Mg <sub>3</sub> (PO <sub>4</sub> ) <sub>2</sub> :262.86)95.0%以上を含む。
2723	42	532321	リン酸モノステアリル		リン酸ステアリル	本品は、主として「リン酸」と「ステアリルアルコール」のモノエステルからなる。
2724	42	523308	リン酸モノセチル		リン酸セチル	本品は、主として「リン酸」と「セタノール」のモノエステルからなる。
2725	42	532322	リン酸モノミリスチル		リン酸ミリスチル	本品は、主として「リン酸」と「ミリスチルアルコール」を縮合して得られるリン酸エステルからなる。本品は、定量するとき、リン酸モノミリスチル(C <sub>14</sub> H <sub>31</sub> O <sub>4</sub> P:294.37)93.0%以上を含む。
2726	99	999999	レイボスティエエキス末			本品は別添規格(4)-1「レイボスティエ」(Asparathus Linearis (Leguminosae)) (略)を常水にて抽出して得られたエキスを乾燥したものである。
2727	42	001721	ルチン			本品は、マツ科のエンジュSophora japonica L. (Leguminosae)のつぼみ又は花から得られたものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、ルチン(C <sub>27</sub> H <sub>300</sub> O <sub>16</sub> :610.52)85.0~101.5%を含む。
2728	99	999999	ルチングルコシド			本品はルチンにβ-D-グルコシル転移酵素等を用いてグルコースを付加して得られたものである。本品を乾燥したものは、定量するときルチングルコシド(C <sub>33</sub> H <sub>400</sub> O <sub>21</sub> :772.67)として95~115%を含む。
2729	42	521298	レイシエキス			本品は、マンネンタケ Ganoderma lucidum (Fr.) Karst. (Polyporaceae)の子実体から水にて抽出して得られるエキスである。
2730	99	999999	霊芝エキスCS-			本品はマンネンタケ Ganoderma lucidum Karst.のエキスである。
2731	42	521298	レイシ培養液エキス			本品は、マンネンタケ Ganoderma lucidum (Fr.) Karst. (Polyporaceae)の菌子を液体培養して得られる培養液を乾燥したのから「セタノール」と水の混液(4:1)にて抽出して得られるエキスである。本品は、定量するとき、窒素(N:14.007)として0.02~0.12%を含む。
2732	41	001728	レゾルシン			本品を乾燥したものは、定量するとき、レゾルシン(C <sub>6</sub> H <sub>6</sub> O <sub>2</sub> :110.11)99.0%以上を含む。

連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2733	42	521303	レタス液汁			本品は、レタス <i>Lactuca sativa</i> Linne' (Compositae) の葉 (生) から圧搾、ろ過して得られる液である。
2734	42	523309	レタスエキス (1)		レタスエキス-1	本品は、レタス <i>Lactuca sativa</i> Linne' (Compositae) の葉 (生) から水、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
2735	42	521305	レタスエキス (2)		レタスエキス-2	本品は、レタス <i>Lactuca sativa</i> Linne' (Compositae) の葉 (生) から水にて抽出して得られるエキスである。
2736	42	504469	レブリン酸			本品は、定量するとき、レブリン酸 (C <sub>5</sub> H <sub>8</sub> O <sub>3</sub> :116.11)97.0%以上を含む。
2737	42	103823	レモンエキス			本品は、レモン <i>Citrus limon</i> Burmann fil. (Rutaceae) の果実 (生) 又は果汁から水、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」、グリセリン又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。
2738	42	521308	レモン果汁			本品は、レモン <i>Citrus limon</i> Burmann fil. (Rutaceae) の果実 (生) を圧搾して得られる果汁又はこれを濃縮したものである。
2739	42	523310	レンゲソウエキス			本品は、レンゲソウ <i>Astragalus sinicus</i> Linne' (Leguminosae) の全草及び種子から水、無水エタノール、「1, 3-ブチレングリコール」又はこれらの混液で抽出して得られるエキスである。
2740	99	999999	レンシユエキスA			本品はハス <i>Nelumbo nucifera</i> Gaertner (Nymphaeaceae) の雄しべから熱水で抽出して得られるエキスである。
2741	42	510097	ローカストビーンガム			本品は、カロブ樹 <i>Ceratonia siliqua</i> L. (Leguminosae) の種子の胚乳部を粉砕した後、精製したものであり、本品は主としてガラクトマンナンからなる。
2742	42	106017	ローズ水			本品は、セイヨウバラ <i>Rosa centifolia</i> Linne' 又は <i>Rosa damascena</i> Miller forma <i>trigintipetala</i> Dieck (Rosaceae) の花を水蒸気蒸留して得られる水層成分である。
2743	42	510098	ローズヒップ油			本品は、カニナバラ <i>Rosa canina</i> L. 又はエグランチンバラ <i>Rosa eglanteria</i> L. (Rosaceae) の種子を圧搾して得られる脂肪油である。
2744	42	521310	ローズマリーエキス	マンネンロウエキス		本品は、マンネンロウ <i>Rosmarinus officinalis</i> Linne' (Labiatae) の葉又は葉及び花から水、「エタノール」、「プロピレングリコール」、「1, 3-ブチレングリコール」若しくはこれらの混液又は1%尿素含有エタノール溶液若しくは1%尿素含有1, 3-ブチレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
2745	42	521311	ローズマリー末	マンネンロウ末		本品は、マンネンロウ <i>Rosmarinus officinalis</i> Linne' (Labiatae) の葉を粉末にしたものである。
2746	42	104829	ローズマリー油			本品は、マンネンロウ <i>Rosmarinus officinalis</i> L. (Labiatae) の新鮮な葉、枝及び花を水蒸気蒸留して得た精油である。
2747	42	532162	ローズマリー水	マンネンロウ水		本品は、マンネンロウ <i>Rosmarinus officinalis</i> Linne' (Labiatae) の葉を水蒸気蒸留して得られる水層成分である。
2748	42	521312	ローマカミツレエキス			本品は、ローマカミツレ <i>Anthemis nobilis</i> Linne' (Compositae) の頭花から「エチレングリコールエチルエーテル」、プロピレングリコール溶液又は1, 3-ブチレングリコール溶液にて抽出して得られるエキスである。
2749	42	508141	ローマカミツレ油			本品は、ローマカミツレ <i>Anthemis nobilis</i> L. (Compositae) の乾燥した花頭から得た精油である。
2750	42	106028	ローヤルゼリー			本品は、ヨーロツパミツバチ <i>Apis mellifera</i> Linne' 又はトウヨウミツバチ <i>Apis indica</i> Radoszkowski (Apidae) の分泌する物質である。
2751	42	521313	ローヤルゼリーエキス			本品は、ヨーロツパミツバチ <i>Apis mellifera</i> Linne' 又はトウヨウミツバチ <i>Apis indica</i> Radoszkowski (Apidae) の分泌する物質から水、「エタノール」、「1, 3-ブチレングリコール」又は、これらの混液にて抽出して得られるエキスである。
2752	42	532323	ログウッドエキス			本品は、 <i>Haematoxylon campechianum</i> Linne' (Leguminosae) の材から熱水で抽出して得られるエキスである。
2753	41	002383	ロジン			本品は、 <i>Pinus</i> 属植物 (Pinaceae) の分泌物から精油を除いて得た固形の樹脂である。
2754	42	508140	ロジン酸ナトリウム処理炭酸カルシウム		ロジン酸Na処理炭酸Ca	本品は、軽質炭酸カルシウムをロジン酸ナトリウムで表面処理したものである。本品を乾燥したものは、定量するとき、炭酸カルシウム (CaCO <sub>3</sub> :100.09) として90%以上を含む。
2755	42	504470	ロジン酸ペンタエリトリット		ロジン酸ペンタエリスリチル	本品は、主として「ロジン」から得られた樹脂酸とペンタエリトリールのエステルである。



連番	規	成分コード	成分名	別名	簡略名	本質
2756	41	107552	ワセリン			本品は、石油から得た半固形の炭化水素類の混合物である
2757	42	521314	ワレモコウエキス	チユエキス		本品は、ワレモコウ <i>Sanguisorba officinalis</i> Linne (Rosaceae) の根及び根茎から水、エタノール、「1,3-ブチレングリコール」又はこれらの混液にて抽出して得られるエキスである。



医薬部外品の成分表示名称リスト：タール色素（平成15年厚生労働省令第126号収載品目）

番号	成分名	別名	簡略名	本質
1	赤色 2号	アマランス	赤 2	平成15年厚生労働省令第126号による
2	赤色 2号アルミニウムレーキ	アマランスアルミニウムレーキ	赤色 2号、赤 2	同上
3	赤色 3号	エリスロシン	赤 3	同上
4	赤色 3号アルミニウムレーキ	エリスロシンアルミニウムレーキ	赤色 3号、赤 3	同上
5	赤色 102 号	ニュー コクシン	赤 102	同上
6	赤色 102 号アルミニウムレーキ	ニュー コクシンアルミニウムレーキ	赤色 102 号、赤 102	同上
7	赤色 104 号の(1)	フロキシソリンB	赤 104(1)	同上
8	赤色 104 号の(1)アルミニウムレーキ	フロキシソリンBアルミニウムレーキ	赤色 104 号の(1)、赤 104(1)	同上
9	赤色 104 号の(1)バリウムレーキ	フロキシソリンBバリウムレーキ	赤色 104 号の(1)、赤 104(1)	同上
10	赤色 105 号の(1)	ローズベンガル	赤 105(1)	同上
11	赤色 105 号の(1)アルミニウムレーキ	ローズベンガルアルミニウムレーキ	赤色 105 号の(1)、赤 105(1)	同上
12	赤色 106 号	アシッドレッド	赤 106	同上
13	赤色 106 号アルミニウムレーキ	アシッドレッドアルミニウムレーキ	赤色 106 号、赤 106	同上
14	黄色 4号	ター トラジン	黄 4	同上
15	黄色 4号アルミニウムレーキ	ター トラジンアルミニウムレーキ	黄色 4号、黄 4	同上
16	黄色 4号バリウムレーキ	ター トラジンバリウムレーキ	黄色 4号、黄 4	同上
17	黄色 4号ジルコニウムレーキ	ター トラジンジルコニウムレーキ	黄色 4号、黄 4	同上
18	黄色 5号	サンセットイエロー FCF	黄 5	同上
19	黄色 5号アルミニウムレーキ	サンセットイエロー FCFアルミニウムレーキ	黄色 5号、黄 5	同上
20	黄色 5号バリウムレーキ	サンセットイエロー FCFバリウムレーキ	黄色 5号、黄 5	同上
21	黄色 5号ジルコニウムレーキ	サンセットイエロー FCFジルコニウムレーキ	黄色 5号、黄 5	同上
22	緑色 3号	ファストグリーンFCF	緑 3	同上
23	緑色 3号アルミニウムレーキ	ファストグリーンFCFアルミニウムレーキ	緑色 3号、緑 3	同上
24	青色 1号	ブリリアントブルー FCF	青 1	同上
25	青色 1号アルミニウムレーキ	ブリリアントブルー FCFアルミニウムレーキ	青色 1号、青 1	同上
26	青色 1号バリウムレーキ	ブリリアントブルー FCFバリウムレーキ	青色 1号、青 1	同上
27	青色 1号ジルコニウムレーキ	ブリリアントブルー FCFジルコニウムレーキ	青色 1号、青 1	同上
28	青色 2号	インジゴカルミン	青 2	同上
29	青色 2号アルミニウムレーキ	インジゴカルミンアルミニウムレーキ	青色 2号、青 2	同上
30	赤色 201 号	リノールルビンB	赤 201	同上
31	赤色 202 号	リノールルビンBCA	赤 202	同上
32	赤色 203 号	レーキレッドC	赤 203	同上
33	赤色 204 号	レーキレッドCBA	赤 204	同上
34	赤色 205 号	リノールレッド	赤 205	同上
35	赤色 206 号	リノールレッドCA	赤 206	同上
36	赤色 207 号	リノールレッドBA	赤 207	同上
37	赤色 208 号	リノールレッドSR	赤 208	同上
38	赤色 213 号	ローダミンB	赤 213	同上
39	赤色 214 号	ローダミンBアセテート	赤 214	同上
40	赤色 215 号	ローダミンBステアレート	赤 215	同上
41	赤色 218 号	テトラクロロテトラプロモフルオレセイン	赤 218	同上
42	赤色 219 号	ブリリアントレーキレッドR	赤 219	同上
43	赤色 220 号	ディー プマルーン	赤 220	同上

番号	成分名	別名	簡略名	本質
44	赤色 221 号	Hレイジンレッド	赤 221	同上
45	赤色 223 号	テトラプロモフルオレセイン	赤 223	同上
46	赤色 225 号	スダン	赤 225	同上
47	赤色 226 号	ヘリンドンピンクCN	赤 226	同上
48	赤色 227 号	ファストアシッドマゲンタ	赤 227	同上
49	赤色 227 号アルミニウムレーキ	ファストアシッドマゲンタアルミニウムレーキ	赤色 227 号、赤 227	同上
50	赤色 228 号	パーマトレッド	赤 228	同上
51	赤色 230 号の(1)	エオシンYS	赤 230(1)	同上
52	赤色 230 号の(1)アルミニウムレーキ	エオシンYSアルミニウムレーキ	赤色 230 号の(1)、赤 230(1)	同上
53	赤色 230 号の(2)	エオシンYSK	赤 230(2)	同上
54	赤色 230 号の(2)アルミニウムレーキ	エオシンYSK アルミニウムレーキ	赤色 230 号の(2)、赤 230(2)	同上
55	赤色 231 号	フロシキンBK	赤 231	同上
56	赤色 231 号アルミニウムレーキ	フロシキンBKアルミニウムレーキ	赤色 231 号、赤 231	同上
57	赤色 232 号	ローズベンガルK	赤 232	同上
58	赤色 232 号アルミニウムレーキ	ローズベンガルKアルミニウムレーキ	赤色 232 号、赤 232	同上
59	だいたい色 201 号	ジプロモフルオレセイン	橙色 201 号、だいたい 201、橙 201	同上
60	だいたい色 203 号	パーマメントオレンジ	橙色 203 号、だいたい 203、橙 203	同上
61	だいたい色 204 号	ベンチジンオレンジG	橙色 204 号、だいたい 204、橙 204	同上
62	だいたい色 205 号	オレンジ	橙色 205 号、だいたい 205、橙 205	同上
63	だいたい色 205 号アルミニウムレーキ	オレンジ アルミニウムレーキ	だいたい色 205 号、橙色 205 号、だいたい 205、橙 205	同上
64	だいたい色 205 号バリウムレーキ	オレンジ バリウムレーキ	だいたい色 205 号、橙色 205 号、だいたい 205、橙 205	同上
65	だいたい色 205 号ジルコニウムレーキ	オレンジ ジルコニウムレーキ	だいたい色 205 号、橙色 205 号、だいたい 205、橙 205	同上
66	だいたい色 206 号	ジヨードフルオレセイン	橙色 206 号、だいたい 206、橙 206	同上
67	だいたい色 207 号	エリスロシン黄NA	橙色 207 号、だいたい 207、橙 207	同上
68	だいたい色 207 号アルミニウムレーキ	エリスロシン黄NAアルミニウムレーキ	だいたい色 207 号、橙色 207 号、だいたい 207、橙 207	同上
69	黄色 201 号	フルオレセイン	黄 201	同上
70	黄色 202 号の(1)	ウラニン	黄 202(1)	同上
71	黄色 202 号の(1)アルミニウムレーキ	ウラニンアルミニウムレーキ	黄色 202 号の(1)、黄 202(1)	同上
72	黄色 202 号の(2)	ウラニンK	黄 202(2)	同上
73	黄色 202 号の(2)アルミニウムレーキ	ウラニンKアルミニウムレーキ	黄色 202 号の(2)、黄 202(2)	同上
74	黄色 203 号	キハルイエローWS	黄 203	同上
75	黄色 203 号アルミニウムレーキ	キハルイエローWSアルミニウムレーキ	黄色 203 号、黄 203	同上
76	黄色 203 号バリウムレーキ	キハルイエローWSバリウムレーキ	黄色 203 号、黄 203	同上
77	黄色 203 号ジルコニウムレーキ	キハルイエローWSジルコニウムレーキ	黄色 203 号、黄 203	同上
78	黄色 204 号	キハルイエローSS	黄 204	同上
79	黄色 205 号	ベンチジンイエローG	黄 205	同上
80	緑色 201 号	アリザリンシアニングリーンF	緑 201	同上
81	緑色 201 号アルミニウムレーキ	アリザリンシアニングリーンFアルミニウムレーキ	緑色 201 号、緑 201	同上
82	緑色 202 号	キニザリングリーンSS	緑 202	同上
83	緑色 204 号	ピラニンコンク	緑 204	同上
84	緑色 204 号アルミニウムレーキ	ピラニンコンクアルミニウムレーキ	緑色 204 号、緑 204	同上
85	緑色 205 号	ライトグリーンSF黄	緑 205	同上
86	緑色 205 号アルミニウムレーキ	ライトグリーンSF黄アルミニウムレーキ	緑色 205 号、緑 205	同上
87	緑色 205 号ジルコニウムレーキ	ライトグリーンSF黄ジルコニウムレーキ	緑色 205 号、緑 205	同上
88	青色 201 号	インジゴ	青 201	同上

番号	成分名	別名	簡略名	本質
89	青色 202 号	パテントブルー NA	青 202	同上
90	青色 202 号バリウムレーキ	パテントブルー NAバリウムレーキ	青色 202 号、青 202	同上
91	青色 203 号	パテントブルー CA	青 203	同上
92	青色 204 号	カルバンスレンブルー	青 204	同上
93	青色 205 号	アルファズリンFG	青 205	同上
94	青色 205 号アルミニウムレーキ	アルファズリンFGアルミニウムレーキ	青色 205 号、青 205	同上
95	褐色 201 号	レゾルシンブラウン	褐 201	同上
96	褐色 201 号アルミニウムレーキ	レゾルシンブラウンアルミニウムレーキ	褐色 201 号、褐 201	同上
97	紫色 201 号	アリズリンパープルSS	紫 201	同上
98	赤色 401 号	ピオラミンR	赤 401	同上
99	赤色 401 号アルミニウムレーキ	ピオラミンRアルミニウムレーキ	赤色 401 号、赤 401	同上
100	赤色 404 号	ブリリアントファストスカーレット	赤 404	同上
101	赤色 405 号	パーマネントレッドF5R	赤 405	同上
102	赤色 501 号	スカーレットレッドNF	赤 501	同上
103	赤色 502 号	ボンソー 3R	赤 502	同上
104	赤色 502 号アルミニウムレーキ	ボンソー 3Rアルミニウムレーキ	赤色 502 号、赤 502	同上
105	赤色 503 号	ボンソー R	赤 503	同上
106	赤色 503 号アルミニウムレーキ	ボンソー Rアルミニウムレーキ	赤色 503 号、赤 503	同上
107	赤色 504 号	ボンソー SX	赤 504	同上
108	赤色 504 号アルミニウムレーキ	ボンソー SXアルミニウムレーキ	赤色 504 号、赤 504	同上
109	赤色 505 号	オイルレッドXO	赤 505	同上
110	赤色 506 号	ファストレッドS	赤 506	同上
111	赤色 506 号アルミニウムレーキ	ファストレッドSアルミニウムレーキ	赤色 506 号、赤 506	同上
112	だいだい色 401 号	ハンサオレンジ	橙色 401 号、だいだい 401、橙 401	同上
113	だいだい色 402 号	オレンジ	橙色 402 号、だいだい 402、橙 402	同上
114	だいだい色 402 号アルミニウムレーキ	オレンジ アルミニウムレーキ	だいだい色 402 号、橙色 402 号、だいだい 402、橙 402	同上
115	だいだい色 402 号バリウムレーキ	オレンジ バリウムレーキ	だいだい色 402 号、橙色 402 号、だいだい 402、橙 402	同上
116	だいだい色 403 号	オレンジSS	橙色 403 号、だいだい 403、橙 403	同上
117	黄色 401 号	ハンサイエロー	黄 401	同上
118	黄色 402 号	ポーライエロー 5G	黄 402	同上
119	黄色 402 号アルミニウムレーキ	ポーライエロー 5Gアルミニウムレーキ	黄色 402 号、黄 402	同上
120	黄色 403 号の(1)	ナフトールイエロー S	黄 403(1)	同上
121	黄色 403 号の(1)アルミニウムレーキ	ナフトールイエロー Sアルミニウムレーキ	黄色 403 号の(1)、黄 403(1)	同上
122	黄色 404 号	イエロー AB	黄 404	同上
123	黄色 405 号	イエロー OB	黄 405	同上
124	黄色 406 号	メタニルイエロー	黄 406	同上
125	黄色 406 号アルミニウムレーキ	メタニルイエローアルミニウムレーキ	黄色 406 号、黄 406	同上
126	黄色 407 号	ファストライムイエロー 3G	黄 407	同上
127	黄色 407 号アルミニウムレーキ	ファストライムイエロー 3Gアルミニウムレーキ	黄色 407 号、黄 407	同上
128	緑色 401 号	ナフトールグリーンB	緑 401	同上
129	緑色 402 号	ギネアグリーンB	緑 402	同上
130	緑色 402 号アルミニウムレーキ	ギネアグリーンBアルミニウムレーキ	緑色 402 号、緑 402	同上
131	緑色 402 号バリウムレーキ	ギネアグリーンBバリウムレーキ	緑色 402 号、緑 402	同上
132	青色 403 号	スタンブルー B	青 403	同上
133	青色 404 号	フタロシアニンプルー	青 404	同上

番号	成分名	別名	簡略名	本質
134	紫色 401 号	アリズロールパープル	紫 401	同上
135	紫色 401 号アルミニウムレーキ	アリズロールパープルアルミニウムレーキ	紫色 401 号、紫 401	同上
136	黒色 401 号	ナフトールブルーブラック	黒 401	同上
137	黒色 401 号アルミニウムレーキ	ナフトールブルーブラックアルミニウムレーキ	黒色 401 号、黒 401	同上